

北杜市
子ども・子育て支援事業計画策定に
関するニーズ調査
結果報告書

令和6年8月

北 杜 市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	2
II	調査結果	3
1	未就学児童保護者	3
	(1) お住まいの地域について	3
	(2) 宛名のお子さんご家族の状況について	4
	(3) 子どもの育ちをめぐる環境について	6
	(4) 宛名のお子さんの保護者の就労状況について	11
	(5) 宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	21
	(6) 宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について	35
	(7) 宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的な」教育・保育事業の利用希望について	43
	(8) 宛名のお子さんの病気の際の対応について（平日日中の教育・保育を利用する方のみ）	48
	(9) 宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	59
	(10) 宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方について	72
	(11) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	86
	(12) こどもの権利について	104
	(13) ヤングケアラーについて	106
	(14) 北杜市の子育て関連の取り組み全般について	107
2	小学生児童保護者	114
	(1) お住まいの地域について	114
	(2) 宛名のお子さんご家族の状況について	115
	(3) 子どもの育ちをめぐる環境について	117
	(4) 宛名のお子さんの保護者の就労状況について	122
	(5) 宛名のお子さんに対する地域の子育て支援事業の利用状況について	133
	(6) 宛名のお子さんの病気の際の対応について	135
	(7) お子さんの放課後の過ごし方と「放課後児童クラブ（学童保育）」について	145

(8) こどもの権利について	162
(9) ヤングケアラーについて	164
(10) 北杜市の子育て関連の取り組み全般について	166
3 小学5年生	172
4 小学5年生保護者	189
5 中学2年生	215
6 中学2年生保護者	236
7 若者	276
(1) あなた自身のことについて	276
(2) 働くことについて	289
(3) 家族や家庭について	293
(4) 結婚・出産・子育てのしやすい環境づくりについて	297
(5) あなた自身の普段の生活や悩みなどについて	300
(6) 将来について	306
(7) 北杜市について	308
 Ⅲ 自由回答	 314
1 未就学児童保護者	314
2 小学生児童保護者	321
 Ⅳ 調査票	 327
1 未就学児童保護者	327
2 小学生児童保護者	343
3 小学5年生	352
4 中学2年生	356
5 保護者（小学5年生・中学2年生共通）	360
6 若者	364

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、次期計画の策定にあたり、皆様の教育・保育・子育て支援に関するサービスの「利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために実施させていただきます。

2 調査対象

未就学児童保護者：市内にお住まいの小学校入学前のお子さんがいらっしゃる保護者

小学生児童保護者：市内にお住まいの小学生のお子さんがいらっしゃる保護者

小学5年生：本市に在学している小学5年生

小学5年生保護者：本市に在学している小学5年生のお子さんがいる保護者

中学2年生：本市に在学している中学2年生

中学2年生保護者：本市に在学している中学2年生のお子さんがいる保護者

若者：本市にお住まいの16歳から39歳までの方から、無作為に抽出

3 調査期間

令和6年6月17日～令和6年6月30日

4 調査方法

郵送による配布・回収、webによる調査

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
未就学児童保護者	987通	443通	44.9%
小学生児童保護者	934通	431通	46.1%
小学5年生	305通	160通	52.5%
小学5年生保護者	305通	120通	39.3%
中学2年生	374通	245通	65.5%
中学2年生保護者	374通	147通	39.3%
若者	1,994通	285通	14.3%

6 調査結果の表示方法

- ・ 回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・ 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・ クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・ 回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。

Ⅱ 調査結果

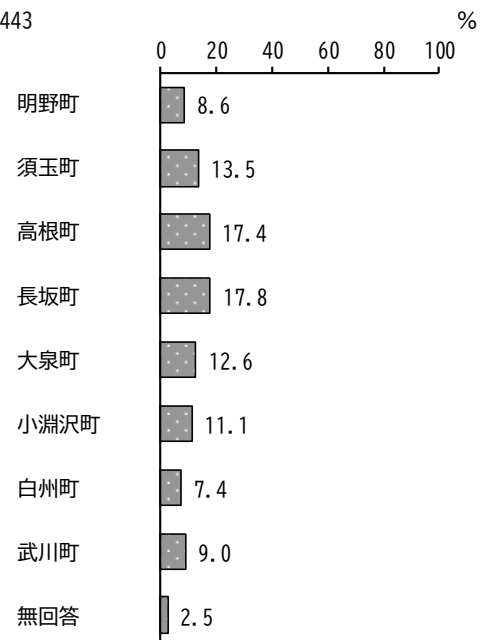
1 未就学児童保護者

(1) お住まいの地域について

問1 お住まいの町に当てはまる番号1つに○をつけてください。

「長坂町」の割合が17.8%と最も高く、次いで
「高根町」の割合が17.4%、「須玉町」の割合が
13.5%となっています。

回答者数 = 443

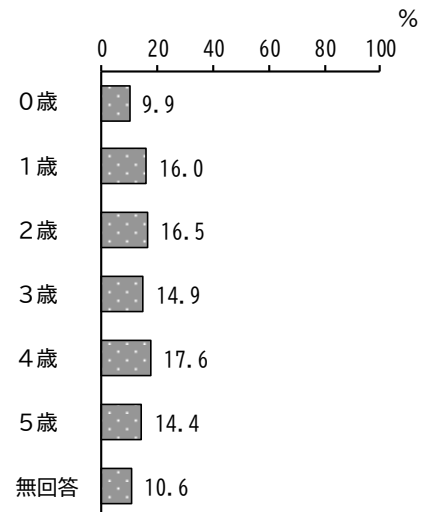


(2) 宛名のお子さんご家族の状況について

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。

「4歳」の割合が17.6%と最も高く、次いで「2歳」の割合が16.5%、「1歳」の割合が16.0%となっています。

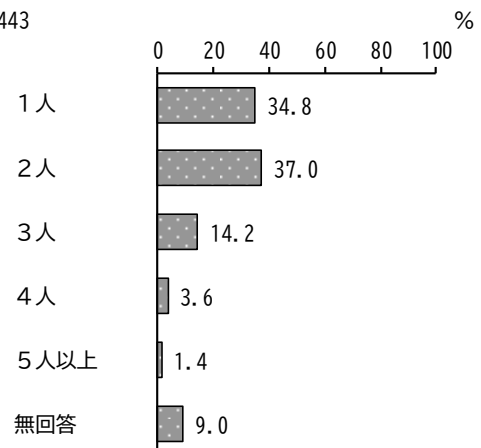
回答者数 = 443



問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。

「2人」の割合が37.0%と最も高く、次いで「1人」の割合が34.8%、「3人」の割合が14.2%となっています。

回答者数 = 443



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、1歳で「1人」の割合が高くなっています。

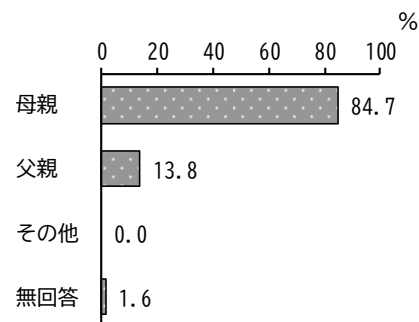
単位：%

区分	回答者数 (件)	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
全 体	443	34.8	37.0	14.2	3.6	1.4	9.0
0歳	44	40.9	40.9	6.8	6.8	—	4.5
1歳	71	57.7	26.8	9.9	—	1.4	4.2
2歳	73	41.1	30.1	15.1	6.8	1.4	5.5
3歳	66	21.2	40.9	19.7	4.5	3.0	10.6
4歳	78	21.8	51.3	15.4	1.3	1.3	9.0
5歳	64	32.8	40.6	17.2	6.3	—	3.1

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係で、当てはまる番号1つに○をつけてください。

「母親」の割合が 84.7%、「父親」の割合が 13.8%となっています。

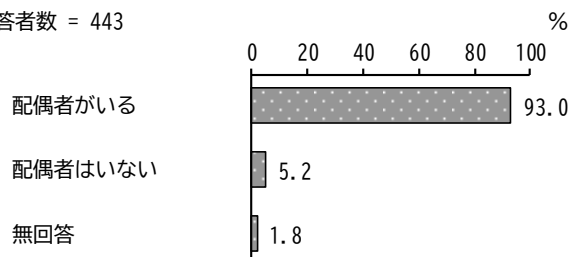
回答者数 = 443



問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

「配偶者がいる」の割合が 93.0%、「配偶者がいない」の割合が 5.2%となっています。

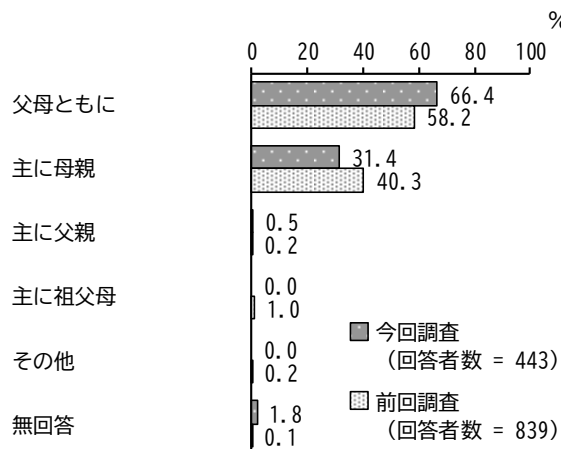
回答者数 = 443



問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

「父母ともに」の割合が 66.4%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が 31.4%となっています。

前回調査と比較すると、「父母ともに」の割合が増加しています。一方、「主に母親」の割合が減少しています。

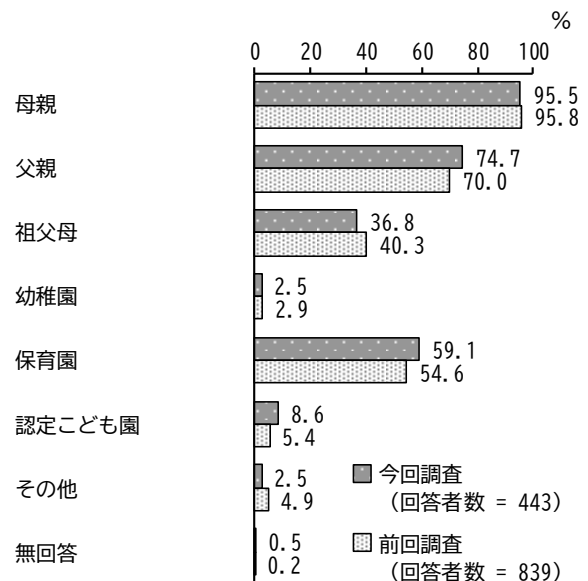


(3) 子どもの育ちをめぐる環境について

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設等職員）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「母親」の割合が 95.5%と最も高く、次いで「父親」の割合が 74.7%、「保育園」の割合が 59.1%となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。

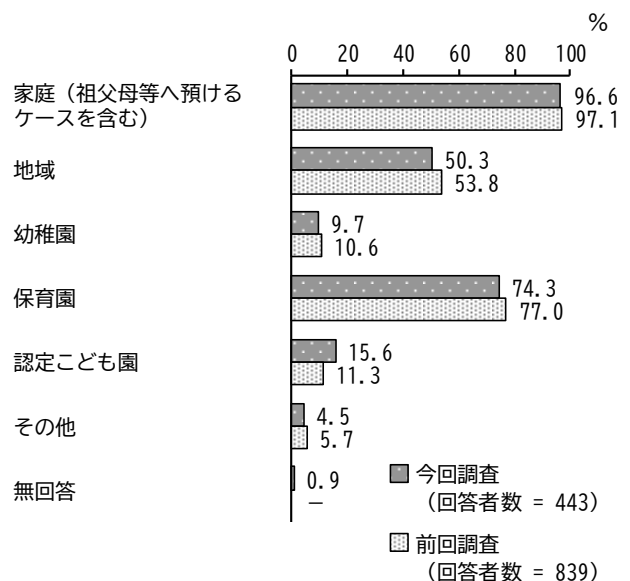


※前回調査では、「保育園」の選択肢は「保育所（園）」となっていました。

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

「家庭（祖父母等へ預けるケースを含む）」の割合が 96.6%と最も高く、次いで「保育園」の割合が 74.3%、「地域」の割合が 50.3%となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



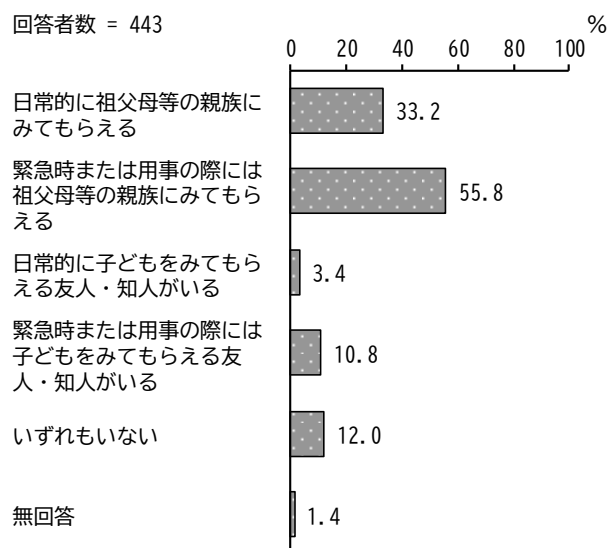
※前回調査では、「家庭（祖父母等へ預けるケースを含む）」の選択肢は「家庭（祖父母等に預ける場合も含む）」、「保育園」の選択肢は「保育所（園）」となっていました。

※前回調査では、「無回答」の記載はありませんでした。

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「緊急時または用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が55.8%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が33.2%、「いずれもない」の割合が12.0%となっています。

回答者数 = 443



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	緊急時または用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	緊急時または用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	いずれもない	無回答
全 体	443	33.2	55.8	3.4	10.8	12.0	1.4
0歳	44	25.0	52.3	4.5	9.1	15.9	6.8
1歳	71	31.0	54.9	2.8	11.3	9.9	—
2歳	73	31.5	58.9	1.4	8.2	16.4	1.4
3歳	66	36.4	54.5	4.5	15.2	12.1	—
4歳	78	34.6	60.3	—	3.8	11.5	—
5歳	64	35.9	56.3	3.1	14.1	10.9	3.1

問9－（１） 問9で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が44.4%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が27.4%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が26.8%となっています。

回答者数 = 358

祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる

祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である

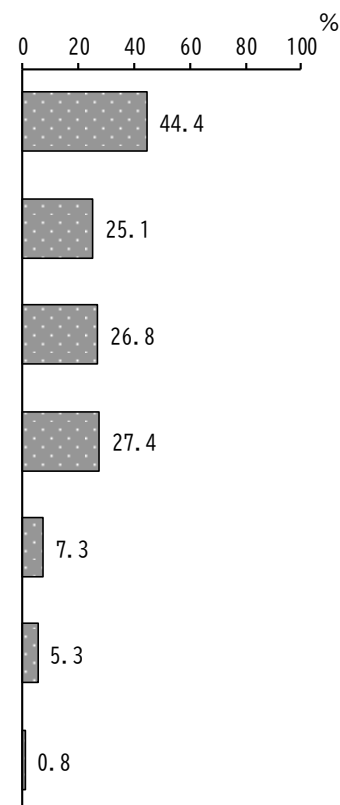
祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である

自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい

子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある

その他

無回答



問9－（２） 問9で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が37.3%と最も高く、次いで「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が30.5%となっています。

回答者数 = 59

友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる

友人・知人の身体的負担が大きく心配である

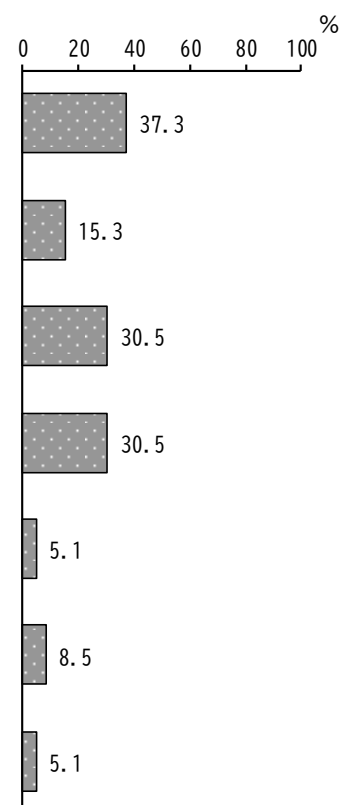
友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である

自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい

子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある

その他

無回答



問10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人がある、または相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

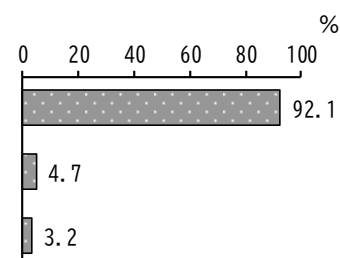
「いる」または「ある」の割合が92.1%、「いずれも「ない」の割合が4.7%となっています。

回答者数 = 443

「いる」または「ある」

いずれも「ない」

無回答



問10－（１） 問10で“1. 「いる」または「ある」”に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「配偶者」、「親族（親・きょうだいなど）」の割合が82.4%と最も高く、次いで「友人や知人」の割合が67.4%となっています。

前回調査と比較すると、「友人や知人」の割合が減少しています。

配偶者

親族（親・きょうだいなど）

友人や知人

近所の人

子育て支援施設（地域子育て支援拠点、児童館等）やNPO 法人

保健師

保育士

幼稚園教諭

民生委員・児童委員

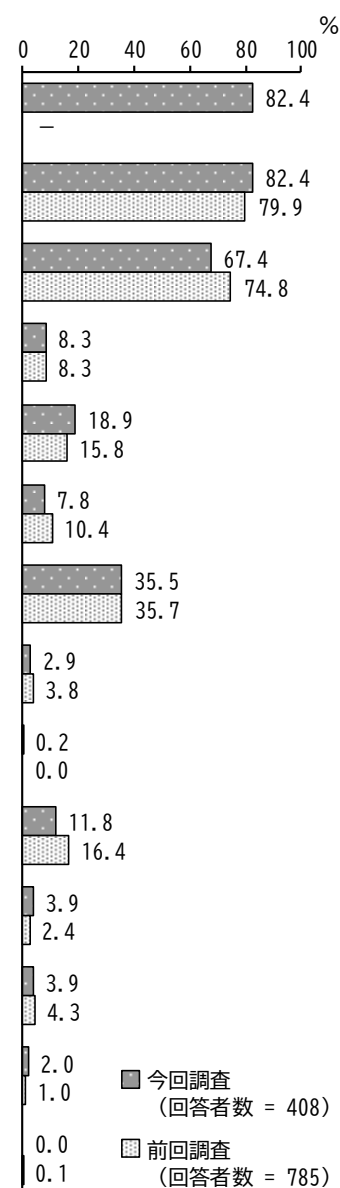
かかりつけの医師

自治体の子育て関連担当窓口

助産師

その他

無回答



※前回調査では、「配偶者」の選択肢はありませんでした。

※前回調査では、「親族（親・きょうだいなど）」の選択肢は「祖父母等の親族」、「子育て支援施設（地域子育て支援拠点、児童館等）やNPO 法人」の選択肢は「子育て支援施設（児童館等）やNPO 法人」となっていました。

【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、0歳で「子育て支援施設（地域子育て支援拠点、児童館等）や NPO 法人」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者	親族（親・きょうだいなど）	友人や知人	近所の人	子育て支援施設（地域子育て支援拠点、児童館等）や NPO 法人	保健師	保育士	幼稚園教諭	民生委員・児童委員	かかりつけの医師	自治体の子育て関連担当窓口	助産師	その他	無回答
全 体	408	82.4	82.4	67.4	8.3	18.9	7.8	35.5	2.9	0.2	11.8	3.9	3.9	2.0	－
0 歳	38	84.2	89.5	73.7	7.9	47.4	18.4	10.5	2.6	－	7.9	5.3	18.4	－	－
1 歳	69	85.5	89.9	68.1	8.7	31.9	10.1	46.4	1.4	－	13.0	4.3	4.3	2.9	－
2 歳	65	89.2	87.7	63.1	9.2	12.3	3.1	50.8	－	－	10.8	4.6	1.5	4.6	－
3 歳	62	82.3	77.4	71.0	3.2	14.5	4.8	29.0	4.8	－	16.1	4.8	3.2	1.6	－
4 歳	70	81.4	81.4	62.9	7.1	5.7	5.7	41.4	2.9	－	10.0	2.9	－	1.4	－
5 歳	61	72.1	72.1	68.9	14.8	8.2	3.3	36.1	3.3	1.6	14.8	1.6	1.6	1.6	－

問 11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

主な意見

- ・子どもが発熱時、職場が休みづらい環境なため、預け先がない。休みやすい環境や、安心して預けられる場所がもっと多ければ助かる。
- ・私は祖父母が近くにいて、用事の際はみてもらえるが、単身で育てている家庭は大変かなと思う。気軽に子供をみてくれる場所、人があったらよいと思う。
- ・緊急時など、時間外でも預かっていただける場所があると助かります。
- ・年少からの入園だった為、用事やりフレッシュ（美容院や買い物 e t c）をしたい時に一時保育が北杜市になかった。その為、市外の一時保育を利用してとてもありがたかった。
- ・ひとり親で実家に住まわせてもらっています。私の（子供からみて祖父母）父は失業中で母の収入だけで生活をしています。私自身の給料が低いのですか、光熱費などキッチンなどが共通でも、毎月実家へ給料の半分以上の家賃をいれています。母の収入が基準を上回ってしまっただけで扶養手当などが止まってしまう、正直苦しい状況が続いております。父のこともあるので簡単に実家を出ることもできません。子供に使えるお金も限られ、体調を崩して保育園へ行けない日が続くと給料も入らないため毎月マイナスになることもあります。 給付していただける条件や基準があるのも重々承知ですが、中にはそういった家庭があることも把握して頂きたいです。同じような話をする知人もいます。同じような方の中にはいるのでは無いかとおもいます。

(4) 宛名のお子さんの保護者の就労状況について

問 12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 34.2%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 33.1%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が 17.0%となっています。

回答者数 = 441

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である

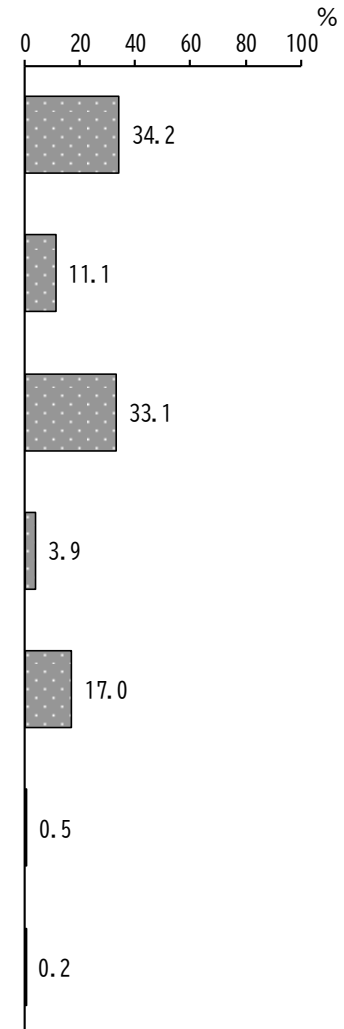
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない

パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である

以前は就労していたが、現在は就労していない

これまで就労したことがない

無回答

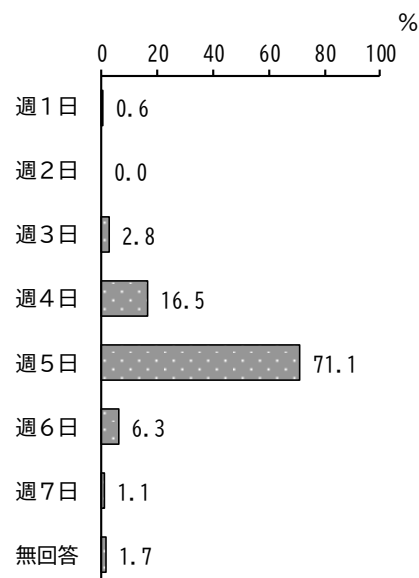


(1) - 1 (1) で「1. ~ 4.」(就労している) に○をつけた方にうかがいます。
 1 週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答え
 ください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについ
 てお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況について
 お答えください(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字)。

1 週当たり就労日数

「週 5 日」の割合が 71.1% と最も高く、次いで
 「週 4 日」の割合が 16.5% となっています。

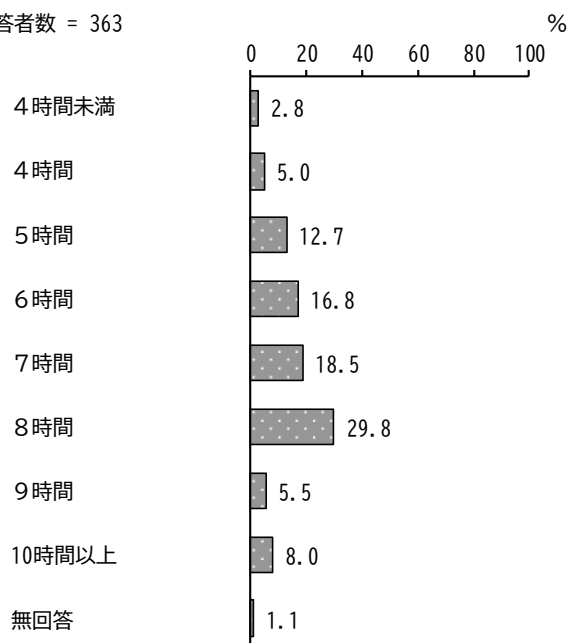
回答者数 = 363



1 日当たり就労時間

「8 時間」の割合が 29.8% と最も高く、次いで
 「7 時間」の割合が 18.5%、「6 時間」の割合が
 16.8% となっています。

回答者数 = 363

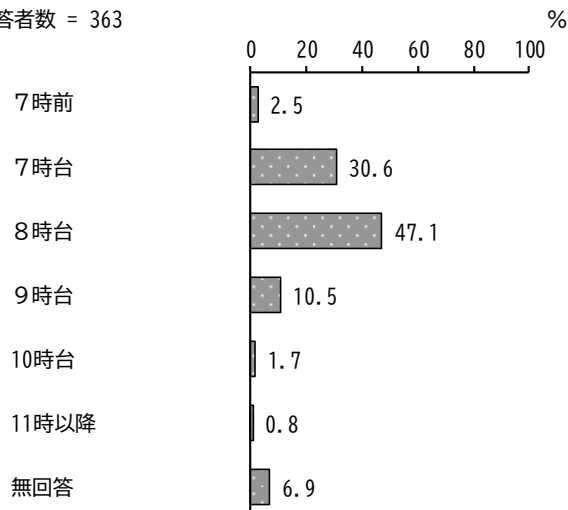


(1) - 2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時刻は、必ず(例)08時、18時のように、24時間制でお答えください(口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字)。

家を出る時間

「8時台」の割合が47.1%と最も高く、次いで「7時台」の割合が30.6%、「9時台」の割合が10.5%となっています。

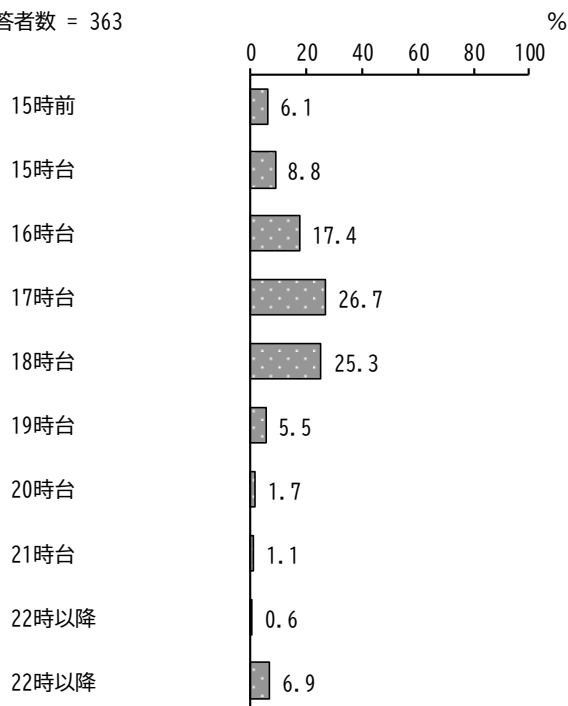
回答者数 = 363



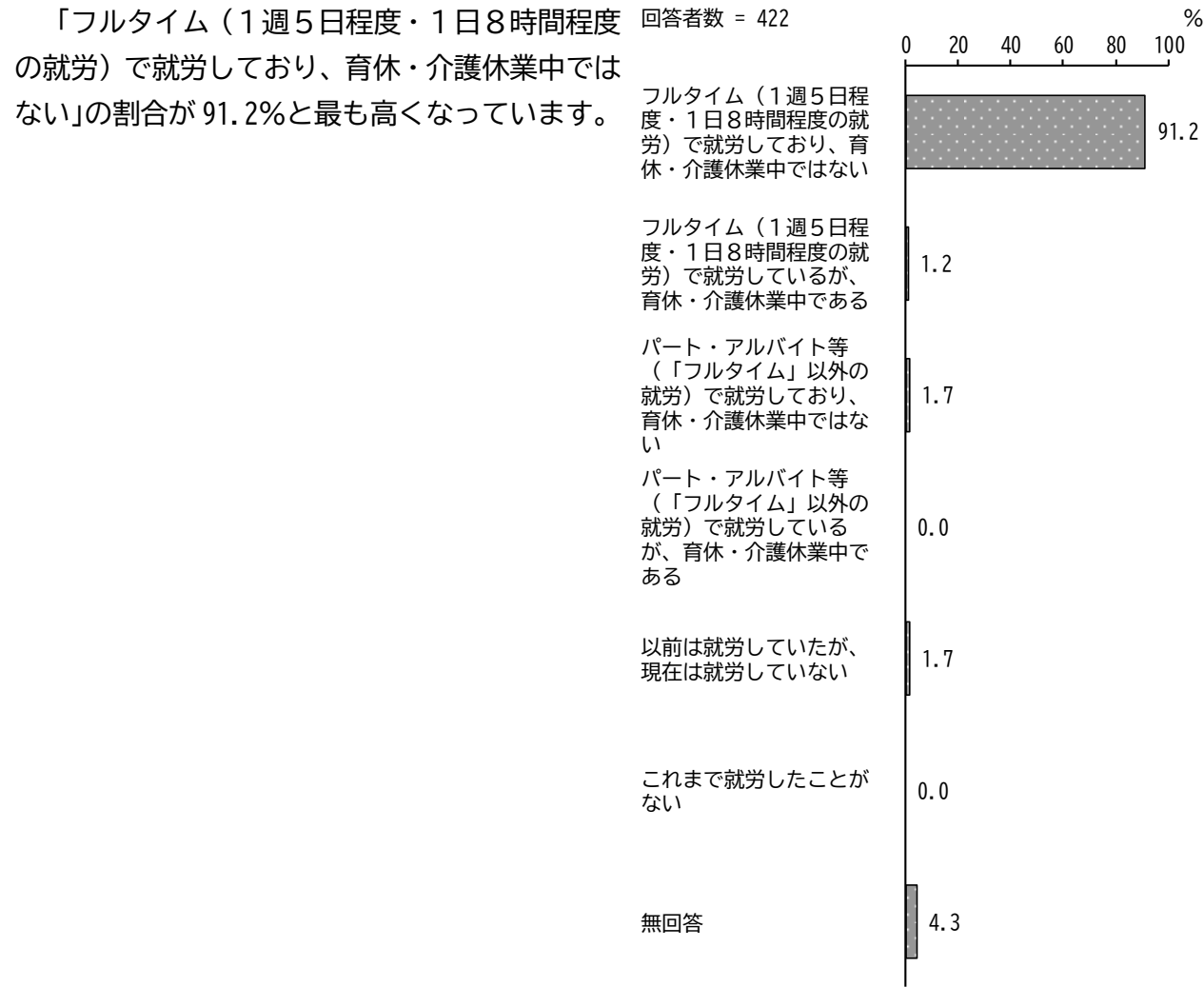
帰宅時間

「17時台」の割合が26.7%と最も高く、次いで「18時台」の割合が25.3%、「16時台」の割合が17.4%となっています。

回答者数 = 363



(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

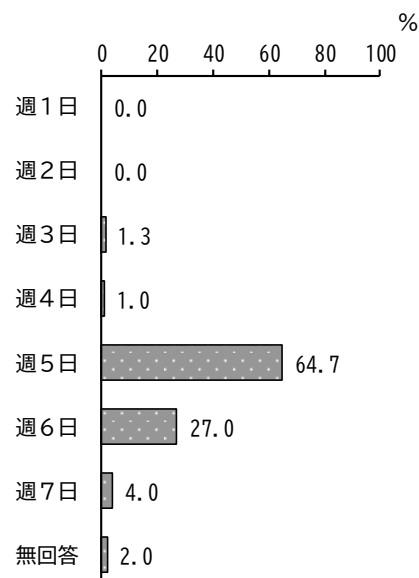


(2) - 1 (2) で「1. ~ 4.」(就労している) に○をつけた方にうかがいます。
 1 週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答え
 ください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについ
 てお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答え
 ください(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字)。

1 週当たり就労日数

「週 5 日」の割合が 64.7%と最も高く、次いで
 「週 6 日」の割合が 27.0%となっています。

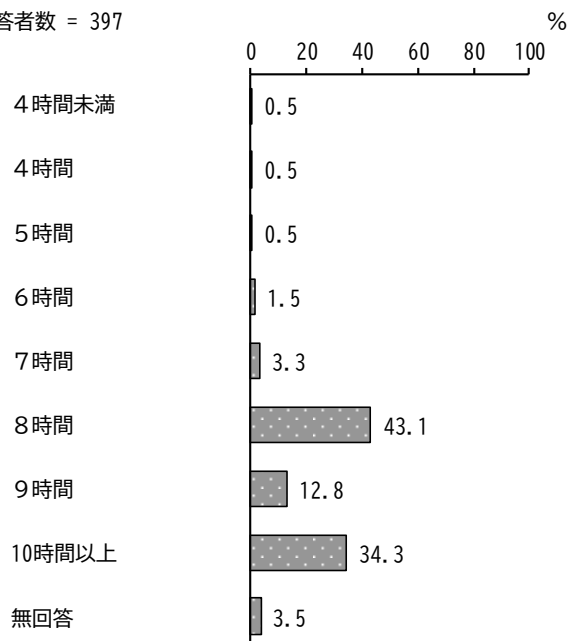
回答者数 = 397



1 日当たり就労時間

「8 時間」の割合が 43.1%と最も高く、次いで
 「10 時間以上」の割合が 34.3%、「9 時間」の割
 合が 12.8%となっています。

回答者数 = 397

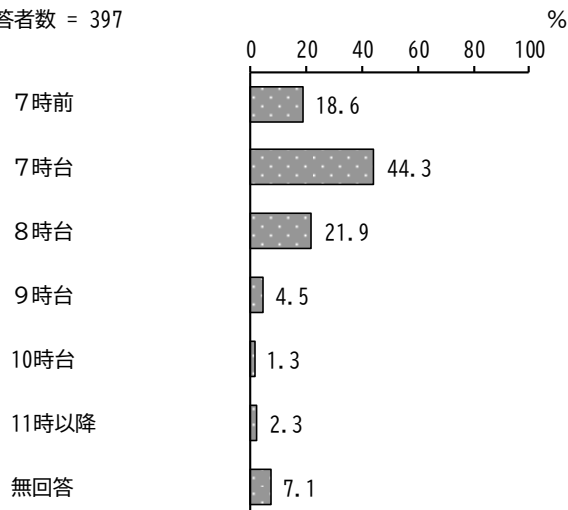


(2) - 2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時刻は、必ず(例)08時、18時のように、24時間制でお答えください(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字)。

家を出る時間

「7時台」の割合が44.3%と最も高く、次いで「8時台」の割合が21.9%、「7時前」の割合が18.6%となっています。

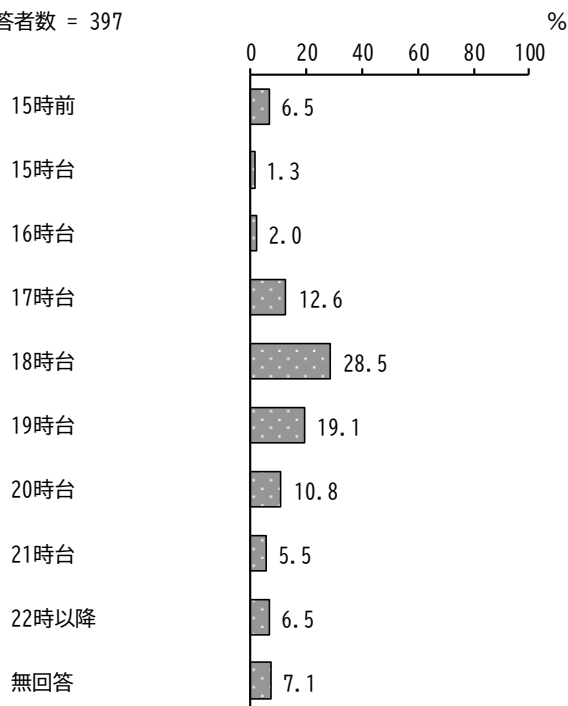
回答者数 = 397



帰宅時間

「18時台」の割合が28.5%と最も高く、次いで「19時台」の割合が19.1%、「17時台」の割合が12.6%となっています。

回答者数 = 397



問13 問12の(1)または(2)で「3.」「4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」の割合が52.8%と最も高く、次いで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が25.8%、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合が15.3%となっています。

回答者数 = 163

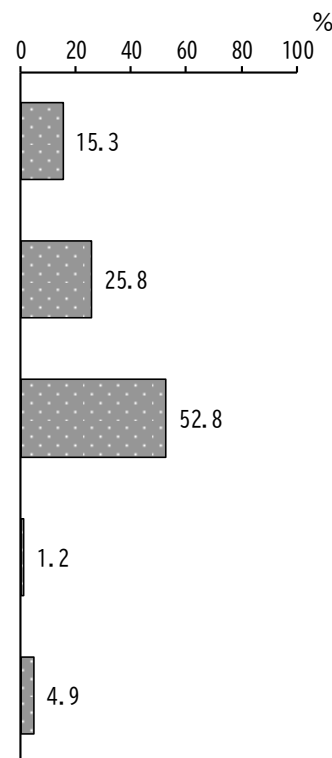
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある

フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない

パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望

パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

無回答



(2) 父親

「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」が4件となっています。「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある」、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい」が1件となっています。

回答者数 = 7

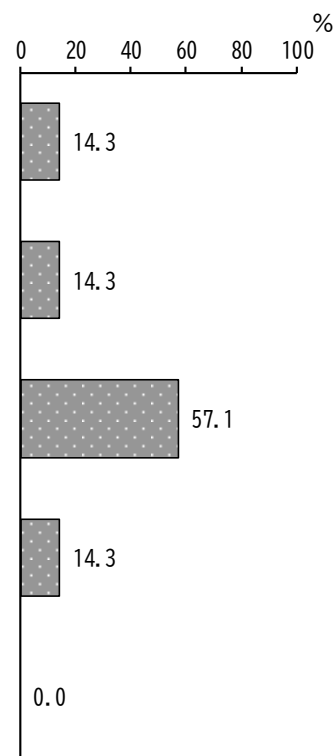
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある

フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない

パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望

パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

無回答



問 14 問 12 の (1) または (2) で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください (数字は一桁に一字)。

(1) 母親

「1 年より先、一番下の子どもが何歳になった
ころに就労したい」の割合が 41.6% と最も高く、
次いで「すぐにでも、または 1 年以内に就労した
い」の割合が 26.0%、「子育てや家事などに専念
したい (就労の予定はない)」の割合が 24.7% と
なっています。

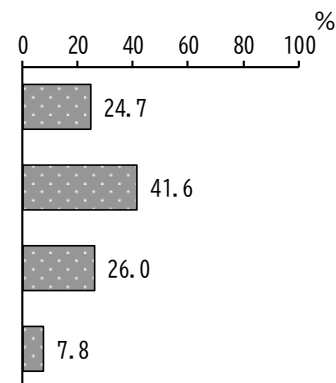
回答者数 = 77

子育てや家事などに専念
したい (就労の予定はない)

1 年より先、一番下の子
どもが何歳になったころ
に就労したい

すぐにでも、または 1 年
以内に就労したい

無回答



就労したいときの末子の年齢

「2 歳」の割合が 25.0% と最も高く、次いで
「3 歳」の割合が 21.9%、「6 歳」の割合が 15.6%
となっています。

回答者数 = 32

0 歳

1 歳

2 歳

3 歳

4 歳

5 歳

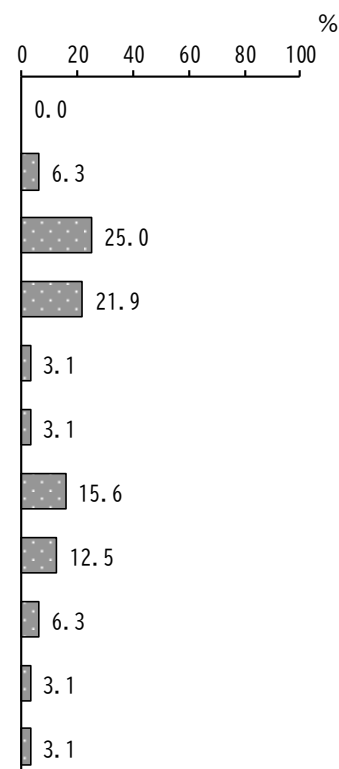
6 歳

7 歳

8 歳

9 歳以上

無回答



希望する就労形態

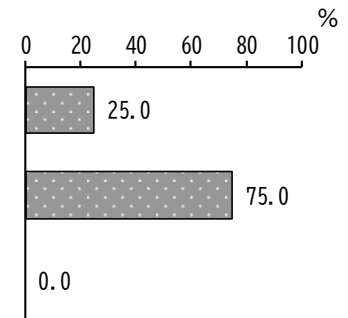
「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」の割合が25.0%、「パートタイム、アルバイト等（「①」以外）」の割合が75.0%となっています。

回答者数 = 20

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）

パートタイム、アルバイト等（「①」以外）

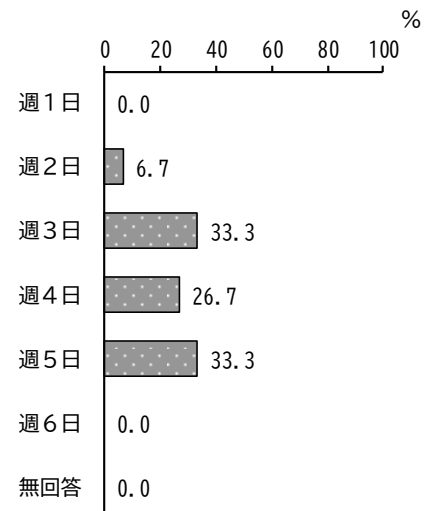
無回答



1週当たり希望就労日数

「週3日」、「週5日」の割合が33.3%と最も高く、次いで「週4日」の割合が26.7%となっています。

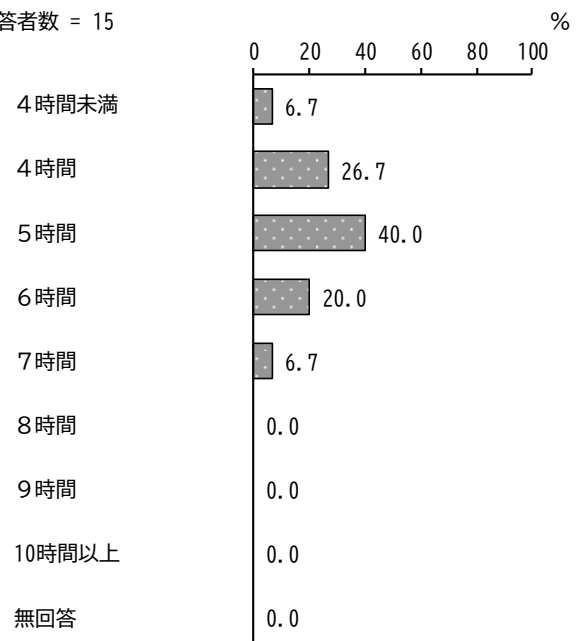
回答者数 = 15



1日当たり希望就労時間

「5時間」の割合が40.0%と最も高く、次いで「4時間」の割合が26.7%、「6時間」の割合が20.0%となっています。

回答者数 = 15



(2) 父親

「すぐにでも、または1年以内に就労したい」が3件となっています。「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が1件となっています。

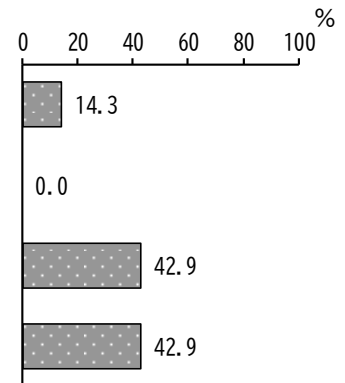
回答者数 = 7

子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）

1年より先、一番下の子どもが何歳になったころに就労したい

すぐにでも、または1年以内に就労したい

無回答



就労したいときの末子の年齢

有効回答がありませんでした。

希望する就労形態

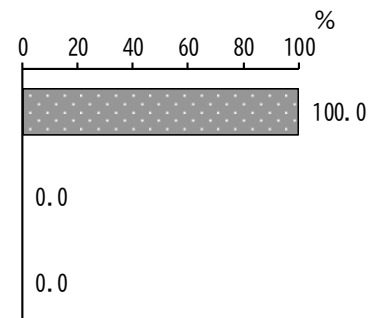
「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が3件、「パートタイム、アルバイト等（「①」以外）」が0件となっています。

回答者数 = 3

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）

パートタイム、アルバイト等（「①」以外）

無回答



1週当たり希望就労日数

有効回答がありませんでした。

1日当たり希望就労時間

有効回答がありませんでした。

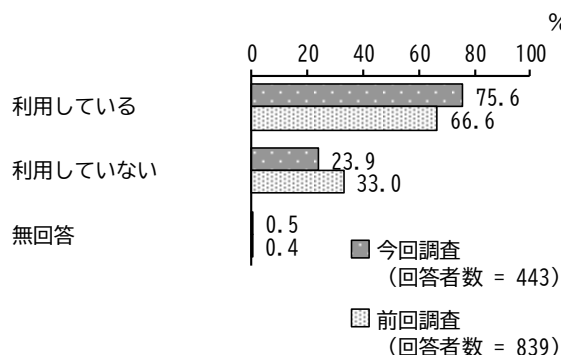
(5) 宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問 15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また、「1. 利用している」場合、宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

利用の有無（当てはまる番号 1 つに○）

「利用している」の割合が 75.6%、「利用していない」の割合が 23.9%となっています。

前回調査と比較すると、「利用している」の割合が増加しています。一方、「利用していない」の割合が減少しています。

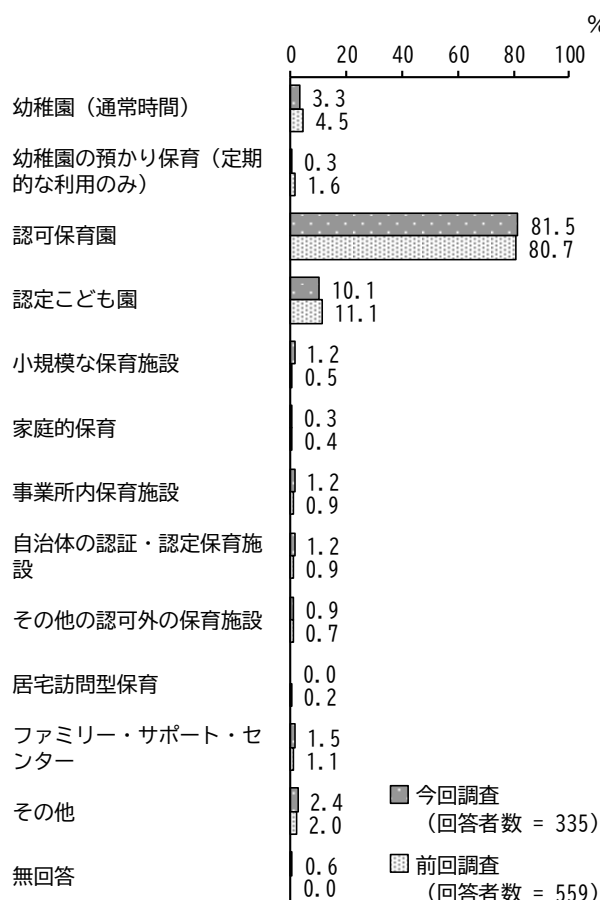


現在の利用状況（当てはまる番号すべてに○）

利用している事業

「認可保育園」の割合が 81.5%と最も高く、次いで「認定こども園」の割合が 10.1%となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※前回調査では、「認可保育園」の選択肢は「認可保育所（園）」、「ファミリー・サポート・センター」の選択肢は「ファミリー サポート センター」となっていました。

【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、1歳で「認可保育園」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	幼稚園 (通常時間)	幼稚園の預かり保育 (定期的な利用のみ)	認可保育園	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保 育施設	その他の認可外の保 育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポ ート・センター	その他	無回答
全 体	335	3.3	0.3	81.5	10.1	1.2	0.3	1.2	1.2	0.9	—	1.5	2.4	0.6
0歳	6	—	—	83.3	16.7	—	16.7	—	—	—	—	—	—	—
1歳	48	—	—	91.7	—	2.1	—	2.1	2.1	2.1	—	2.1	—	—
2歳	64	1.6	—	84.4	7.8	3.1	—	3.1	—	—	—	1.6	1.6	—
3歳	62	3.2	1.6	80.6	16.1	—	—	—	1.6	—	—	1.6	1.6	—
4歳	75	1.3	—	86.7	9.3	—	—	1.3	—	1.3	—	—	1.3	1.3
5歳	63	9.5	—	74.6	12.7	—	—	—	1.6	—	—	1.6	3.2	1.6

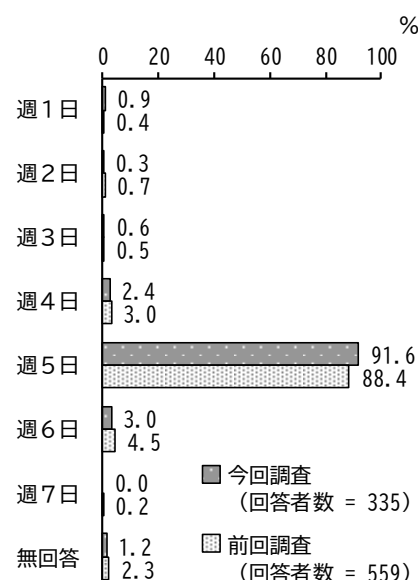
問 15－（１） 問 15 で「1.」に○をつけた方にうかがいます。平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1 週当たり何日、1 日当たり何時間（何時から何時まで）かを、□内に具体的な数字でご記入ください（問 15 で複数の事業に○をつけた方は、合計日数、合計時間及び通算の利用時間帯をご記入ください。数字は一枠に一字）。

（１）現在

1 週当たり利用日数

「週 5 日」の割合が 91.6%と最も高くなっています。

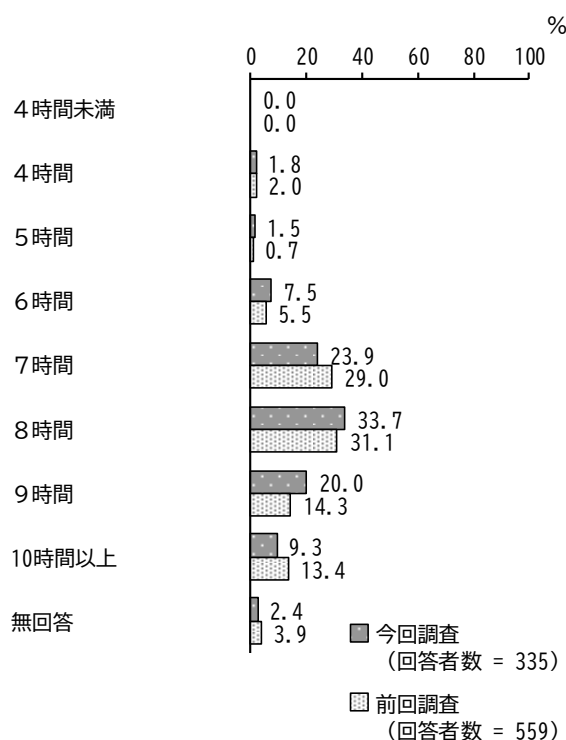
前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



1 日当たり利用時間

「8 時間」の割合が 33.7%と最も高く、次いで「7 時間」の割合が 23.9%、「9 時間」の割合が 20.0%となっています。

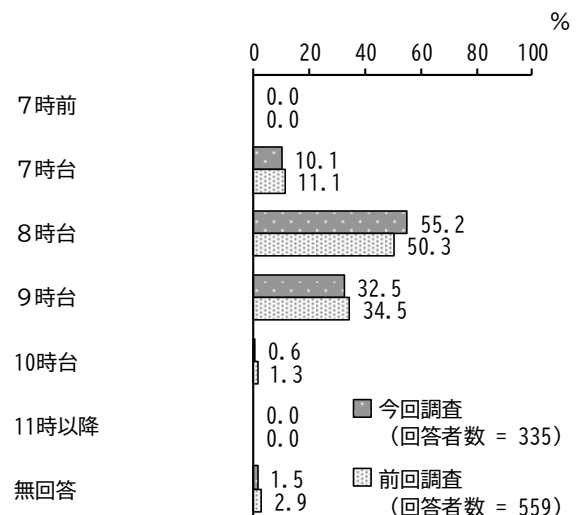
前回調査と比較すると、「9 時間」の割合が増加しています。一方、「7 時間」の割合が減少しています。



利用開始時間

「8時台」の割合が55.2%と最も高く、次いで「9時台」の割合が32.5%、「7時台」の割合が10.1%となっています。

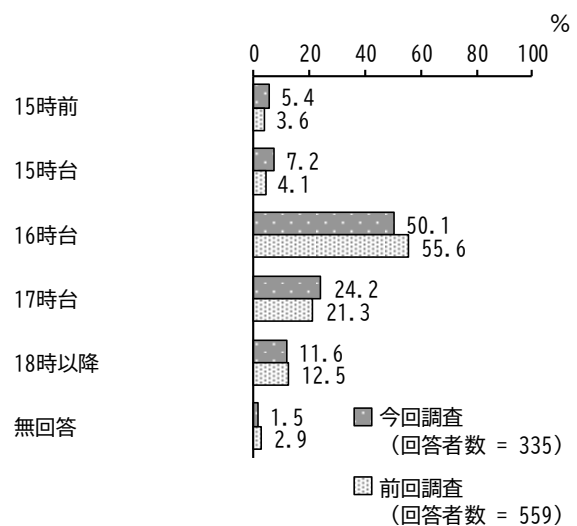
前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



利用終了時間

「16時台」の割合が50.1%と最も高く、次いで「17時台」の割合が24.2%、「18時以降」の割合が11.6%となっています。

前回調査と比較すると、「16時台」の割合が減少しています。

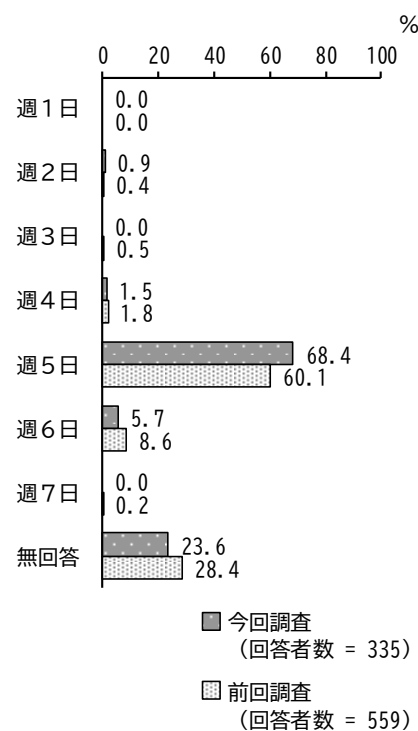


(2) 希望

1週当たり利用日数

「週5日」の割合が68.4%と最も高くなっています。

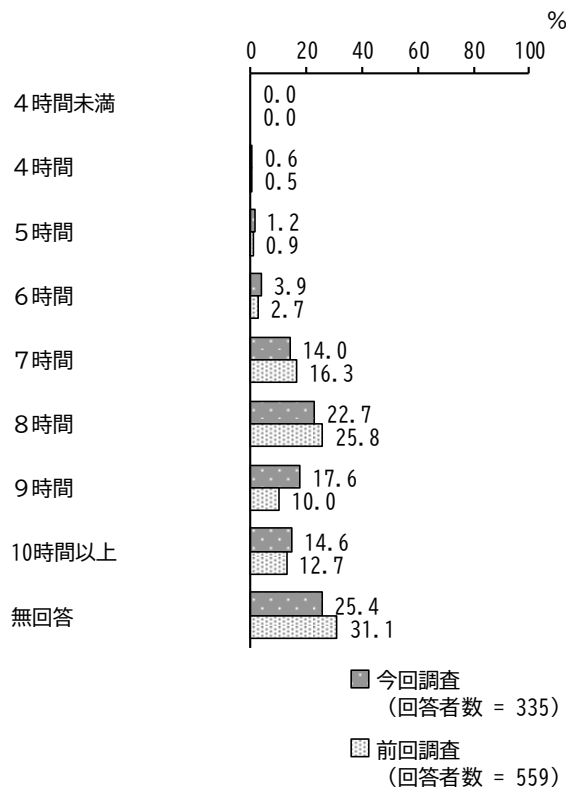
前回調査と比較すると、「週5日」の割合が増加しています。



1日当たり利用時間

「8時間」の割合が22.7%と最も高く、次いで「9時間」の割合が17.6%、「10時間以上」の割合が14.6%となっています。

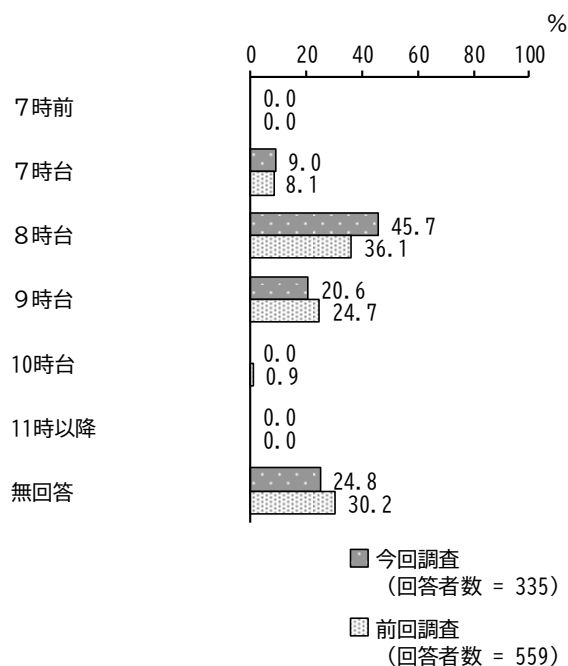
前回調査と比較すると、「9時間」の割合が増加しています。



利用開始時間

「8時台」の割合が45.7%と最も高く、次いで「9時台」の割合が20.6%となっています。

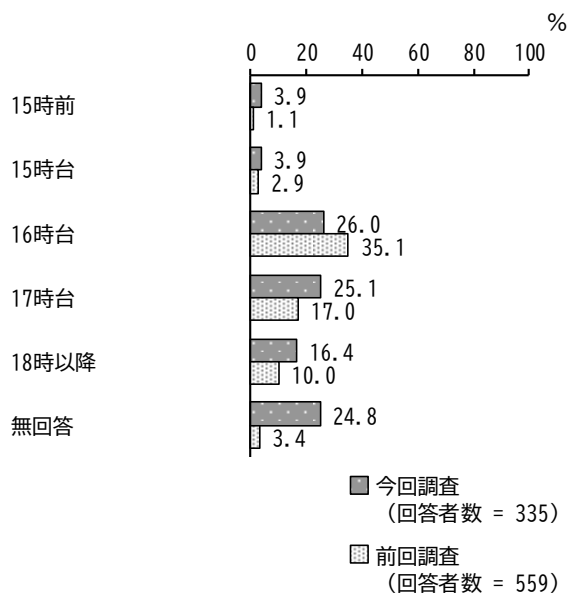
前回調査と比較すると、「8時台」の割合が増加しています。



利用終了時間

「16時台」の割合が26.0%と最も高く、次いで「17時台」の割合が25.1%、「18時以降」の割合が16.4%となっています。

前回調査と比較すると、「17時台」「18時以降」の割合が増加しています。一方、「16時台」の割合が減少しています。

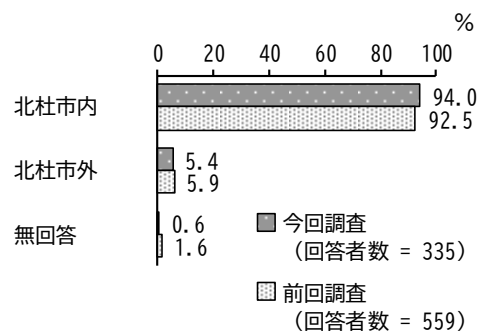


問 15－（２） 現在、定期的に利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。「１.」「２.」のいずれかに○をつけてください。北杜市外の場合は、最も定期的に利用している教育・保育事業の実施場所がある具体的な市町村名を１つお書きください。また、送迎時に主に良く利用する送迎方法について当てはまる番号１つに○をつけてください。

【教育・保育の実施場所】

「北杜市内」の割合が 94.0%、「北杜市外」の割合が 5.4%となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。

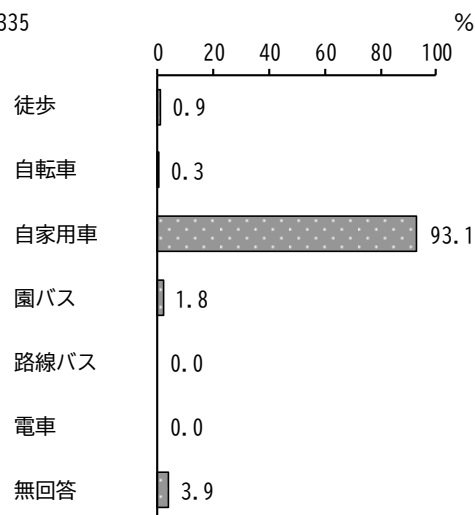


※前回調査では、「北杜市内」の選択肢は「市内」、「北杜市外」の選択肢は「市外」となっていました。

【実施場所への送迎方法】

「自家用車」の割合が 93.1%と最も高くなっています。

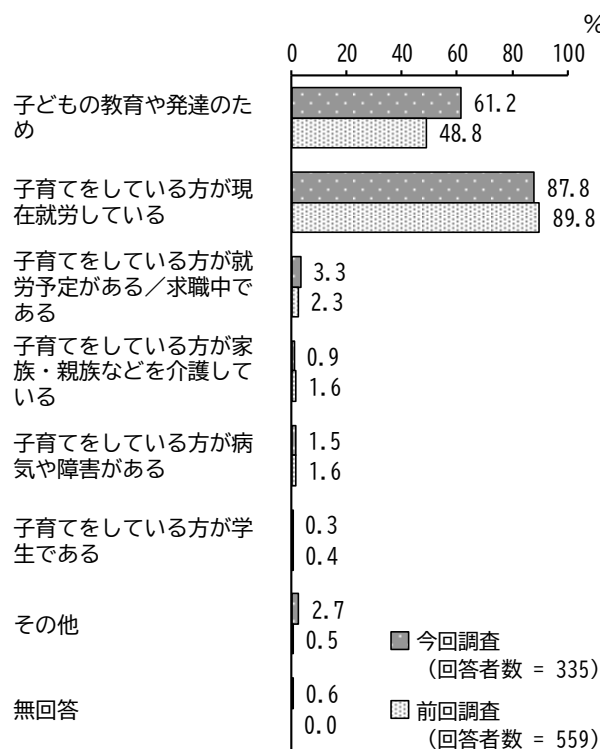
回答者数 = 335



問 15－（３） 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子育てをしている方が現在就労している」の割合が 87.8%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」の割合が 61.2%となっています。

前回調査と比較すると、「子どもの教育や発達のため」の割合が増加しています。



※前回調査では、「子育てをしている方が現在就労している」の選択肢は「養育者が就労」、「子育てをしている方が就労予定がある／求職中である」の選択肢は「養育者が就労予定／求職中」、「子育てをしている方が家族・親族などを介護している」の選択肢は「養育者が介護している」、「子育てをしている方が病気や障害がある」の選択肢は「養育者が病気／障がい」、「子育てをしている方が学生である」の選択肢は「養育者が学生」となっていました。

【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、1歳で「子育てをしている方が現在就労している」の割合が高くなっています。

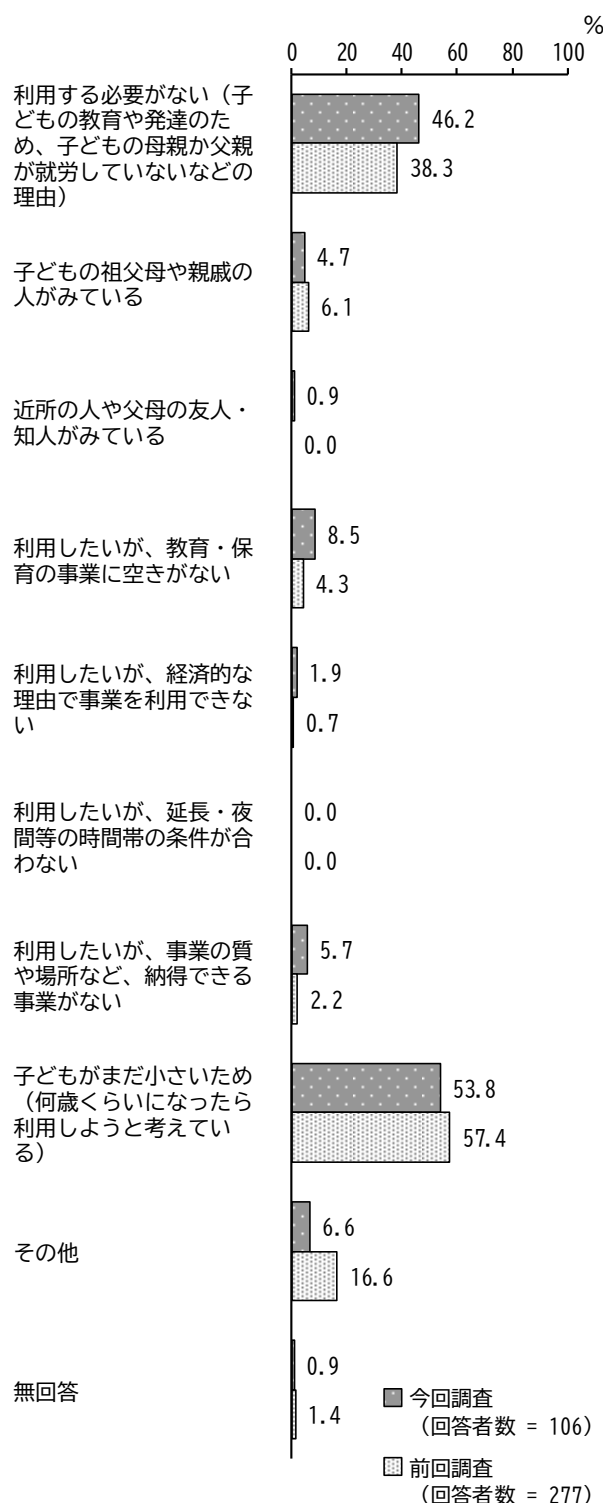
単位：％

区分	回答者数(件)	子どもの教育や発達のため	子育てをしている方が現在就労している	子育てをしている方が就労予定がある／求職中である	子育てをしている方が家族・親族などを介護している	子育てをしている方が病気や障害がある	子育てをしている方が学生である	その他	無回答
全 体	335	61.2	87.8	3.3	0.9	1.5	0.3	2.7	0.6
0歳	6	16.7	100.0	—	—	—	—	—	—
1歳	48	68.8	95.8	2.1	2.1	2.1	—	4.2	—
2歳	64	57.8	89.1	4.7	1.6	—	1.6	4.7	1.6
3歳	62	67.7	83.9	4.8	—	3.2	—	3.2	—
4歳	75	56.0	86.7	2.7	—	1.3	—	—	—
5歳	63	60.3	87.3	1.6	1.6	1.6	—	1.6	1.6

問15－（４） 問15で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。
利用していない理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもがまだ小さいため（何歳くらいになったら利用しようと考えている）」の割合が53.8%と最も高く、次いで「利用する必要がある（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由）」の割合が46.2%となっています。

前回調査と比較すると、「利用する必要がある（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由）」の割合が増加しています。



※前回調査では、「利用する必要がある（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由）」の選択肢は「利用する必要がある」、「子どもがまだ小さいため（何歳くらいになったら利用しようと考えている）」の選択肢は「子どもがまだ小さいため」となっていました。

【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、1歳で「利用する必要がない（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由）」の割合が高くなっています。

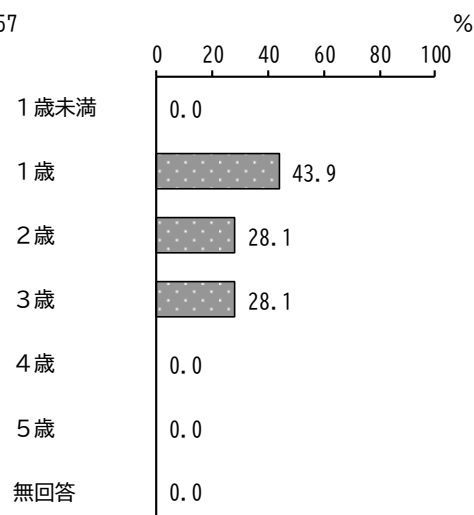
単位：％

区分	回答者数（件）	利用する必要がない（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由）	子どもの祖父母や親戚の人がみている	近所の人や父母の友人・知人がみている	利用したいが、教育・保育の事業に空きがない	利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	子どもがまだ小さいため（何歳くらいになったら利用しようと考えている）	その他	無回答
全 体	106	46.2	4.7	0.9	8.5	1.9	—	5.7	53.8	6.6	0.9
0歳	38	47.4	2.6	2.6	15.8	2.6	—	2.6	50.0	5.3	—
1歳	22	63.6	9.1	—	4.5	4.5	—	—	50.0	4.5	—
2歳	9	44.4	—	—	11.1	—	—	—	55.6	—	—
3歳	4	100.0	—	—	—	—	—	50.0	—	25.0	—
4歳	3	—	—	—	33.3	—	—	66.7	—	33.3	—
5歳	1	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—

利用したいときの年齢

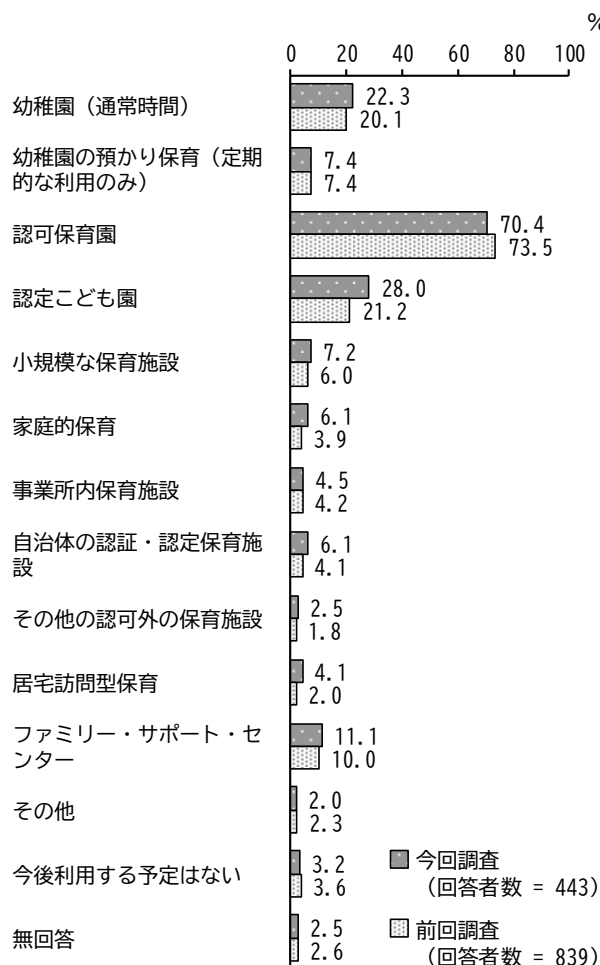
「1歳」の割合が43.9%と最も高く、次いで「2歳」、「3歳」の割合が28.1%となっています。

回答者数 = 57



問 16 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「認可保育園」の割合が 70.4%と最も高く、次いで「認定こども園」の割合が 28.0%、「幼稚園（通常時間）」の割合が 22.3%となっています。前回調査と比較すると、「認定こども園」の割合が増加しています。



※前回調査では、「認可保育園」の選択肢は「認可保育所（園）」、「ファミリー・サポート・センター」の選択肢は「ファミリー サポート センター」となっていました。

【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、3歳で「幼稚園（通常時間）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	幼稚園（通常時間）	幼稚園の預かり保育（定期的な利用のみ）	認可保育園	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	自治体の認証・認定保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	今後利用する予定はない	無回答
全 体	443	22.3	7.4	70.4	28.0	7.2	6.1	4.5	6.1	2.5	4.1	11.1	2.0	3.2	2.5
0歳	44	20.5	11.4	72.7	34.1	18.2	13.6	9.1	11.4	4.5	4.5	15.9	2.3	4.5	2.3
1歳	71	26.8	14.1	71.8	28.2	4.2	5.6	5.6	11.3	1.4	4.2	9.9	—	2.8	—
2歳	73	15.1	2.7	78.1	23.3	12.3	12.3	4.1	4.1	2.7	6.8	16.4	2.7	—	4.1
3歳	66	34.8	12.1	63.6	36.4	3.0	4.5	1.5	4.5	3.0	3.0	10.6	1.5	3.0	1.5
4歳	78	12.8	1.3	74.4	24.4	3.8	—	3.8	—	1.3	1.3	3.8	1.3	2.6	5.1
5歳	64	29.7	9.4	64.1	23.4	1.6	4.7	1.6	6.3	1.6	6.3	9.4	3.1	6.3	1.6

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、以前は就労していたが、現在は就労していないで「認定こども園」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	幼稚園 (通常時間)	幼稚園の預かり保 育(定期的な利用の み)	認可保育園	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設
全 体	441	22.2	7.5	70.7	27.9	7.3	6.1	4.5
フルタイム（１週５日程度・１日８時間 程度の就労）で就労しており、産休・育 休・介護休業中ではない	151	18.5	6.6	70.9	21.2	7.3	7.3	4.6
フルタイム（１週５日程度・１日８時間 程度の就労）で就労しているが、産休・ 育休・介護休業中である	49	18.4	4.1	79.6	32.7	14.3	2.0	10.2
パート・アルバイト等（「フルタイム」 以外の就労）で就労しており、産休・育 休・介護休業中ではない	146	18.5	4.8	79.5	21.9	3.4	4.1	1.4
パート・アルバイト等（「フルタイム」 以外の就労）で就労しているが、産休・ 育休・介護休業中である	17	17.6	11.8	76.5	23.5	5.9	5.9	11.8
以前は就労していたが、現在は就労して いない	75	40.0	16.0	48.0	52.0	10.7	10.7	5.3
これまで就労したことがない	2	50.0	－	50.0	－	－	－	－

区分	自治体の認証・認定 保育施設	その他の認可外 保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポ ート・センター	その他	今後利用する予定 はない	無回答
全 体	6.1	2.5	4.1	11.1	2.0	3.2	2.5
フルタイム（１週５日程度・１日８時間 程度の就労）で就労しており、産休・育 休・介護休業中ではない	5.3	1.3	5.3	12.6	0.7	2.6	4.0
フルタイム（１週５日程度・１日８時間 程度の就労）で就労しているが、産休・ 育休・介護休業中である	10.2	6.1	－	14.3	－	4.1	－
パート・アルバイト等（「フルタイム」 以外の就労）で就労しており、産休・育 休・介護休業中ではない	3.4	2.1	3.4	5.5	2.1	3.4	2.1
パート・アルバイト等（「フルタイム」 以外の就労）で就労しているが、産休・ 育休・介護休業中である	11.8	－	11.8	11.8	－	－	5.9
以前は就労していたが、現在は就労して いない	9.3	4.0	4.0	17.3	6.7	2.7	1.3
これまで就労したことがない	－	－	－	－	－	－	－

【父親の就労状況別】

父親の就労状況別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

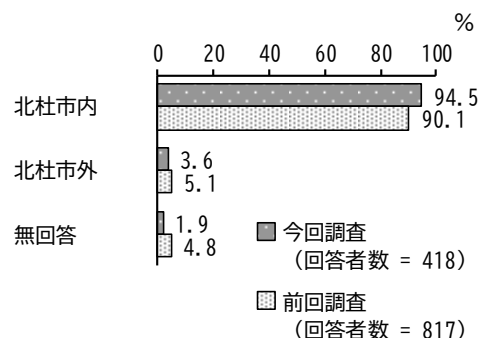
区分	回答者数 (件)	幼稚園 (通常時間)	幼稚園の預かり保 育(定期的な利用の み)	認可保育園	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設
全 体	422	22.5	7.1	69.7	27.7	7.1	6.2	4.3
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程 度の就労)で就労しており、育休・介護休 業中ではない	385	21.8	7.5	69.9	26.5	6.8	6.0	3.4
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程 度の就労)で就労しているが、育休・介護 休業中である	5	40.0	20.0	80.0	80.0	20.0	20.0	—
パート・アルバイト等(「フルタイム」以 外の就労)で就労しており、育休・介護休 業中ではない	7	28.6	—	57.1	28.6	—	—	28.6
パート・アルバイト等(「フルタイム」以 外の就労)で就労しているが、育休・介護 休業中である	—	—	—	—	—	—	—	—
以前は就労していたが、現在は就労してい ない	7	42.9	—	71.4	42.9	14.3	14.3	28.6
これまで就労したことがない	—	—	—	—	—	—	—	—

区分	自治体の認証・認定 保育施設	その他の認可外 保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポ ー・センター	その他	今後利用する予定 はない	無回 答
全 体	6.4	2.4	4.0	10.9	2.1	3.3	2.4
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程 度の就労)で就労しており、育休・介護休 業中ではない	6.2	2.1	3.9	11.2	1.8	3.4	2.1
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程 度の就労)で就労しているが、育休・介護 休業中である	20.0	20.0	—	—	—	—	—
パート・アルバイト等(「フルタイム」以 外の就労)で就労しており、育休・介護休 業中ではない	14.3	—	—	14.3	—	—	—
パート・アルバイト等(「フルタイム」以 外の就労)で就労しているが、育休・介護 休業中である	—	—	—	—	—	—	—
以前は就労していたが、現在は就労してい ない	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	—	14.3
これまで就労したことがない	—	—	—	—	—	—	—

問 16－（１） 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。「１.」「２.」のいずれかに○をつけてください。北杜市外の場合は、最も定期的に利用したい教育・保育事業の実施場所がある具体的な市町村名を１つお書きください。

「北杜市内」の割合が 94.5%、「北杜市外」の割合が 3.6%となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。

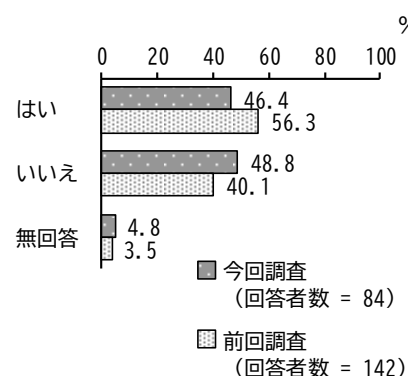


※前回調査では、「北杜市内」の選択肢は「市内」、「北杜市外」の選択肢は「市外」となっていました。

問 16－（２） 問 16 で「１. 幼稚園」または「２. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「３. ～12.」のいずれかにも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

「はい」の割合が 46.4%、「いいえ」の割合が 48.8%となっています。

前回調査と比較すると、「いいえ」の割合が増加しています。一方、「はい」の割合が減少しています。

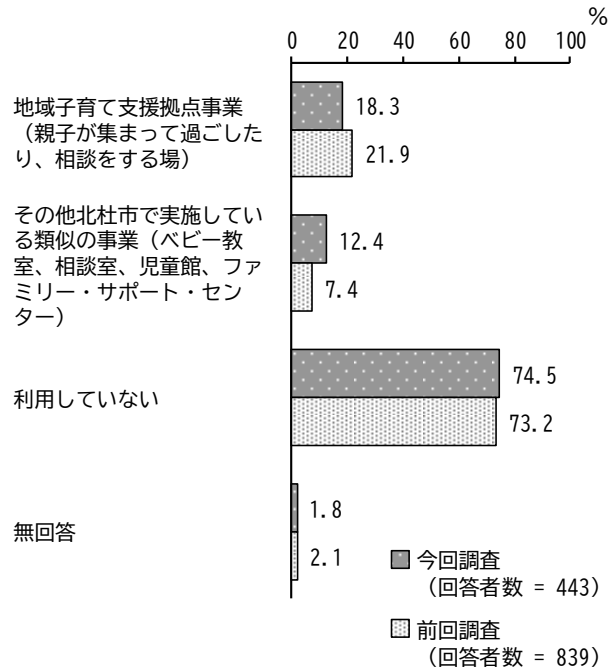


（６）宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

問 17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、北杜市では「地域子育て支援センター」及び「つどいの広場」がこれにあたります）等を利用していますか。おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

「利用していない」の割合が 74.5%と最も高く、次いで「地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）」の割合が 18.3%、「その他北杜市で実施している類似の事業（ベビー教室、相談室、児童館、ファミリー・サポート・センター）」の割合が 12.4%となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



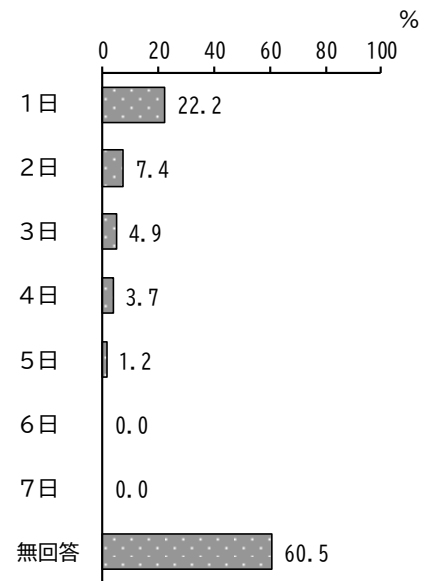
※前回調査では、「地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）」の選択肢は「地域子育て支援拠点事業」、「その他北杜市で実施している類似の事業（ベビー教室、相談室、児童館、ファミリー・サポート・センター）」の選択肢は「その他北杜市で実施している類似の事業」となっていました。

地域子育て支援拠点事業

1 週当たり利用回数

「1 日」の割合が 22.2%と最も高くなっています。

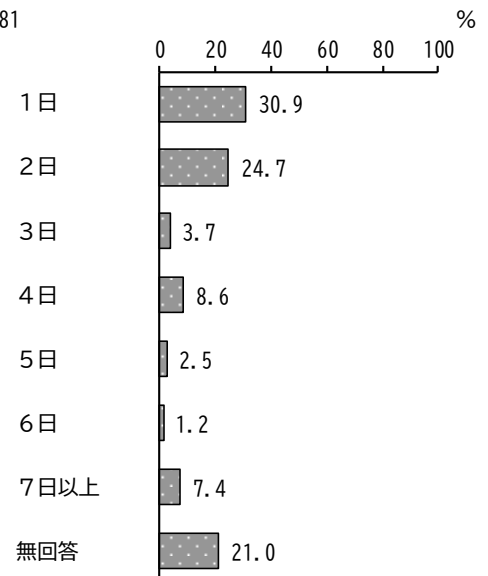
回答者数 = 81



1 ヶ月当たり利用回数

「1 日」の割合が 30.9%と最も高く、次いで「2 日」の割合が 24.7%となっています。

回答者数 = 81

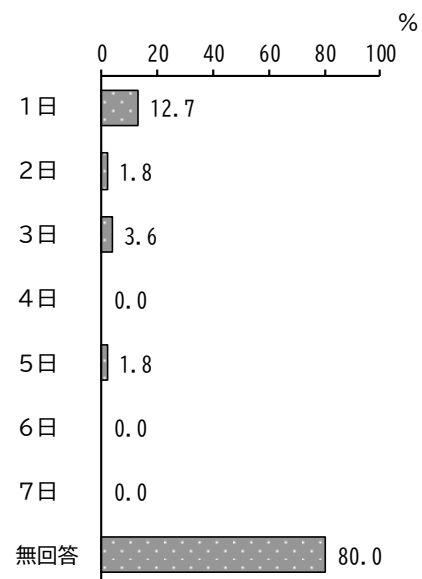


その他北杜市で実施している類似の事業

1週当たり利用回数

「1日」の割合が12.7%と最も高くなっています。

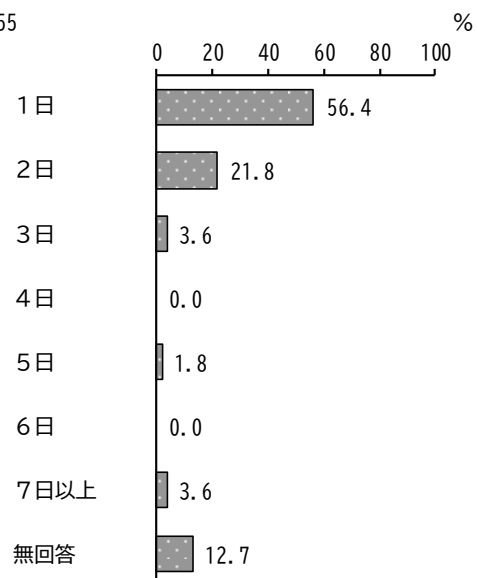
回答者数 = 55



1ヶ月当たり利用回数

「1日」の割合が56.4%と最も高く、次いで「2日」の割合が21.8%となっています。

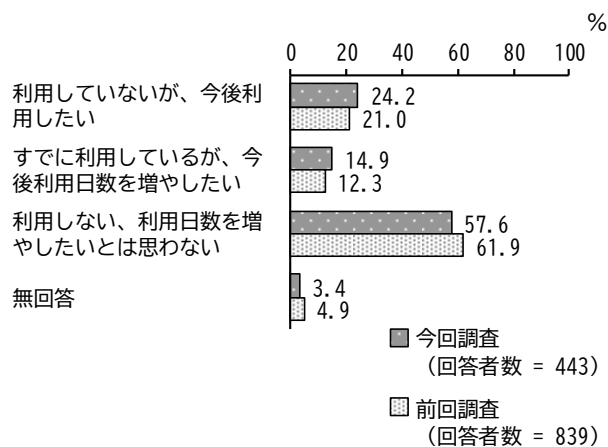
回答者数 = 55



問 18 問 17 のような地域子育て支援拠点事業等について、今は利用していないができれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号 1 つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

「利用しない、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が 57.6%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」の割合が 24.2%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」の割合が 14.9%となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



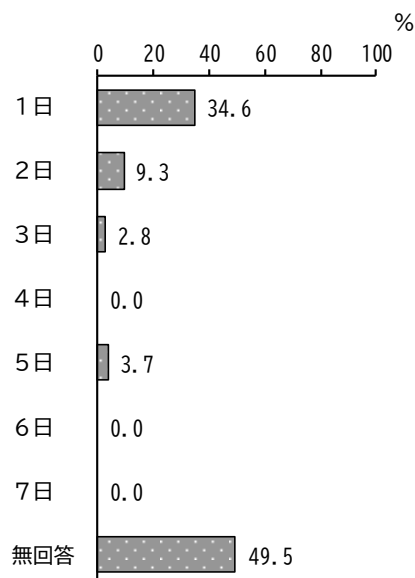
※前回調査では、「利用しない、利用日数を増やしたいとは思わない」の選択肢は「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」となっていました。

利用していないが、今後利用したい

1 週あたりの回数

「1 日」の割合が 34.6%と最も高くなっています。

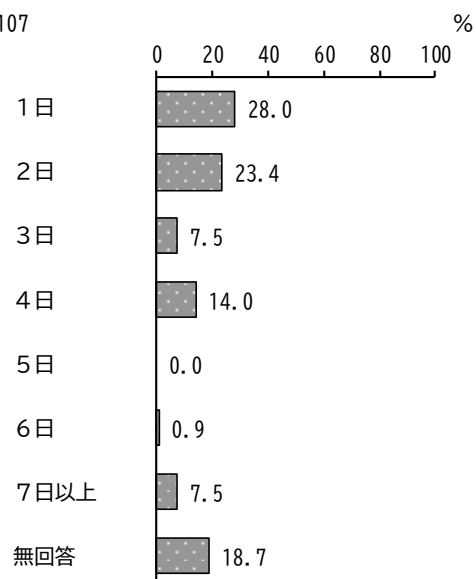
回答者数 = 107



1 ヶ月当たり回数

「1日」の割合が 28.0%と最も高く、次いで「2日」の割合が 23.4%、「4日」の割合が 14.0%となっています。

回答者数 = 107

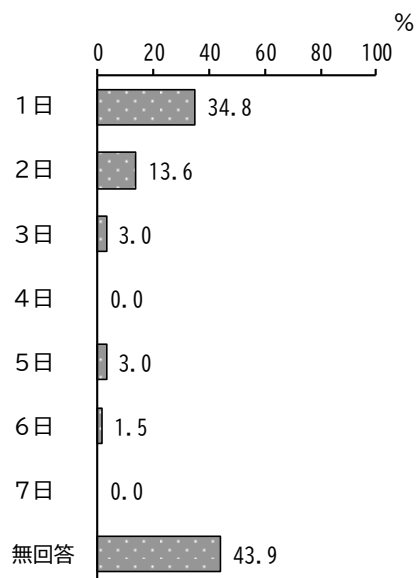


すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

1 週あたりの回数

「1日」の割合が 34.8%と最も高く、次いで「2日」の割合が 13.6%となっています。

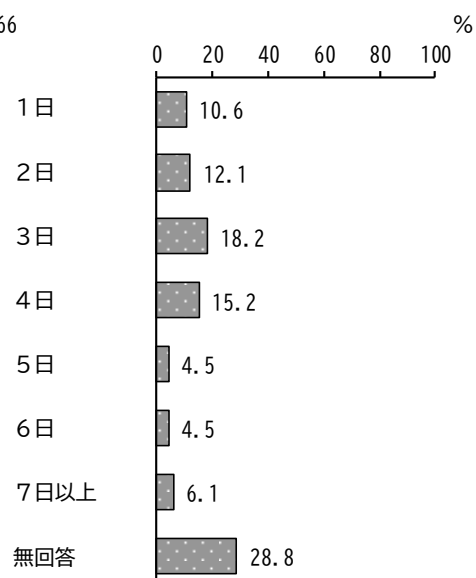
回答者数 = 66



1 ヶ月当たり回数

「3日」の割合が 18.2%と最も高く、次いで「4日」の割合が 15.2%、「2日」の割合が 12.1%となっています。

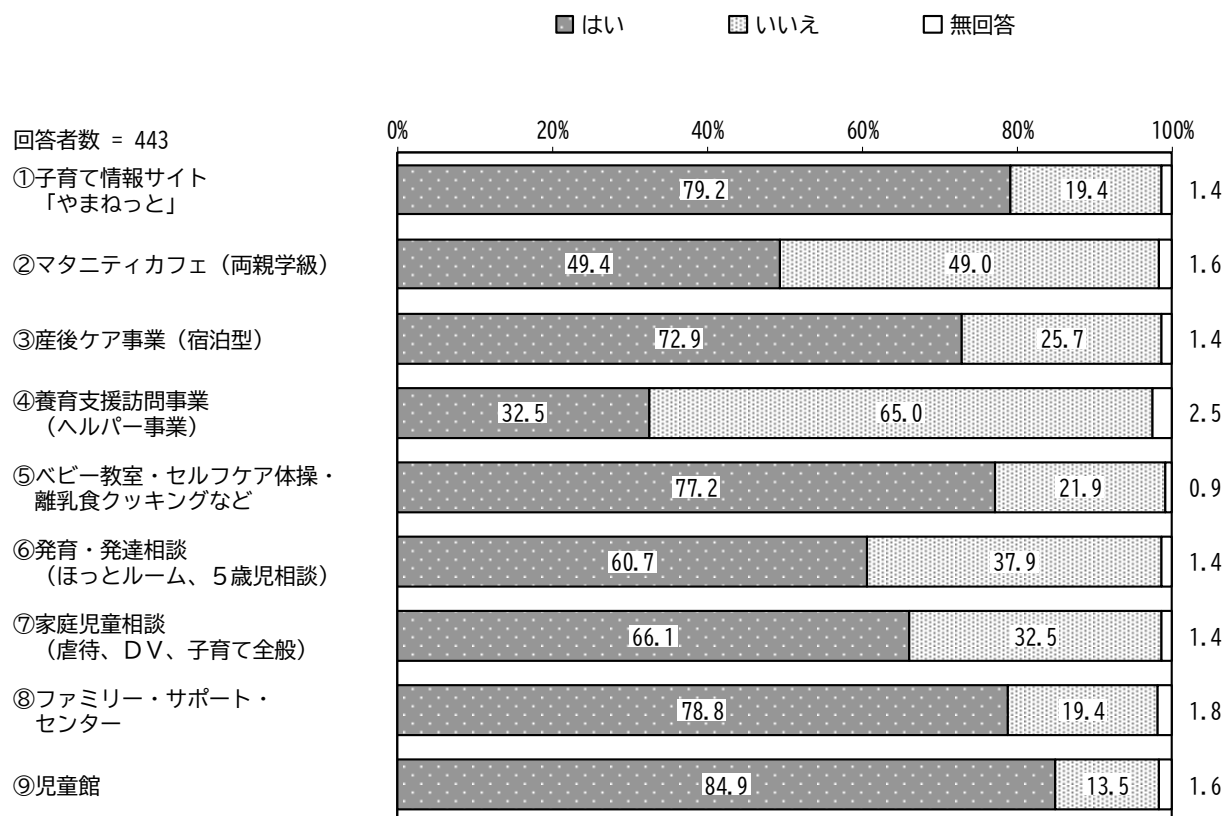
回答者数 = 66



問 19 下記に挙げる事業①～⑨について、「A 知っている」「B これまでに利用したことがある」「C 今後利用したい」の各項目の、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

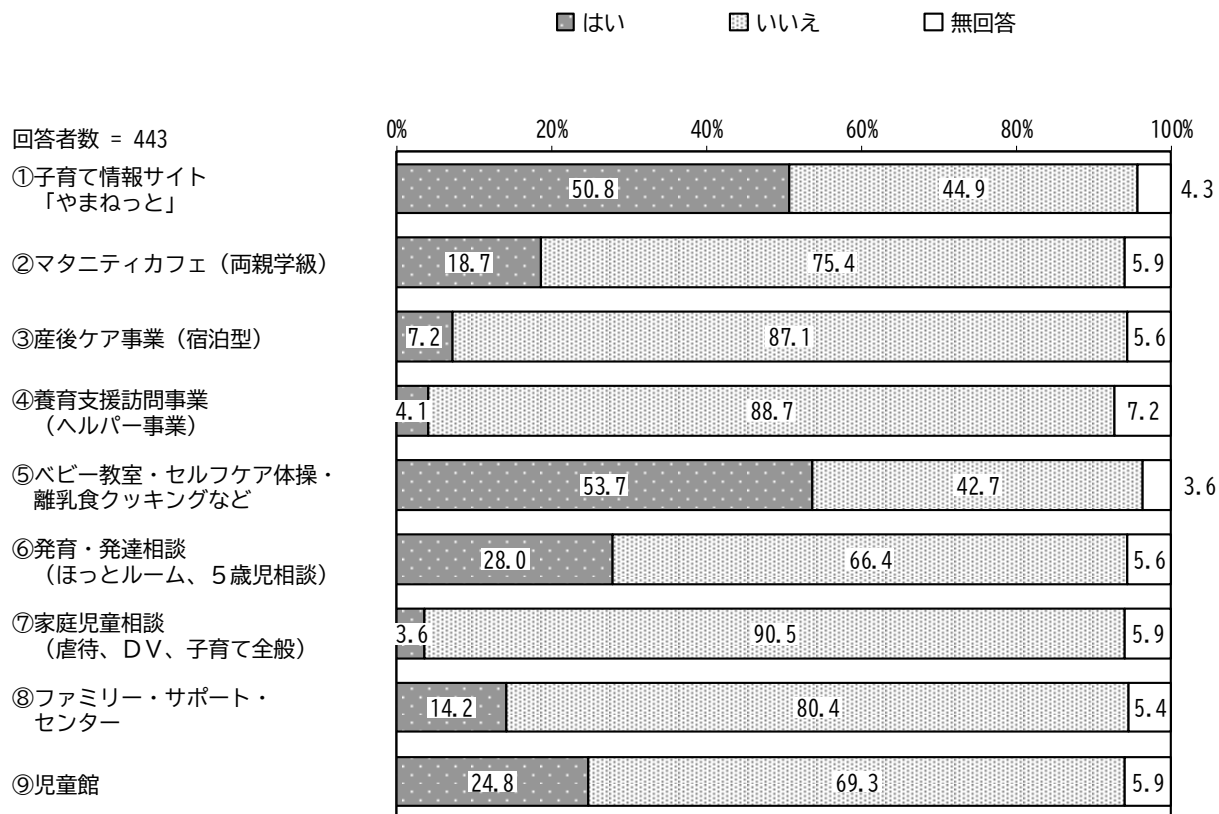
A 知っている

『⑨児童館』で「はい」の割合が高くなっています。一方、『④養育支援訪問事業（ヘルパー事業）』で「いいえ」の割合が高くなっています。



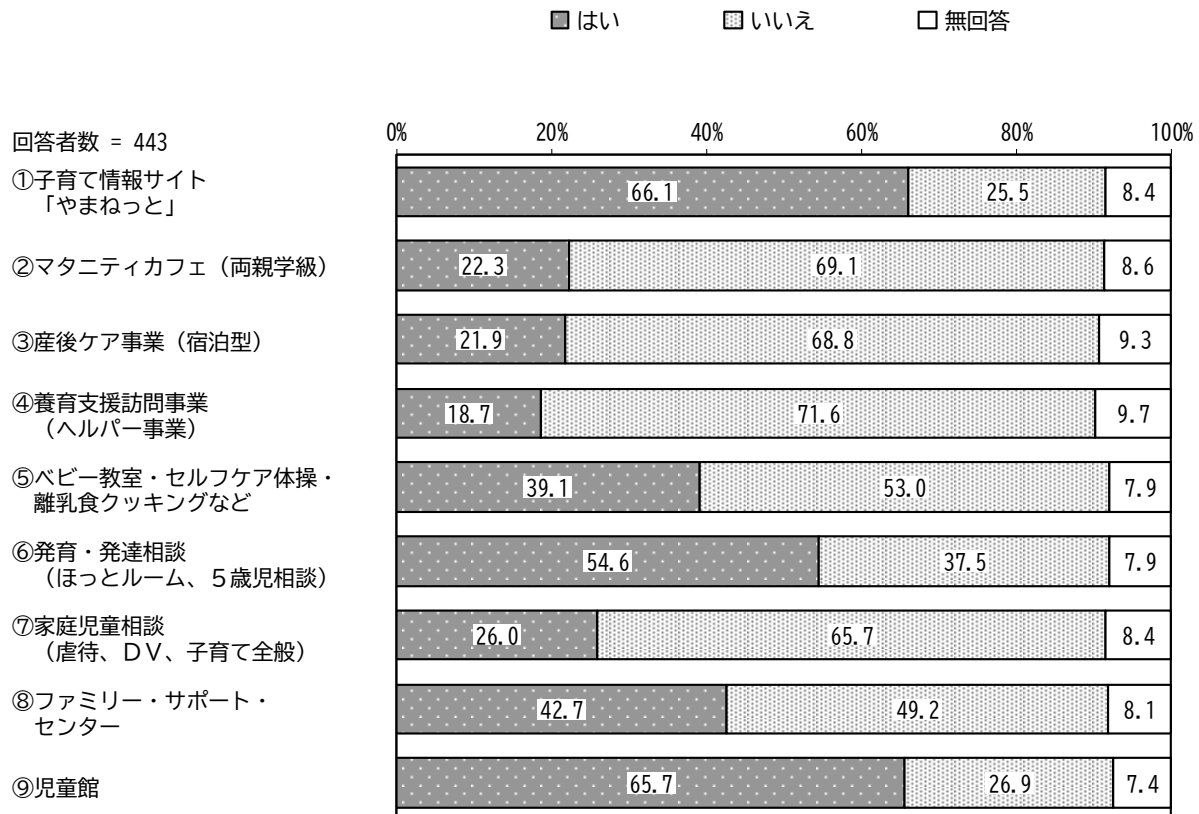
B これまでに利用したことがある

『⑤ベビー教室・セルフケア体操・離乳食クッキングなど』で「はい」の割合が高くなっています。一方、『③産後ケア事業（宿泊型）』、『④養育支援訪問事業（ヘルパー事業）』、『⑦家庭児童相談（虐待、DV、子育て全般）』で「いいえ」の割合が高くなっています。



C 今後利用したい

『①子育て情報サイト「やまねっと」』、『⑨児童館』で「はい」の割合が高くなっています。一方、『②マタニティカフェ（両親学級）』、『③産後ケア事業（宿泊型）』、『④養育支援訪問事業（ヘルパー事業）』で「いいえ」の割合が高くなっています。



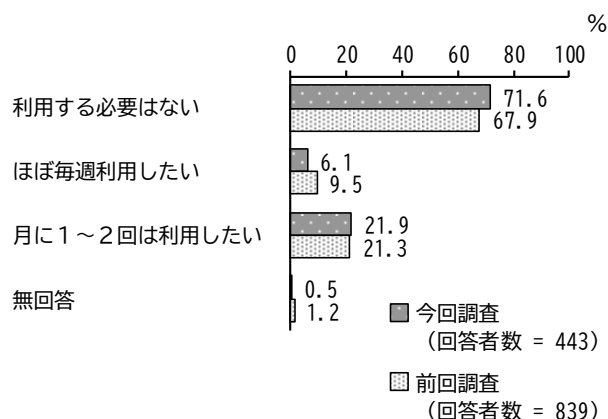
(7) 宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的な」教育・保育事業の利用希望について

問 20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）09 時、18 時のように 24 時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

(1) 土曜日

「利用する必要はない」の割合が 71.6%と最も高く、次いで「月に 1～2 回は利用したい」の割合が 21.9%となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



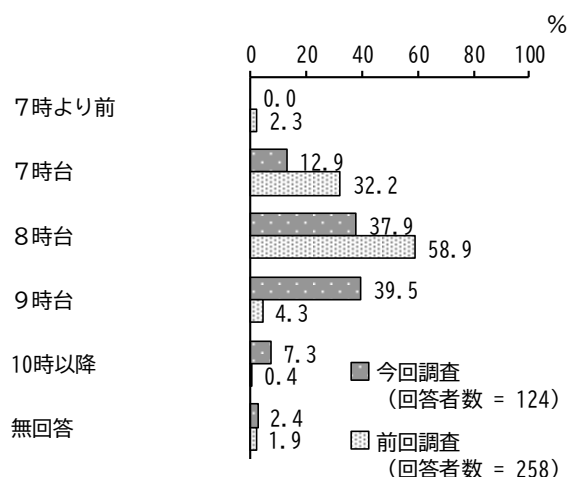
※前回調査では、「利用する必要はない」の選択肢は「必要はない」、「ほぼ毎週利用したい」の選択肢は「毎週利用したい」、「月に1～2回は利用したい」の選択肢は「月に1～2回利用したい」となっていました。

利用したい時間帯

開始時刻

「9 時台」の割合が 39.5%と最も高く、次いで「8 時台」の割合が 37.9%、「7 時台」の割合が 12.9%となっています。

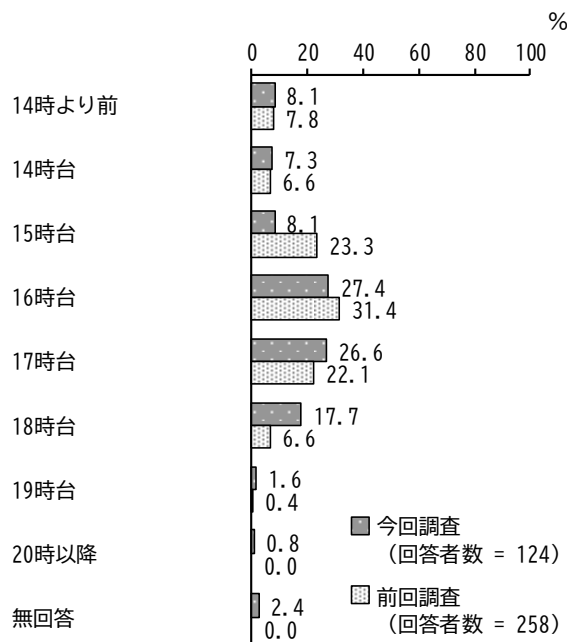
前回調査と比較すると、「9 時台」「10 時以降」の割合が増加しています。一方、「7 時台」「8 時台」の割合が減少しています。



終了時刻

「16 時台」の割合が 27.4%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 26.6%、「18 時台」の割合が 17.7%となっています。

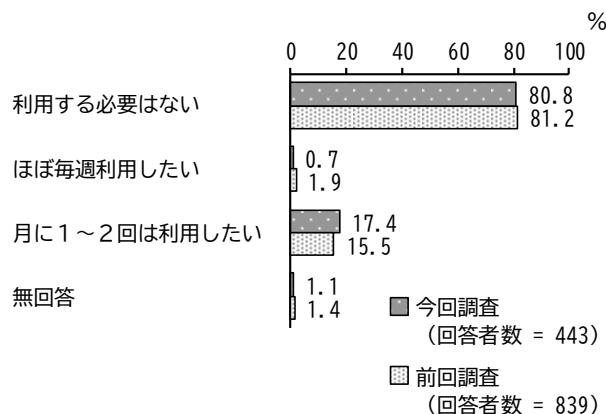
前回調査と比較すると、「18 時台」の割合が増加しています。一方、「15 時台」の割合が減少しています。



(2) 日曜・祝日

「利用する必要はない」の割合が 80.8%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が 17.4%となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



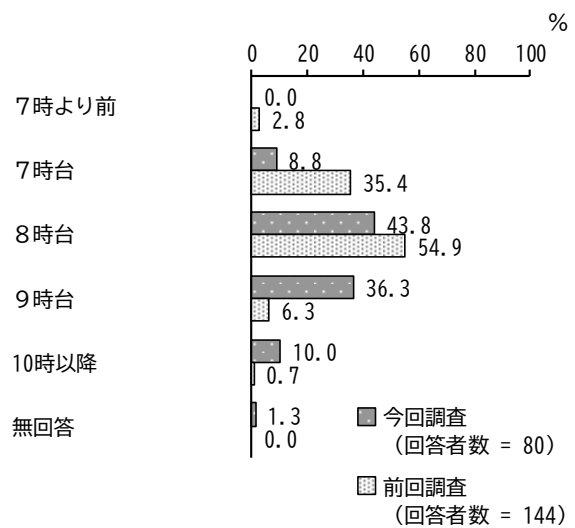
※前回調査では、「利用する必要はない」の選択肢は「必要はない」、「ほぼ毎週利用したい」の選択肢は「毎週利用したい」、「月に1～2回は利用したい」の選択肢は「月に1～2回利用したい」となっていました。

利用したい時間帯

開始時刻

「8時台」の割合が43.8%と最も高く、次いで「9時台」の割合が36.3%、「10時以降」の割合が10.0%となっています。

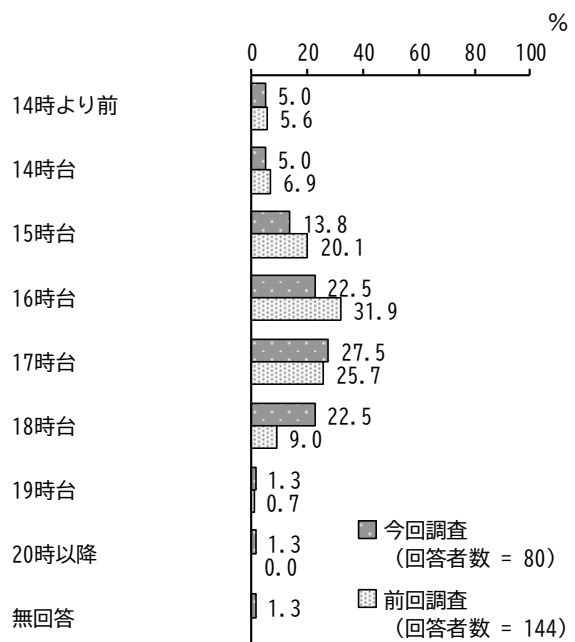
前回調査と比較すると、「9時台」「10時以降」の割合が増加しています。一方、「7時台」「8時台」の割合が減少しています。



終了時刻

「17時台」の割合が27.5%と最も高く、次いで「16時台」「18時台」の割合が22.5%となっています。

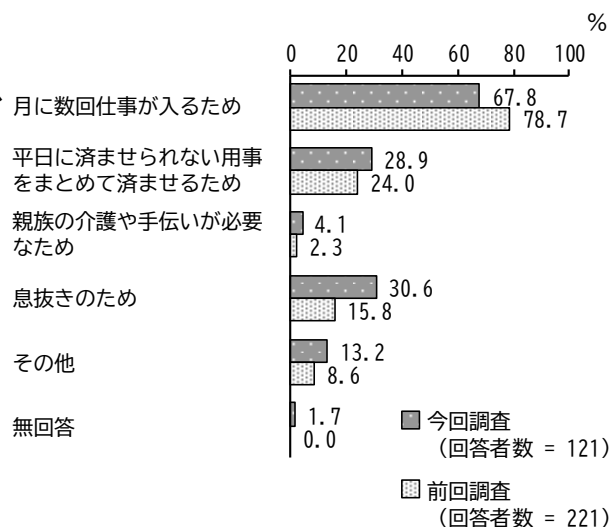
前回調査と比較すると、「18時台」の割合が増加しています。一方、「15時台」「16時台」の割合が減少しています。



問 20－（１） 問 20 の（１）または（２）で、「３．月に１～２回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、月に１～２回利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

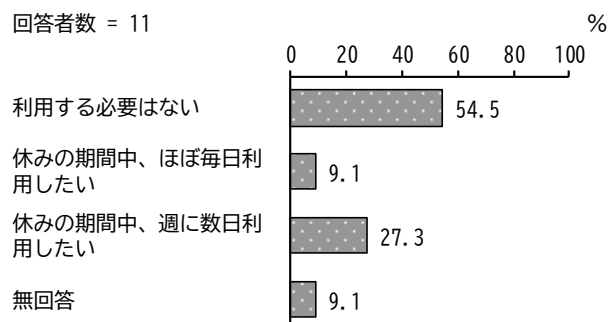
「月に数回仕事が入るため」の割合が 67.8%と最も高く、次いで「息抜きのため」の割合が 30.6%、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」の割合が 28.9%となっています。

前回調査と比較すると、「息抜きのため」の割合が増加しています。一方、「月に数回仕事が入るため」の割合が減少しています。



問 21 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）09 時、18 時のように 24 時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。

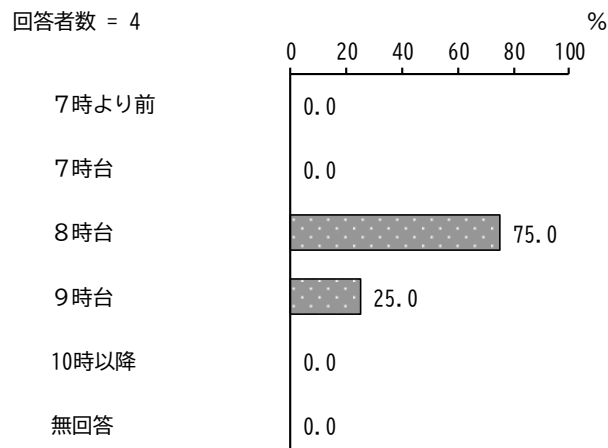
「利用する必要はない」の割合が 54.5%と最も高く、次いで「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が 27.3%となっています。



利用したい時間帯

開始時刻

「8 時台」が 3 件となっています。「9 時台」が 1 件となっています。



終了時刻

「15 時台」が 3 件となっています。「14 時より前」が 1 件となっています。

回答者数 = 4

14時より前

14時台

15時台

16時台

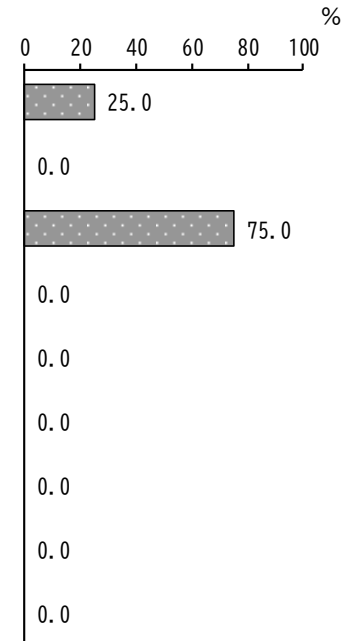
17時台

18時台

19時台

20時以降

無回答



問 21－（１） 問 21 で、「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、週に数日利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「週に数回仕事が入るため」が 3 件となっています。

回答者数 = 3

週に数回仕事が入るため

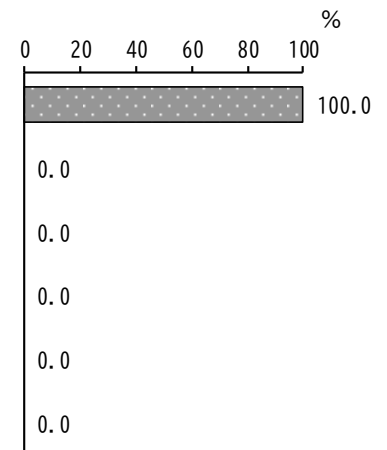
買い物等の用事をまとめて済ませるため

親族の介護や手伝いが必要なため

息抜きのため

その他

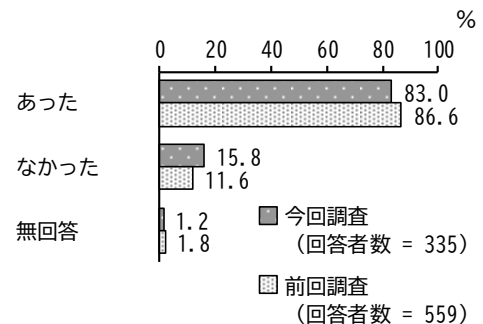
無回答



（８）宛名のお子さんの病気の際の対応について （平日日中の教育・保育を利用する方のみ）

問 22 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問 15 で 1 に○をつけた方）にうかがいます。この１年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

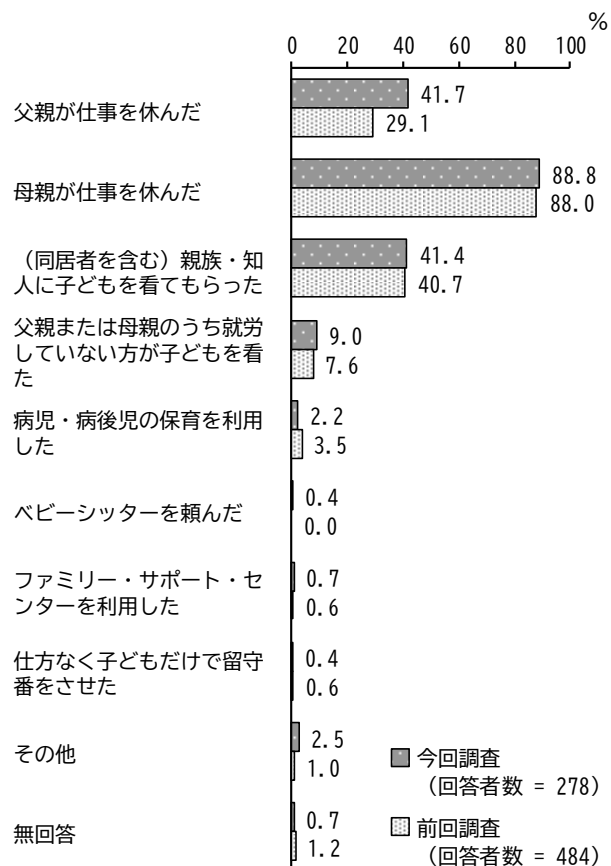
「あった」の割合が 83.0%、「なかった」の割合が 15.8%となっています。
前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 22－（１） 宛名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この１年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も１日とカウントしてください。数字は一桁に一字）。

１年間の対処方法

「母親が仕事を休んだ」の割合が 88.8%と最も高く、次いで「父親が仕事を休んだ」の割合が 41.7%、「（同居者を含む）親族・知人に子どもを看てもらった」の割合が 41.4%となっています。
前回調査と比較すると、「父親が仕事を休んだ」の割合が増加しています。



※前回調査では、「（同居者を含む）親族・知人に子どもを看てもらった」の選択肢は「親族・知人に子どもを看てもらった」、「父親または母親のうち就労していない方が子どもを看た」の選択肢は「就労していない方が子どもを看た」、「ファミリー・サポート・センターを利用した」の選択肢は「ファミリー サポート センターを利用した」となっていました。

【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、2歳で「母親が仕事を休んだ」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	父親が仕事を休んだ	母親が仕事を休んだ	(同居者を含む)親族・知人に子どもを 看てもらった	父親または母親のう ち就労していない方 が子どもを看た	病児・病後児の保育 を利用した	ベビーシッターを頼 んだ	ファミリー・サポー ト・センターを利用 した	仕方なく子どもだけ で留守番をさせた	その他	無回答
全 体	278	41.7	88.8	41.4	9.0	2.2	0.4	0.7	0.4	2.5	0.7
0歳	4	25.0	100.0	25.0	—	—	—	—	—	—	—
1歳	40	45.0	90.0	37.5	5.0	7.5	—	—	—	2.5	—
2歳	55	49.1	96.4	47.3	7.3	3.6	—	1.8	—	3.6	—
3歳	51	35.3	80.4	37.3	11.8	2.0	2.0	—	—	3.9	—
4歳	62	41.9	91.9	43.5	6.5	—	—	—	—	—	1.6
5歳	55	38.2	85.5	47.3	12.7	—	—	1.8	1.8	3.6	1.8

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではないで「父親が仕事を休んだ」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	父親が仕事を休んだ	母親が仕事を休んだ	子どもを 見てもらった (同居者を含む) 親族・知人に	父親または母親の うち就労してい ない方が子ども を看た	病児・病後児の 保育を利用し た	ベビーシッター を頼んだ	ファミリー・サ ポート・センタ ーを利用した	仕方なく子ども だけで留守番 をさせた	その他	無回答
全 体	277	41.5	89.2	41.2	9.0	2.2	0.4	0.7	0.4	2.5	0.7
フルタイム（１週５日程度・ １日８時間程度の就労）で就 労しており、産休・育休・介 護休業中ではない	125	52.8	93.6	46.4	1.6	3.2	0.8	1.6	－	3.2	0.8
フルタイム（１週５日程度・ １日８時間程度の就労）で就 労しているが、産休・育休・ 介護休業中である	8	25.0	87.5	50.0	25.0	－	－	－	－	－	－
パート・アルバイト等（「フル タイム」以外の就労）で就 労しており、産休・育休・介 護休業中ではない	116	34.5	95.7	39.7	6.0	1.7	－	－	0.9	2.6	－
パート・アルバイト等（「フル タイム」以外の就労）で就 労しているが、産休・育休・ 介護休業中である	5	40.0	100.0	20.0	－	－	－	－	－	－	－
以前は就労していたが、現在 は就労していない	22	22.7	31.8	22.7	59.1	－	－	－	－	－	4.5
これまで就労したことがない	1	－	－	－	100.0	－	－	－	－	－	－

【父親の就労状況別】

父親の就労状況別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

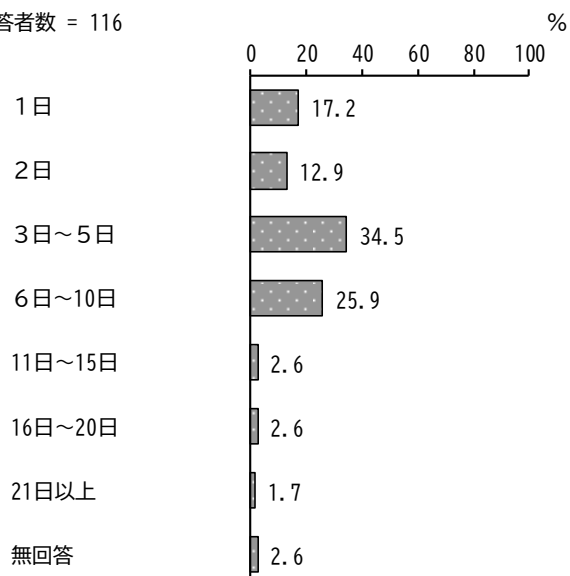
区分	回答者数（件）	父親が仕事を休んだ	母親が仕事を休んだ	子どもを看てもらった （同居者を含む）親族・知人に	父親または母親のうち就労していない方が子どもを看た	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを頼んだ	ファミリーサポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全 体	264	43.9	88.3	40.2	9.5	2.3	0.4	0.4	0.4	2.3	0.8
フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない	246	44.3	89.4	40.2	8.1	2.0	0.4	0.4	0.4	2.4	0.8
フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である	1	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない	4	50.0	100.0	50.0	25.0	—	—	—	—	—	—
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	4	75.0	75.0	—	25.0	25.0	—	—	—	—	—
これまで就労したことがない	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

対処した日数

父親が仕事を休んだ

「３日～５日」の割合が 34.5%と最も高く、次いで「６日～１０日」の割合が 25.9%、「１日」の割合が 17.2%となっています。

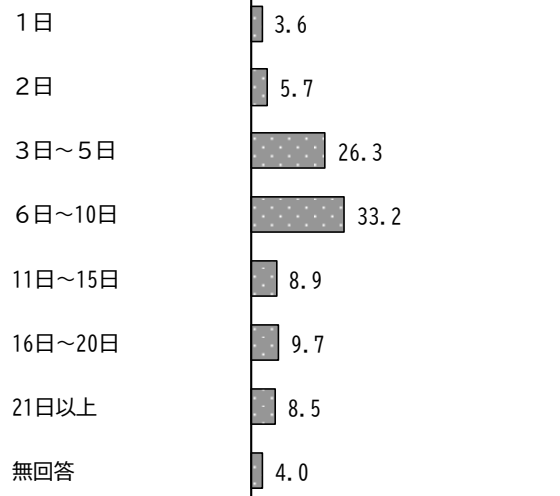
回答者数 = 116



母親が仕事を休んだ

「6日～10日」の割合が33.2%と最も高く、次いで「3日～5日」の割合が26.3%となっています。

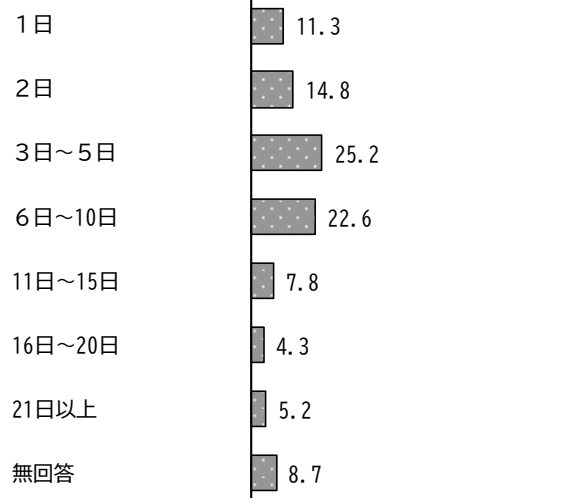
回答者数 = 247



(同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった

「3日～5日」の割合が25.2%と最も高く、次いで「6日～10日」の割合が22.6%、「2日」の割合が14.8%となっています。

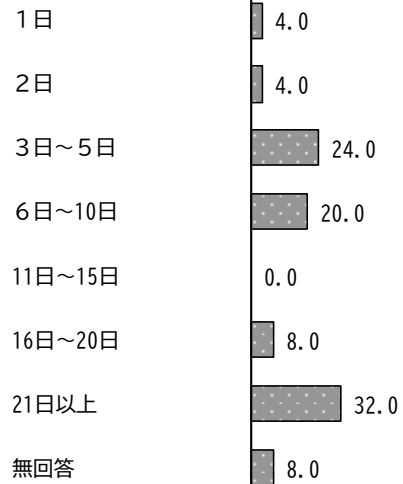
回答者数 = 115



父親または母親のうち就労していない方が子どもを看た

「21 日以上」の割合が 32.0%と最も高く、次いで「3 日～5 日」の割合が 24.0%、「6 日～10 日」の割合が 20.0%となっています。

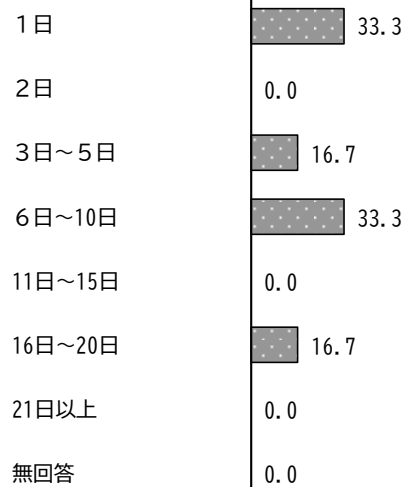
回答者数 = 25



病児・病後児の保育を利用した

「1 日」、「6 日～10 日」が 2 件となっています。「3 日～5 日」、「16 日～20 日」が 1 件となっています。

回答者数 = 6



ベビーシッターを頼んだ

「1日」が1件となっています。

回答者数 = 1

1日

2日

3日～5日

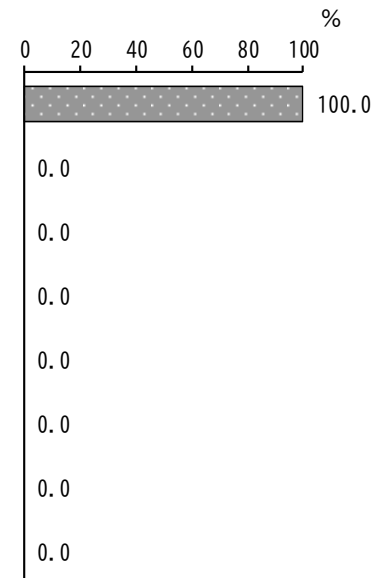
6日～10日

11日～15日

16日～20日

21日以上

無回答



ファミリー・サポート・センターを利用した

「2日」、「3日～5日」が1件となっています。

回答者数 = 2

1日

2日

3日～5日

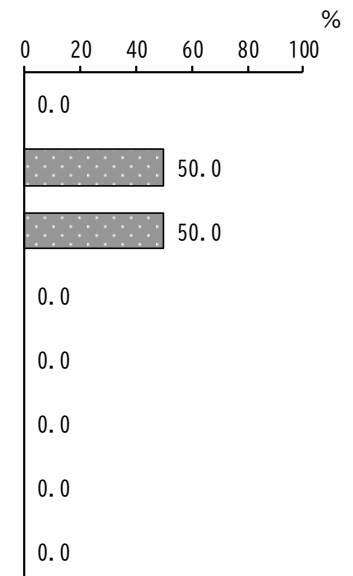
6日～10日

11日～15日

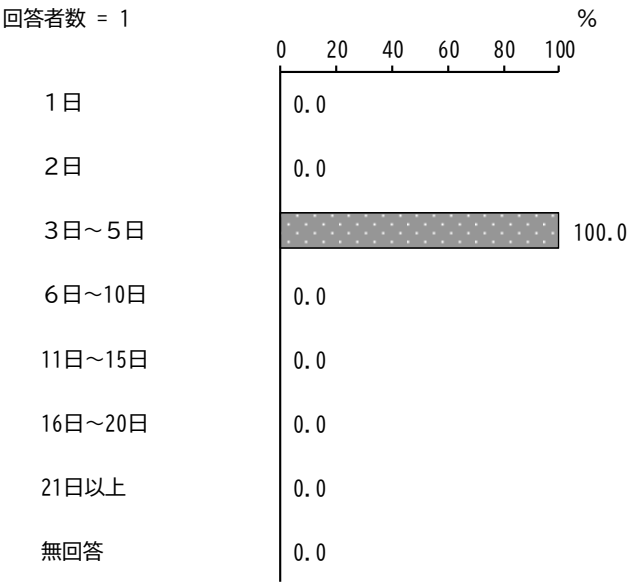
16日～20日

21日以上

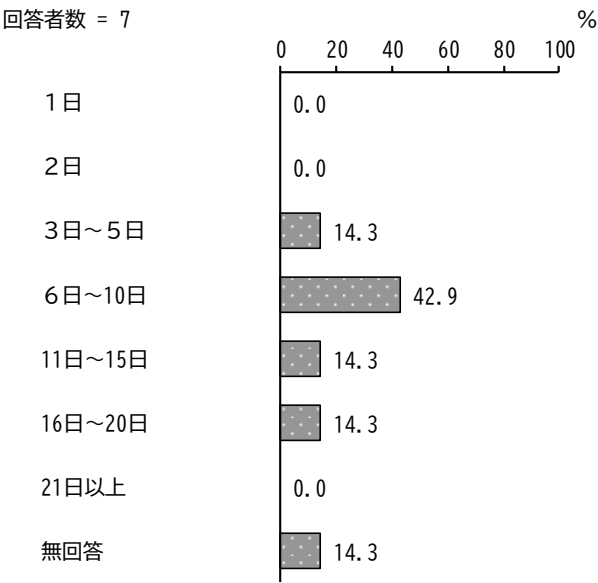
無回答



仕方なく子どもだけで留守番をさせた
「3日～5日」が1件となっています。



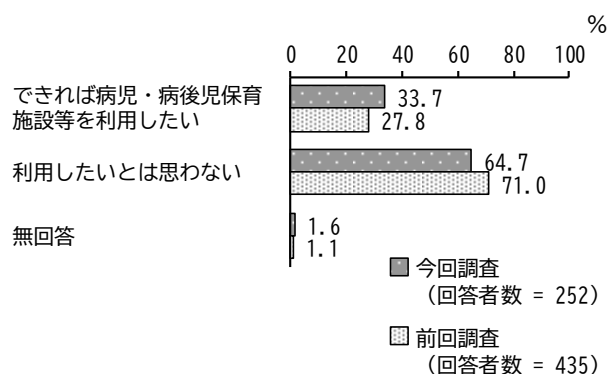
その他
「6日～10日」が3件となっています。「3日～5日」、「11日～15日」、「16日～20日」が1件となっています。



問 22－（２） 問 22－（１）で「１．」「２．」のいずれかに回答した方にうかがいます。
 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号１つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください
 （数字は一桁に一字）。

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が 33.7%、「利用したいとは思わない」の割合が 64.7%となっています。

前回調査と比較すると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が増加しています。一方、「利用したいとは思わない」の割合が減少しています。



※前回調査では、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の選択肢は「利用したい」となっていました。

【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、３歳で「利用したいとは思わない」の割合が高くなっています。

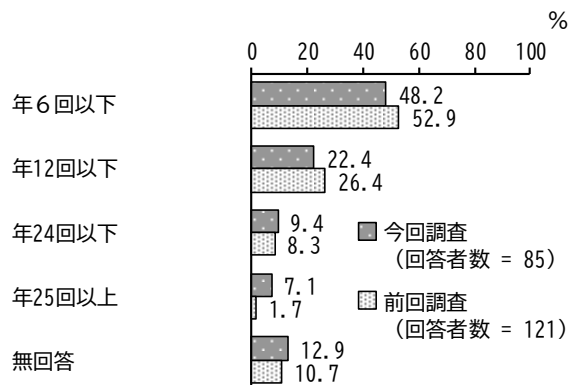
単位：％

区分	回答者数 (件)	できれば病児・病後児保育施設等を利用したい	利用したいとは思わない	無回答
全 体	252	33.7	64.7	1.6
0歳	4	50.0	50.0	—
1歳	38	36.8	60.5	2.6
2歳	53	49.1	50.9	—
3歳	44	18.2	81.8	—
4歳	57	31.6	66.7	1.8
5歳	47	29.8	66.0	4.3

できれば病児・病後児保育施設等を利用したい日数

「年 6 回以下」の割合が 48.2%と最も高く、次いで「年 12 回以下」の割合が 22.4%となっています。

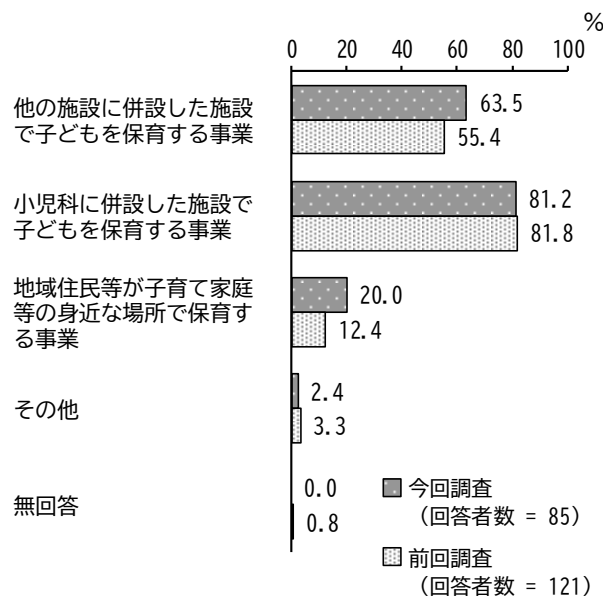
前回調査と比較すると、「年 25 回以上」の割合が増加しています。



問 22－（３） 問 22－（２）で「１．できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が 81.2%と最も高く、次いで「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が 63.5%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」の割合が 20.0%となっています。

前回調査と比較すると、「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」の割合が増加しています。

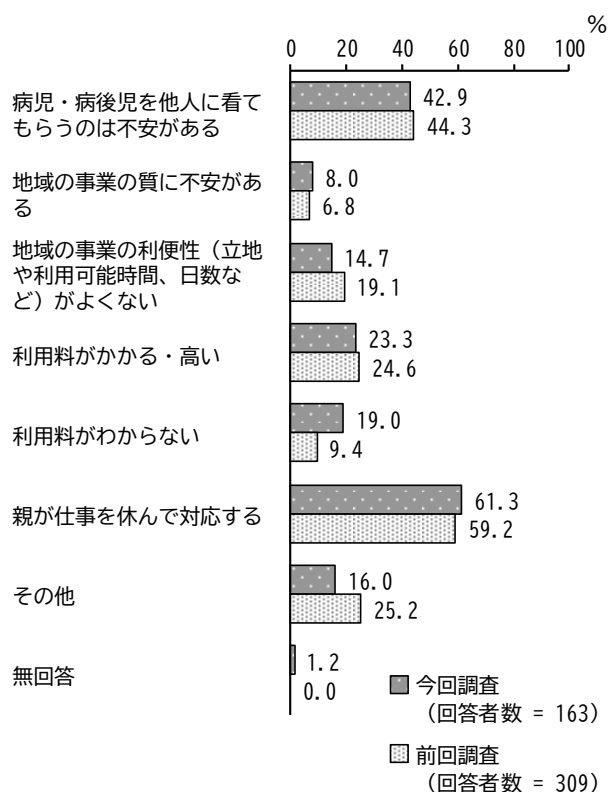


※前回調査では、「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」の選択肢は「他の施設に併設」、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の選択肢は「小児科に併設」、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」の選択肢は「地域住民の子育て支援等」となっていました。

問 22－（４） 問 22－（２）で「２．利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「親が仕事を休んで対応する」の割合が 61.3%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安がある」の割合が 42.9%、「利用料がかかる・高い」の割合が 23.3%となっています。

前回調査と比較すると、「利用料がわからない」の割合が増加しています。

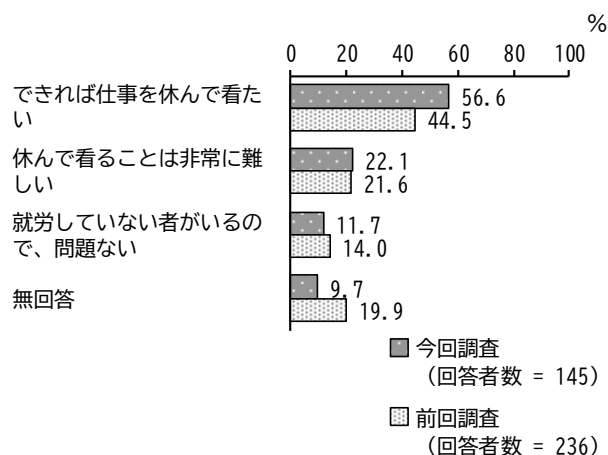


※前回調査では、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安がある」の選択肢は「他人にみてもらうのは不安」、「地域の事業の質に不安がある」の選択肢は「地域の事業の質に不安」、「地域の事業の利便性（立地や利用可能時間、日数など）がよくない」の選択肢は「地域の事業の利便性がよくない」となっていました。

問 22－（５） 問 22－（１）で「３．」から「９．」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号１つに○をつけ、「３．」から「９．」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

「できれば仕事を休んで看たい」の割合が 56.6%と最も高く、次いで「休んで看ることは非常に難しい」の割合が 22.1%、「就労していない者がいるので、問題ない」の割合が 11.7%となっています。

前回調査と比較すると、「できれば仕事を休んで看たい」の割合が増加しています。

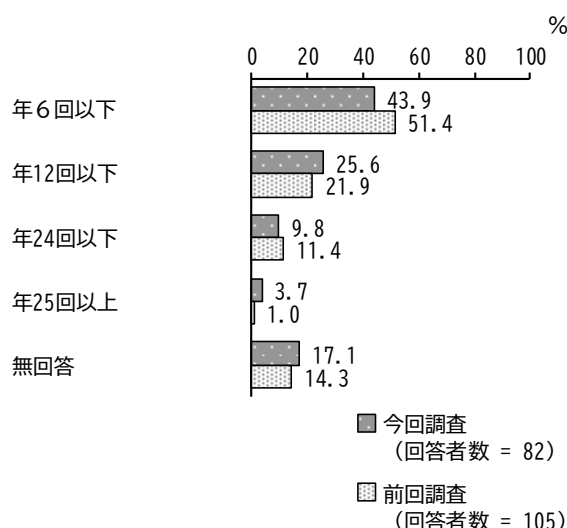


※前回調査では、「できれば仕事を休んで看たい」の選択肢は「できれば休んで看たい」となっていました。

できれば仕事を休んで看たい日数

「年6回以下」の割合が43.9%と最も高く、次いで「年12回以下」の割合が25.6%となっています。

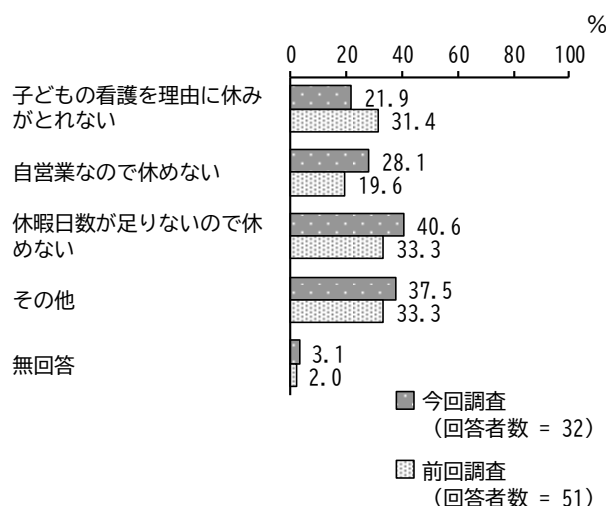
前回調査と比較すると、「年6回以下」の割合が減少しています。



問22-(6) 問22-(5)で「2. 休んで看することは非常に難しい」に○をつけた方にかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「休暇日数が足りないので休めない」の割合が40.6%と最も高く、次いで「自営業なので休めない」の割合が28.1%、「子どもの看護を理由に休みがとれない」の割合が21.9%となっています。

前回調査と比較すると、「自営業なので休めない」「休暇日数が足りないので休めない」の割合が増加しています。一方、「子どもの看護を理由に休みがとれない」の割合が減少しています。



※前回調査では、「子どもの看護を理由に休みがとれない」の選択肢は「看護を理由に休みが取れない」、「自営業なので休めない」の選択肢は「自営業であるため休めない」となっていました。

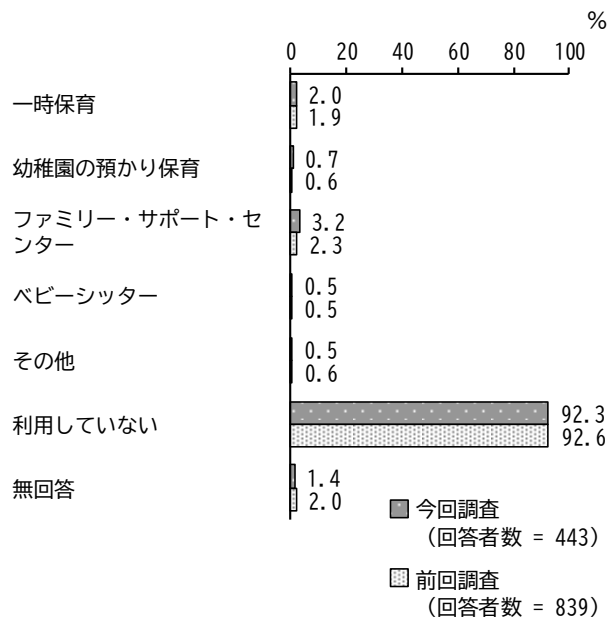
(9) 宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、この1年間の利用日数（おおよそ）も□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

利用している事業

「利用していない」の割合が92.3%と最も高くなっています。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。

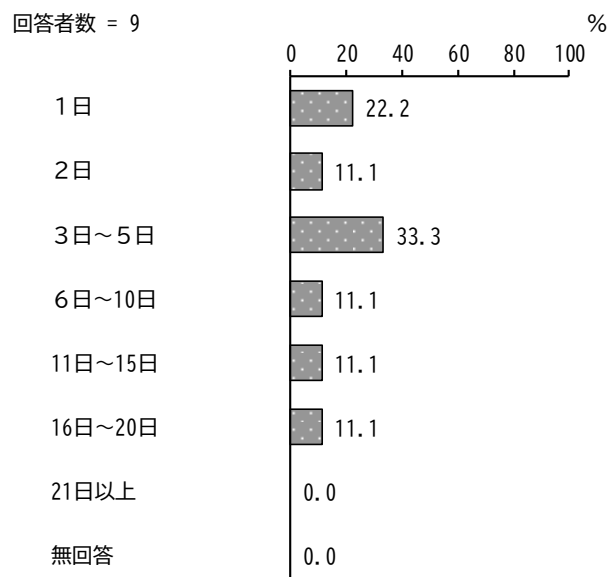


※前回調査では、「ファミリー・サポート・センター」の選択肢は「ファミリーサポートセンター」となっていました。

利用日数（年間）

一時保育

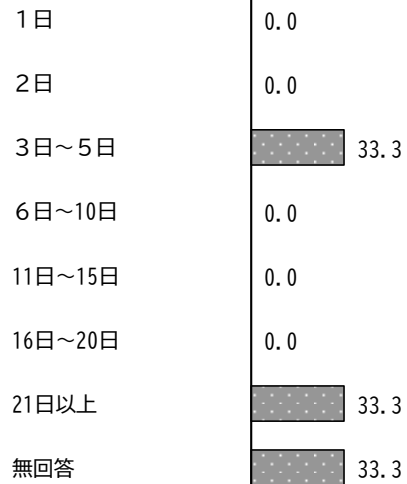
「3日～5日」が3件となっています。「1日」が2件、「2日」、「6日～10日」「11日～15日」「16日～20日」が1件となっています。



幼稚園の預かり保育

「3日～5日」、「21日以上」が1件となっています。

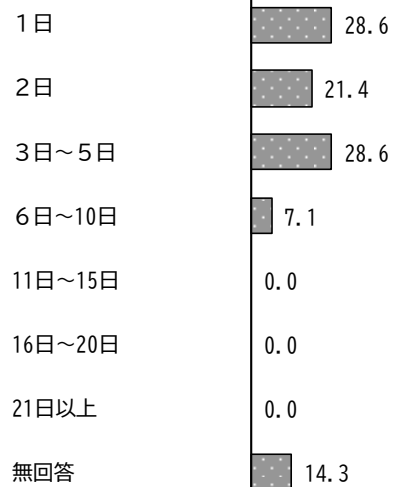
回答者数 = 3



ファミリー・サポート・センター

「1日」、「3日～5日」の割合が28.6%と最も高く、次いで「2日」の割合が21.4%となっています。

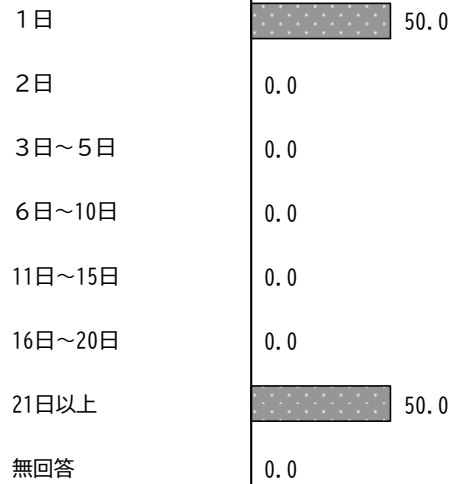
回答者数 = 14



ベビーシッター

「1 日」、「21 日以上」が 1 件となっています。

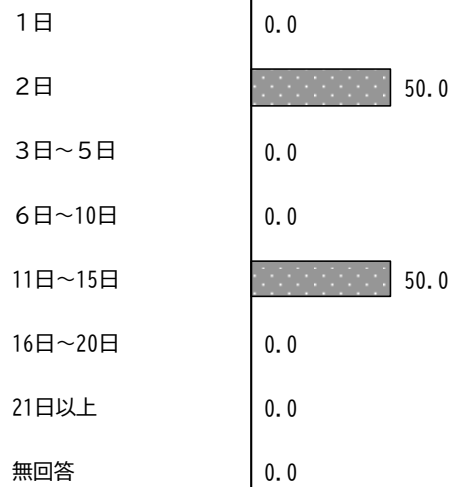
回答者数 = 2



その他

「2 日」、「11 日～15 日」が 1 件となっています。

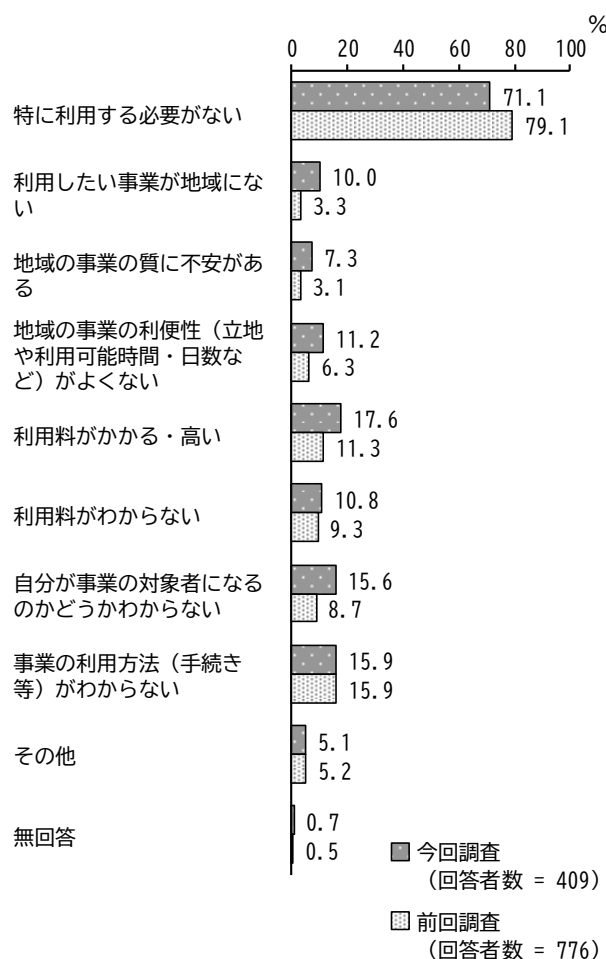
回答者数 = 2



問 23－（１） 問 23 で「6. 利用していない」と回答した方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「特に利用する必要がない」の割合が 71.1%と最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」の割合が 17.6%、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」の割合が 15.9%となっています。

前回調査と比較すると、「利用したい事業が地域にない」「利用料がかかる・高い」「自分が事業の対象者になるのかどうかかわからない」の割合が増加しています。一方、「特に利用する必要がない」の割合が減少しています。



※前回調査では、「地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない」の選択肢は「地域の事業の利便性がよくない」、「自分が事業の対象者になるのかどうかかわからない」の選択肢は「自分が事業の対象者かわからない」、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」の選択肢は「事業の利用方法がわからない」となっていました。

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中であるで「特に利用する必要がない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	特に利用する必要がない	利用したい事業が地域にない	地域の事業の質に不安がある	地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない	利用料がかかる・高い	利用料がわからない	自分が事業の対象者になるのかどうかわからない	事業の利用方法（手続き等）がわからない	その他	無回答
全 体	407	71.0	10.1	7.4	11.3	17.4	10.6	15.7	16.0	5.2	0.7
フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	140	67.9	12.1	7.9	14.3	14.3	8.6	12.9	12.1	2.9	0.7
フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	46	76.1	4.3	6.5	10.9	13.0	10.9	17.4	23.9	2.2	－
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	135	73.3	11.1	8.1	9.6	18.5	8.9	15.6	14.1	4.4	1.5
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	16	81.3	－	6.3	6.3	6.3	12.5	6.3	12.5	12.5	－
以前は就労していたが、現在は就労していない	67	68.7	9.0	4.5	7.5	23.9	16.4	22.4	23.9	9.0	－
これまで就労したことがない	2	50.0	－	－	50.0	100.0	－	－	－	50.0	－

【父親の就労状況別】

父親の就労状況別にみると、大きな差はみられません。

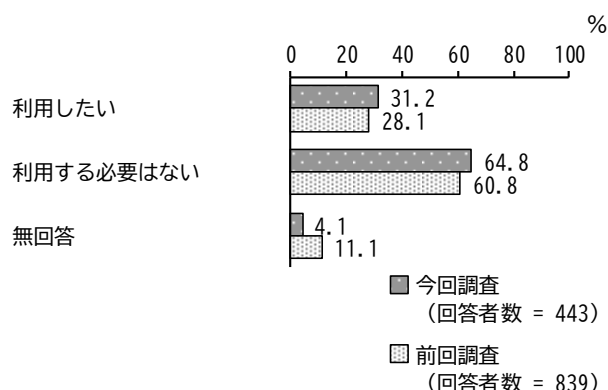
単位：％

区分	回答者数（件）	特に利用する必要がない	利用したい事業が地域にない	地域の事業の質に不安がある	地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない	利用料がかかる・高い	利用料がわからない	自分が事業の対象者になるのかわからない	事業の利用方法（手続き等）がわからない	その他	無回答
全 体	391	70.8	10.0	7.7	11.8	17.6	11.0	16.1	16.1	5.4	0.8
フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない	357	70.3	10.1	7.8	11.8	17.6	10.6	16.8	16.2	4.8	0.8
フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である	5	80.0	—	—	—	—	—	—	20.0	—	—
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない	7	100.0	—	—	—	42.9	—	—	14.3	14.3	—
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	6	50.0	33.3	16.7	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	16.7	—
これまで就労したことがない	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

問 24 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用したいと思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字）。

「利用したい」の割合が 31.2%、「利用する必要はない」の割合が 64.8%となっています。

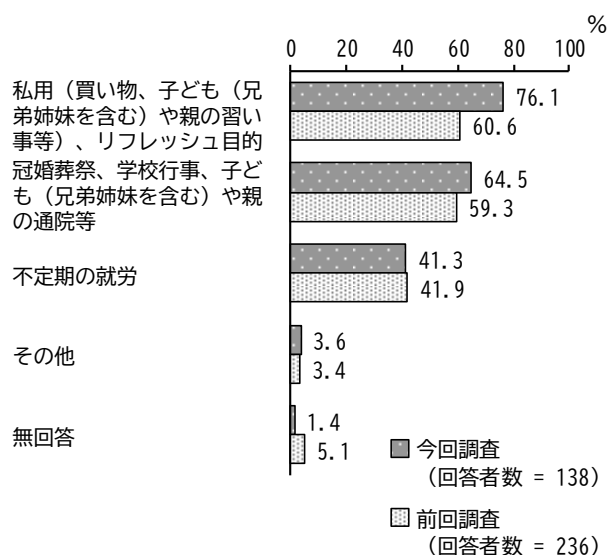
前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



利用目的

「私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」の割合が 76.1%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」の割合が 64.5%、「不定期の就労」の割合が 41.3%となっています。

前回調査と比較すると、「私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」の割合が増加しています。

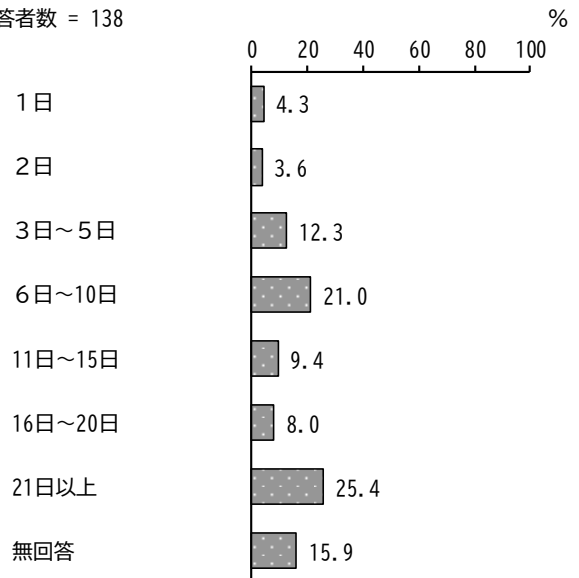


※前回調査では、「私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」の選択肢は「私用、リフレッシュ目的」、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」の選択肢は「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」となっていました。

利用したい合計日数

「21 日以上」の割合が 25.4%と最も高く、次いで「6 日～10 日」の割合が 21.0%、「3 日～5 日」の割合が 12.3%となっています。

回答者数 = 138

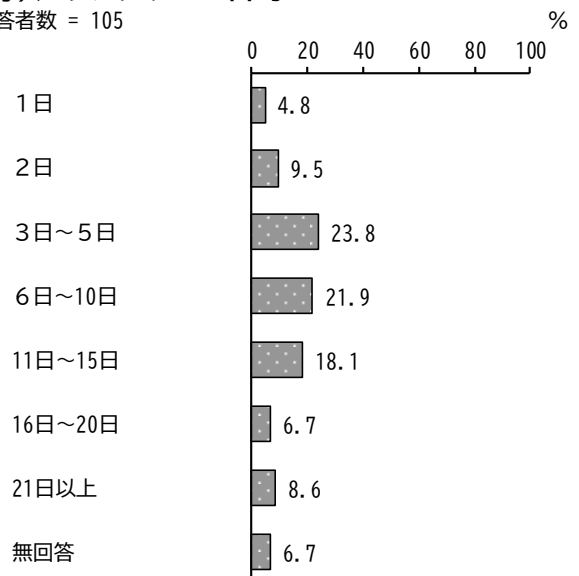


利用したい日数

私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的

「3 日～5 日」の割合が 23.8%と最も高く、次いで「6 日～10 日」の割合が 21.9%、「11 日～15 日」の割合が 18.1%となっています。

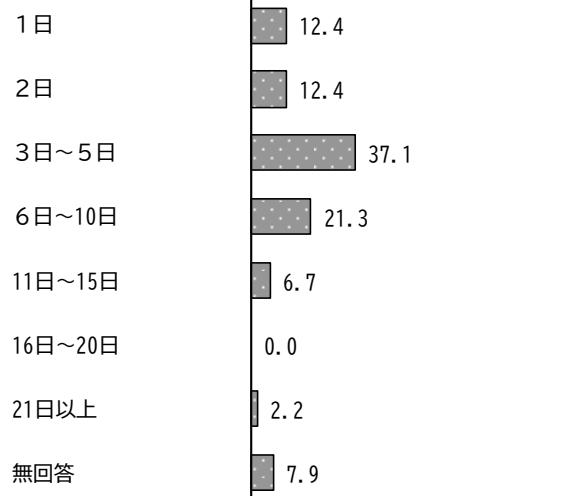
回答者数 = 105



冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等

「3日～5日」の割合が37.1%と最も高く、次いで「6日～10日」の割合が21.3%、「1日」、「2日」の割合が12.4%となっています。

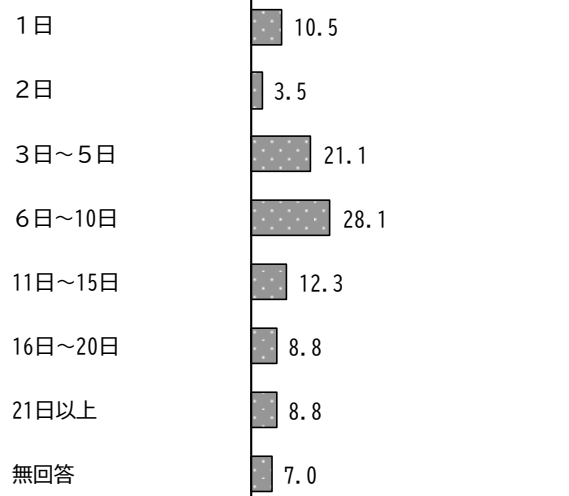
回答者数 = 89



不定期の就労

「6日～10日」の割合が28.1%と最も高く、次いで「3日～5日」の割合が21.1%、「11日～15日」の割合が12.3%となっています。

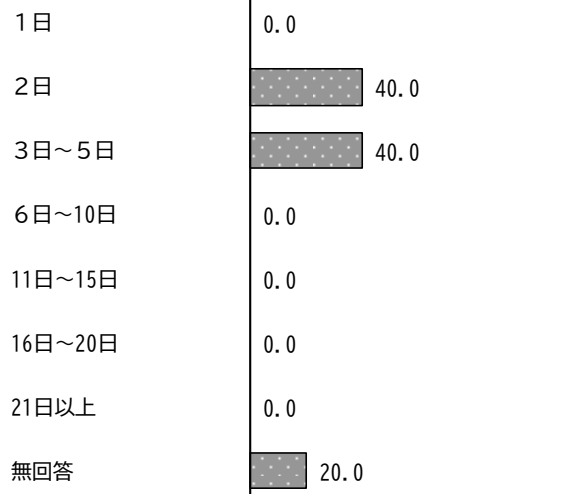
回答者数 = 57



その他

「2日」、「3日～5日」が2件となっています。

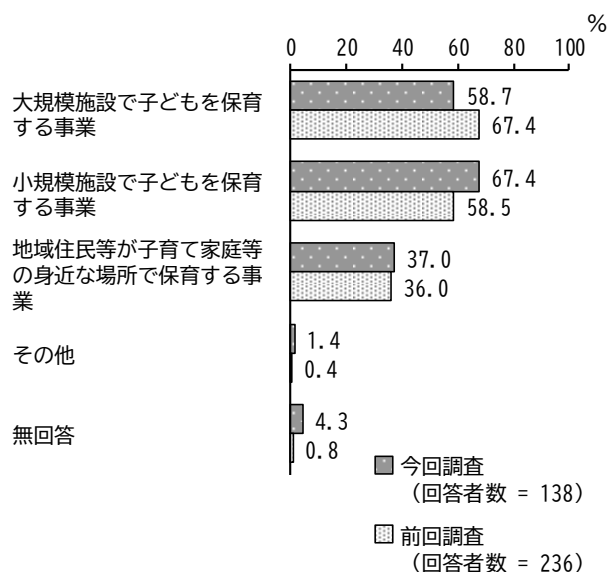
回答者数 = 5



問 24－（１） 問 24 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問 24 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「小規模施設で子どもを保育する事業」の割合が 67.4%と最も高く、次いで「大規模施設で子どもを保育する事業」の割合が 58.7%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」の割合が 37.0%となっています。

前回調査と比較すると、「小規模施設で子どもを保育する事業」の割合が増加しています。一方、「大規模施設で子どもを保育する事業」の割合が減少しています。



※前回調査では、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」の選択肢は「地域住民等が身近な場所で保育する事業」となっていました。

問 25 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹を含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字））。

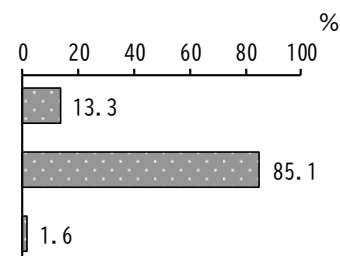
「利用したい」の割合が 13.3%、「利用する必要はない」の割合が 85.1%となっています。

回答者数 = 443

利用したい

利用する必要はない

無回答



利用目的

「保護者や家族の育児疲れ・不安」の割合が 67.8%と最も高く、次いで「保護者や家族の病気」の割合が 55.9%、「冠婚葬祭」の割合が 44.1%となっています。

回答者数 = 59

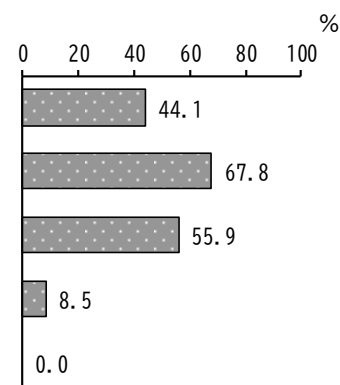
冠婚葬祭

保護者や家族の育児疲れ・不安

保護者や家族の病気

その他

無回答



利用したい合計泊数

「3泊～5泊」の割合が 16.9%と最も高く、次いで「6泊～10泊」の割合が 15.3%、「1泊」、「2泊」の割合が 13.6%となっています。

回答者数 = 59

1泊

2泊

3泊～5泊

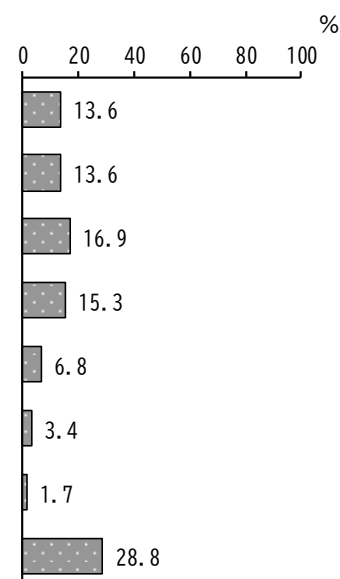
6泊～10泊

11泊～15泊

16泊～20泊

21泊以上

無回答

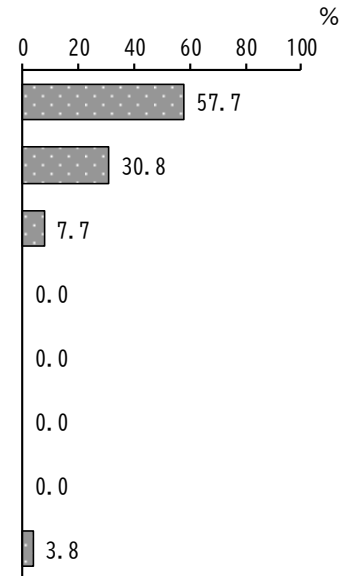


冠婚葬祭

「1泊」の割合が 57.7%と最も高く、次いで「2泊」の割合が 30.8%となっています。

回答者数 = 26

1泊	57.7
2泊	30.8
3泊～5泊	7.7
6泊～10泊	0.0
11泊～15泊	0.0
16泊～20泊	0.0
21泊以上	0.0
無回答	3.8

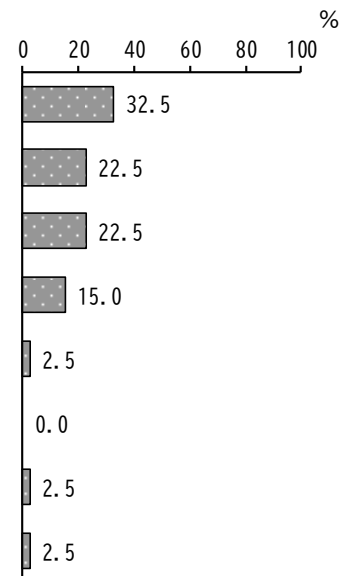


保護者や家族の育児疲れ・不安

「1泊」の割合が 32.5%と最も高く、次いで「2泊」、「3泊～5泊」の割合が 22.5%となっています。

回答者数 = 40

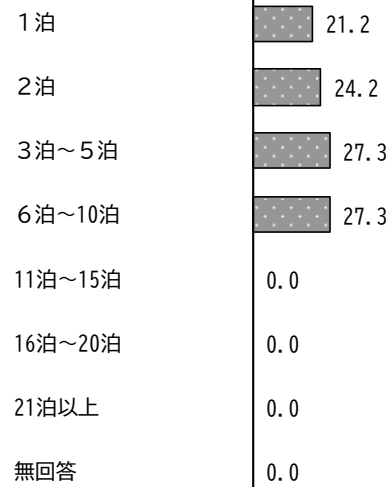
1泊	32.5
2泊	22.5
3泊～5泊	22.5
6泊～10泊	15.0
11泊～15泊	2.5
16泊～20泊	0.0
21泊以上	2.5
無回答	2.5



保護者や家族の病気

「3泊～5泊」、「6泊～10泊」の割合が27.3%と最も高く、次いで「2泊」の割合が24.2%となっています。

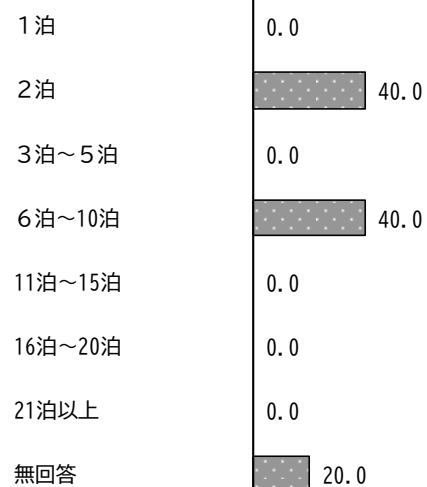
回答者数 = 33



その他

「2泊」、「6泊～10泊」が2件となっています。

回答者数 = 5

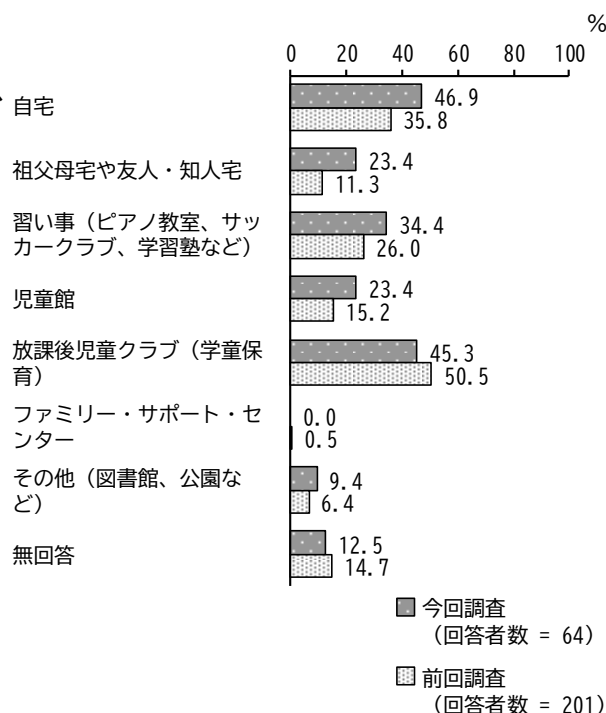


(10) 宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方について

問 26 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

「自宅」の割合が46.9%と最も高く、次いで「放課後児童クラブ（学童保育）」の割合が45.3%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が34.4%となっています。

前回調査と比較すると、「自宅」「祖父母宅や友人・知人宅」「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」「児童館」の割合が増加しています。一方、「放課後児童クラブ（学童保育）」の割合が減少しています。

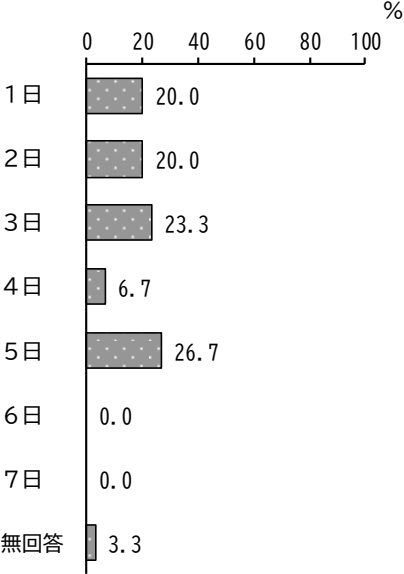


※前回調査では、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の選択肢は「習い事」、「放課後児童クラブ（学童保育）」の選択肢は「放課後児童クラブ」、「ファミリー・サポート・センター」の選択肢は「ファミリー サポート センター」となっていました。

週当たり日数
自宅

「5日」の割合が 26.7%と最も高く、次いで「3日」の割合が 23.3%、「1日」、「2日」の割合が 20.0%となっています。

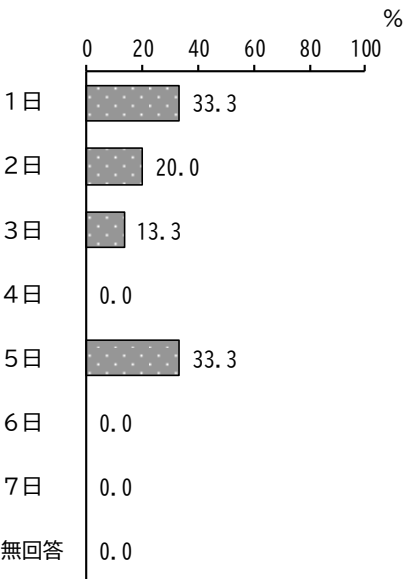
回答者数 = 30



祖父母宅や友人・知人宅

「1日」、「5日」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「2日」の割合が 20.0%となっています。

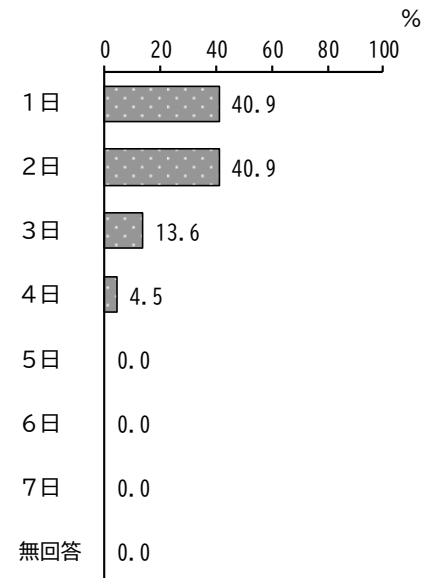
回答者数 = 15



習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）

「1日」、「2日」の割合が40.9%と最も高く、
次いで「3日」の割合が13.6%となっています。

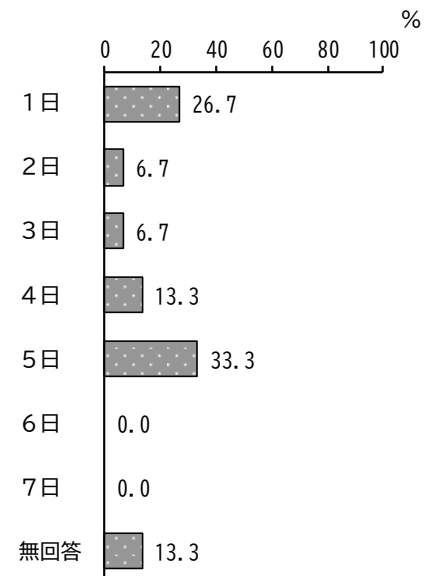
回答者数 = 22



児童館

「5日」の割合が33.3%と最も高く、次いで
「1日」の割合が26.7%、「4日」の割合が13.3%
となっています。

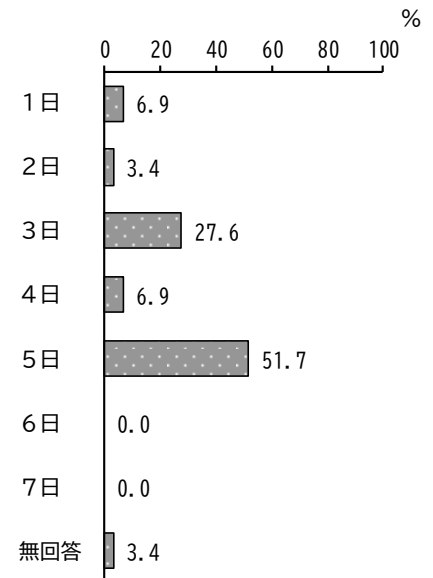
回答者数 = 15



放課後児童クラブ（学童保育）

「5日」の割合が 51.7%と最も高く、次いで
「3日」の割合が 27.6%となっています。

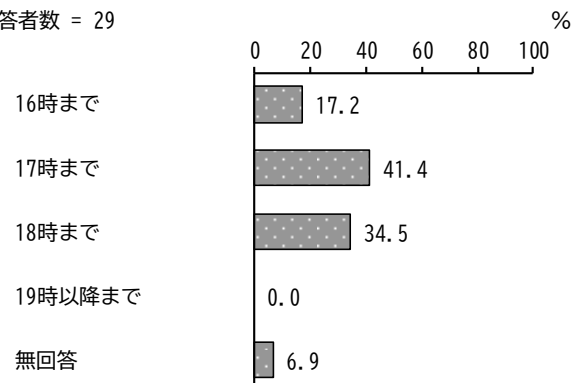
回答者数 = 29



利用終了時刻

「17 時まで」の割合が 41.4%と最も高く、次
いで「18 時まで」の割合が 34.5%、「16 時まで」
の割合が 17.2%となっています。

回答者数 = 29



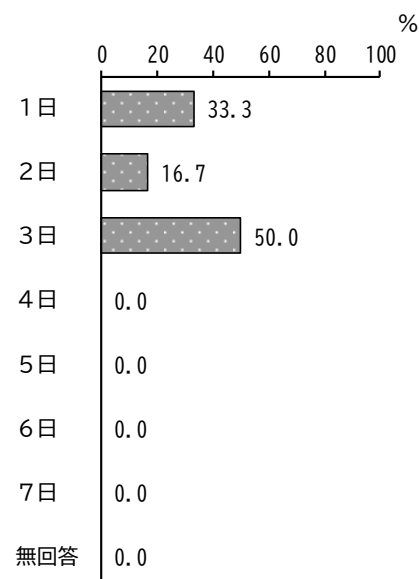
ファミリー・サポート・センター

有効回答がありませんでした。

その他（図書館、公園など）

「3日」が3件となっています。「1日」が2件、
「2日」が1件となっています。

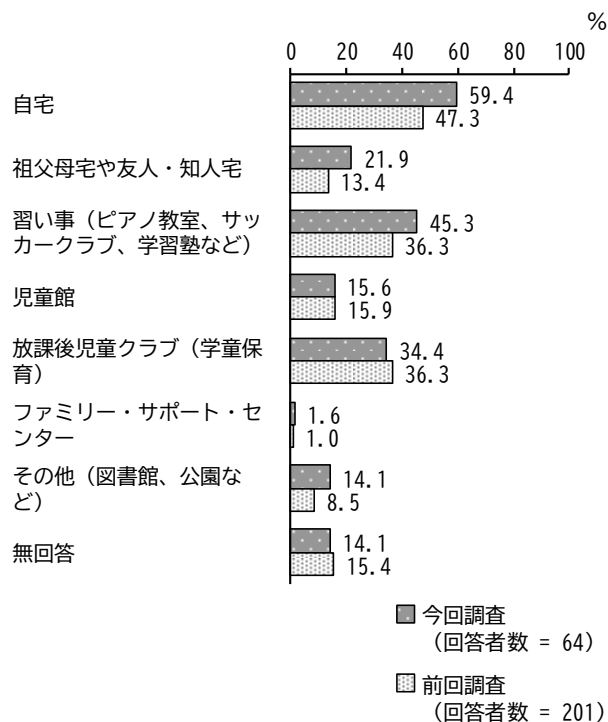
回答者数 = 6



問 27 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になった時に、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。

「自宅」の割合が 59.4%と最も高く、次いで
「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾
など）」の割合が 45.3%、「放課後児童クラブ（学
童保育）」の割合が 34.4%となっています。

前回調査と比較すると、「自宅」「祖父母宅や友
人・知人宅」「習い事（ピアノ教室、サッカークラ
ブ、学習塾など）」「その他（図書館、公園など）」
の割合が増加しています。

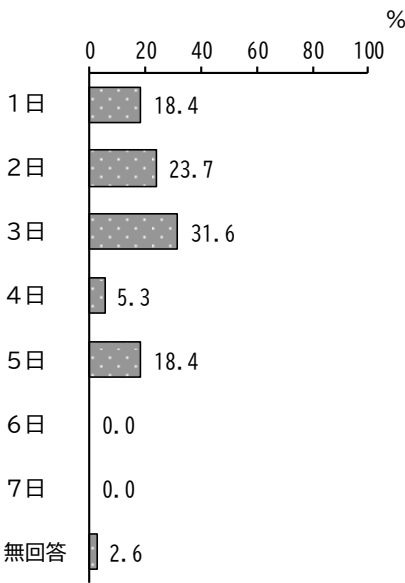


※前回調査では、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の選択肢は「習い事」、「放課後児童クラブ（学童保育）」の選択肢は「放課後児童クラブ」、「ファミリー・サポート・センター」の選択肢は「ファミリー サポート センター」となっていました。

週当たり日数
自宅

「3日」の割合が 31.6%と最も高く、次いで「2日」の割合が 23.7%、「1日」、「5日」の割合が 18.4%となっています。

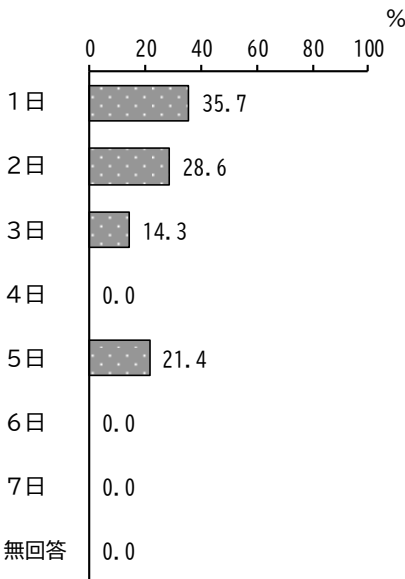
回答者数 = 38



祖父母宅や友人・知人宅

「1日」の割合が 35.7%と最も高く、次いで「2日」の割合が 28.6%、「5日」の割合が 21.4%となっています。

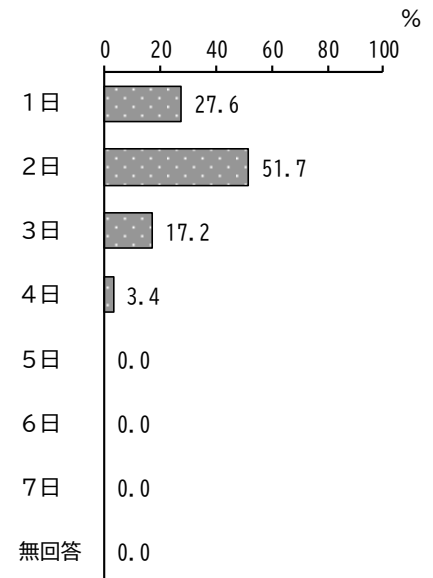
回答者数 = 14



習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）

「2日」の割合が 51.7%と最も高く、次いで
「1日」の割合が 27.6%、「3日」の割合が 17.2%
となっています。

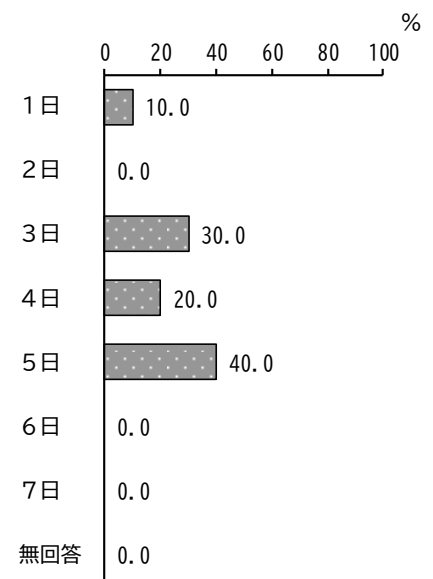
回答者数 = 29



児童館

「5日」の割合が 40.0%と最も高く、次いで
「3日」の割合が 30.0%、「4日」の割合が 20.0%
となっています。

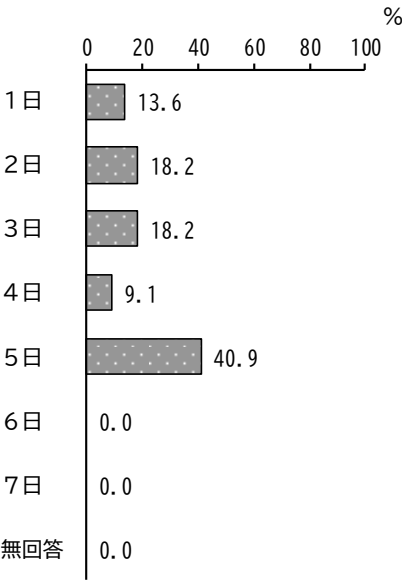
回答者数 = 10



放課後児童クラブ（学童保育）

「5日」の割合が 40.9%と最も高く、次いで「2日」、「3日」の割合が 18.2%となっています。

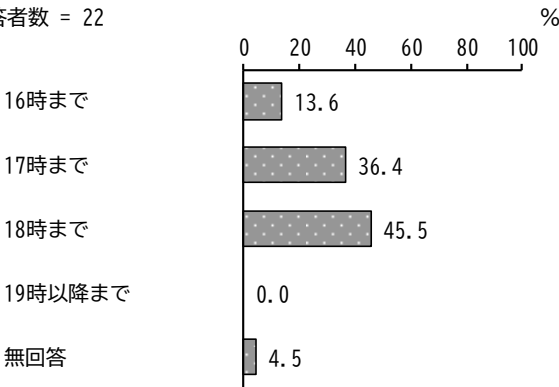
回答者数 = 22



利用終了時刻

「18 時まで」の割合が 45.5%と最も高く、次いで「17 時まで」の割合が 36.4%、「16 時まで」の割合が 13.6%となっています。

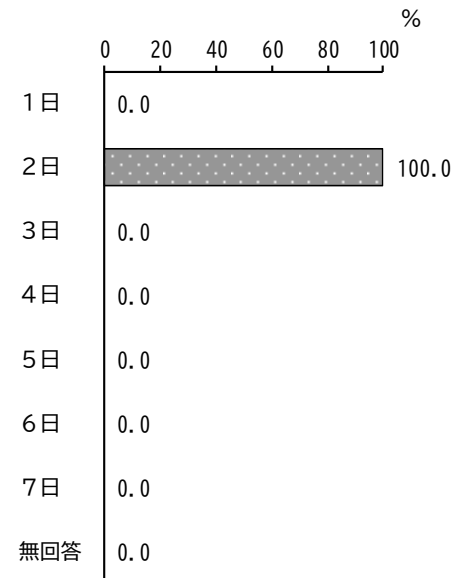
回答者数 = 22



ファミリー・サポート・センター

「2日」が1件となっています。

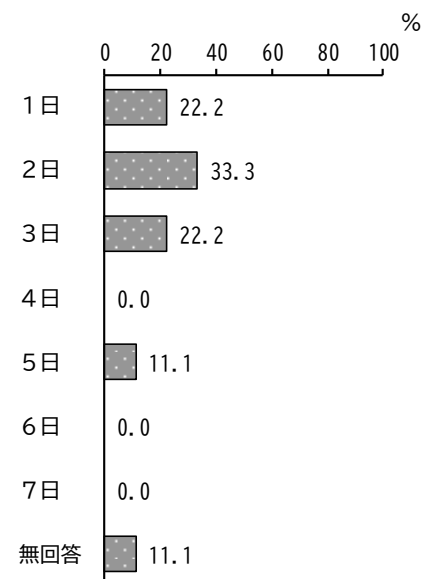
回答者数 = 1



その他（図書館、公園など）

「2日」が3件となっています。「1日」、「3日」が2件となっています。

回答者数 = 9



問 28 問 26 または問 27 で「5. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望はありますか。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に（例）09 時、18 時のように 24 時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

（1）土曜日

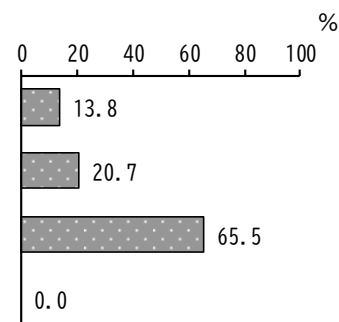
「利用希望はない」の割合が 65.5%と最も高く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が 20.7%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が 13.8%となっています。

回答者数 = 29

低学年（1～3年生）の間は利用したい
高学年（4～6年生）になっても利用したい

利用希望はない

無回答



利用したい時間帯

開始時刻

「8時から」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「9時から」の割合が 40.0%、「10時以降から」の割合が 10.0%となっています。

回答者数 = 10

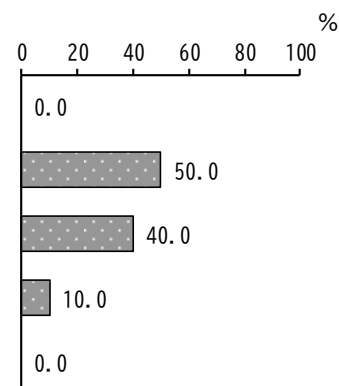
8時以前から

8時から

9時から

10時以降から

無回答



終了時刻

「16時以前まで」の割合が 40.0%と最も高く、次いで「17時まで」、「18時まで」の割合が 30.0%となっています。

回答者数 = 10

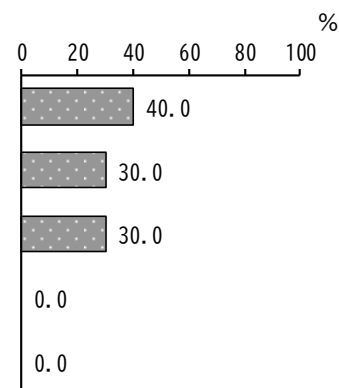
16時以前まで

17時まで

18時まで

19時以降まで

無回答



(2) 日曜・祝日 ※現在、北杜市では行っていません。

「利用希望はない」の割合が 82.8%と最も高くなっています。

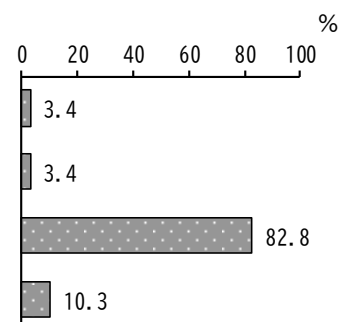
回答者数 = 29

低学年（1～3年生）の間は利用したい

高学年（4～6年生）になっても利用したい

利用希望はない

無回答



利用したい時間帯

開始時刻

「8時から」、「9時から」が1件となっています。

回答者数 = 2

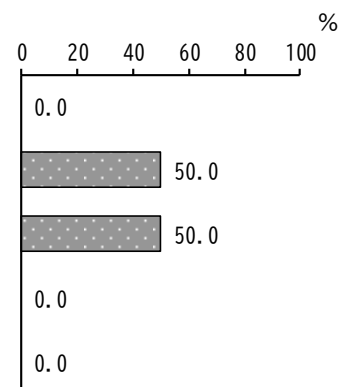
8時以前から

8時から

9時から

10時以降から

無回答



終了時刻

「16 時以前まで」、「18 時まで」が1件となっています。

回答者数 = 2

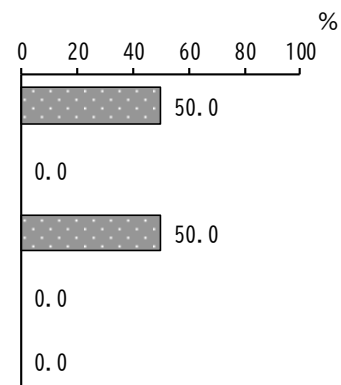
16時以前まで

17時まで

18時まで

19時以降まで

無回答



問 29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に（例）09 時、18 時のように 24 時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。

「高学年（4～6 年生）になっても利用したい」の割合が 40.6%と最も高く、次いで「低学年（1～3 年生）の間は利用したい」、「利用希望はない」の割合が 23.4%となっています。

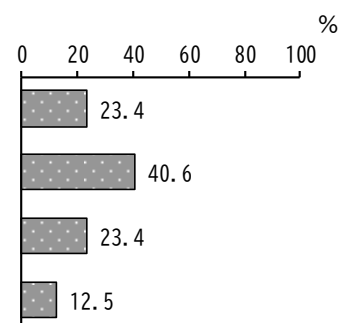
回答者数 = 64

低学年（1～3 年生）の間は利用したい

高学年（4～6 年生）になっても利用したい

利用希望はない

無回答



利用したい時間帯

開始時刻

「8 時から」の割合が 65.9%と最も高く、次いで「9 時から」の割合が 24.4%となっています。

回答者数 = 41

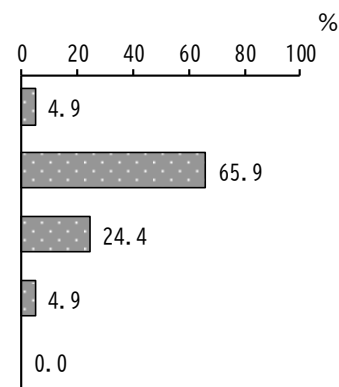
8 時以前から

8 時から

9 時から

10 時以降から

無回答



終了時刻

「17 時まで」の割合が 36.6%と最も高く、次いで「18 時まで」の割合が 31.7%、「16 時以前まで」の割合が 29.3%となっています。

回答者数 = 41

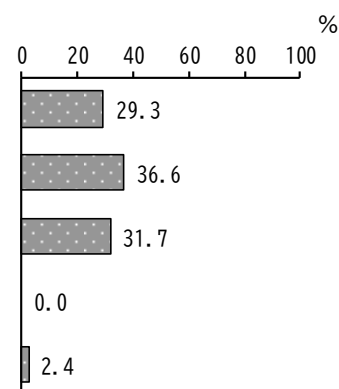
16 時以前まで

17 時まで

18 時まで

19 時以降まで

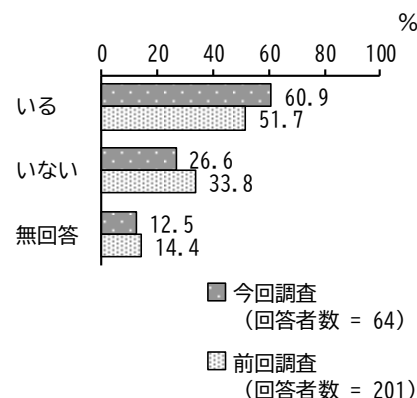
無回答



問 30 小学生のお子さんが対象となる放課後子ども教室（ほくとワクワク教室）についてうかがいます。あなたの世帯の中に、小学生のお子さんがありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「いる」の割合が 60.9%、「いない」の割合が 26.6%となっています。

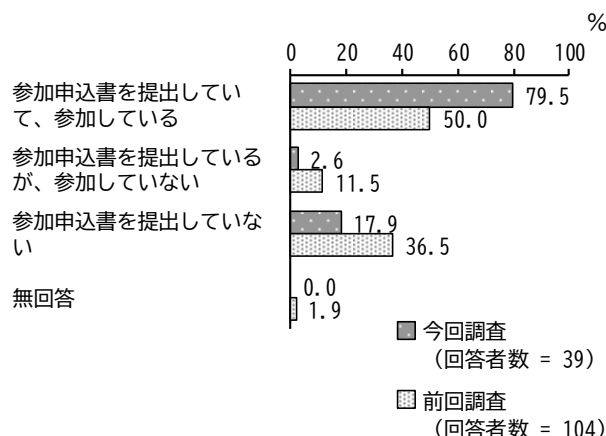
前回調査と比較すると、「いる」の割合が増加しています。一方、「いない」の割合が減少しています。



問 30－（１） 問 30 で「いる」に○をつけた方にうかがいます。放課後子ども教室（ほくとワクワク教室）の今年度の利用状況について当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「参加申込書を提出していて、参加している」の割合が 79.5%と最も高く、次いで「参加申込書を提出していない」の割合が 17.9%となっています。

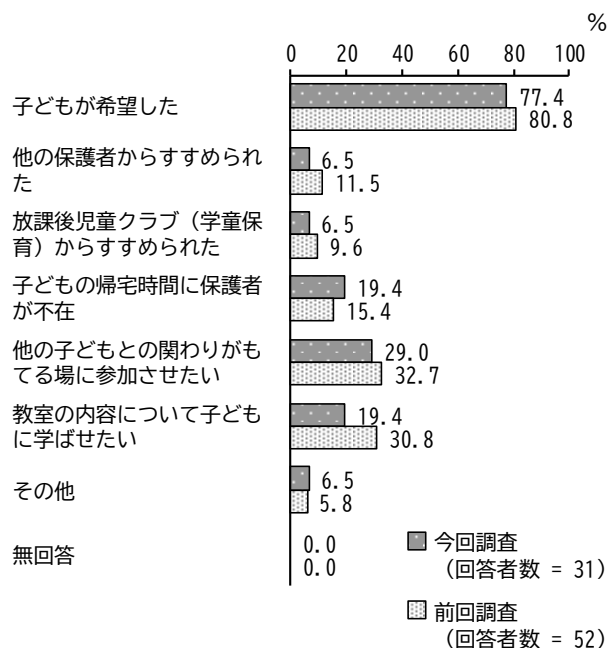
前回調査と比較すると、「参加申込書を提出していて、参加している」の割合が増加しています。一方、「参加申込書を提出しているが、参加していない」「参加申込書を提出していない」の割合が減少しています。



問 30－（２） 問 30－（１）で「１．参加申込書を提出していて、参加している」に○をつけた方にうかがいます。参加させるきっかけについて、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもが希望した」の割合が 77.4%と最も高く、次いで「他の子どもとの関わりがもてる場に参加させたい」の割合が 29.0%、「子どもの帰宅時間に保護者が不在」、「教室の内容について子どもに学ばせたい」の割合が 19.4%となっています。

前回調査と比較すると、「教室の内容について子どもに学ばせたい」の割合が減少しています。



※前回調査では、「放課後児童クラブ（学童保育）からすすめられた」の選択肢は「放課後児童クラブからすすめられた」となっていました。

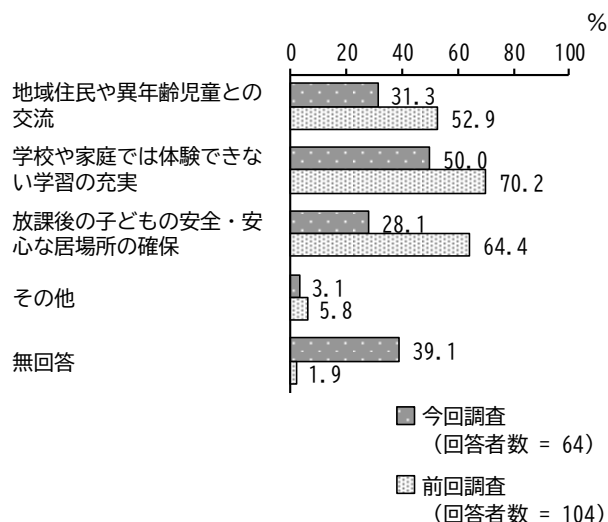
問 30－（３） 問 30－（１）で「２．参加申込書を提出しているが、参加していない」「３．参加申込書を提出していない」に○をつけた方にうかがいます。参加していない理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

有効回答がありませんでした。

問 30－（４） 放課後子ども教室（ほくとワクワク教室）に期待することはどのようなことですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「学校や家庭では体験できない学習の充実」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「地域住民や異年齢児童との交流」の割合が 31.3%、「放課後の子どもの安全・安心な居場所の確保」の割合が 28.1%となっています。

前回調査と比較すると、「地域住民や異年齢児童との交流」「学校や家庭では体験できない学習の充実」「放課後の子どもの安全・安心な居場所の確保」の割合が減少しています。



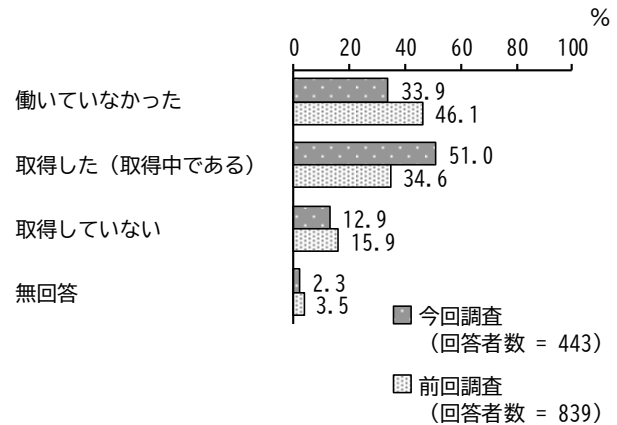
(11) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問 31 宛名のお子さんが生まれたとき、父母のいずれか、または双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由として当てはまる番号すべてを下枠から選んでご記入ください。

母親（いずれかに○）

「取得した（取得中である）」の割合が51.0%と最も高く、次いで「働いていなかった」の割合が33.9%、「取得していない」の割合が12.9%となっています。

前回調査と比較すると、「取得した（取得中である）」の割合が増加しています。一方、「働いていなかった」の割合が減少しています。

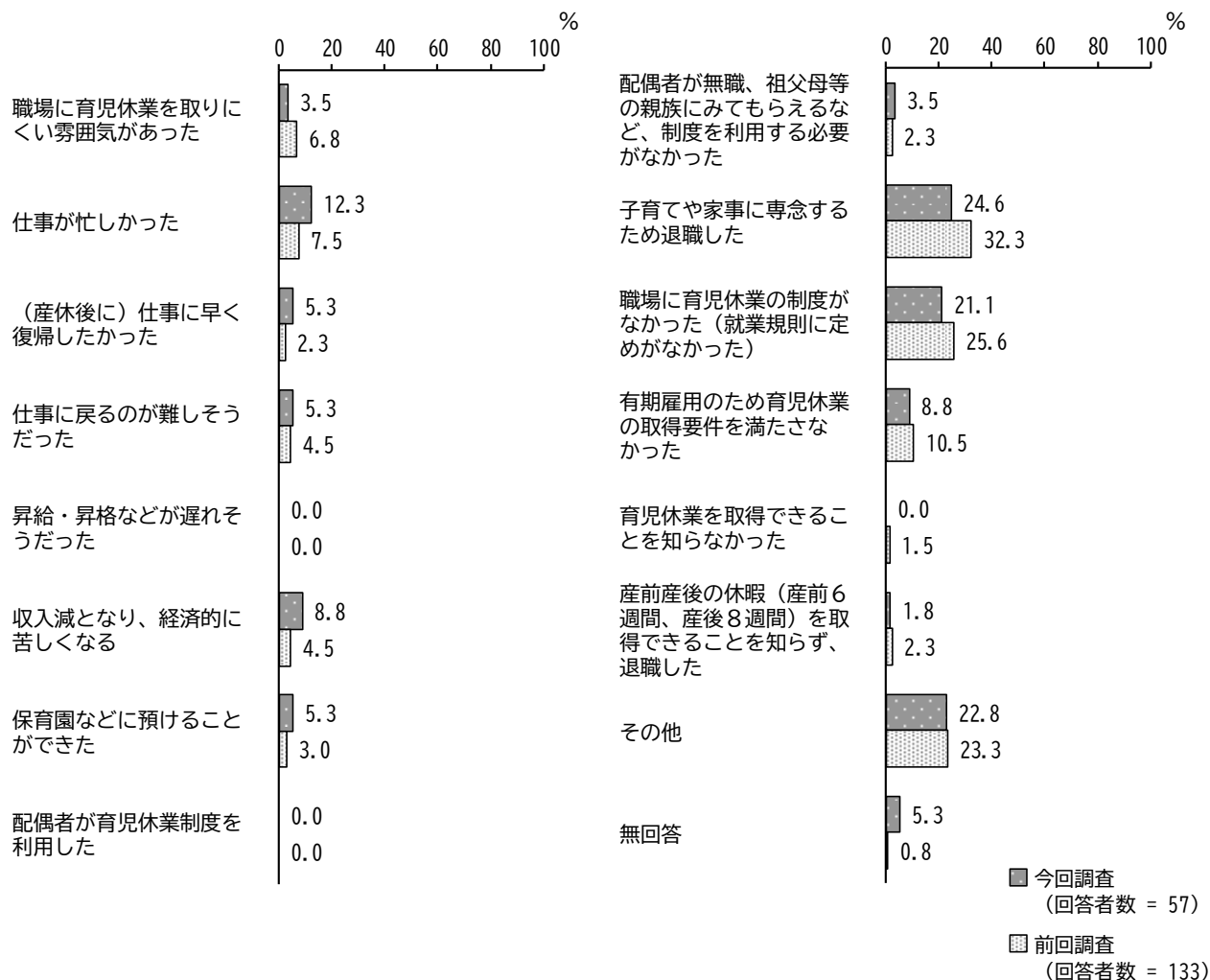


※前回調査では、「取得した（取得中である）」の選択肢は「取得した（取得中）」となっていました。

取得していない理由

「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が24.6%と最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の割合が21.1%、「仕事が忙しかった」の割合が12.3%となっています。

前回調査と比較すると、「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が減少しています。



※前回調査では、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の選択肢は「職場に取りにくい雰囲気があった」、
「(産休後に) 仕事に早く復帰したかった」の選択肢は「仕事に早く復帰したかった」、「保育園などに預けることができた」の選択肢は「保育所(園)などに預けることができた」、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の選択肢は「配偶者が無職など、制度を利用する必要がなかった」、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の選択肢は「職場に育児休業の制度がなかった」、「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった」の選択肢は「有期雇用のため要件を満たさなかった」、「育児休業を取得できなかったことを知らなかった」の選択肢は「知らなかった」、「産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できなかったことを知らず、退職した」の選択肢は「産休制度を知らずに退職した」となっていました。

父親（いずれかに○）

「取得していない」の割合が 75.6%と最も高く、次いで「取得した（取得中である）」の割合が 15.3%となっています。

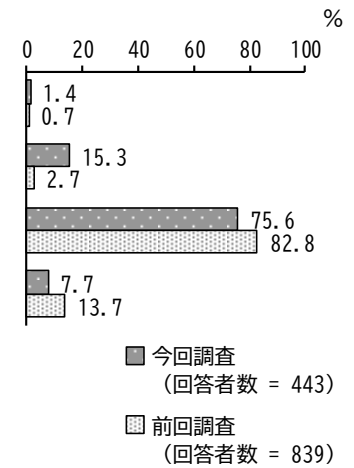
前回調査と比較すると、「取得した（取得中である）」の割合が増加しています。一方、「取得していない」の割合が減少しています。

働いていなかった

取得した（取得中である）

取得していない

無回答

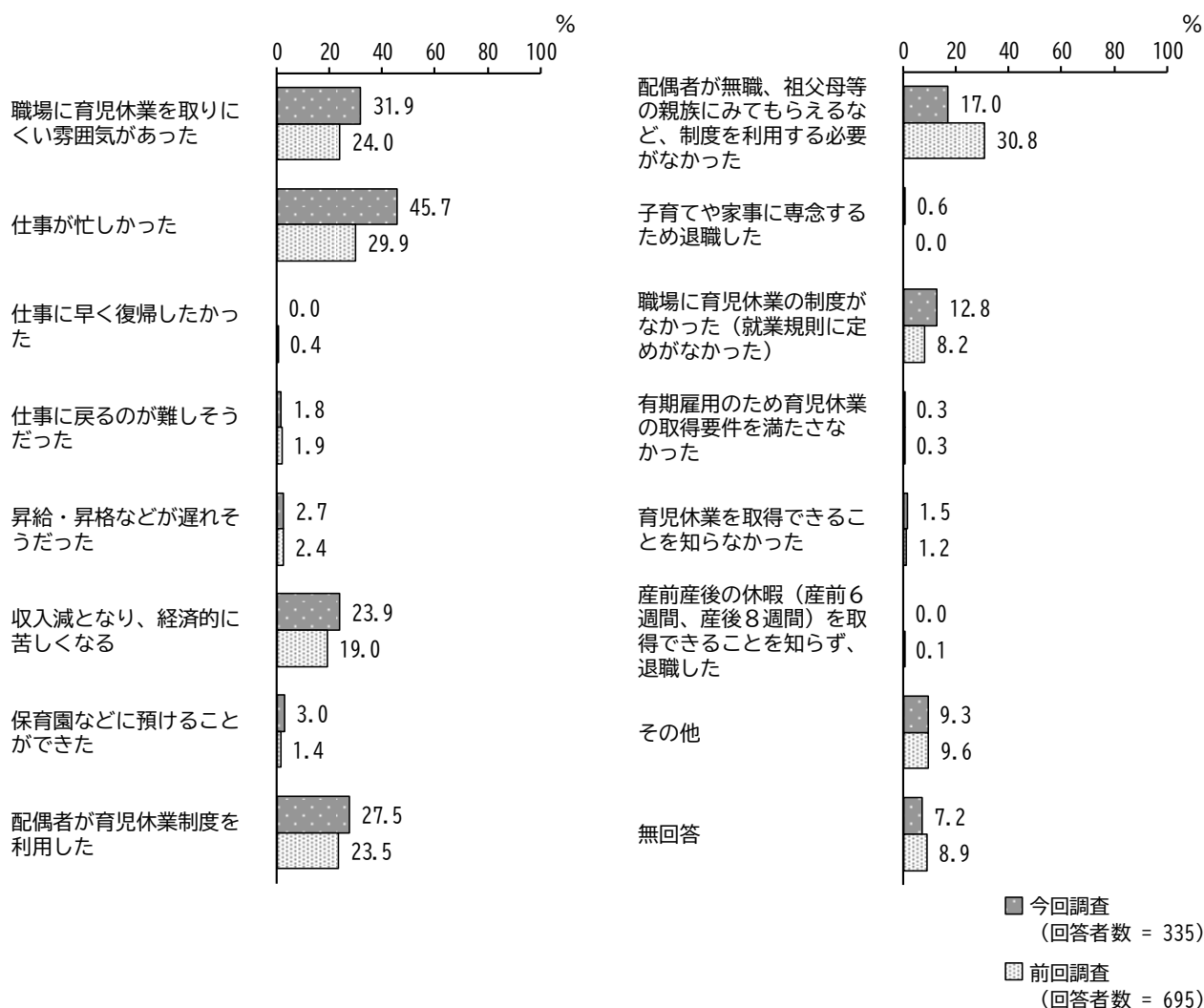


※前回調査では、「取得した（取得中である）」の選択肢は「取得した（取得中）」となっていました。

取得していない理由

「仕事が忙しかった」の割合が45.7%と最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が31.9%、「配偶者が育児休業制度を利用した」の割合が27.5%となっています。

前回調査と比較すると、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「仕事が忙しかった」の割合が増加しています。一方、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が減少しています。

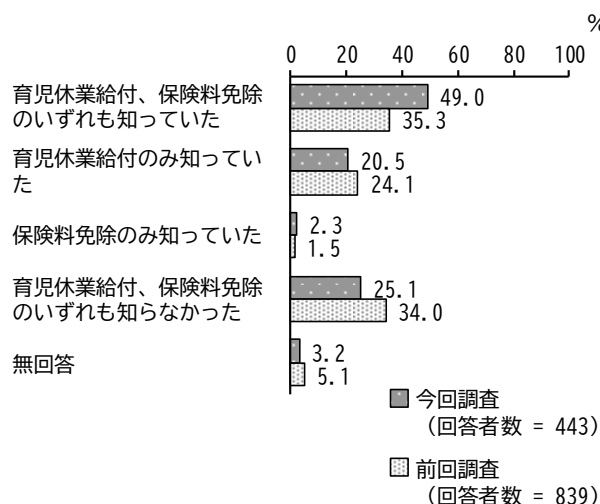


※前回調査では、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の選択肢は「職場に取りにくい雰囲気があった」、「保育園などに預けることができた」の選択肢は「保育所（園）などに預けることができた」、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の選択肢は「配偶者が無職など、制度を利用する必要がなかった」、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の選択肢は「職場に育児休業の制度がなかった」、「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった」の選択肢は「有期雇用のため要件を満たさなかった」、「育児休業を取得できることを知らなかった」の選択肢は「知らなかった」、「産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した」の選択肢は「産休制度を知らずに退職した」となっていました。

問 31－（１） 子どもが原則１歳（保育園における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は２歳）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満３歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合が 49.0%と最も高く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」の割合が 25.1%、「育児休業給付のみ知っていた」の割合が 20.5%となっています。

前回調査と比較すると、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合が増加しています。一方、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」の割合が減少しています。

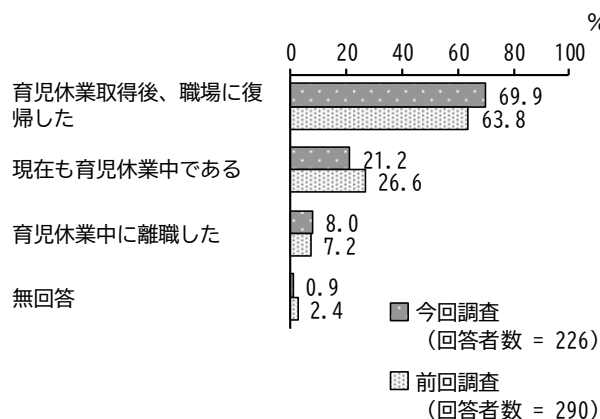


問 31－（２） 問 31 で「２．取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。該当しない方は問 32 へお進み下さい。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

（１）母親

「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が 69.9%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」の割合が 21.2%となっています。

前回調査と比較すると、「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が増加しています。一方、「現在も育児休業中である」の割合が減少しています。

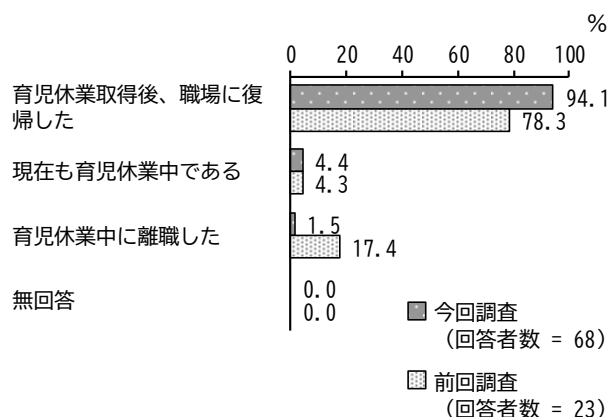


※前回調査では、「育児休業取得後、職場に復帰した」の選択肢は「職場に復帰」、「現在も育児休業中である」の選択肢は「現在も育休中」、「育児休業中に離職した」の選択肢は「育休中に離職」となっていました。

(2) 父親

「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が94.1%と最も高くなっています。

前回調査と比較すると、「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が増加しています。一方、「育児休業中に離職した」の割合が減少しています。



※前回調査では、「育児休業取得後、職場に復帰した」の選択肢は「職場に復帰」、「現在も育児休業中である」の選択肢は「現在も育休中」、「育児休業中に離職した」の選択肢は「育休中に離職」となっていました。

問 31－(2) で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

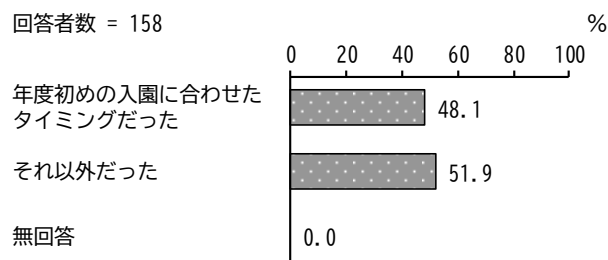
母親・父親ともに該当しない方は、問 31－(9) へお進みください。

母親・父親のいずれかが該当する場合は、該当する方のみお答えください。

問 31－(3) 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。

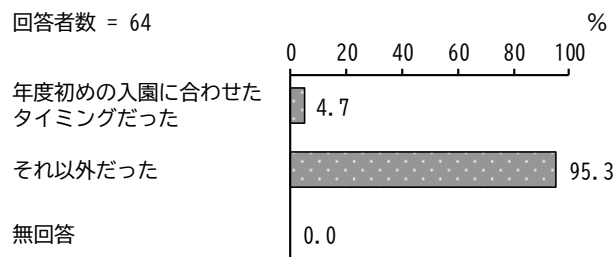
(1) 母親

「年度初めの入園に合わせたタイミングだった」の割合が48.1%、「それ以外だった」の割合が51.9%となっています。



(2) 父親

「年度初めの入園に合わせたタイミングだった」の割合が4.7%、「それ以外だった」の割合が95.3%となっています。



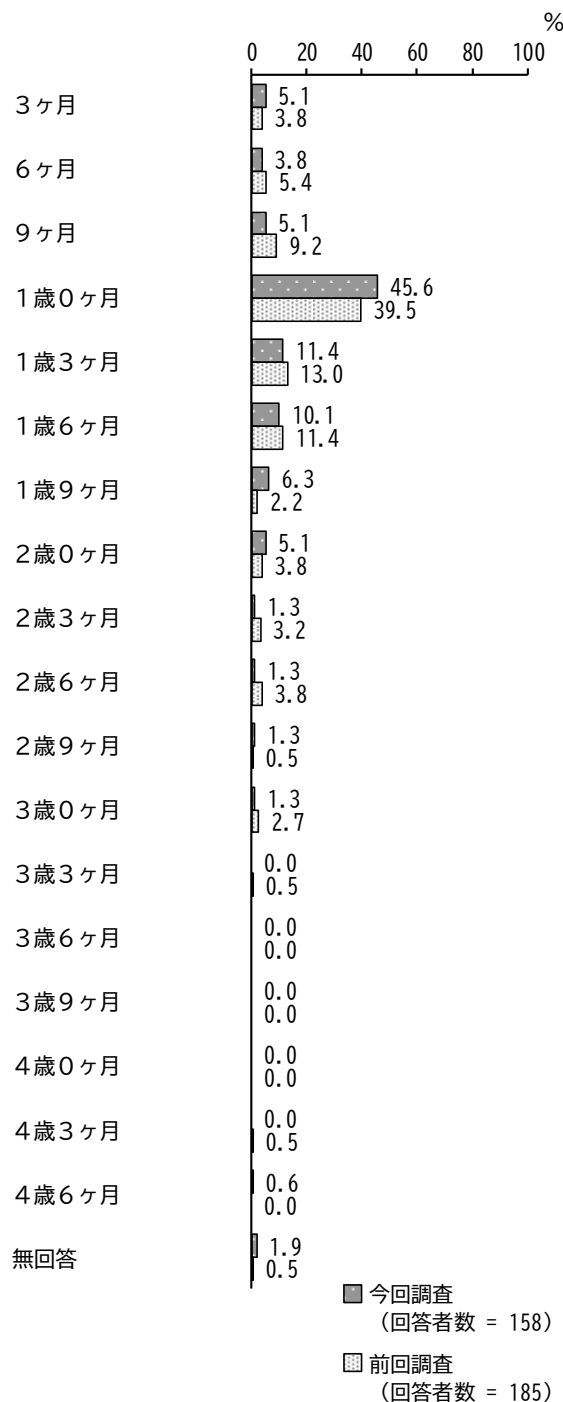
問 31－（４） 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

（１）母親

実際の取得期間

「１歳０ヶ月」の割合が45.6%と最も高く、次いで「１歳３ヶ月」の割合が11.4%、「１歳６ヶ月」の割合が10.1%となっています。

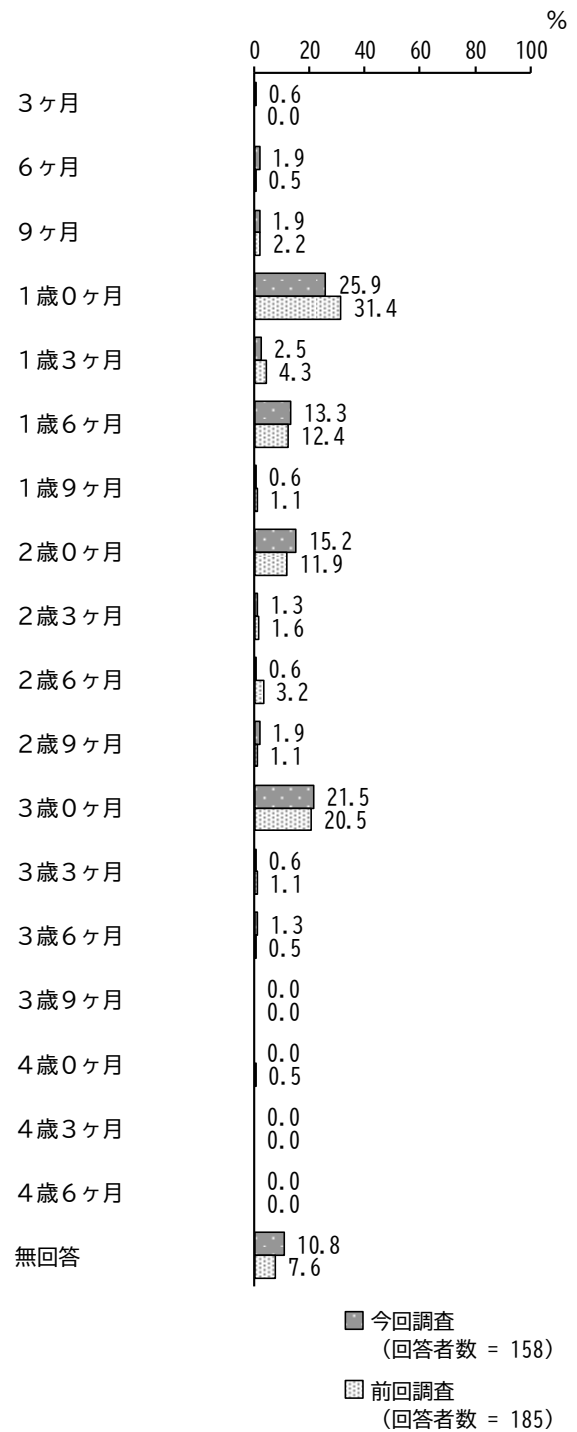
前回調査と比較すると、「１歳０ヶ月」の割合が増加しています。



希望

「1歳0ヶ月」の割合が25.9%と最も高く、次いで「3歳0ヶ月」の割合が21.5%、「2歳0ヶ月」の割合が15.2%となっています。

前回調査と比較すると、「1歳0ヶ月」の割合が減少しています。

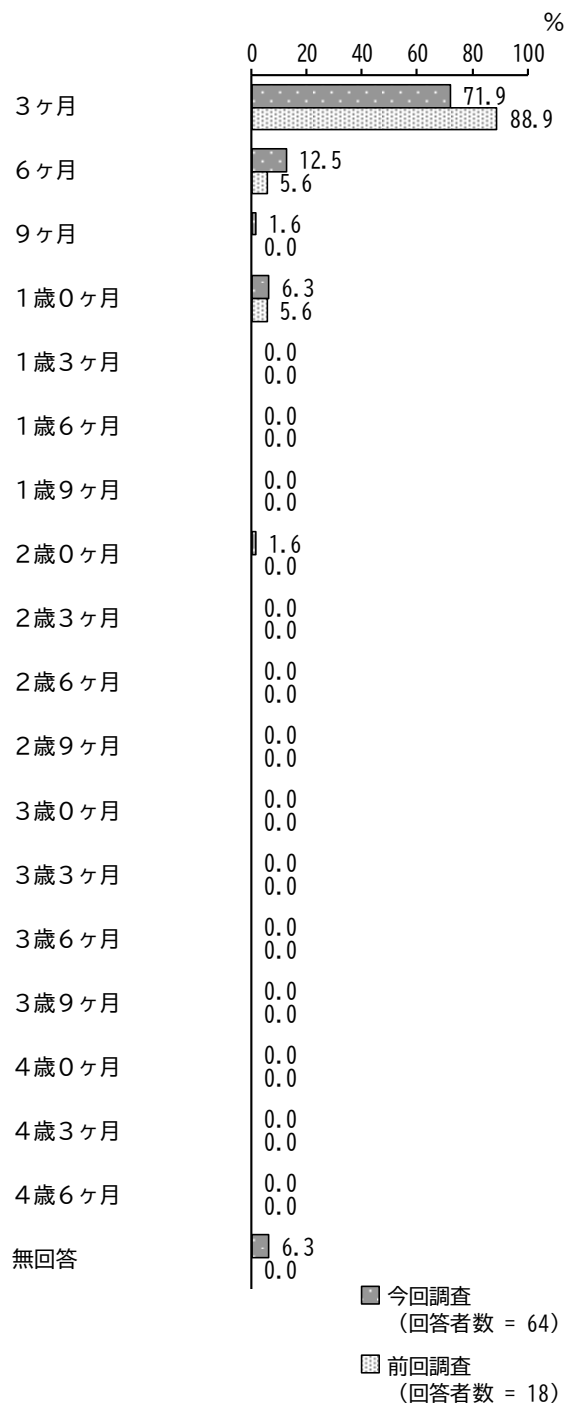


(2) 父親

実際の取得期間

「3ヶ月」の割合が71.9%と最も高く、次いで「6ヶ月」の割合が12.5%となっています。

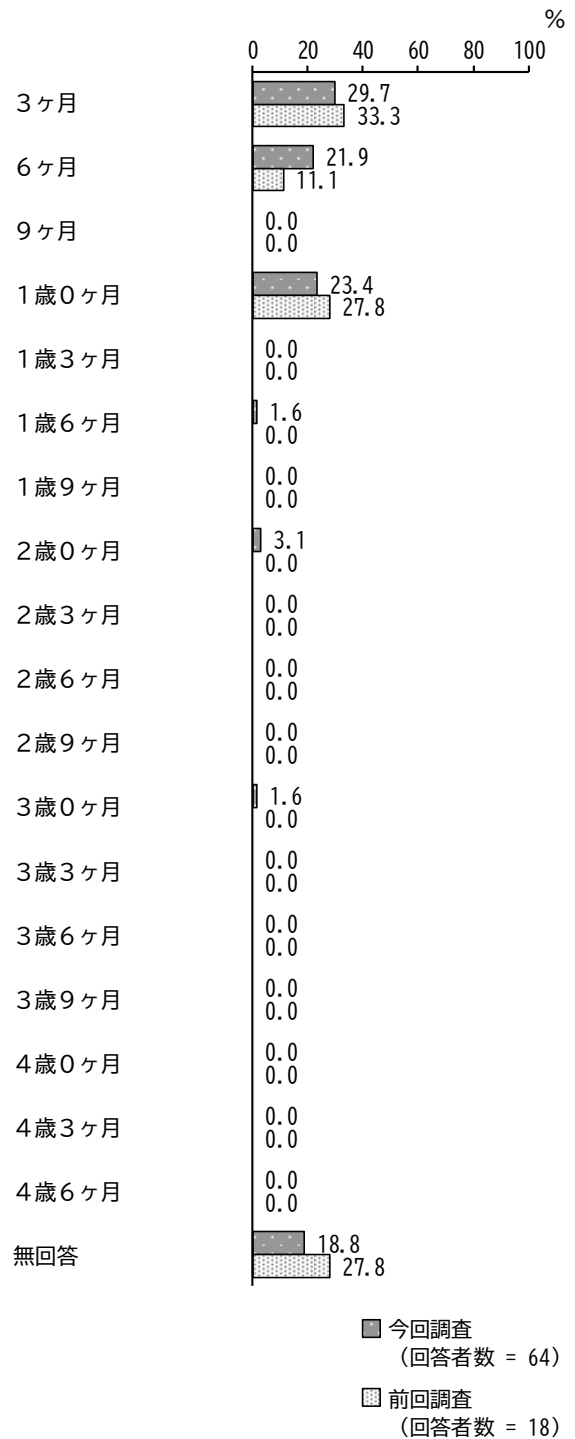
前回調査と比較すると、「6ヶ月」の割合が増加しています。一方、「3ヶ月」の割合が減少しています。



希望

「3ヶ月」の割合が29.7%と最も高く、次いで「1歳0ヶ月」の割合が23.4%、「6ヶ月」の割合が21.9%となっています。

前回調査と比較すると、「6ヶ月」の割合が増加しています。

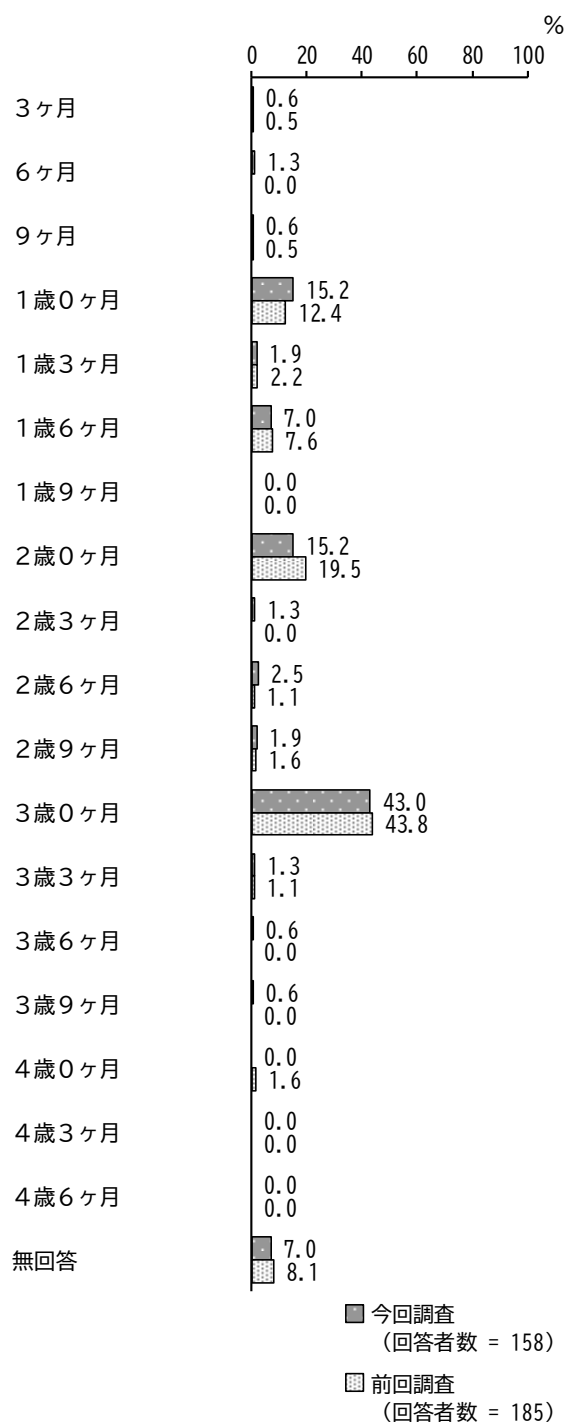


問 31－（５） お勤め先に、育児のために３歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

（１）母親

「３歳０ヶ月」の割合が 43.0%と最も高く、次いで「１歳０ヶ月」、「２歳０ヶ月」の割合が 15.2%となっています。

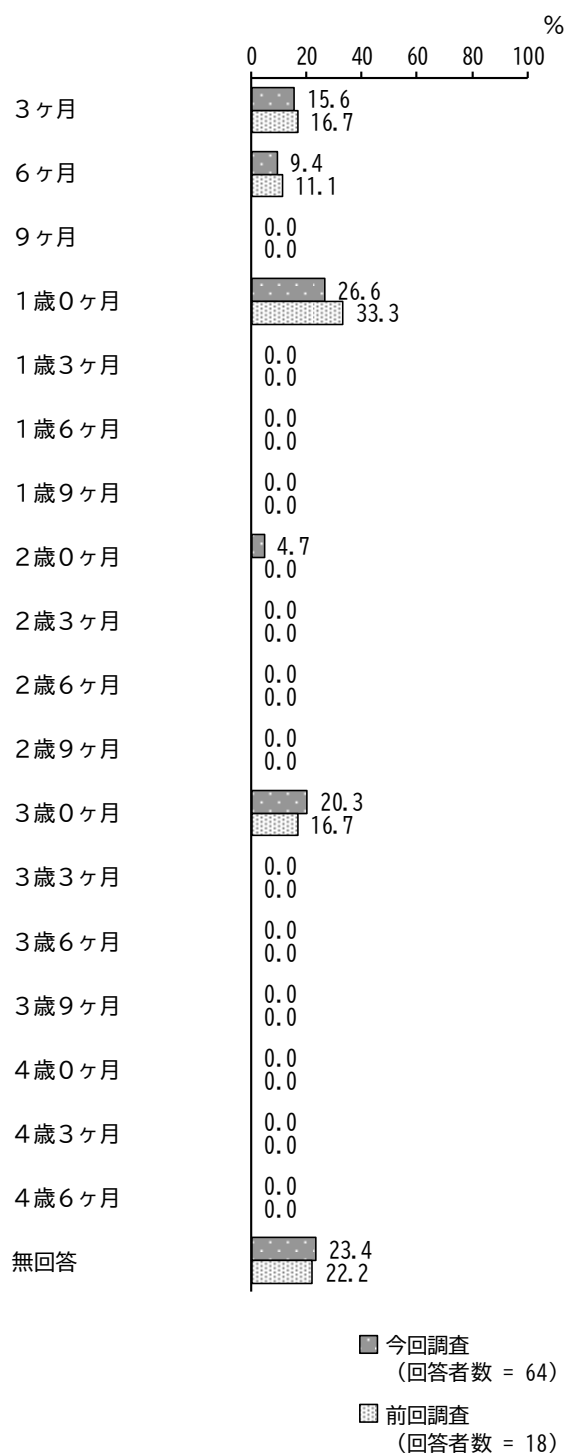
前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(2) 父親

「1歳0ヶ月」の割合が26.6%と最も高く、次いで「3歳0ヶ月」の割合が20.3%、「3ヶ月」の割合が15.6%となっています。

前回調査と比較すると、「1歳0ヶ月」の割合が減少しています。



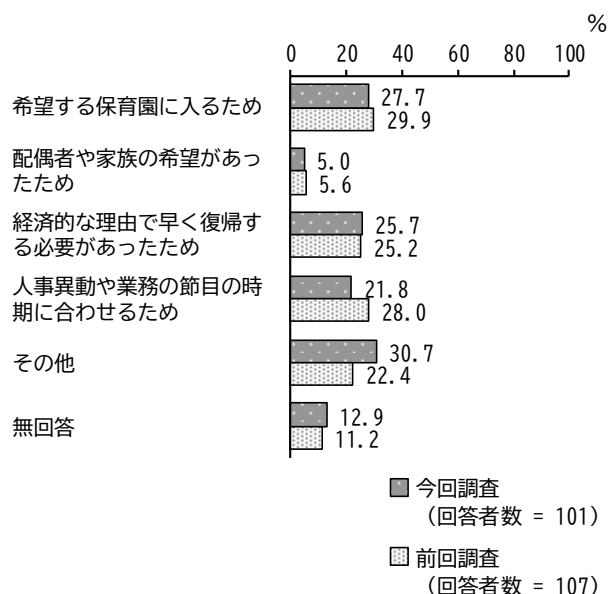
問 31－（６） 問 31－（４）で実際の復帰と希望が異なる方に希望の時期に職場復帰しなかった（できなかった）理由についてうかがいます。

（１）「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

「希望する保育園に入るため」の割合が 27.7%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」の割合が 25.7%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が 21.8%となっています。

前回調査と比較すると、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が減少しています。

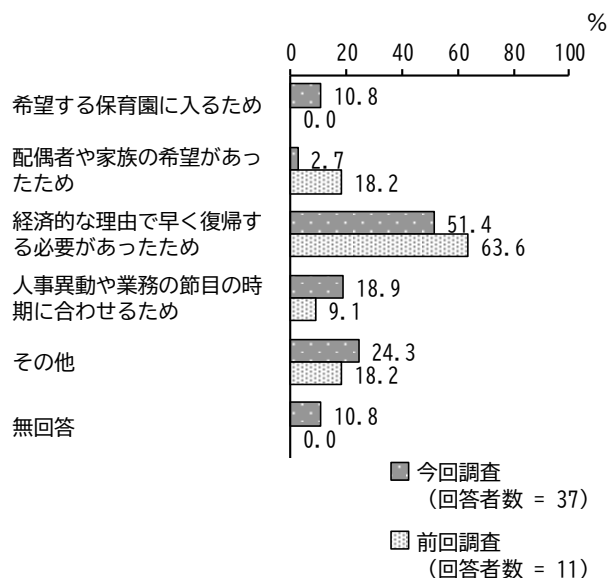


※前回調査では、「希望する保育園に入るため」の選択肢は「希望する保育所（園）に入るため」となっていました。

②父親

「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」の割合が 51.4%と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が 18.9%、「希望する保育園に入るため」の割合が 10.8%となっています。

前回調査と比較すると、「希望する保育園に入るため」「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が増加しています。一方、「配偶者や家族の希望があったため」「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」の割合が減少しています。

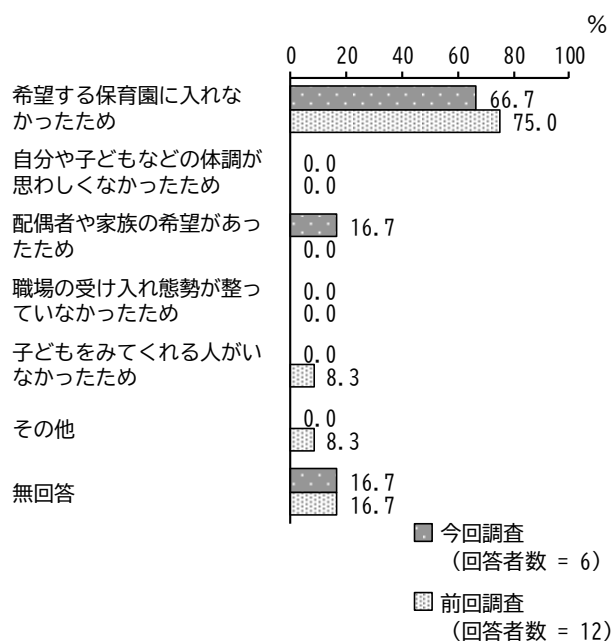


※前回調査では、「希望する保育園に入るため」の選択肢は「希望する保育所（園）に入るため」となっていました。

(2)「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

「希望する保育園に入れなかったため」が4件
 となっています。「配偶者や家族の希望があった
 ため」が1件となっています。



※前回調査では、「希望する保育園に入れなかったため」の選択肢は「希望する保育所（園）に入れなかったため」となっていました。

②父親

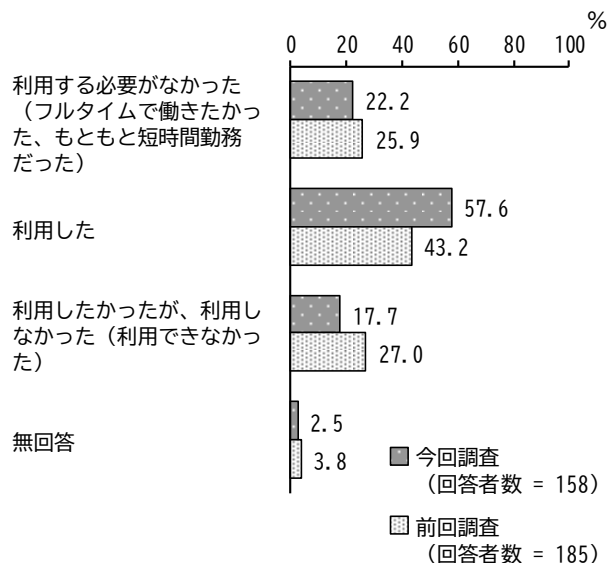
有効回答がありませんでした。

問 31－（７） 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当
てはまる番号 1 つに○をつけてください。

（１）母親

「利用した」の割合が 57.6%と最も高く、次いで「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」の割合が 22.2%、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」の割合が 17.7%となっています。

前回調査と比較すると、「利用した」の割合が増加しています。一方、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」の割合が減少しています。

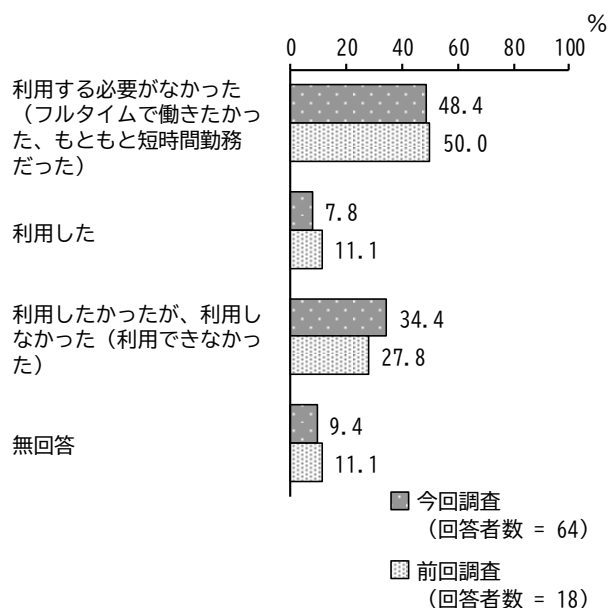


※前回調査では、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」の選択肢は「利用する必要がなかった」、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」の選択肢は「利用したかったが、利用しなかった」となっていました。

（２）父親

「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」の割合が 48.4%と最も高く、次いで「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」の割合が 34.4%となっています。

前回調査と比較すると、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」の割合が増加しています。



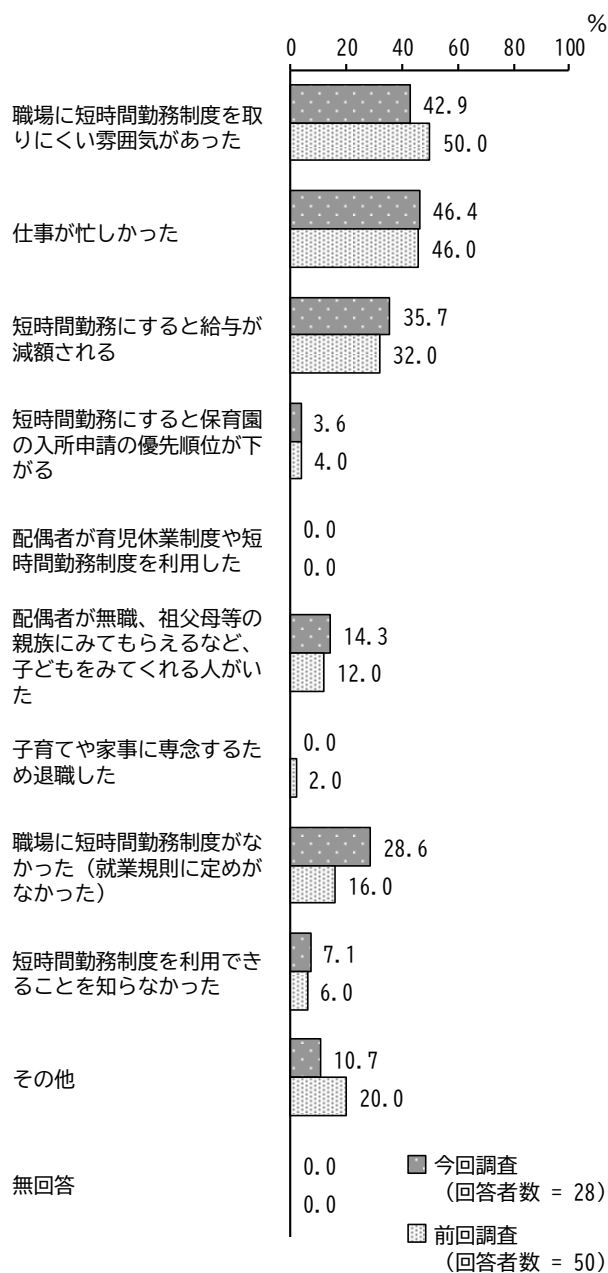
※前回調査では、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」の選択肢は「利用する必要がなかった」、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」の選択肢は「利用したかったが、利用しなかった」となっていました。

問 31－（８） 問 31－（７）で「３．利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

（１）母親

「仕事が忙しかった」の割合が 46.4%と最も高く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が 42.9%、「短時間勤務にすると給与が減額される」の割合が 35.7%となっています。

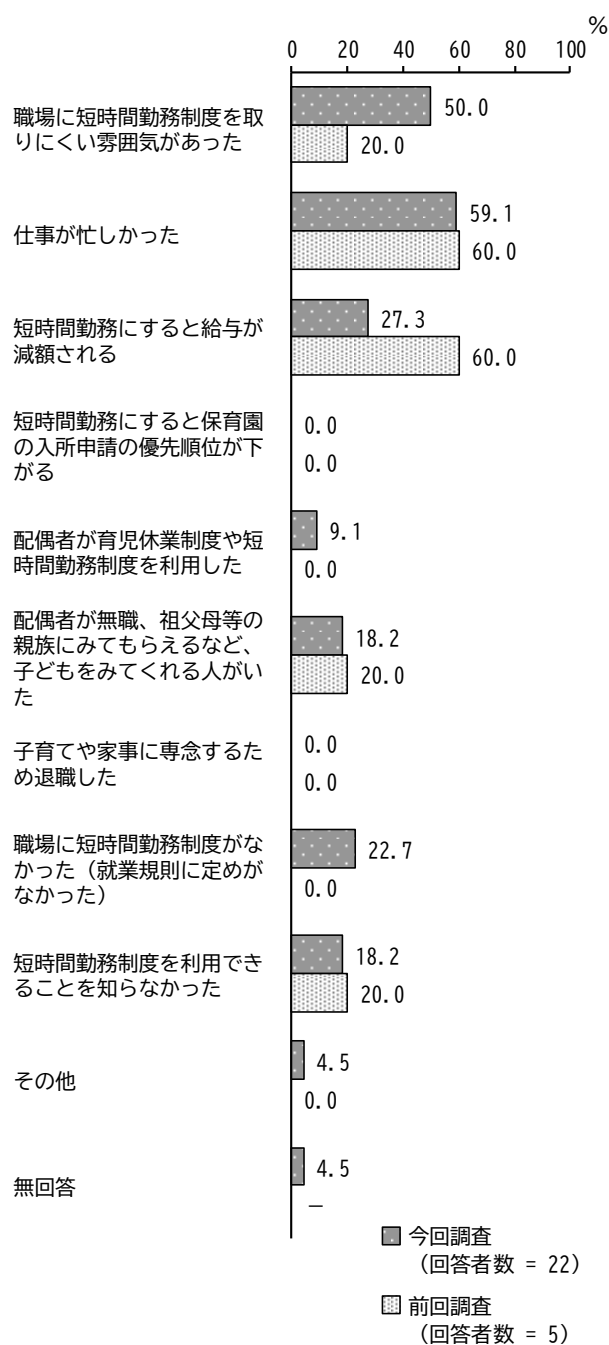
前回調査と比較すると、「職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の割合が増加しています。一方、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が減少しています。



※前回調査では、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の選択肢は「職場に取りにくい雰囲気があった」、「短時間勤務にすると給与が減額される」の選択肢は「給与が減額される」、「短時間勤務にすると保育園の入所申請の優先順位が下がる」の選択肢は「保育所（園）の入所申請の優先順位が下がる」、「配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した」の選択肢は「配偶者が育休や時短勤務を利用した」、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた」の選択肢は「子どもを見てくれる人がいた」、「職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の選択肢は「時短勤務制度がなかった」、「短時間勤務制度を利用できることを知らなかった」の選択肢は「知らなかった」となっていました。

(2) 父親

「仕事が忙しかった」の割合が 59.1%と最も高く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が 50.0%、「短時間勤務にすると給与が減額される」の割合が 27.3%となっています。



※前回調査では、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の選択肢は「職場に取りにくい雰囲気があった」、「短時間勤務にすると給与が減額される」の選択肢は「給与が減額される」、「短時間勤務にすると保育園の入所申請の優先順位が下がる」の選択肢は「保育所（園）の入所申請の優先順位が下がる」、「配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した」の選択肢は「配偶者が育休や時短勤務を利用した」、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた」の選択肢は「子どもを見てくれる人がいた」、「職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の選択肢は「時短勤務制度がなかった」、「短時間勤務制度を利用できなかったことを知らなかった」の選択肢は「知らなかった」となっていました。

※前回調査では、「無回答」の記載はありませんでした。

問 31－（9） 問 31－（2）で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。母親も父親も該当しない方は問 32 へお進み下さい。宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

（1）母親

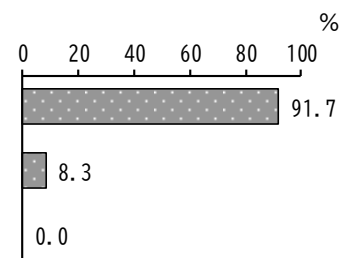
「1歳になるまで育児休業を取得したい」の割合が91.7%、「1歳になる前に復帰したい」の割合が8.3%となっています。

回答者数 = 48

1歳になるまで育児休業を取得したい

1歳になる前に復帰したい

無回答



（2）父親

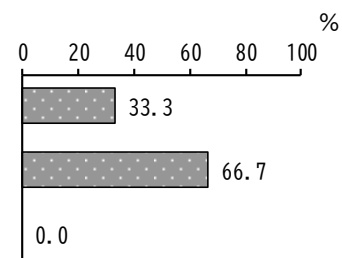
「1歳になるまで育児休業を取得したい」が1件、「1歳になる前に復帰したい」が2件となっています。

回答者数 = 3

1歳になるまで育児休業を取得したい

1歳になる前に復帰したい

無回答

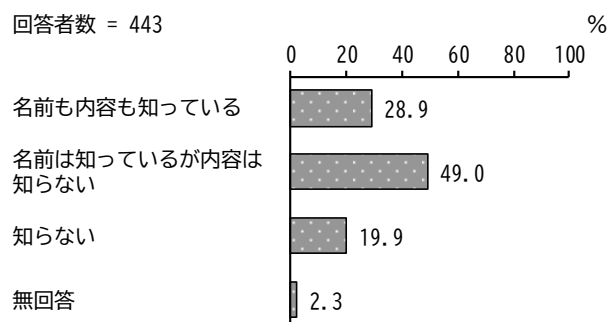


(12) こどもの権利について

問 32 あなたは、「こどもの権利」という言葉を知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「名前は知っているが内容は知らない」の割合が49.0%と最も高く、次いで「名前も内容も知っている」の割合が28.9%、「知らない」の割合が19.9%となっています。

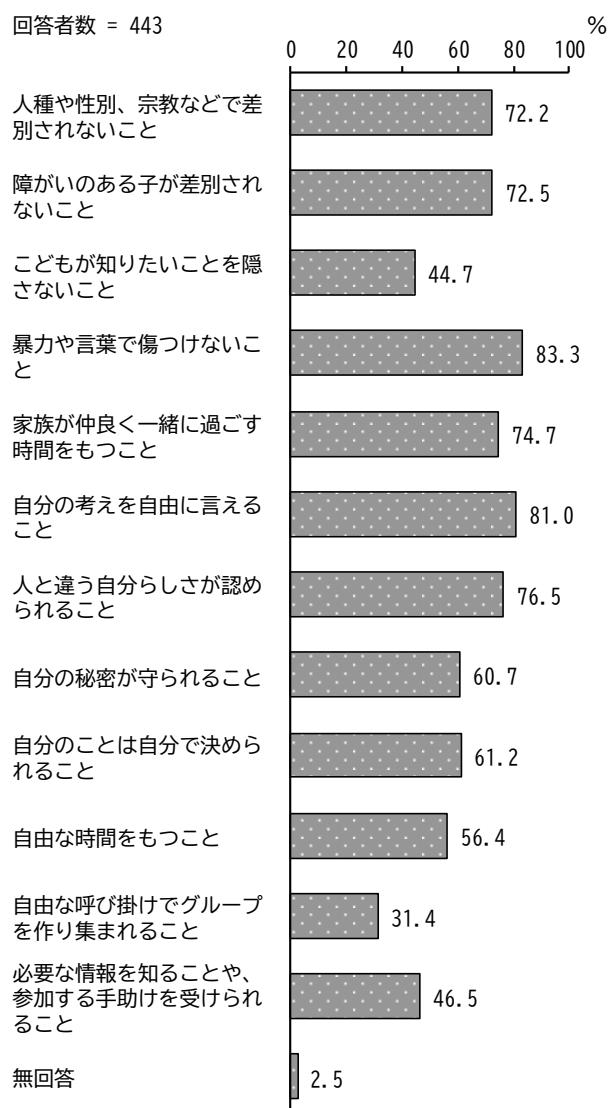
回答者数 = 443



問 33 こどもの権利の中で特に大切だと思うことはどれですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「暴力や言葉で傷つけないこと」の割合が83.3%と最も高く、次いで「自分の考えを自由に言えること」の割合が81.0%、「人と違う自分らしさが認められること」の割合が76.5%となっています。

回答者数 = 443



問 34 あなたは、子育てをしていて、子どもからの意見や要望を聞き、それらを取り入れるように意識をしたことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「常にしている」の割合が53.3%と最も高く、次いで「ときどきしている」の割合が41.8%となっています。

回答者数 = 443

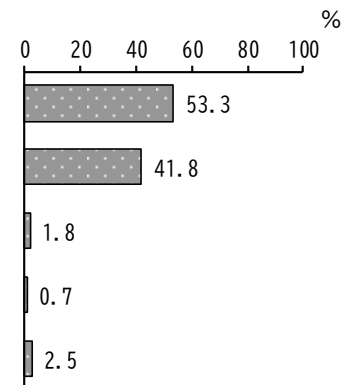
常にしている

ときどきしている

あまりしていない

まったくしたことがない

無回答



問 35 あなたは、以下のことについてどのように思いますか。それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

こどもは権利の主体である

「1 そう思う」の割合が67.7%と最も高く、次いで「2」の割合が29.8%となっています。

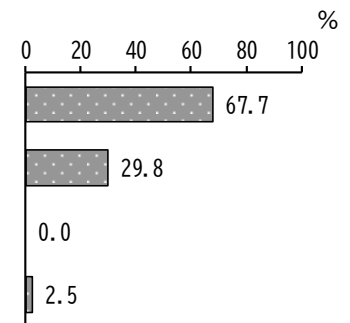
回答者数 = 443

1 そう思う

2

3 そう思わない

無回答



あなたの周りには、こどもや若者の遊びや体験活動の機会や場が十分にある

「2」の割合が43.1%と最も高く、次いで「1 そう思う」の割合が30.2%、「3 そう思わない」の割合が24.8%となっています。

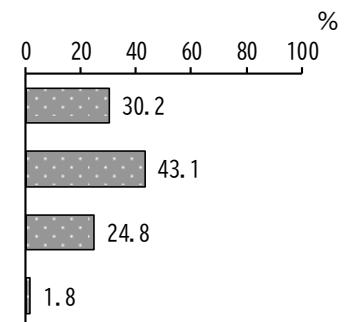
回答者数 = 443

1 そう思う

2

3 そう思わない

無回答



障害のあるこども・若者、発達に特性のあるこども・若者の地域社会への参加・包容（インクルージョン）が推進されている

「2」の割合が59.1%と最も高く、次いで「3 そう思わない」の割合が27.8%、「1 そう思う」の割合が10.4%となっています。

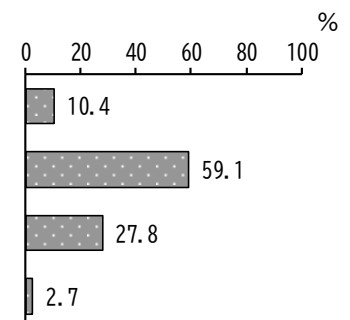
回答者数 = 443

1 そう思う

2

3 そう思わない

無回答



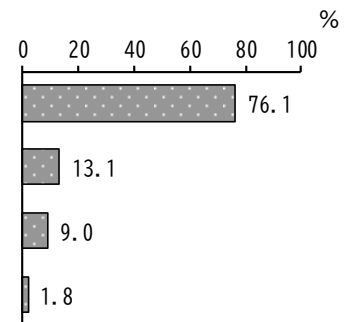
(13) ヤングケアラーについて

問 36 あなたは、「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「聞いたことがあり、内容も知っている」の割合が 76.1%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、よく知らない」の割合が 13.1%となっています。

回答者数 = 443

聞いたことがあり、内容も知っている
聞いたことはあるが、よく知らない
聞いたことはない
無回答

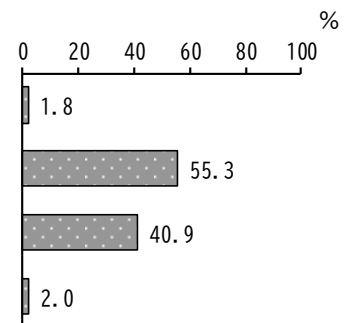


問 37 あなたの身近に、ヤングケアラーと思われる子どもがいる家庭はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「ない」の割合が 55.3%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 40.9%となっています。

回答者数 = 443

ある
ない
わからない
無回答

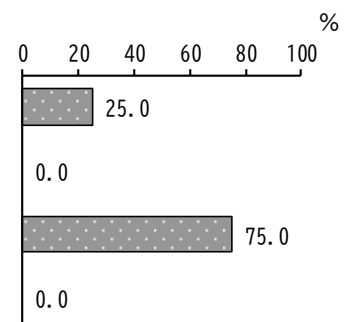


問 37- (1) 問 37 で「1. ある」と回答した方にうかがいます。あなたはその家庭に対し、どのようなことをしましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「何もしなかった」が 6 件となっています。「相談にのった」が 2 件となっています。

回答者数 = 8

相談にのった
市の窓口や相談機関等に相談した
何もしなかった
無回答



問 37- (2) 問 37- (1) で「2. 市の窓口や相談機関等に相談した」と回答した方にうかがいます。その相談先はどこですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

有効回答がありませんでした。

(14) 北杜市の子育て関連の取り組み全般について

問 38 北杜市における子育ての環境や支援への満足度・楽しさ・大変さ・子育てしやすさについて、それぞれ当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

満足度

「2」の割合が 34.1%と最も高く、次いで「3」の割合が 31.4%、「1 満足度が高い」の割合が 13.5%となっています。

回答者数 = 443

1 満足度が高い

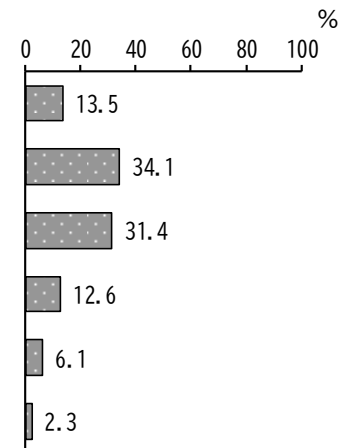
2

3

4

5 満足度が低い

無回答



子育ての楽しさ

「2」の割合が 39.1%と最も高く、次いで「1 子育てが楽しい」の割合が 28.7%、「3」の割合が 24.6%となっています。

回答者数 = 443

1 子育てが楽しい

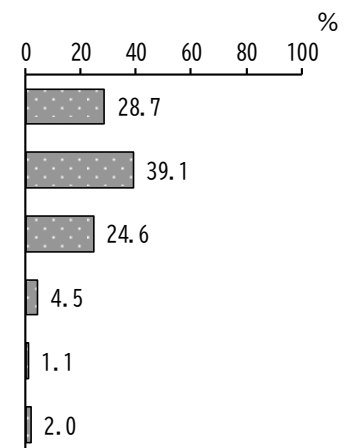
2

3

4

5 子育てが楽しくない

無回答



子育ての大変さ

「3」の割合が 32.7%と最も高く、次いで「4」の割合が 29.1%、「2」の割合が 17.8%となっています。

回答者数 = 443

1 子育てが大変と感じない

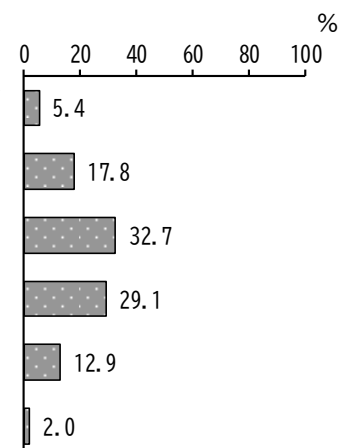
2

3

4

5 子育てが大変と感じる

無回答

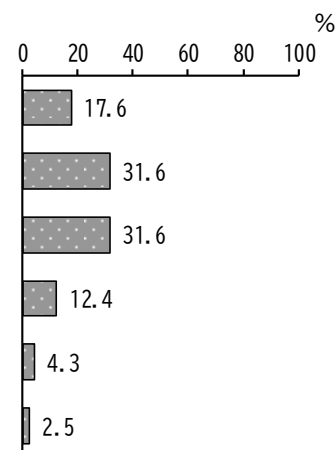


子育てのしやすさ

「2」、「3」の割合が31.6%と最も高く、次いで「1 子育てしやすい」の割合が17.6%となっています。

回答者数 = 443

- 1 子育てしやすい
- 2
- 3
- 4
- 5 子育てしにくい
- 無回答



問 39 市の子育て環境や子育て支援事業に対して、あなたはどの程度満足を感じていますか。次の①～⑪の項目についてそれぞれ評価し、あなたのお考えに最も近いものを1つずつ選び、番号を○印で囲んでください。

『③保育料第2子以降無料化制度』で「非常に満足」の割合が高くなっています。一方、『⑪子育て環境全般』で「不満」の割合が高くなっています。

- 非常に満足
- 満足
- 不満
- 非常に不満
- 利用したことがない
- 無回答

回答者数 = 443

①子育て支援センター

②つどいの広場

③保育料第2子以降無料化制度

④市立保育園

⑤認定こども園

⑥病児・病後児保育

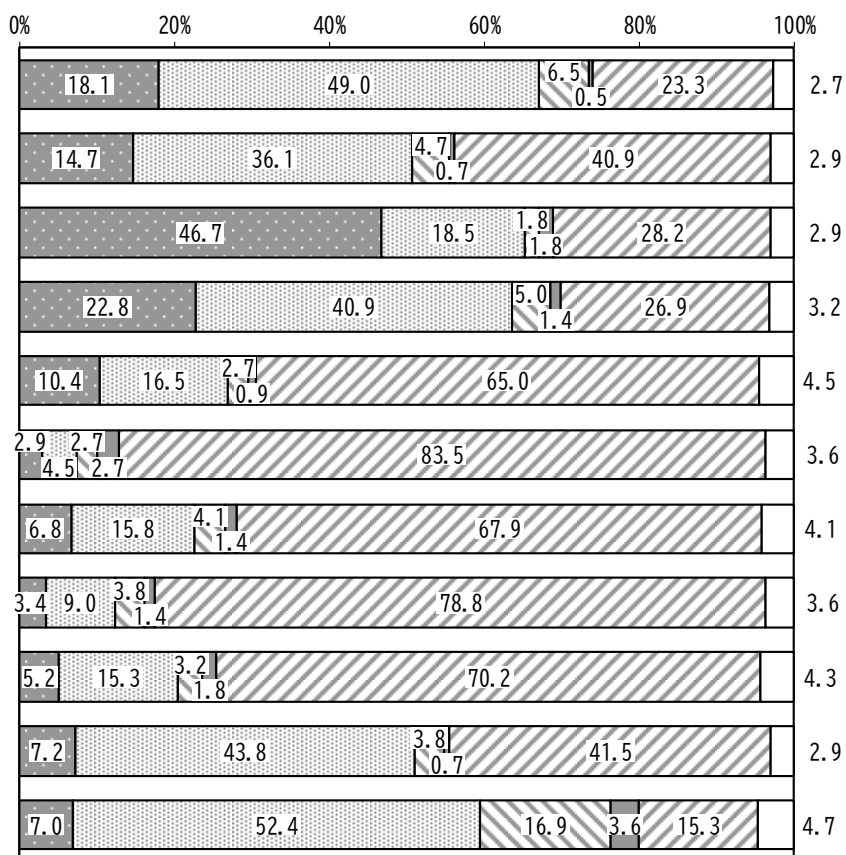
⑦放課後児童クラブ（学童保育）

⑧ファミリー・サポート・センター

⑨児童館

⑩子育て情報サイト「やまねっと」

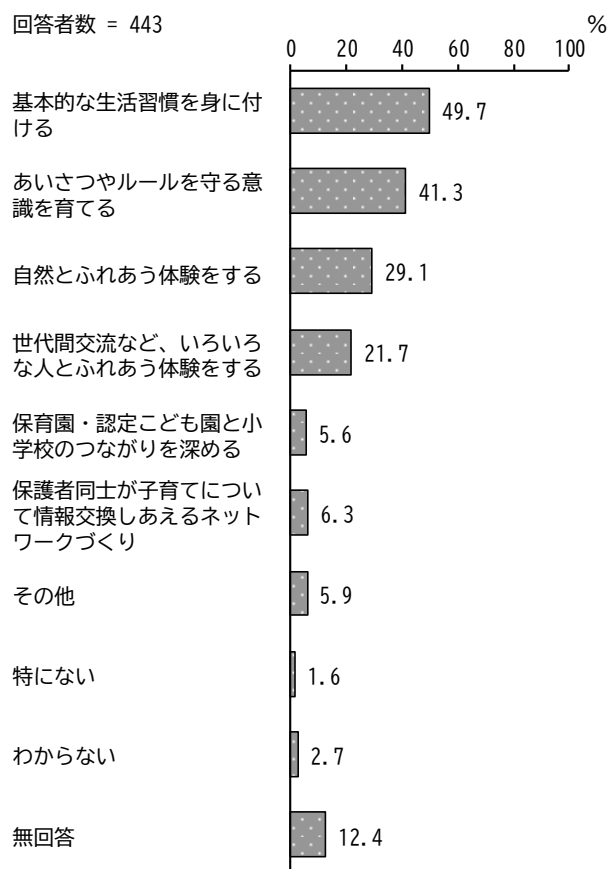
⑪子育て環境全般



問 40 あなたは、北杜市の保育園・認定こども園の保育内容の充実のためにどのような取組が必要だと思いますか。主なもの2つに○をつけてください。

「基本的な生活習慣を身に付ける」の割合が49.7%と最も高く、次いで「あいさつやルールを守る意識を育てる」の割合が41.3%、「自然とふれあう体験をする」の割合が29.1%となっています。

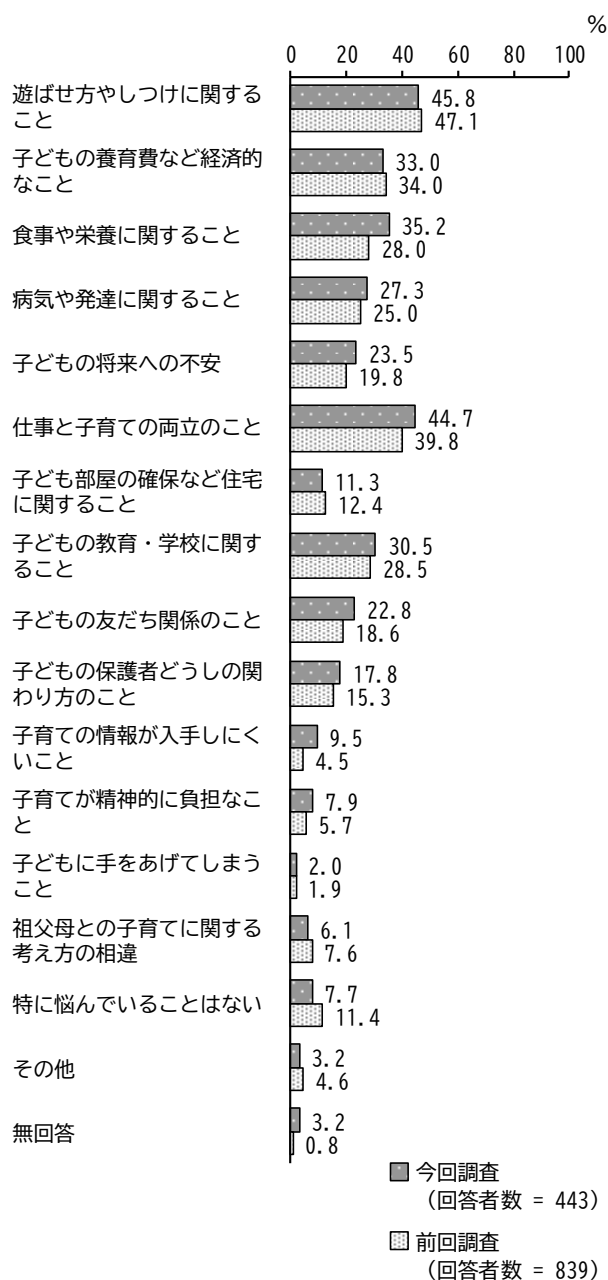
回答者数 = 443



問 41 お子さんの子育てに関して、悩んでいるのはどのようなことですか。当てはまる理由すべてに○をつけてください。

「遊ばせ方やしつけに関すること」の割合が45.8%と最も高く、次いで「仕事と子育ての両立のこと」の割合が44.7%、「食事や栄養に関すること」の割合が35.2%となっています。

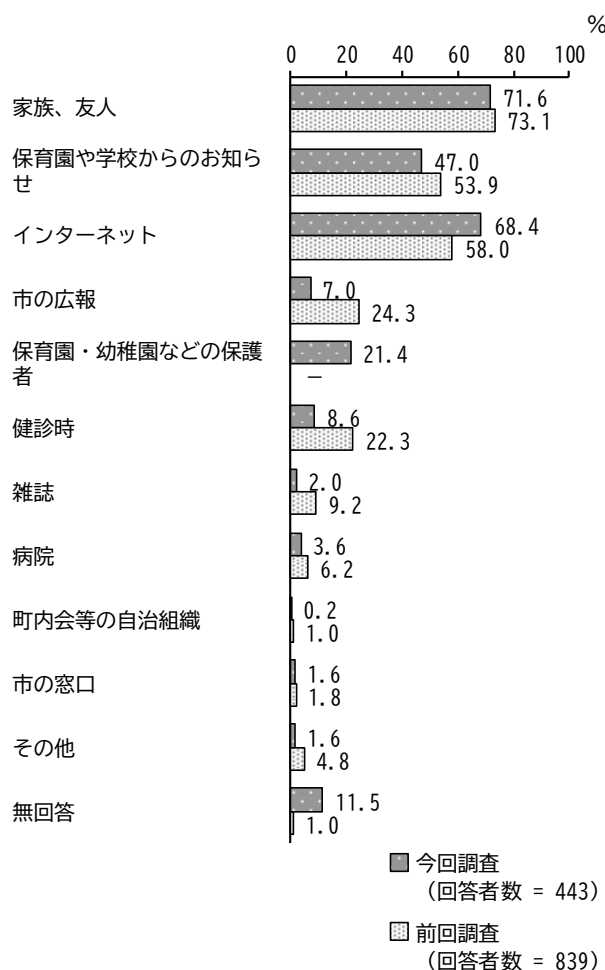
前回調査と比較すると、「食事や栄養に関すること」の割合が増加しています。



問 42 あなたは子育てに関する情報を主にどのように入手していますか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

「家族、友人」の割合が71.6%と最も高く、次いで「インターネット」の割合が68.4%、「保育園や学校からのお知らせ」の割合が47.0%となっています。

前回調査と比較すると、「インターネット」の割合が増加しています。一方、「保育園や学校からのお知らせ」「市の広報」「健診時」「雑誌」の割合が減少しています。



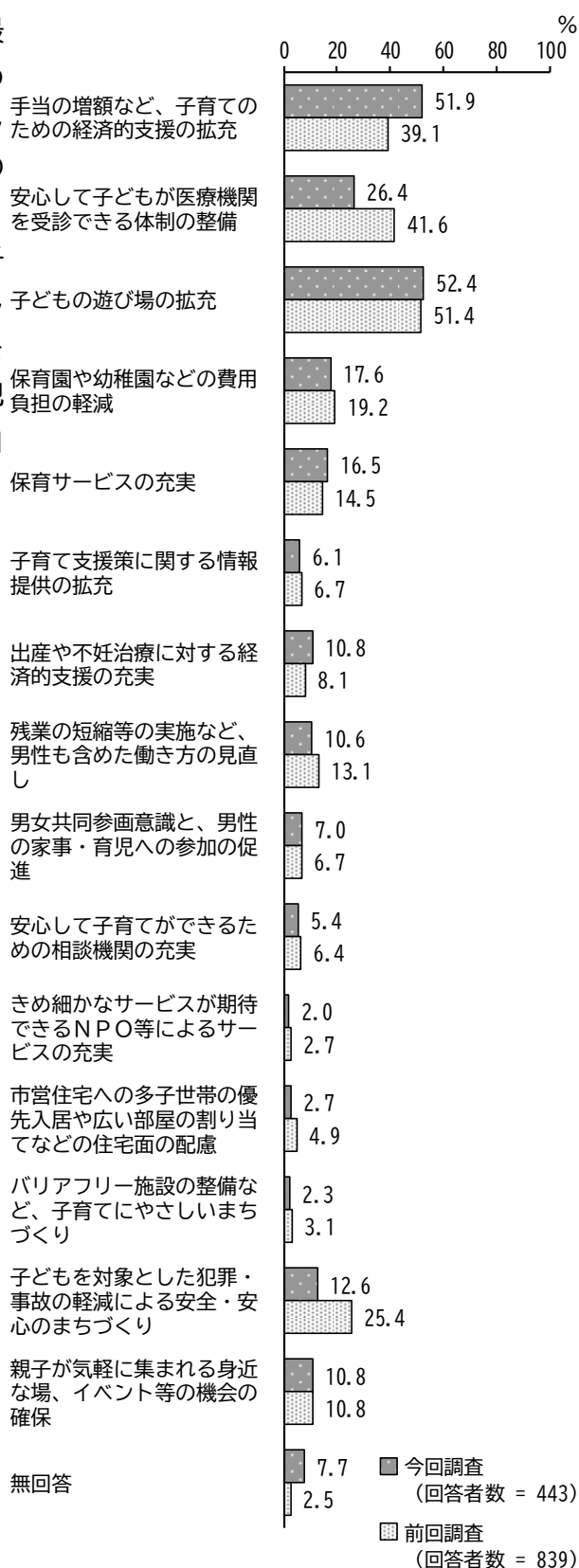
※前回調査では、「保育園・幼稚園などの保護者」の選択肢はありませんでした。

※前回調査では、「保育園や学校からのお知らせ」の選択肢は「保育園又は学校からのお知らせ」となっていました。

問 43 市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいと期待していますか。
 当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

「子どもの遊び場の拡充」の割合が52.4%と最も高く、次いで「手当の増額など、子育てのための経済的支援の拡充」の割合が51.9%、「安心して子どもが医療機関を受診できる体制の整備」の割合が26.4%となっています。

前回調査と比較すると、「手当の増額など、子育てのための経済的支援の拡充」の割合が増加しています。一方、「安心して子どもが医療機関を受診できる体制の整備」「子どもを対象とした犯罪・事故の軽減による安全・安心のまちづくり」の割合が減少しています。

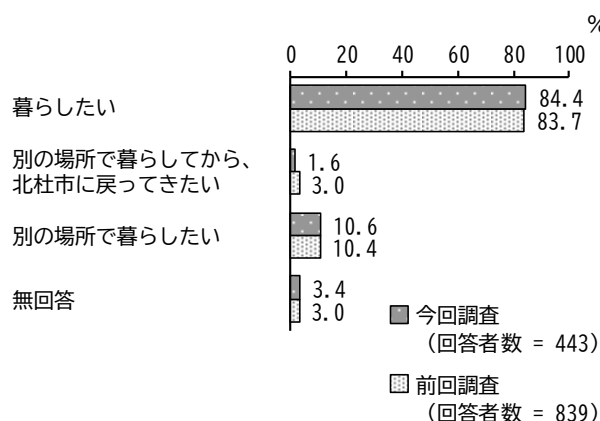


※前回調査では、「子どもの遊び場の拡充」の選択肢は「児童館や公園など子どもの遊び場の拡充」、「保育園や幼稚園などの費用負担の軽減」の選択肢は「保育所や幼稚園などの費用負担の軽減」となっていました。

問 44 あなたは、これからも北杜市で暮らしたいですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「暮らしたい」の割合が 84.4%と最も高く、次いで「別の場所で暮らしたい」の割合が 10.6%となっています。

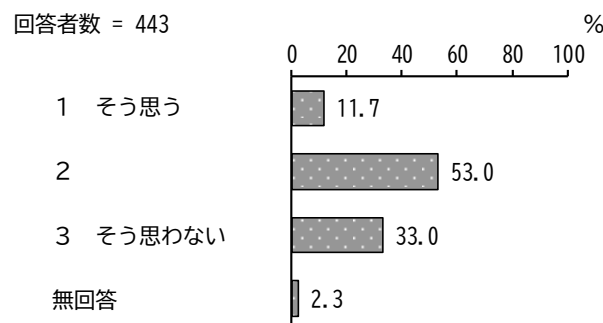
前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 45 あなたは、以下のことについてどのように思いますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

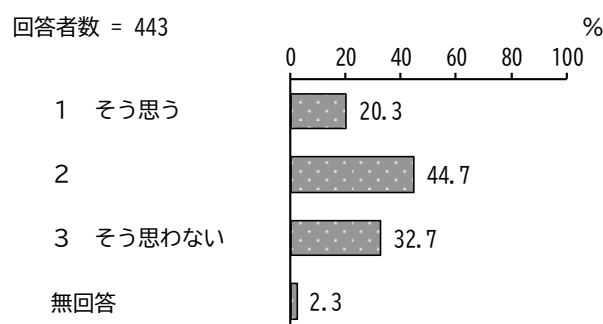
子どもまんなか社会の実現に向かっている

「2」の割合が 53.0%と最も高く、次いで「3 そう思わない」の割合が 33.0%、「1 そう思う」の割合が 11.7%となっています。



結婚、妊娠、子ども・子育てに温かい社会の実現に向かっている

「2」の割合が 44.7%と最も高く、次いで「3 そう思わない」の割合が 32.7%、「1 そう思う」の割合が 20.3%となっています。



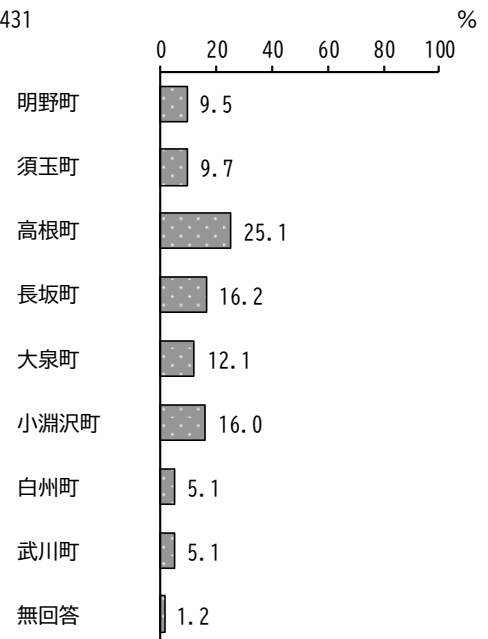
2 小学生児童保護者

(1) お住まいの地域について

問1 お住まいの町に当てはまる番号1つに○をつけてください。

「高根町」の割合が25.1%と最も高く、次いで「長坂町」の割合が16.2%、「小淵沢町」の割合が16.0%となっています。

回答者数 = 431

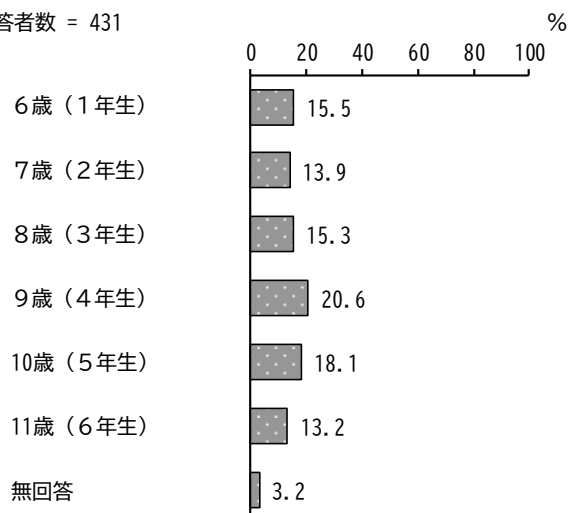


(2) 宛名のお子さんご家族の状況について

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。

「9歳(4年生)」の割合が20.6%と最も高く、次いで「10歳(5年生)」の割合が18.1%、「6歳(1年生)」の割合が15.5%となっています。

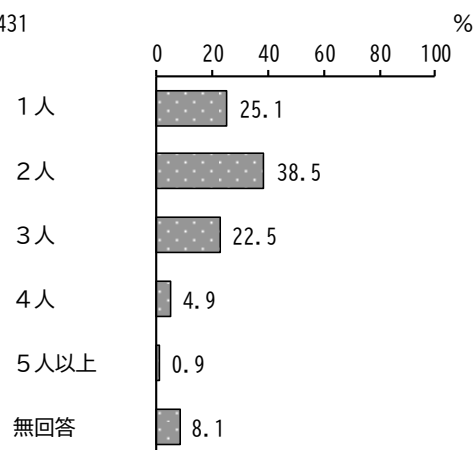
回答者数 = 431



問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。

「2人」の割合が38.5%と最も高く、次いで「1人」の割合が25.1%、「3人」の割合が22.5%となっています。

回答者数 = 431



【子どもの年齢別】

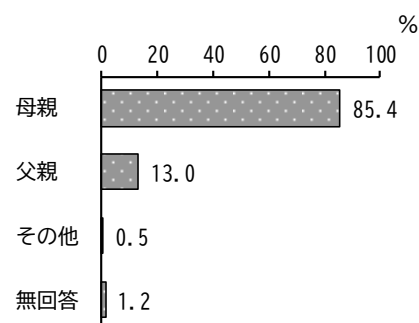
子どもの年齢別にみると、11歳(6年生)で「2人」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
全 体	431	25.1	38.5	22.5	4.9	0.9	8.1
6歳(1年生)	67	25.4	38.8	19.4	6.0	—	10.4
7歳(2年生)	60	28.3	28.3	25.0	8.3	3.3	6.7
8歳(3年生)	66	31.8	33.3	27.3	1.5	—	6.1
9歳(4年生)	89	24.7	38.2	27.0	6.7	1.1	2.2
10歳(5年生)	78	21.8	43.6	17.9	3.8	—	12.8
11歳(6年生)	57	21.1	47.4	21.1	3.5	1.8	5.3

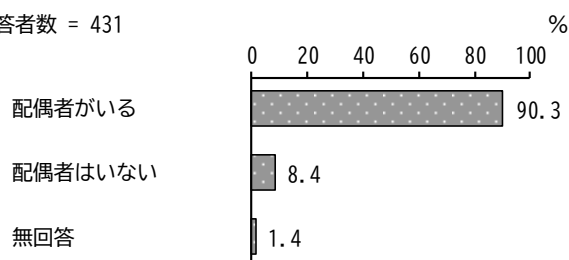
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係で、当てはまる番号1つに○をつけてください。

「母親」の割合が 85.4%、「父親」の割合が 13.0%となっています。 回答者数 = 431



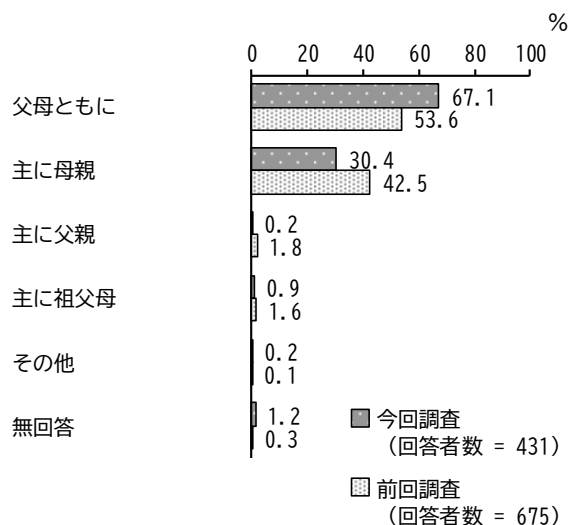
問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

「配偶者がいる」の割合が 90.3%、「配偶者がいない」の割合が 8.4%となっています。 回答者数 = 431



問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

「父母ともに」の割合が 67.1%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が 30.4%となっています。
 前回調査と比較すると、「父母ともに」の割合が増加しています。一方、「主に母親」の割合が減少しています。

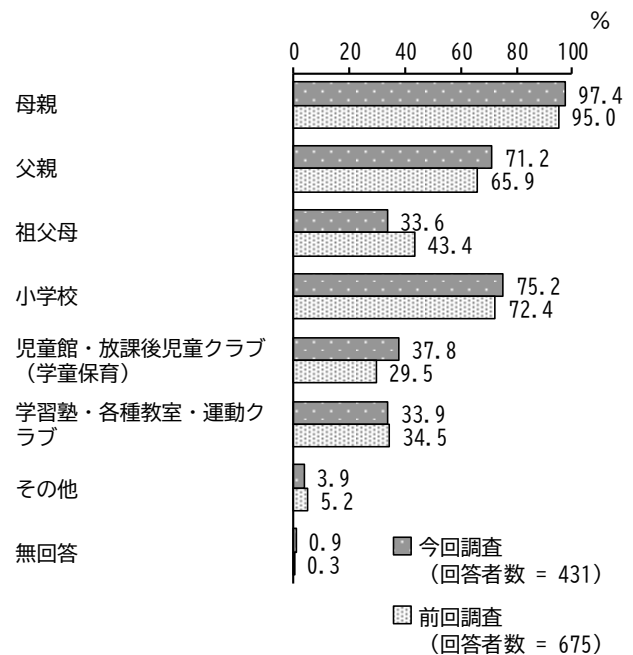


(3) 子どもの育ちをめぐる環境について

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設等職員を含む）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「母親」の割合が 97.4%と最も高く、次いで「小学校」の割合が 75.2%、「父親」の割合が 71.2%となっています。

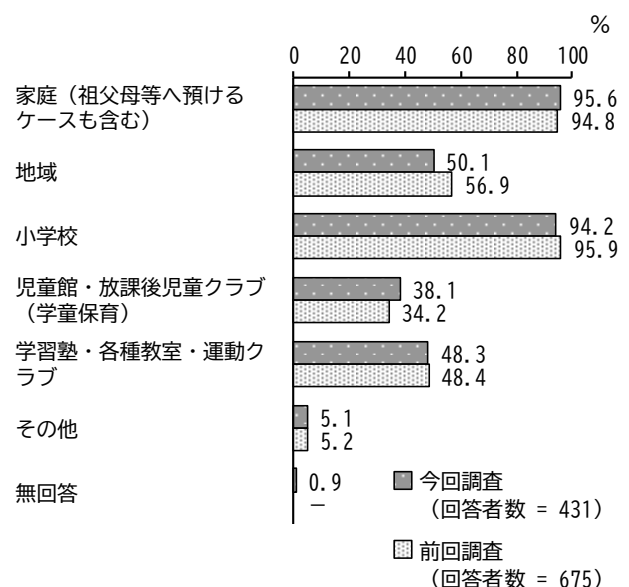
前回調査と比較すると、「父親」「児童館・放課後児童クラブ（学童保育）」の割合が増加しています。一方、「祖父母」の割合が減少しています。



問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

「家庭（祖父母等へ預けるケースも含む）」の割合が 95.6%と最も高く、次いで「小学校」の割合が 94.2%、「地域」の割合が 50.1%となっています。

前回調査と比較すると、「地域」の割合が減少しています。



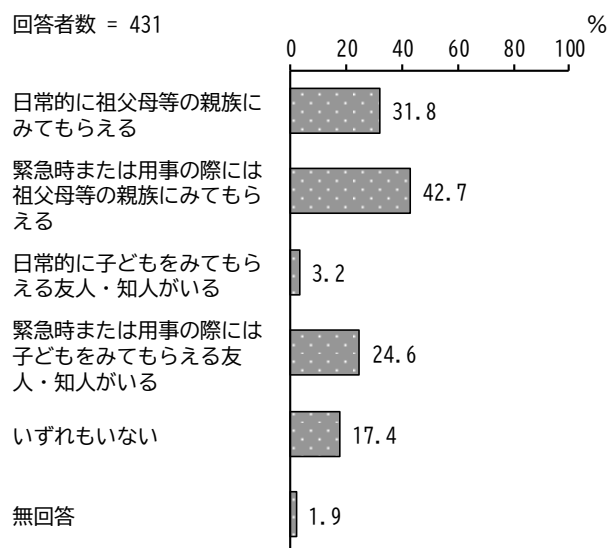
※前回調査では、「家庭（祖父母等へ預けるケースも含む）」の選択肢は「家庭（祖父母等へ預ける場合も含む）」、「児童館・放課後児童クラブ（学童保育）」の選択肢は「児童館・放課後児童クラブ」となっていました。

※前回調査では、「無回答」の記載はありませんでした。

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「緊急時または用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が42.7%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が31.8%、「緊急時または用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が24.6%となっています。

回答者数 = 431



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、9歳（4年生）で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	緊急時または用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	緊急時または用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	いずれもない	無回答
全 体	431	31.8	42.7	3.2	24.6	17.4	1.9
6歳（1年生）	67	25.4	43.3	1.5	22.4	19.4	3.0
7歳（2年生）	60	26.7	45.0	1.7	28.3	20.0	1.7
8歳（3年生）	66	22.7	31.8	4.5	27.3	25.8	4.5
9歳（4年生）	89	40.4	38.2	2.2	22.5	21.3	—
10歳（5年生）	78	35.9	47.4	6.4	26.9	10.3	1.3
11歳（6年生）	57	36.8	50.9	3.5	21.1	7.0	1.8

問9－（１） 問9で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が50.2%と最も高く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」の割合が23.2%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が21.2%となっています。

回答者数 = 293

祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる

祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である

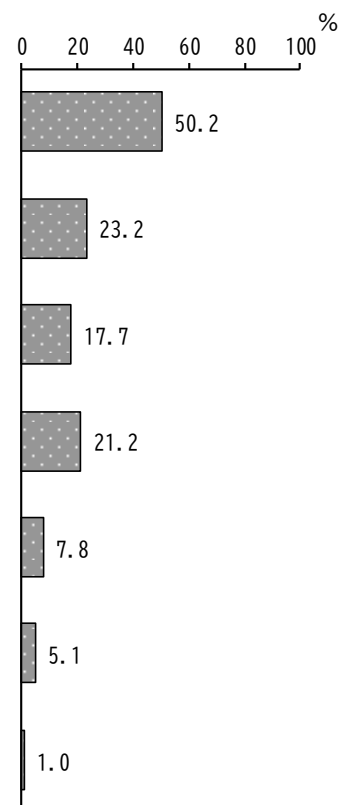
祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である

自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい

子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある

その他

無回答



問9－（２） 問9で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が48.6%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が29.4%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が21.1%となっています。

回答者数 = 109

友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる

友人・知人の身体的負担が大きく心配である

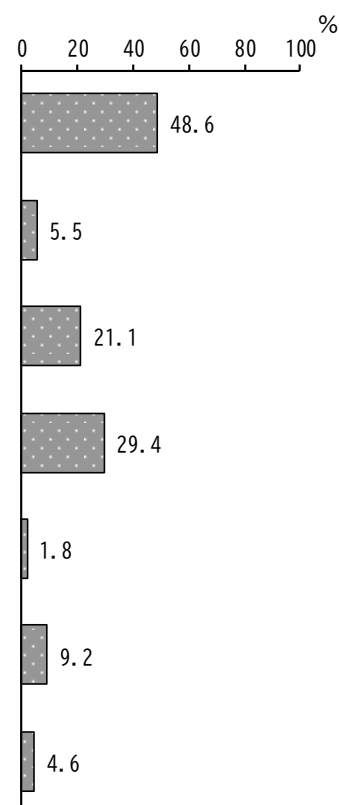
友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である

自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい

子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある

その他

無回答



問 10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人がある、または相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

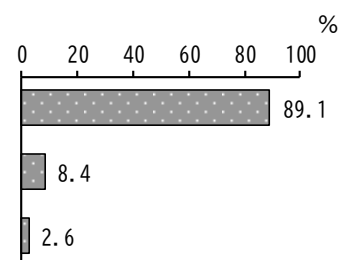
「いる」または「ある」の割合が 89.1%、「いずれも「ない」」の割合が 8.4%となっています。

回答者数 = 431

「いる」または「ある」

いずれも「ない」

無回答



問 10－（１） 問 10 で “1. 「いる」または「ある」” に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「配偶者」の割合が 78.9%と最も高く、次いで「友人や知人」の割合が 70.6%、「親族（親・きょうだい）」の割合が 69.0%となっています。

前回調査と比較すると、「友人や知人」「小学校教諭」「かかりつけの医師」の割合が減少しています。

配偶者

親族（親・きょうだい）

友人や知人

近所の人

子育て支援施設（児童館等）やNPO法人

保健師

小学校教諭

民生委員・児童委員

かかりつけの医師

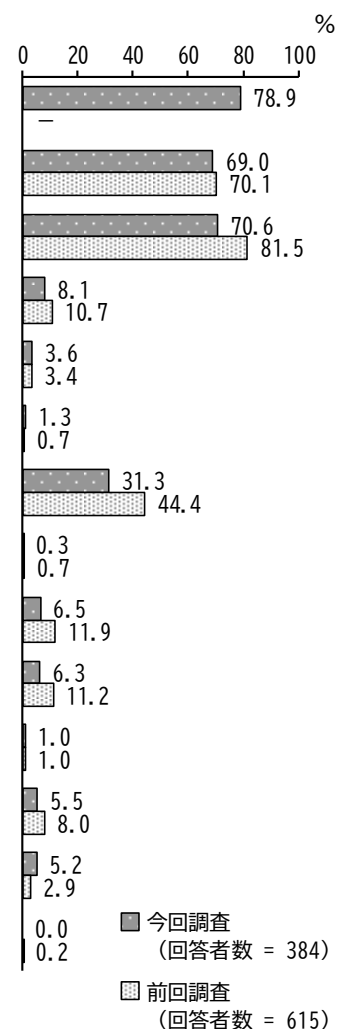
学習塾・運動クラブ等の指導者

自治体の子育て関連担当窓口

児童館・放課後児童クラブ（学童保育）の職員

その他

無回答



※前回調査では、「配偶者」の選択肢はありませんでした。

※前回調査では、「親族（親・きょうだい）」の選択肢は、「祖父母等の親族」となっていました。

【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、7歳（2年生）で「友人や知人」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者	親族 (親・きょうだい)	友人や知人	近所の人	子育て支援施設 (児童館等)や その法人	保健師	小学校教諭	民生委員・児童委員	かかりつけの医師	学習塾・運動クラブ等 の指導者	自治体の子育て関連担 当窓口	児童館・放課後児童ク ラブ(学童保育)の職員	その他	無回答
全 体	384	78.9	69.0	70.6	8.1	3.6	1.3	31.3	0.3	6.5	6.3	1.0	5.5	5.2	—
6歳(1年生)	63	84.1	71.4	66.7	7.9	3.2	1.6	23.8	—	12.7	4.8	3.2	4.8	6.3	—
7歳(2年生)	51	80.4	76.5	80.4	13.7	9.8	—	29.4	—	5.9	2.0	2.0	7.8	7.8	—
8歳(3年生)	57	73.7	61.4	71.9	7.0	3.5	—	31.6	—	7.0	5.3	—	5.3	7.0	—
9歳(4年生)	80	78.8	61.3	72.5	10.0	1.3	1.3	37.5	—	1.3	5.0	—	6.3	2.5	—
10歳(5年生)	70	78.6	77.1	68.6	4.3	2.9	2.9	27.1	1.4	5.7	11.4	1.4	7.1	4.3	—
11歳(6年生)	52	80.8	65.4	65.4	7.7	—	—	38.5	—	5.8	9.6	—	1.9	3.8	—

問 11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

主な意見

- ・子供が、安心して居られる場所。例え、そこで何をしていても、していなくても。
- ・気軽に相談できる場所。病児保育が遠いことで、仕事を休むしかできないことがあります。だから病児保育ができる場所が地域ごとにあれば、子育てしやすいと思います。小さな子を遊ばせる安全な公園が少ないと思います。自然豊かな北杜市だからこそ、外で遊ばせたいと思うので、小さくなくても地域ごとに歩いていける公園があるといいと思います。
- ・学校もバス通学区ですので帰宅してから友達と遊びたい、スポ少行きたいとなっても全てにおいて送迎が必要で、北杜市で仕事しながらの子育ては満足にできないなと感じています。これから大きくなり、高校進学しても結局駅までは送迎が必要で、自立が難しいなと感じます。甲府市甲斐市の親族と比べても自力で塾や習い事にも行けず差が出てきたなと感じます。バス、部活、学びやすい子育てしやすい環境をどうかお願いしたいです。小さなお子様の遊び場や支援センターはたくさんあるのにまた新しく作ろうとしていて、もう少しその先の子どもたちの子育てについても考えて欲しいです。
- ・子育てをするのには良い環境になっていると思います。しかし、多子世帯の特に子供が小さい時に発熱や入院など緊急時のサポートを手厚くしてほしいです。（北杜市外から移住している場合、身近に頼れる人がいないと小さな子供だけで留守番ができないため）
- ・学校がある平日は学童を1時間程度利用するが、夏休みは8時間位学童へ行きます。利用している学童は一步も外には出られないので精神的に辛いのでは？と利用を控えることを考えたいが他に1日預けられる所もなく…。夏休みがなくなれば良いのと思ってしまう。あとは、もっと小児科、耳鼻科、皮膚科、眼科、救急が充実すれば子育てしやすいです。

(4) 宛名のお子さんの保護者の就労状況について

問 12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 45.8%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 45.1%となっています。

回答者数 = 430

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である

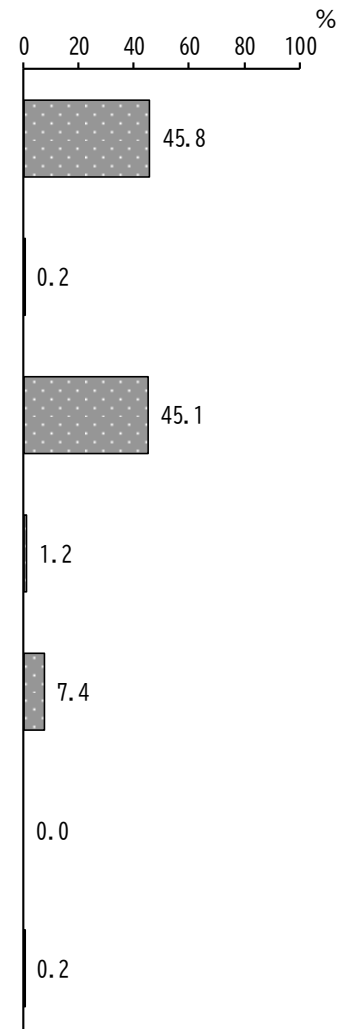
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない

パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である

以前は就労していたが、現在は就労していない

これまで就労したことがない

無回答

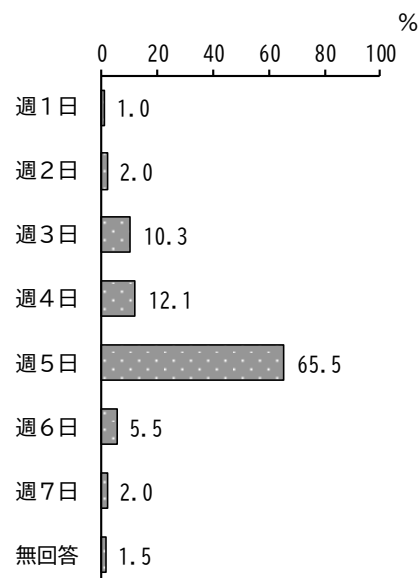


(1) - 1 (1) で「1. ～4.」(就労している) に○をつけた方にうかがいます。
1 週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答え
ください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについ
てお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況について
お答えください(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字)。

1 週当たり就労日数

「週5日」の割合が 65.5%と最も高く、次いで
「週4日」の割合が 12.1%、「週3日」の割合が
10.3%となっています。

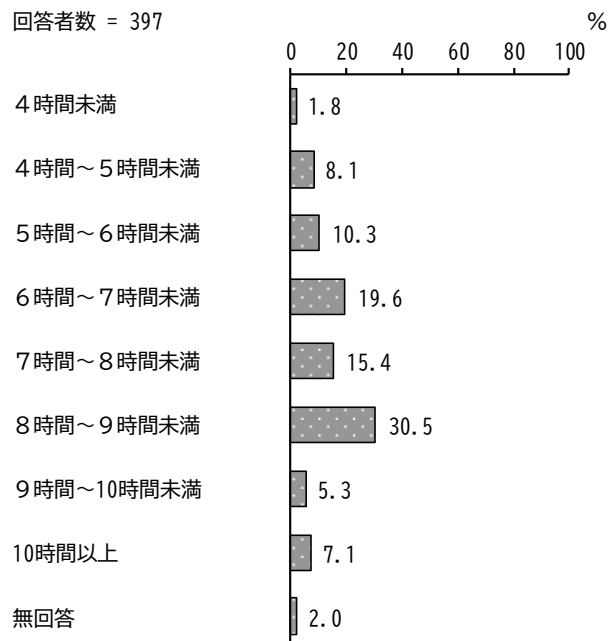
回答者数 = 397



1 日当たり就労時間

「8時間～9時間未満」の割合が 30.5%と最も
高く、次いで「6時間～7時間未満」の割合が
19.6%、「7時間～8時間未満」の割合が 15.4%
となっています。

回答者数 = 397

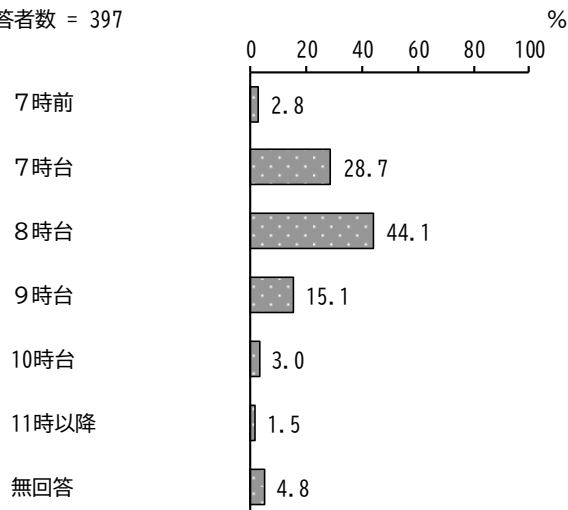


(1) - 2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時刻は、必ず(例)08時、18時のように、24時間制でお答えください(口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字)。

家を出る時間

「8時台」の割合が44.1%と最も高く、次いで「7時台」の割合が28.7%、「9時台」の割合が15.1%となっています。

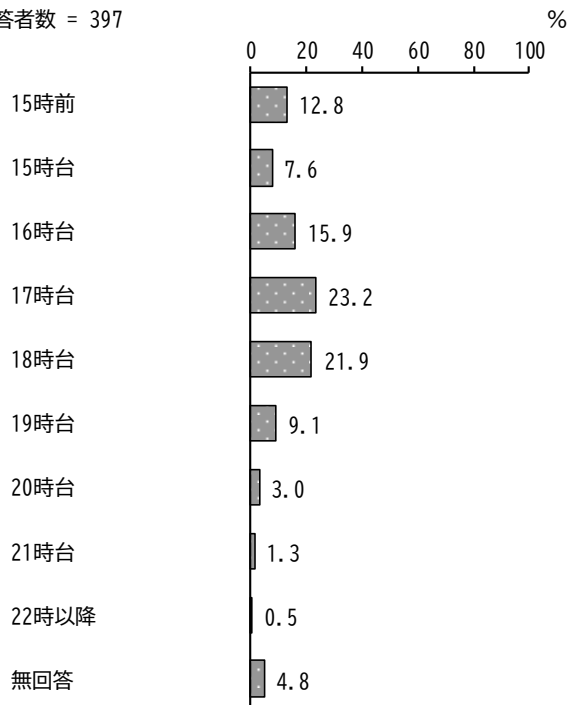
回答者数 = 397



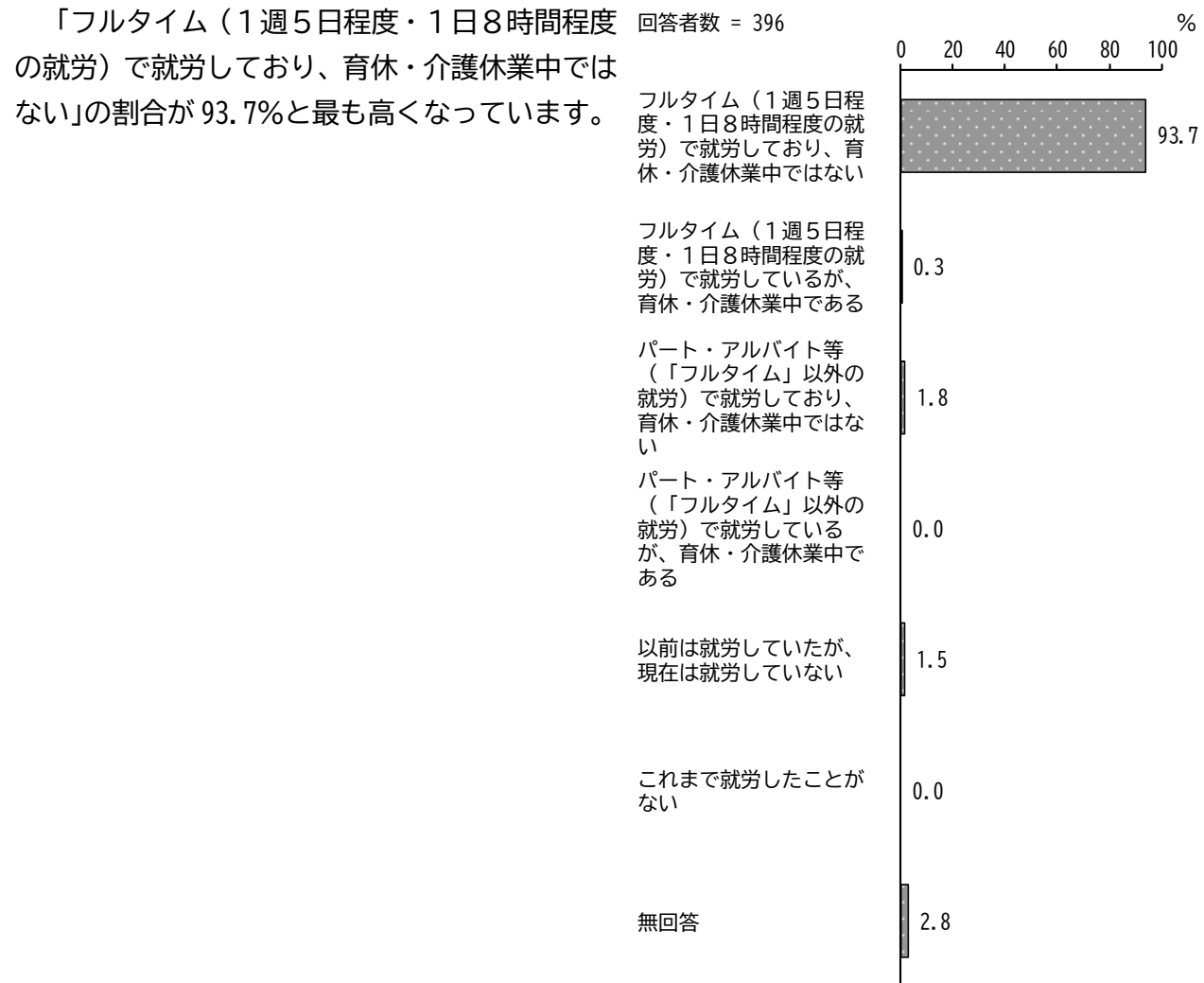
帰宅時間

「17時台」の割合が23.2%と最も高く、次いで「18時台」の割合が21.9%、「16時台」の割合が15.9%となっています。

回答者数 = 397



(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

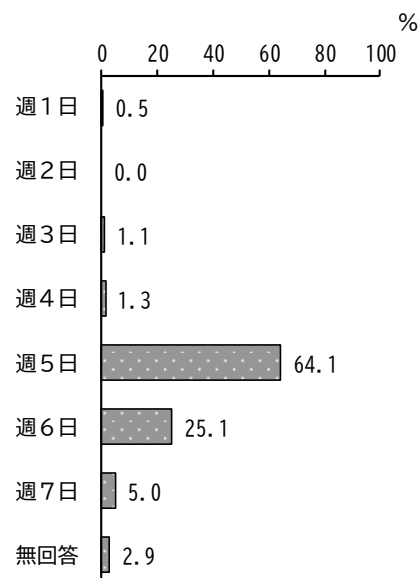


(2) - 1 (2) で「1. ～4.」(就労している) に○をつけた方にうかがいます。
1 週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字)。

1 週当たり就労日数

「週5日」の割合が 64.1%と最も高く、次いで
「週6日」の割合が 25.1%となっています。

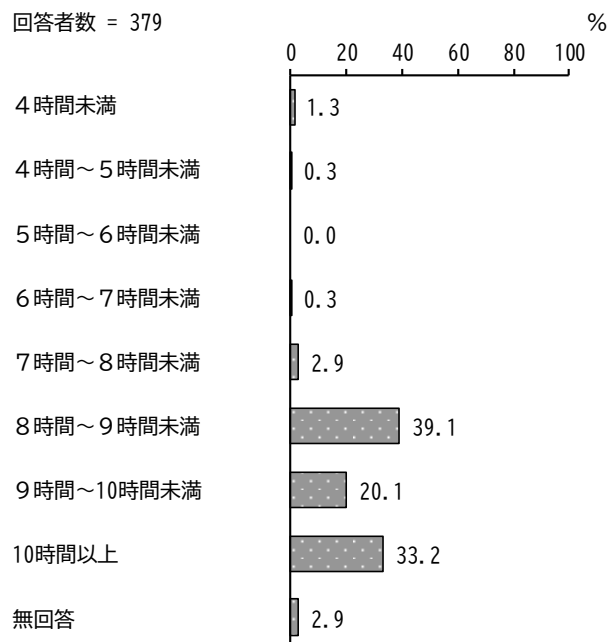
回答者数 = 379



1 日当たり就労時間

「8 時間～9 時間未満」の割合が 39.1%と最も高く、次いで「10 時間以上」の割合が 33.2%、
「9 時間～10 時間未満」の割合が 20.1%となっています。

回答者数 = 379

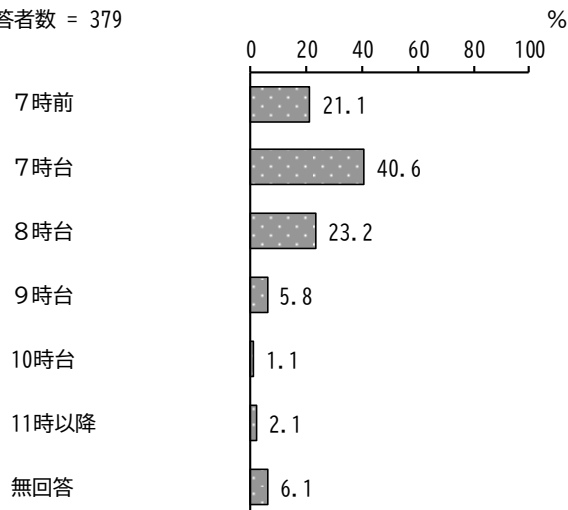


(2)－2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時刻は、必ず(例)08時、18時のように、24時間制でお答えください(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字)。

家を出る時間

「7時台」の割合が40.6%と最も高く、次いで「8時台」の割合が23.2%、「7時前」の割合が21.1%となっています。

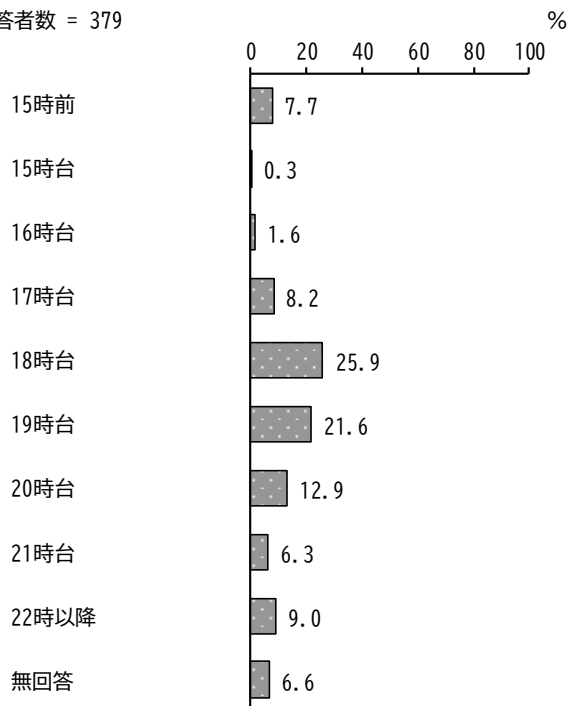
回答者数 = 379



帰宅時間

「18時台」の割合が25.9%と最も高く、次いで「19時台」の割合が21.6%、「20時台」の割合が12.9%となっています。

回答者数 = 379



問13 問12の(1)または(2)で「3.」「4.」(パート・アルバイト等で就労している)のいずれかに○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問14へお進みください。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」の割合が57.8%と最も高く、次いで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が24.6%となっています。

回答者数 = 199

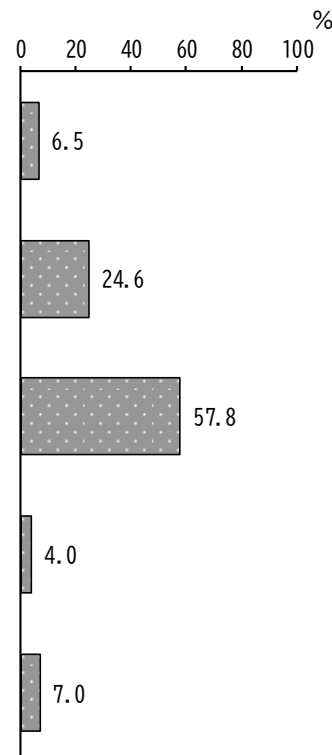
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある

フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない

パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望

パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

無回答



(2) 父親

「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」が3件となっています。「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある」が1件となっています。

回答者数 = 7

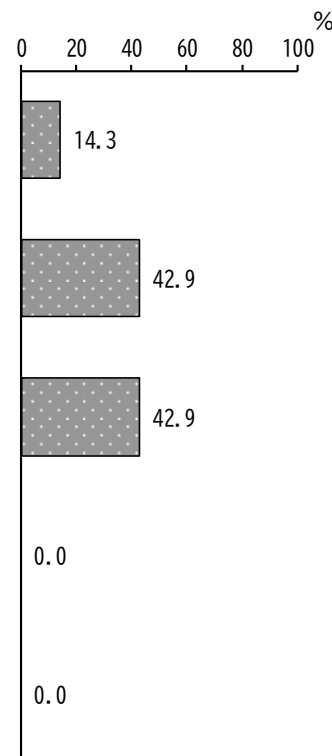
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある

フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない

パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望

パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

無回答



問 14 問 12 の（１）または（２）で「５．以前は就労していたが、現在は就労していない」または「６．これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 15 へお進みください。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、該当する口内に数字をご記入ください（数字は一桁に一字）。

（１）母親

「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」の割合が 53.1%と最も高く、次いで「すぐにでも、または 1 年以内に就労したい」の割合が 31.3%となっています。

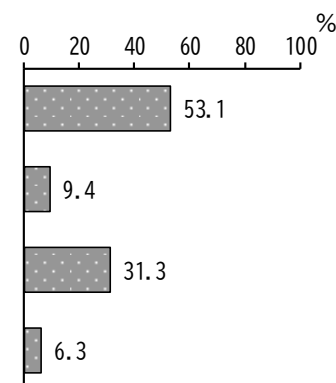
回答者数 = 32

子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）

1 年より先、一番下の子どもが何歳になったころに就労したい

すぐにでも、または 1 年以内に就労したい

無回答



就労したいときの末子の年齢

「9 歳以上」が 3 件となっています。

回答者数 = 3

0 歳

1 歳

2 歳

3 歳

4 歳

5 歳

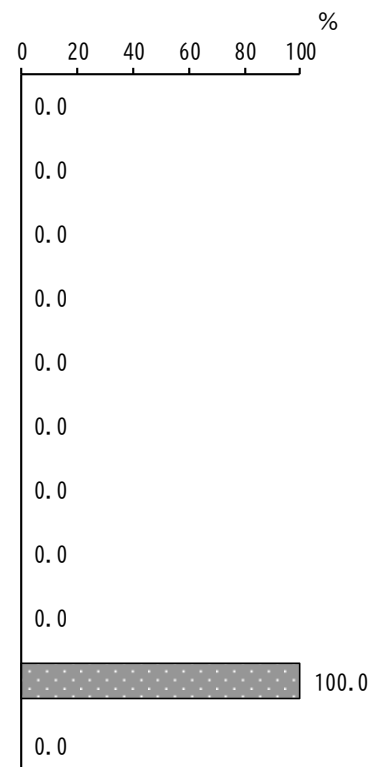
6 歳

7 歳

8 歳

9 歳以上

無回答



希望する就労形態

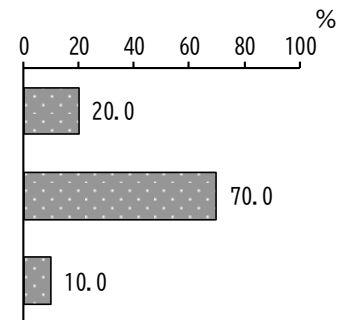
「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」の割合が20.0%、「パートタイム、アルバイト等（「①」以外）」の割合が70.0%となっています。

回答者数 = 10

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）

パートタイム、アルバイト等（「①」以外）

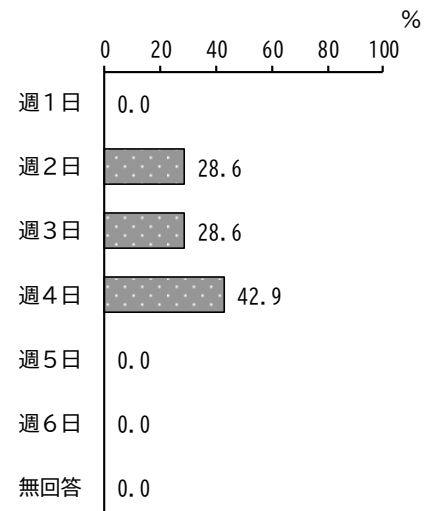
無回答



1週当たり希望就労日数

「週4日」が3件となっています。「週2日」、「週3日」が2件となっています。

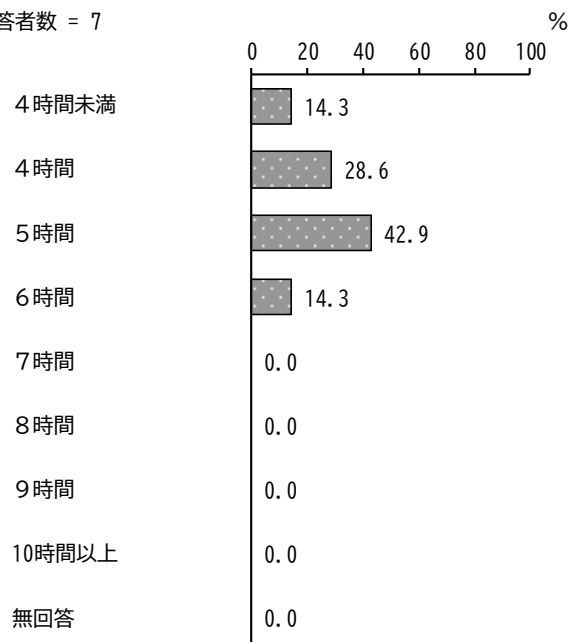
回答者数 = 7



1日当たり希望就労時間

「5時間」が3件となっています。「4時間」が2件、「4時間未満」、「6時間」が1件となっています。

回答者数 = 7



(2) 父親

「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が3件となっています。「すぐにでも、または1年以内に就労したい」が2件となっています。

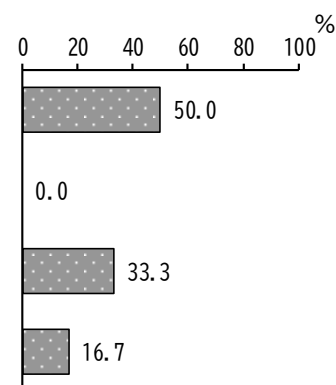
回答者数 = 6

子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）

1年より先、一番下の子どもが何歳になったころに就労したい

すぐにでも、または1年以内に就労したい

無回答



就労したいときの末子の年齢

有効回答がありませんでした。

希望する就労形態

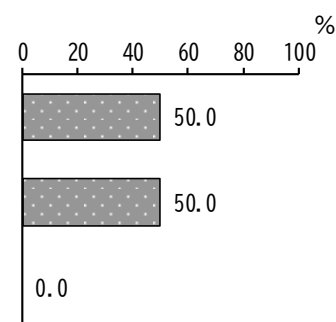
「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が1件、「パートタイム、アルバイト等（「①」以外）」が1件となっています。

回答者数 = 2

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）

パートタイム、アルバイト等（「①」以外）

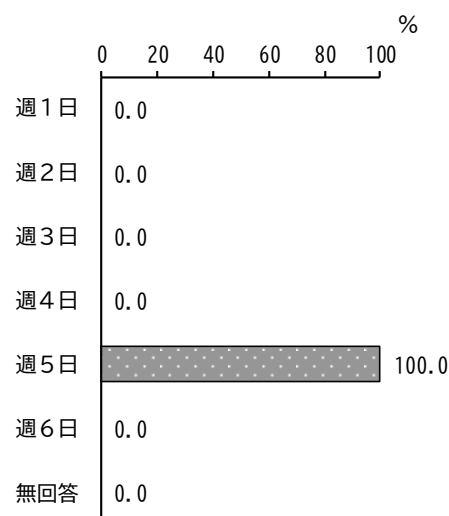
無回答



1週当たり希望就労日数

「週5日」が1件となっています。

回答者数 = 1



1日当たり希望就労時間

「6時間」が1件となっています。

回答者数 = 1

4時間未満

4時間

5時間

6時間

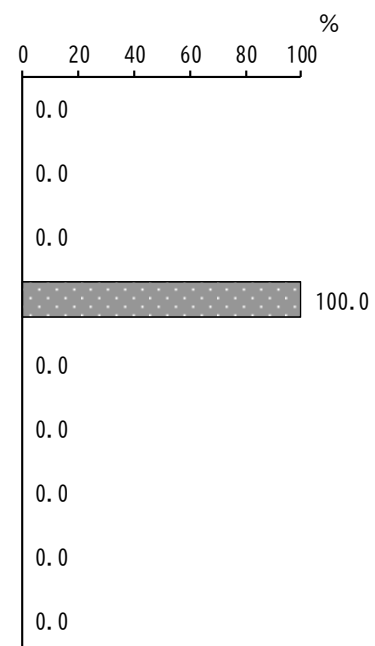
7時間

8時間

9時間

10時間以上

無回答

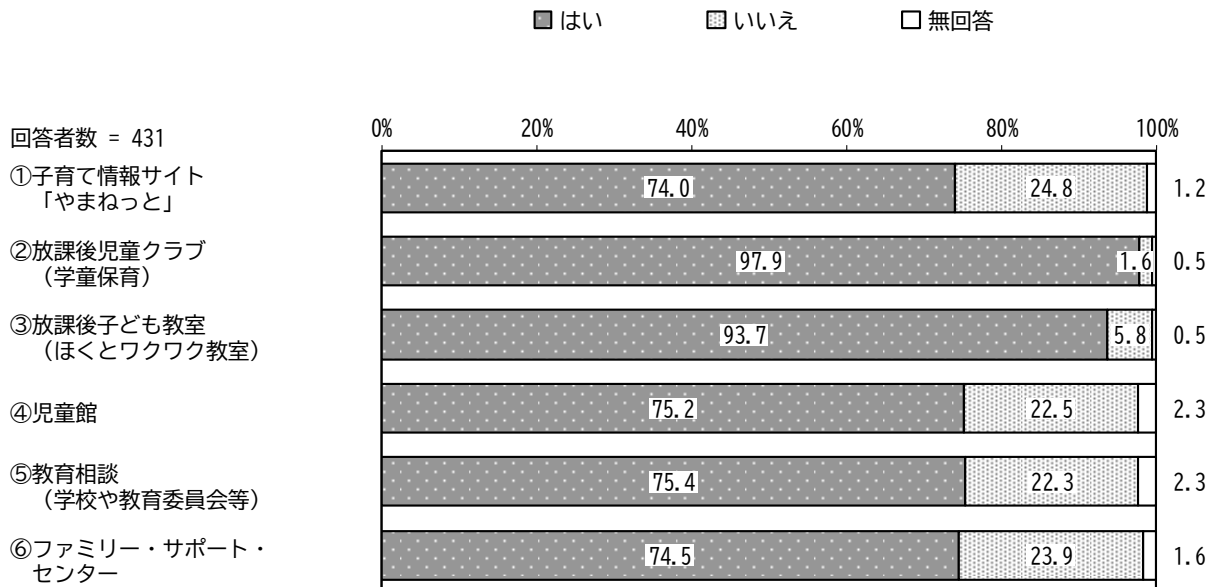


(5) 宛名のお子さんに対する地域の子育て支援事業の利用状況について

問 15 下記に挙げる事業①～⑥について、「A 知っている」「B これまでに利用したことがある」「C 今後利用したい」の項目ごとに、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

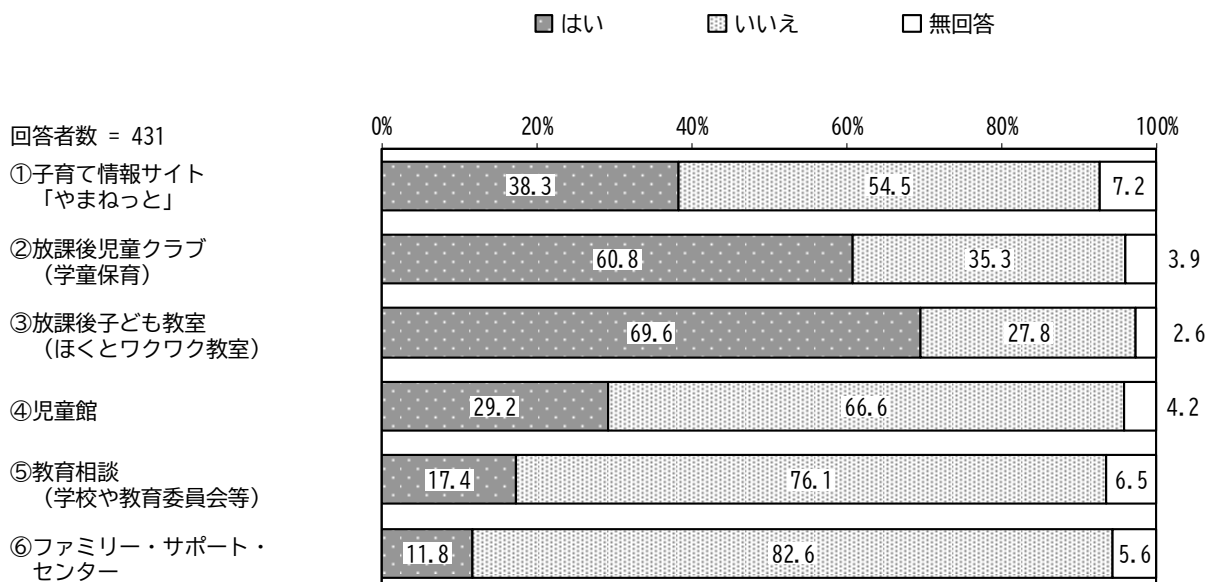
A 知っている

『②放課後児童クラブ(学童保育)』、『③放課後子ども教室(ほくとワクワク教室)』で「はい」の割合が高くなっています。



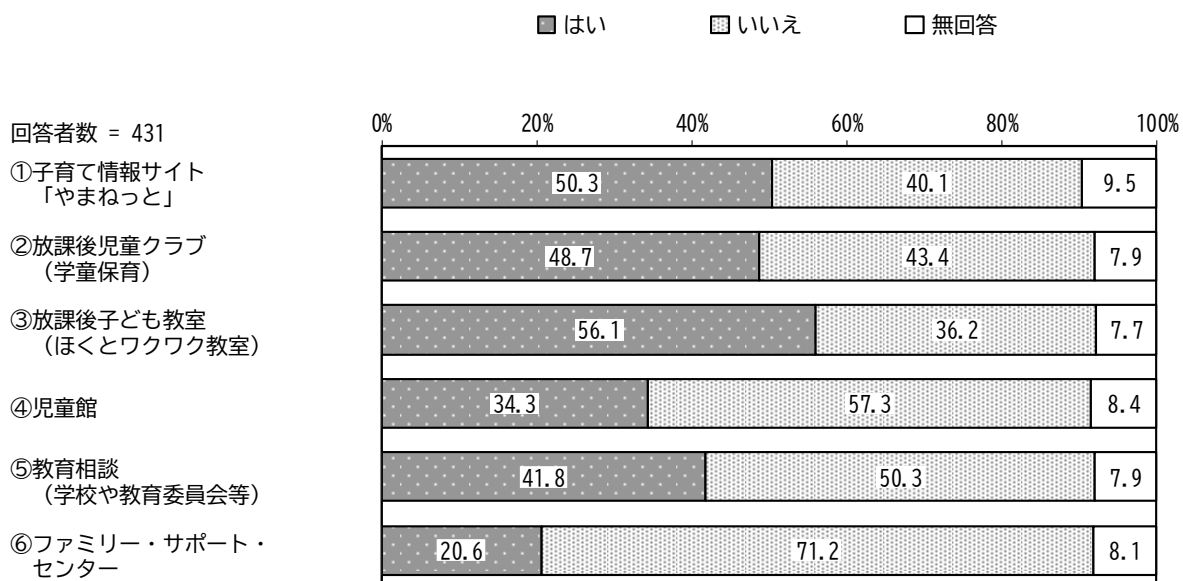
B これまでに利用したことがある

『③放課後子ども教室(ほくとワクワク教室)』で「はい」の割合が高くなっています。一方、『⑥ファミリー・サポート・センター』で「いいえ」の割合が高くなっています。



C 今後利用したい

『③放課後子ども教室（ほくとワクワク教室）』で「はい」の割合が高くなっています。一方、『⑥ファミリー・サポート・センター』で「いいえ」の割合が高くなっています。

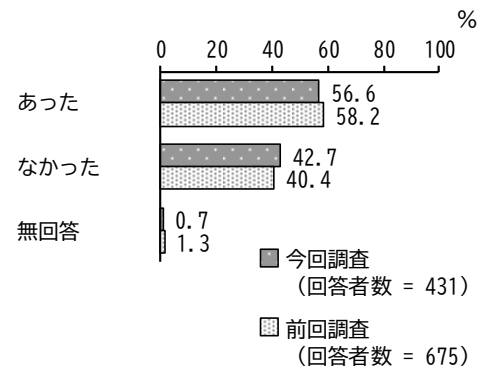


（６）宛名のお子さんの病気の際の対応について

問 16 この１年間に、宛名のお子さんが病気やケガで小学校に通えなかったことはありますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

「あった」の割合が 56.6%、「なかった」の割合が 42.7%となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。

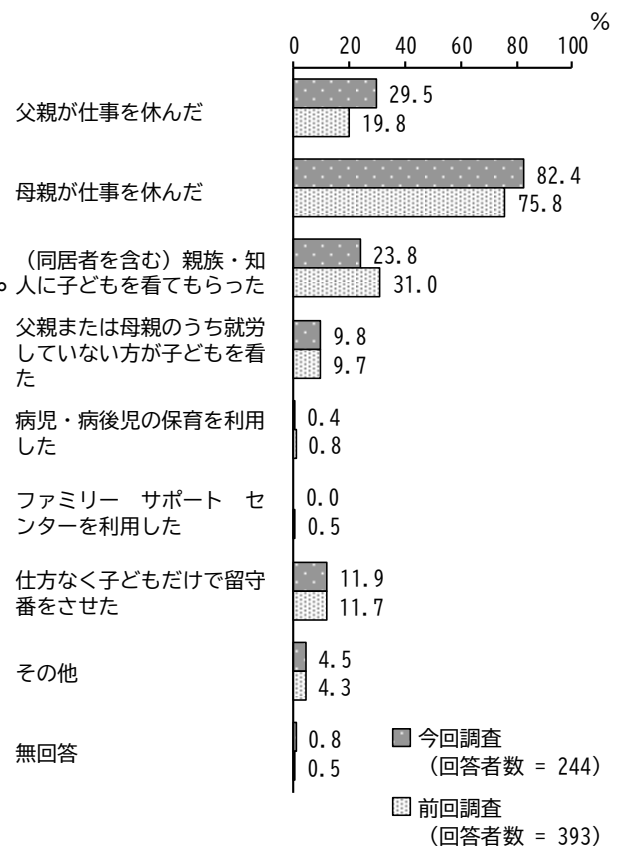


問 16－（１） 宛名のお子さんが病気やケガで小学校に通えなかった場合に、この１年間にに行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も１日とカウントしてください。数字は一桁に一字）。

１年間の対処方法

「母親が仕事を休んだ」の割合が 82.4%と最も高く、次いで「父親が仕事を休んだ」の割合が 29.5%、「（同居者を含む）親族・知人に子どもを看てもらった」の割合が 23.8%となっています。

前回調査と比較すると、「父親が仕事を休んだ」「母親が仕事を休んだ」の割合が増加しています。一方、「（同居者を含む）親族・知人に子どもを看てもらった」の割合が減少しています。



※前回調査では、「（同居者を含む）親族・知人に子どもを看てもらった」の選択肢は、「親族・知人に子どもを看てもらった」、「父親または母親のうち就労していない方が子どもを看た」の選択肢は、「就労していない方が子どもを看た」となっていました。

【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、8歳（3年生）で「父親が仕事を休んだ」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	父親が仕事を休んだ	母親が仕事を休んだ	（同居者を含む）親族・知人に子どもを看てもらった	父親または母親のうちの子どもを看た	父親または母親のうちの子どもを看た	病児・病後児の保育を利用した	ファミリーサポートセンターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全 体	244	29.5	82.4	23.8	9.8	0.4	—	—	11.9	4.5	0.8
6歳（1年生）	30	26.7	70.0	16.7	16.7	3.3	—	—	3.3	10.0	3.3
7歳（2年生）	39	30.8	84.6	28.2	12.8	—	—	—	10.3	7.7	—
8歳（3年生）	39	43.6	84.6	23.1	7.7	—	—	—	10.3	5.1	—
9歳（4年生）	47	27.7	83.0	19.1	6.4	—	—	—	8.5	2.1	2.1
10歳（5年生）	39	20.5	82.1	28.2	5.1	—	—	—	23.1	5.1	—
11歳（6年生）	39	28.2	87.2	23.1	10.3	—	—	—	15.4	—	—

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではないで「父親が仕事を休んだ」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	父親が仕事を休んだ	母親が仕事を休んだ	（同居者を含む）親族・知人に子どもを看てもらった	父親または母親のうちの子どもを看た	父親または母親のうちの子どもを看た	病児・病後児の保育を利用した	ファミリーサポートセンターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全 体	243	29.2	82.7	23.9	9.9	0.4	—	—	11.9	4.5	0.8
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	112	37.5	87.5	30.4	2.7	—	—	—	11.6	7.1	—
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	1	—	100.0	—	—	100.0	—	—	—	—	—
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	108	25.0	88.9	19.4	7.4	—	—	—	14.8	1.9	0.9
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	4	25.0	75.0	50.0	—	—	—	—	—	—	—
以前は就労していたが、現在は就労していない	18	5.6	16.7	5.6	72.2	—	—	—	—	5.6	5.6
これまで就労したことがない	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

【父親の就労状況別】

父親の就労状況別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

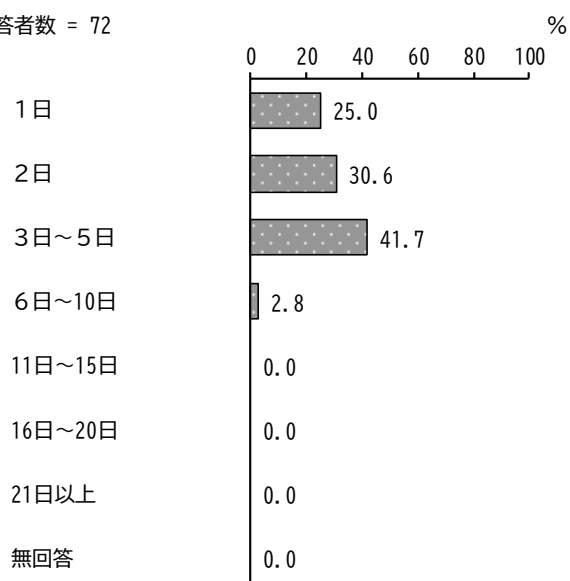
区分	回答者数（件）	父親が仕事を休んだ	母親が仕事を休んだ	子どもを看てもらった （同居者を含む）親族・知人に	父親または母親のうち就労していない方が子どもを看た	病児・病後児の保育を利用した	ファミリーサポートセンターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全 体	226	31.9	81.9	22.1	10.6	0.4	－	11.1	4.9	0.9
フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない	214	32.2	83.2	22.0	9.3	0.5	－	11.7	5.1	0.9
フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない	4	50.0	75.0	25.0	25.0	－	－	－	－	－
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
以前は就労していたが、現在は就労していない	4	－	25.0	－	75.0	－	－	－	－	－
これまで就労したことがない	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

対処した日数

父親が仕事を休んだ

「３日～５日」の割合が 41.7%と最も高く、次いで「２日」の割合が 30.6%、「１日」の割合が 25.0%となっています。

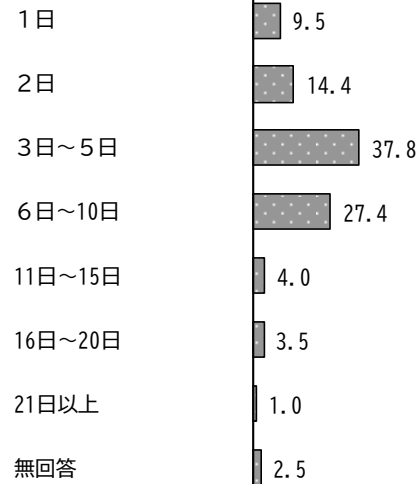
回答者数 = 72



母親が仕事を休んだ

「3日～5日」の割合が37.8%と最も高く、次いで「6日～10日」の割合が27.4%、「2日」の割合が14.4%となっています。

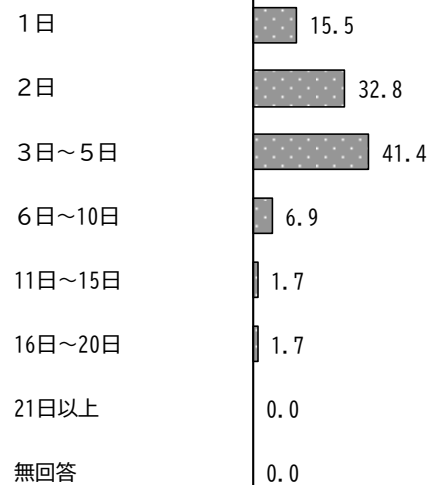
回答者数 = 201



(同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった

「3日～5日」の割合が41.4%と最も高く、次いで「2日」の割合が32.8%、「1日」の割合が15.5%となっています。

回答者数 = 58

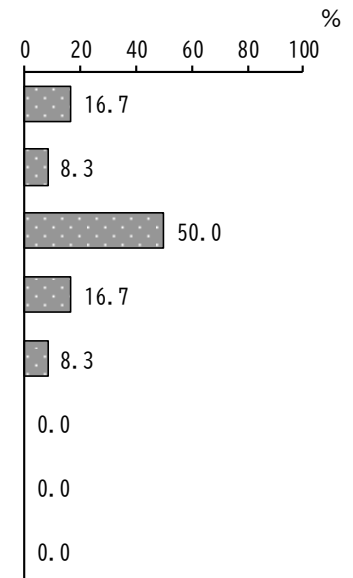


父親または母親のうち就労していない方が子どもを看た

「3日～5日」の割合が50.0%と最も高く、次いで「1日」、「6日～10日」の割合が16.7%となっています。

回答者数 = 24

1日
2日
3日～5日
6日～10日
11日～15日
16日～20日
21日以上
無回答

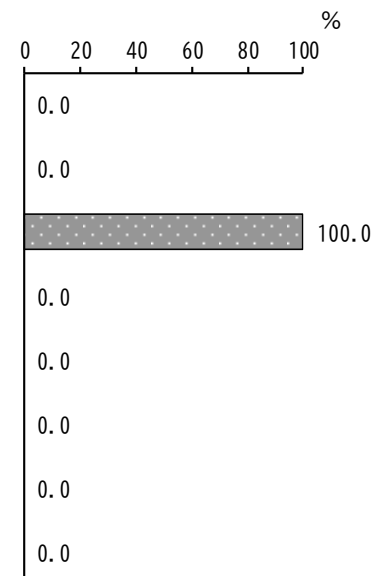


病児・病後児の保育を利用した

「3日～5日」が1件となっています。

回答者数 = 1

1日
2日
3日～5日
6日～10日
11日～15日
16日～20日
21日以上
無回答



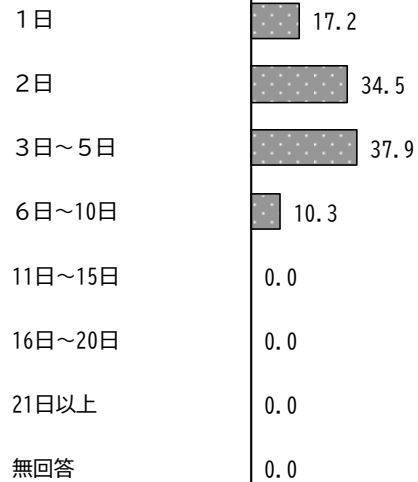
ファミリー サポート センターを利用した

有効回答がありませんでした。

仕方なく子どもだけで留守番をさせた

「3日～5日」の割合が37.9%と最も高く、次いで「2日」の割合が34.5%、「1日」の割合が17.2%となっています。

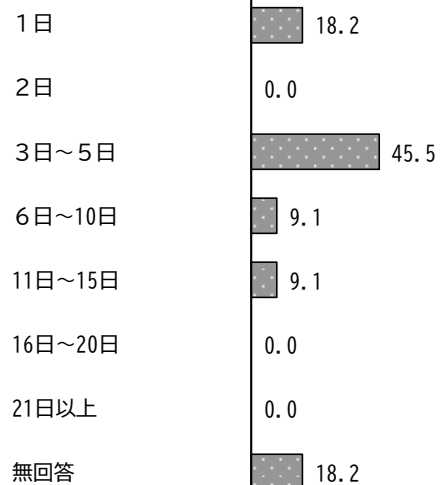
回答者数 = 29



その他

「3日～5日」の割合が45.5%と最も高く、次いで「1日」の割合が18.2%となっています。

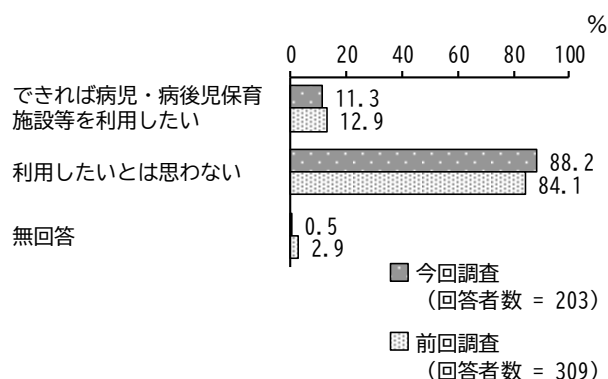
回答者数 = 11



問16－（2） 問16－（1）で「1.」「2.」のいずれかに回答した方にうかがいます。
 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください
 （数字は一桁に一字）。

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が11.3%、「利用したいとは思わない」の割合が88.2%となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、6歳（1年生）で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が高くなっています。

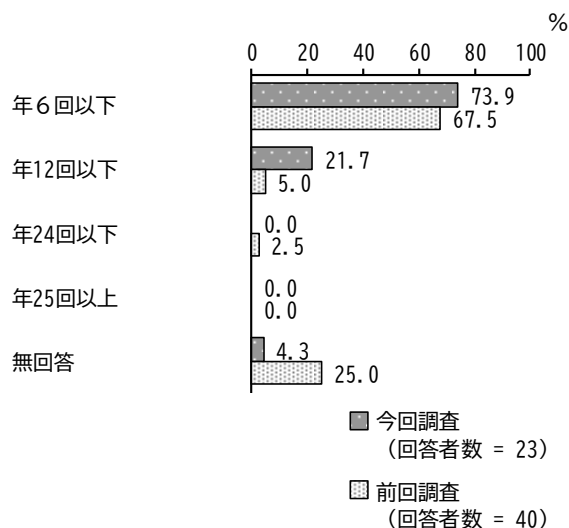
単位：％

区分	回答者数（件）	できれば病児・病後児保育施設等を利用したい	利用したいとは思わない	無回答
全 体	203	11.3	88.2	0.5
6歳（1年生）	22	18.2	81.8	—
7歳（2年生）	33	12.1	87.9	—
8歳（3年生）	34	17.6	82.4	—
9歳（4年生）	39	5.1	94.9	—
10歳（5年生）	32	12.5	87.5	—
11歳（6年生）	34	8.8	88.2	2.9

できれば病児・病後児保育施設等を利用したい日数

「年6回以下」の割合が73.9%と最も高く、次いで「年12回以下」の割合が21.7%となっています。

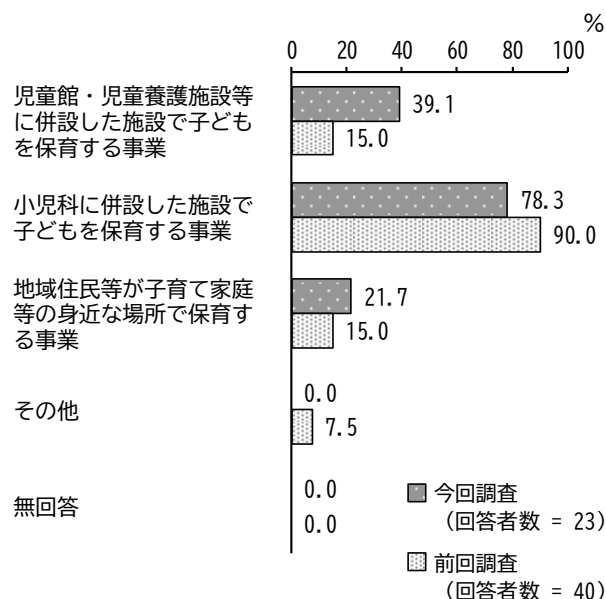
前回調査と比較すると、「年6回以下」「年12回以下」の割合が増加しています。



問 16－（３） 問 16－（２）で「１．できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が 78.3%と最も高く、次いで「児童館・児童養護施設等に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が 39.1%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」の割合が 21.7%となっています。

前回調査と比較すると、「児童館・児童養護施設等に併設した施設で子どもを保育する事業」「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」の割合が増加しています。一方、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が減少しています。

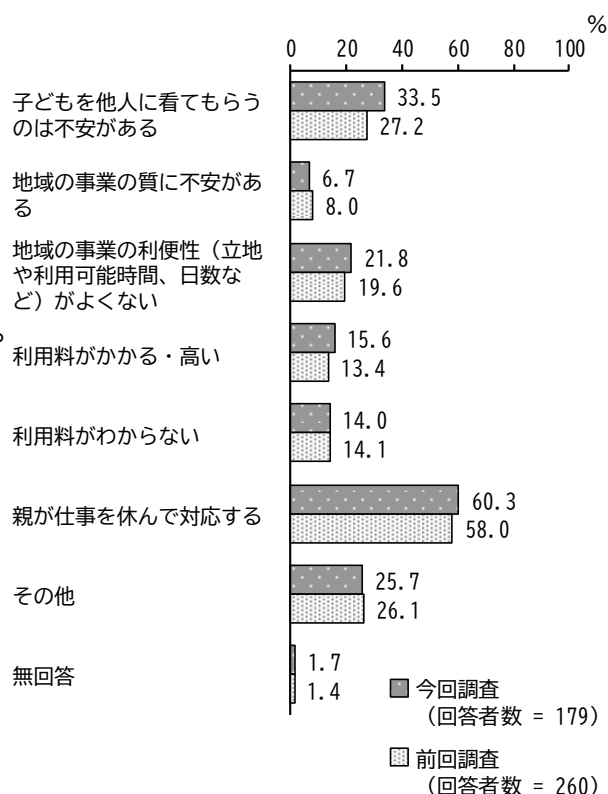


※前回調査では、「児童館・児童養護施設等に併設した施設で子どもを保育する事業」の選択肢は「他の施設に併設」、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の選択肢は「小児科に併設」、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」の選択肢は「地域住民の子育て支援等」となっていました。

問 16－（４） 問 16－（２）で「２．利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「親が仕事を休んで対応する」の割合が 60.3%と最も高く、次いで「子どもを他人に看てもらうのは不安がある」の割合が 33.5%、「地域の事業の利便性（立地や利用可能時間、日数など）がよくない」の割合が 21.8%となっています。

前回調査と比較すると、「子どもを他人に看てもらうのは不安がある」の割合が増加しています。

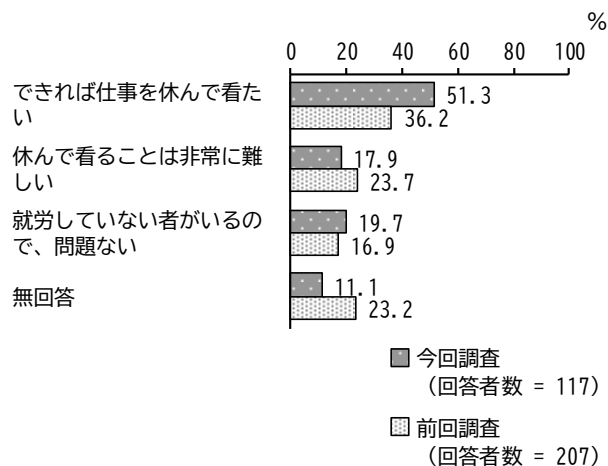


※前回調査では、「子どもを他人に看てもらうのは不安がある」の選択肢は「他人にみてもらうのは不安」、「地域の事業の質に不安がある」の選択肢は「地域の事業の質に不安」、「地域の事業の利便性（立地や利用可能時間、日数など）がよくない」の選択肢は「地域の事業の利便性がよくない」となっていました。

問 16－（５） 問 16－（１）で「３．」～「８．」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号１つに○をつけ、「３．」～「８．」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

「できれば仕事を休んで看たい」の割合が 51.3%と最も高く、次いで「就労していない者がいるので、問題ない」の割合が 19.7%、「休んで看ることは非常に難しい」の割合が 17.9%となっています。

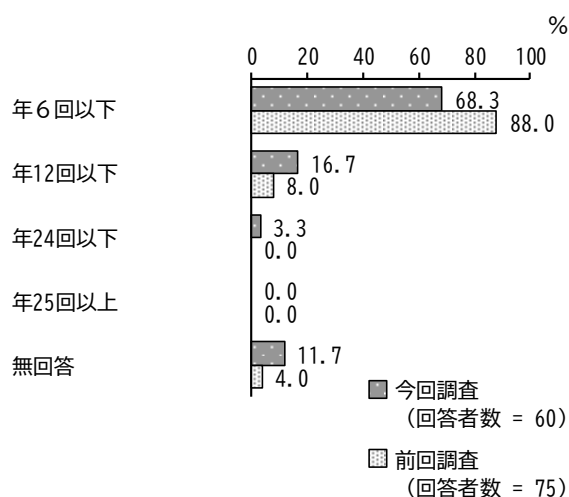
前回調査と比較すると、「できれば仕事を休んで看たい」の割合が増加しています。一方、「休んで看ることは非常に難しい」の割合が減少しています。



できれば仕事を休んで看たい日数

「年6回以下」の割合が68.3%と最も高く、次いで「年12回以下」の割合が16.7%となっています。

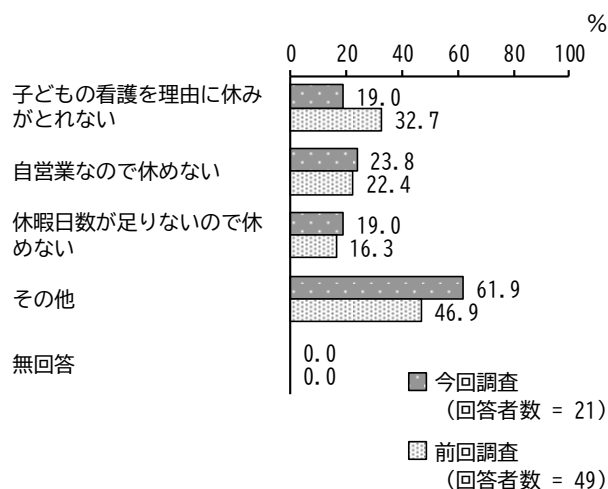
前回調査と比較すると、「年12回以下」の割合が増加しています。一方、「年6回以下」の割合が減少しています。



問16－(6) 問16－(5)で「2. 休んで看することは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「自営業なので休めない」の割合が23.8%と最も高く、次いで「子どもの看護を理由に休みがとれない」、「休暇日数が足りないので休めない」の割合が19.0%となっています。

前回調査と比較すると、「子どもの看護を理由に休みがとれない」の割合が減少しています。



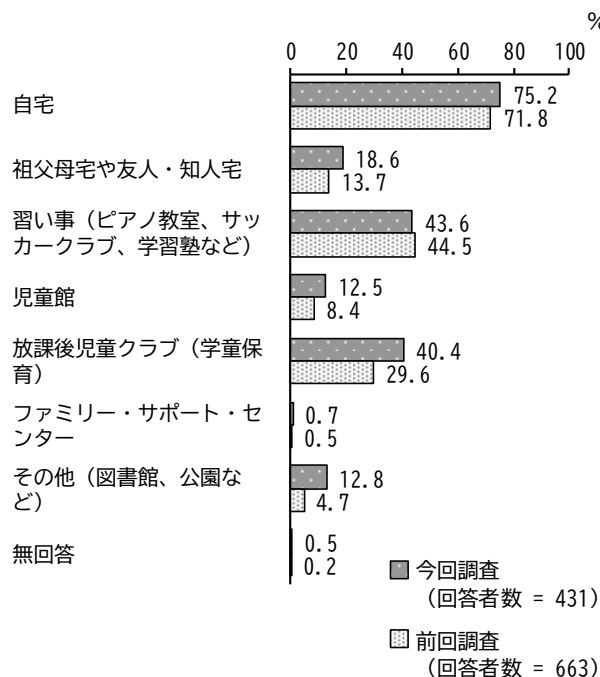
※前回調査では、「子どもの看護を理由に休みがとれない」の選択肢は「看護を理由に休みが取れない」、「自営業なので休めない」の選択肢は「自営業であるため休めない」となっていました。

(7) お子さんの放課後の過ごし方と「放課後児童クラブ（学童保育）」について

問 17 宛名のお子さんは、現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。また、希望としてはどのような場所で過ごさせたいですか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ利用している、または希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には、利用している、または希望する時間も□内に数字でご記入ください。

「自宅」の割合が 75.2%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が 43.6%、「放課後児童クラブ（学童保育）」の割合が 40.4%となっています。

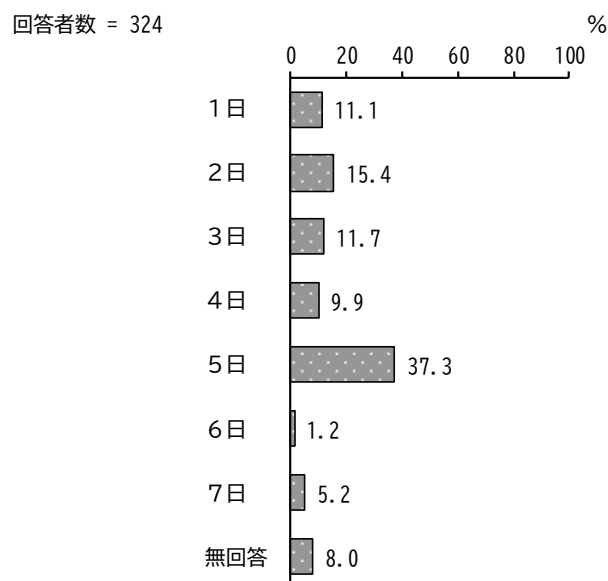
前回調査と比較すると、「放課後児童クラブ（学童保育）」「その他（図書館、公園など）」の割合が増加しています。



現状 1 週当たりの日数

自宅

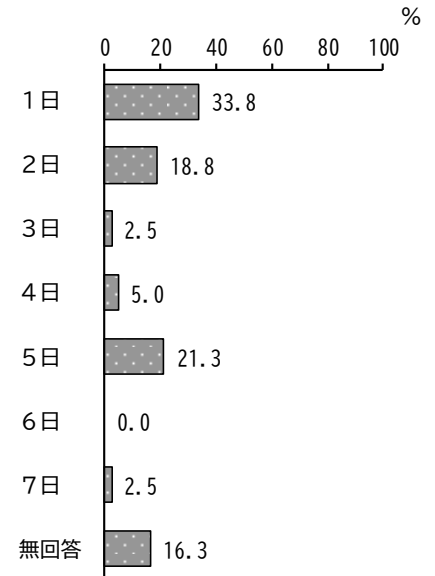
「5日」の割合が 37.3%と最も高く、次いで「2日」の割合が 15.4%、「3日」の割合が 11.7%となっています。



祖父母宅や友人・知人宅

「1日」の割合が 33.8%と最も高く、次いで
「5日」の割合が 21.3%、「2日」の割合が 18.8%
となっています。

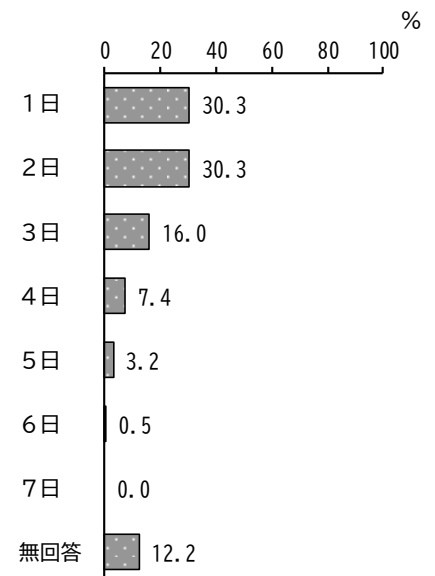
回答者数 = 80



習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）

「1日」、「2日」の割合が 30.3%と最も高く、
次いで「3日」の割合が 16.0%となっています。

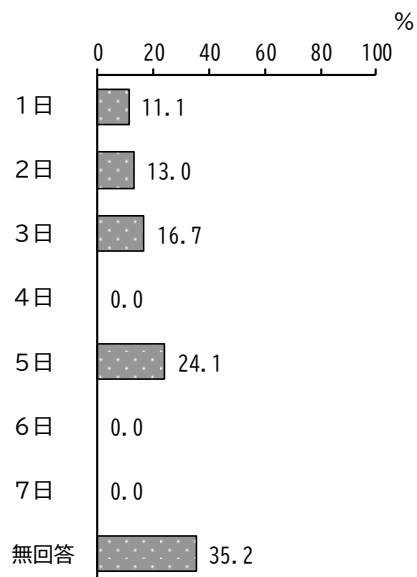
回答者数 = 188



児童館

「5日」の割合が 24.1%と最も高く、次いで「3日」の割合が 16.7%、「2日」の割合が 13.0%となっています。

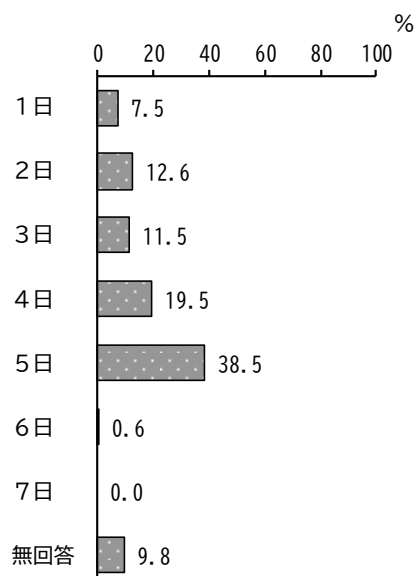
回答者数 = 54



放課後児童クラブ（学童保育）

「5日」の割合が 38.5%と最も高く、次いで「4日」の割合が 19.5%、「2日」の割合が 12.6%となっています。

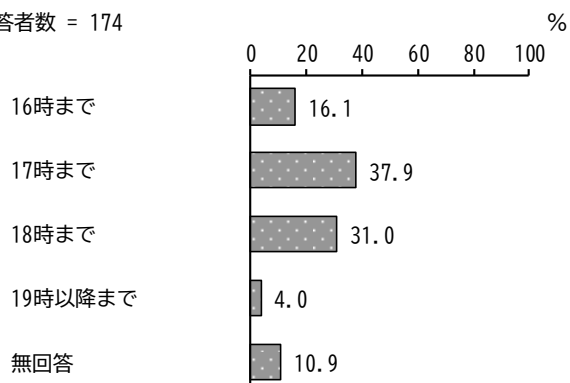
回答者数 = 174



利用終了時刻

「17時まで」の割合が 37.9%と最も高く、次いで「18時まで」の割合が 31.0%、「16時まで」の割合が 16.1%となっています。

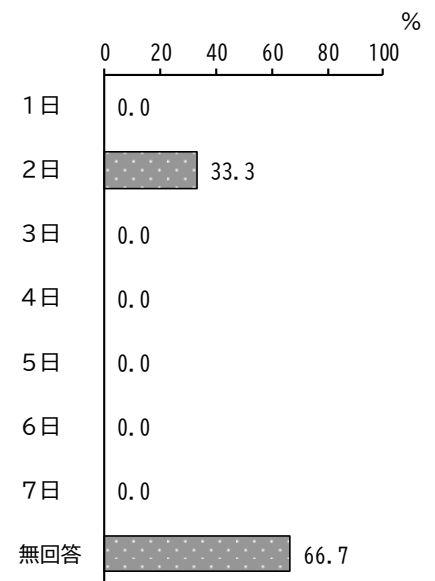
回答者数 = 174



ファミリー・サポート・センター

「2日」が1件となっています。

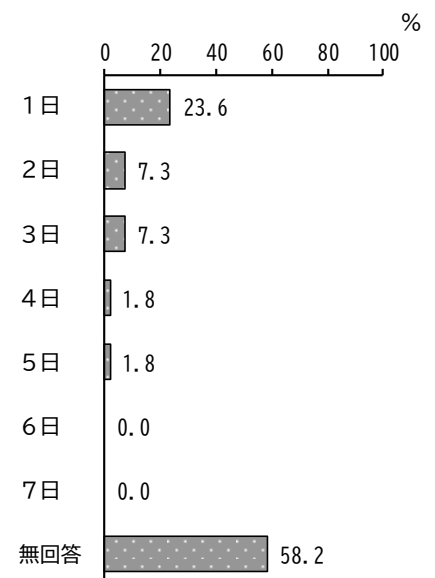
回答者数 = 3



その他

「1日」の割合が23.6%と最も高くなっています。

回答者数 = 55

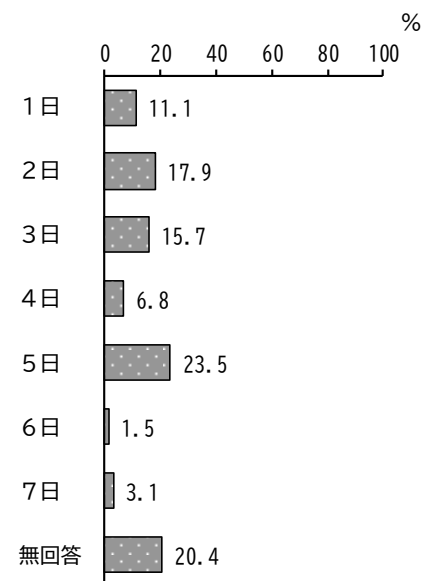


希望 1週当たりの日数

自宅

「5日」の割合が23.5%と最も高く、次いで「2日」の割合が17.9%、「3日」の割合が15.7%となっています。

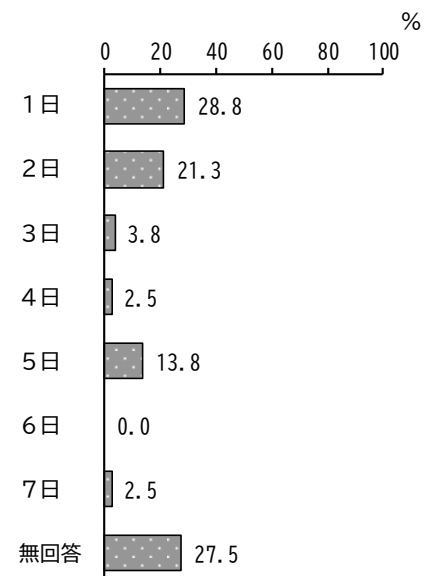
回答者数 = 324



祖父母宅や友人・知人宅

「1日」の割合が28.8%と最も高く、次いで「2日」の割合が21.3%、「5日」の割合が13.8%となっています。

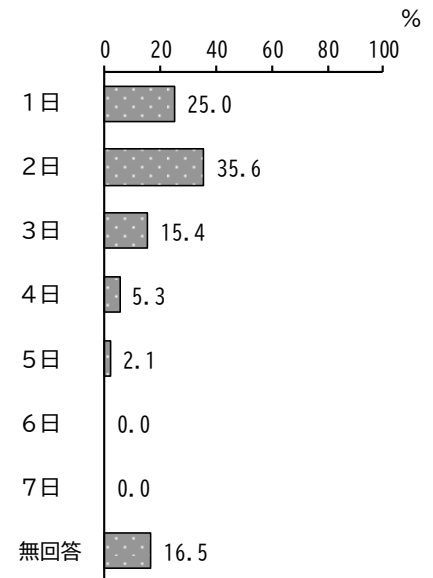
回答者数 = 80



習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）

「2日」の割合が 35.6%と最も高く、次いで
「1日」の割合が 25.0%、「3日」の割合が 15.4%
となっています。

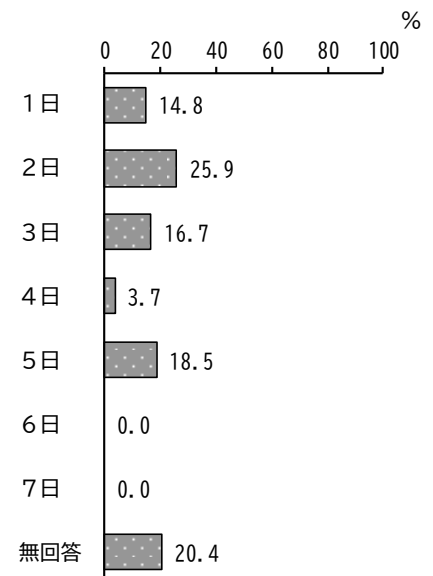
回答者数 = 188



児童館

「2日」の割合が 25.9%と最も高く、次いで
「5日」の割合が 18.5%、「3日」の割合が 16.7%
となっています。

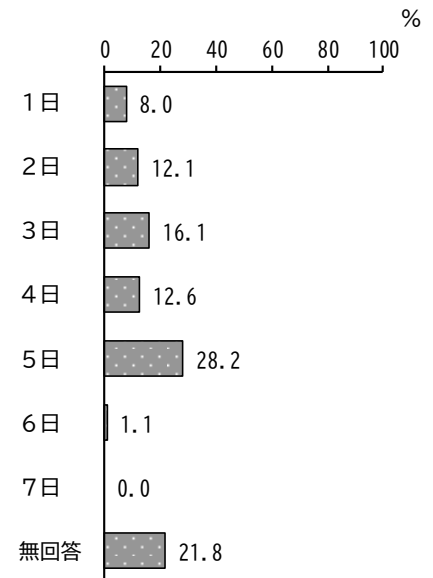
回答者数 = 54



放課後児童クラブ（学童保育）

「5日」の割合が 28.2%と最も高く、次いで「3日」の割合が 16.1%、「4日」の割合が 12.6%となっています。

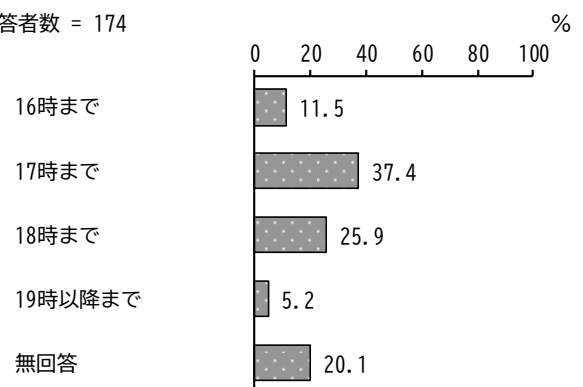
回答者数 = 174



利用終了時刻

「17時まで」の割合が 37.4%と最も高く、次いで「18時まで」の割合が 25.9%、「16時まで」の割合が 11.5%となっています。

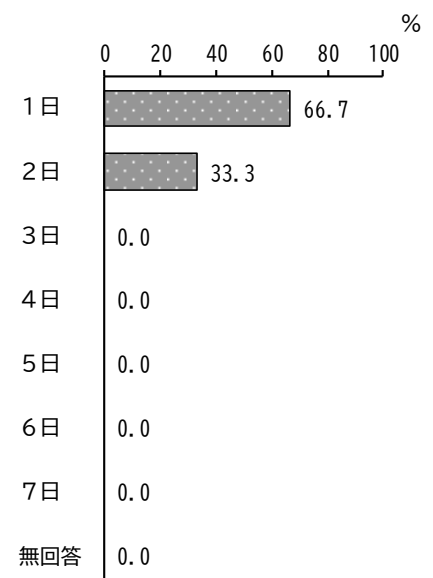
回答者数 = 174



ファミリー・サポート・センター

「1日」が2件となっています。「2日」が1件となっています。

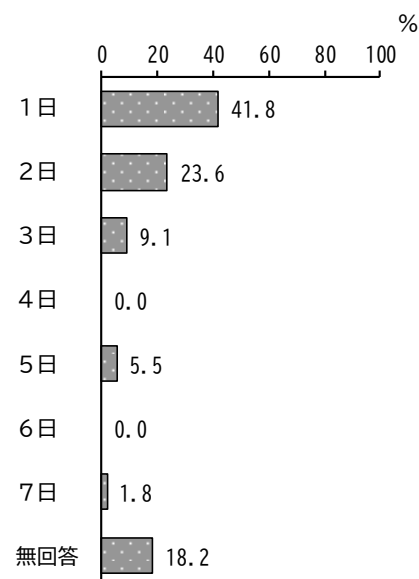
回答者数 = 3



その他

「1日」の割合が41.8%と最も高く、次いで「2日」の割合が23.6%となっています。

回答者数 = 55

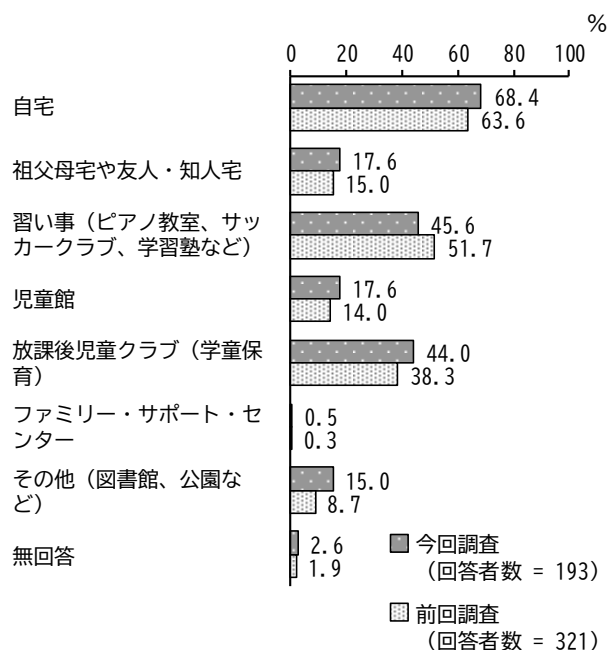


宛名のお子さんが小学校3年生以下の方にかがいます。

問 18 宛名のお子さんが、小学校高学年（4～6年生）になった時に、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。

「自宅」の割合が68.4%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が45.6%、「放課後児童クラブ（学童保育）」の割合が44.0%となっています。

前回調査と比較すると、「放課後児童クラブ（学童保育）」「その他（図書館、公園など）」の割合が増加しています。一方、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が減少しています。



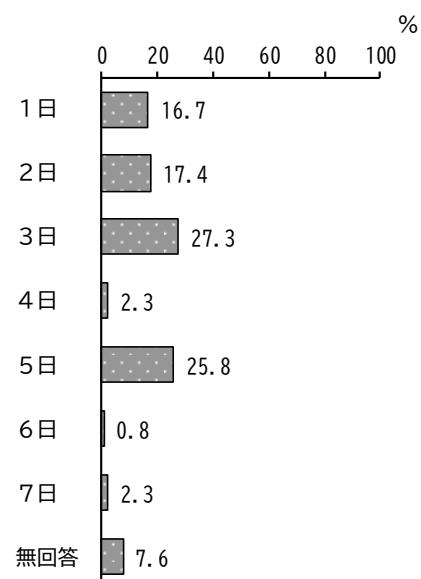
※前回調査では、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の選択肢は「習い事」、「放課後児童クラブ（学童保育）」の選択肢は「放課後児童クラブ」となっていました。

1週当たりの希望日数

自宅

「3日」の割合が 27.3%と最も高く、次いで
「5日」の割合が 25.8%、「2日」の割合が 17.4%
となっています。

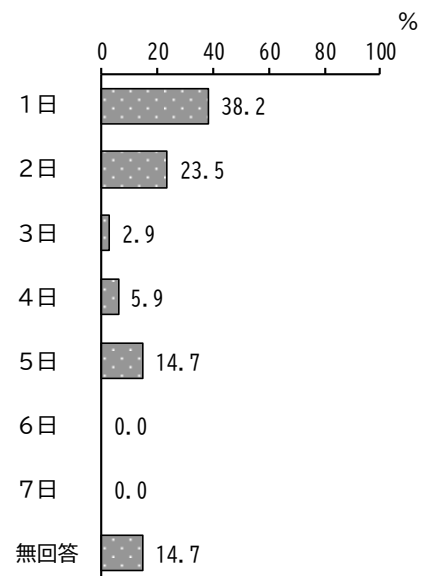
回答者数 = 132



祖父母宅や友人・知人宅

「1日」の割合が 38.2%と最も高く、次いで
「2日」の割合が 23.5%、「5日」の割合が 14.7%
となっています。

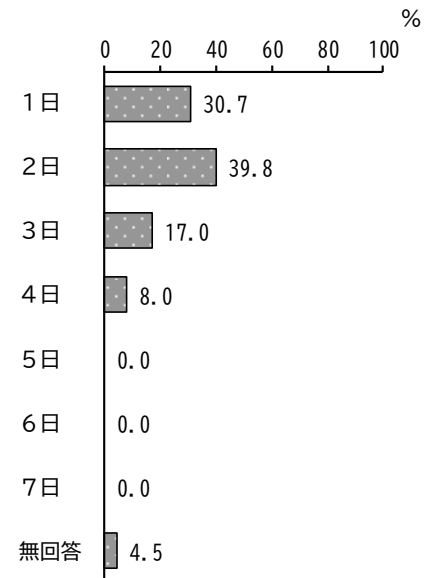
回答者数 = 34



習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）

「2日」の割合が 39.8%と最も高く、次いで
「1日」の割合が 30.7%、「3日」の割合が 17.0%
となっています。

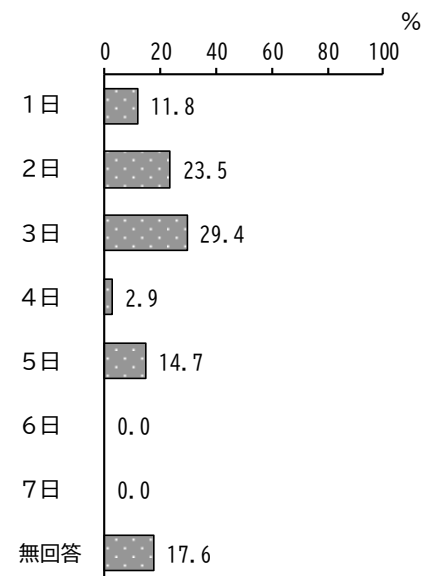
回答者数 = 88



児童館

「3日」の割合が 29.4%と最も高く、次いで
「2日」の割合が 23.5%、「5日」の割合が 14.7%
となっています。

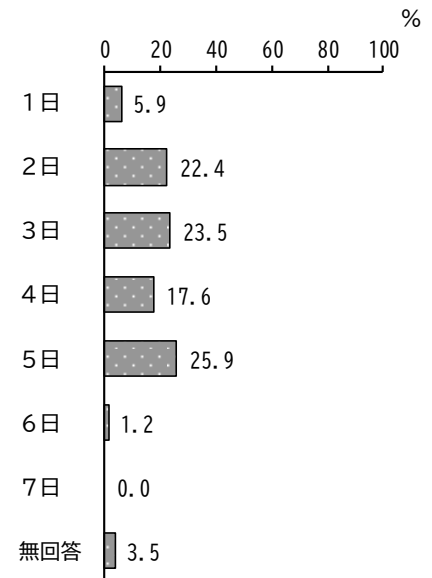
回答者数 = 34



放課後児童クラブ（学童保育）

「5日」の割合が 25.9%と最も高く、次いで「3日」の割合が 23.5%、「2日」の割合が 22.4%となっています。

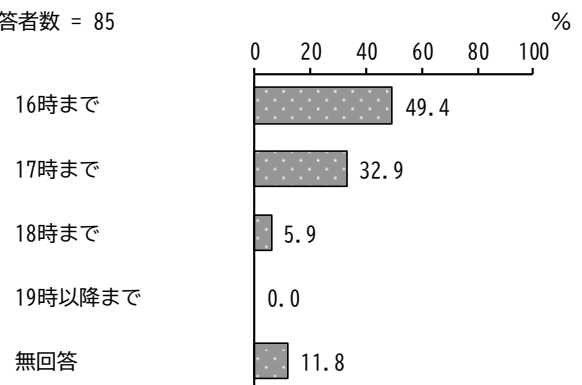
回答者数 = 85



利用終了時刻

「16時まで」の割合が 49.4%と最も高く、次いで「17時まで」の割合が 32.9%となっています。

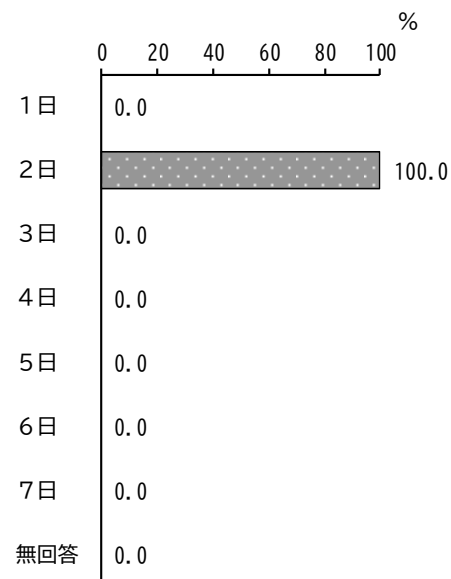
回答者数 = 85



ファミリー・サポート・センター

「2日」が1件となっています。

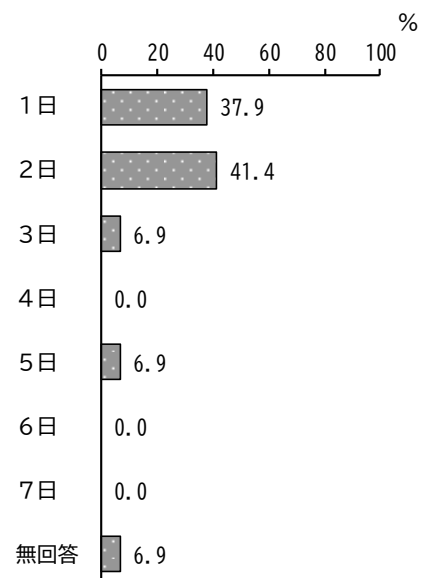
回答者数 = 1



その他（図書館、公園など）

「2日」の割合が 41.4%と最も高く、次いで
「1日」の割合が 37.9%となっています。

回答者数 = 29



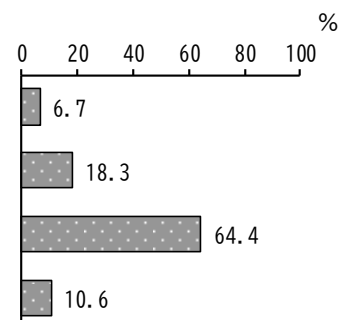
問 19 問 17 または問 18 で「5. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望はありますか。（1）～（3）それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に（例）09 時、18 時のように 24 時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

（1）土曜日

「利用希望はない」の割合が 64.4%と最も高く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が 18.3%となっています。

回答者数 = 104

低学年（1～3年生）の間は利用したい
高学年（4～6年生）になっても利用したい
利用希望はない
無回答



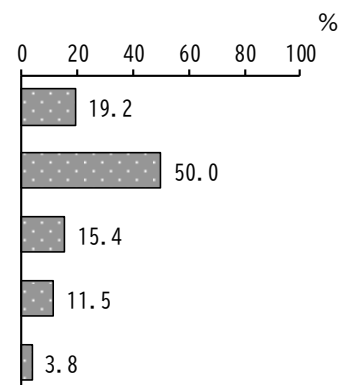
利用したい時間帯

開始時間

「8時から」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「8時以前から」の割合が 19.2%、「9時から」の割合が 15.4%となっています。

回答者数 = 26

8時以前から
8時から
9時から
10時以降から
無回答

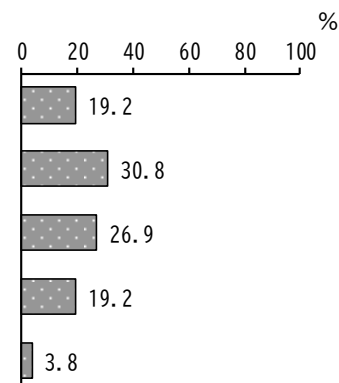


終了時間

「17時まで」の割合が 30.8%と最も高く、次いで「18時まで」の割合が 26.9%、「16時以前まで」、「19時以降まで」の割合が 19.2%となっています。

回答者数 = 26

16時以前まで
17時まで
18時まで
19時以降まで
無回答



(2) 日曜・祝日 ※現在、北杜市では行っていません。

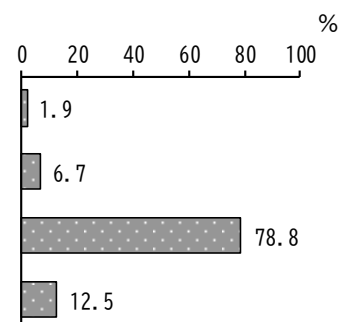
「利用希望はない」の割合が 78.8%と最も高くなっています。

回答者数 = 104

低学年（1～3年生）の間は利用したい
高学年（4～6年生）になっても利用したい

利用希望はない

無回答



利用したい時間帯

開始時間

「8時以前から」、「8時から」が3件となっています。「9時から」、「10時以降から」が1件となっています。

回答者数 = 9

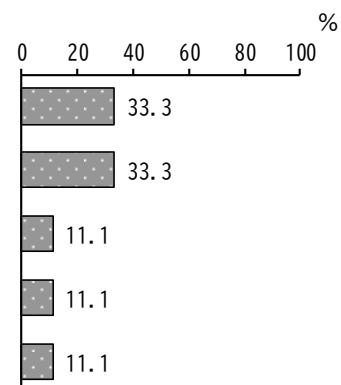
8時以前から

8時から

9時から

10時以降から

無回答



終了時間

「17時まで」、「19時以降まで」が3件となっています。「18時まで」が2件となっています。

回答者数 = 9

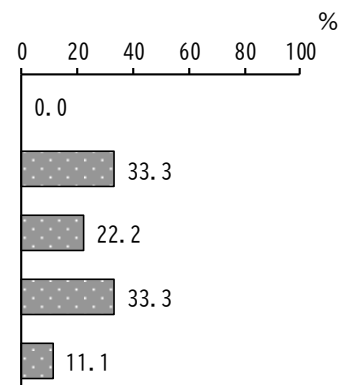
16時以前まで

17時まで

18時まで

19時以降まで

無回答



(3) 長期休暇中（夏休み・冬休みなど）

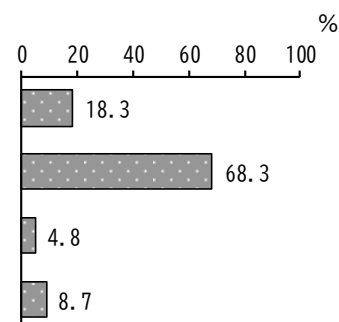
「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が68.3%と最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が18.3%となっています。

回答者数 = 104

低学年（1～3年生）の間は利用したい
高学年（4～6年生）になっても利用したい

利用希望はない

無回答



利用したい時間帯

開始時間

「8時から」の割合が61.1%と最も高く、次いで「9時から」の割合が18.9%、「8時以前から」の割合が13.3%となっています。

回答者数 = 90

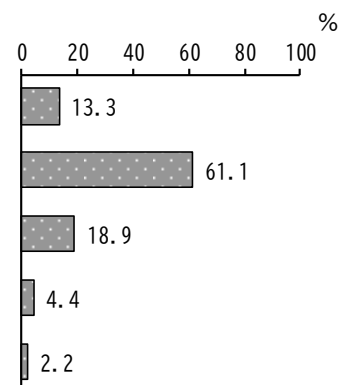
8時以前から

8時から

9時から

10時以降から

無回答



終了時間

「17時まで」の割合が35.6%と最も高く、次いで「18時まで」の割合が32.2%、「16時以前まで」の割合が18.9%となっています。

回答者数 = 90

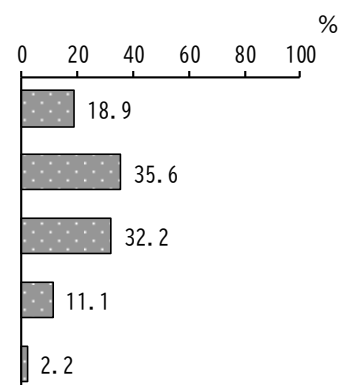
16時以前まで

17時まで

18時まで

19時以降まで

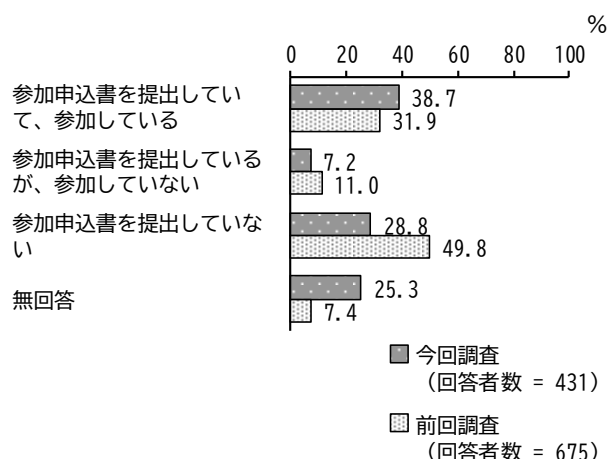
無回答



問 20 放課後子ども教室（ほくとワクワク教室）についてうかがいます。今年度の利用状況について当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「参加申込書を提出していて、参加している」の割合が 38.7%と最も高く、次いで「参加申込書を提出していない」の割合が 28.8%となっています。

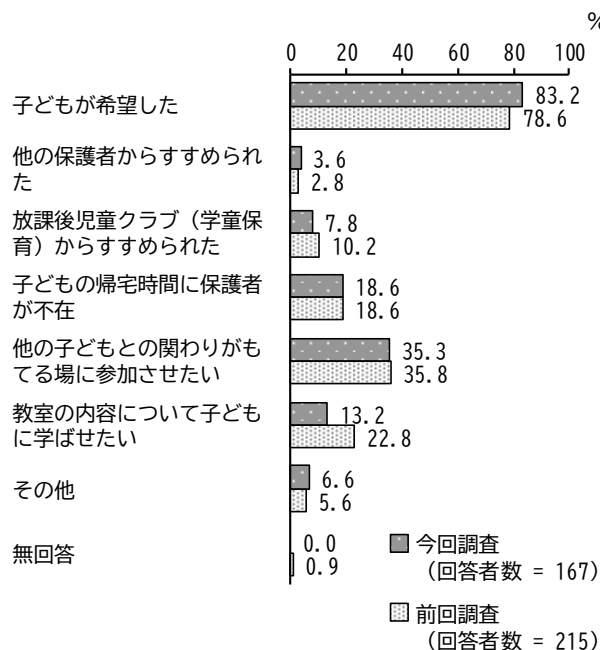
前回調査と比較すると、「参加申込書を提出していて、参加している」の割合が増加しています。一方、「参加申込書を提出していない」の割合が減少しています。



問 20－（１） 問 20 で「1. 参加申込書を提出していて、参加している」に○をつけた方にうかがいます。参加させるきっかけについて、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもが希望した」の割合が 83.2%と最も高く、次いで「他の子どもとの関わりがもてる場に参加させたい」の割合が 35.3%、「子どもの帰宅時間に保護者が不在」の割合が 18.6%となっています。

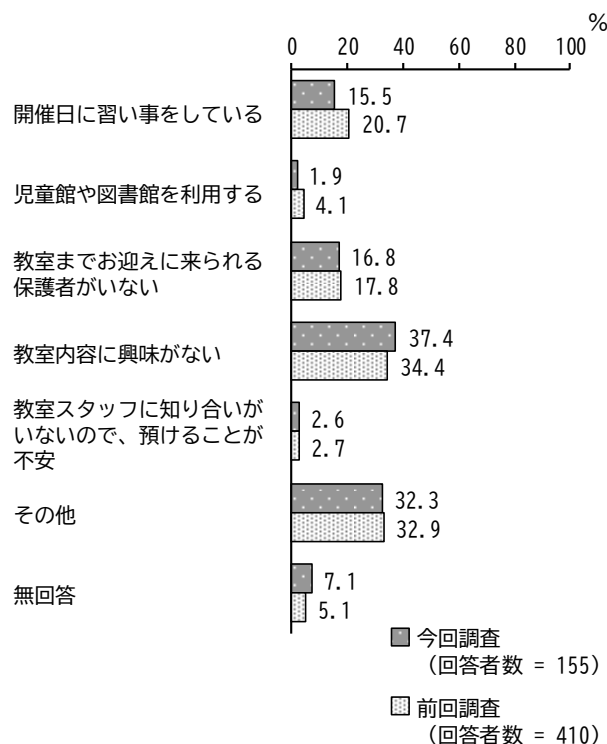
前回調査と比較すると、「教室の内容について子どもに学ばせたい」の割合が減少しています。



問 20－（２） 問 20 で「２．参加申込書を提出しているが、参加していない」、「３．参加申込書を提出していない」に○をつけた方にうかがいます。参加していない理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「教室内容に興味がない」の割合が 37.4%と最も高く、次いで「教室までお迎えに来られる保護者がいない」の割合が 16.8%、「開催日に習い事をしている」の割合が 15.5%となっています。

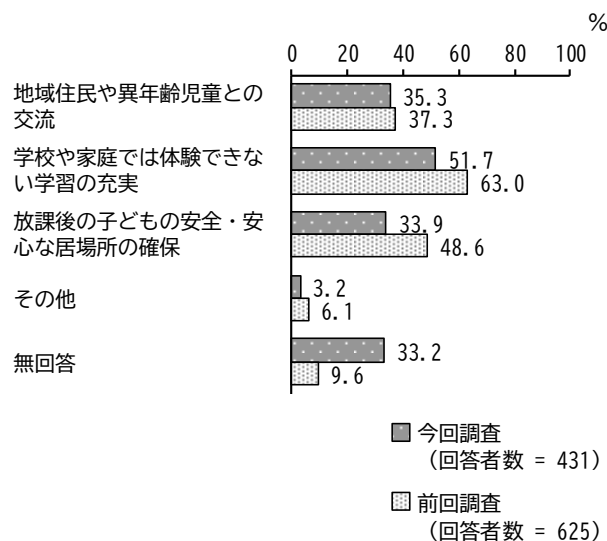
前回調査と比較すると、「開催日に習い事をしている」の割合が減少しています。



問 20－（３） 放課後子ども教室（ほくとワクワク教室）に期待することはどのようなことですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「学校や家庭では体験できない学習の充実」の割合が 51.7%と最も高く、次いで「地域住民や異年齢児童との交流」の割合が 35.3%、「放課後の子どもの安全・安心な居場所の確保」の割合が 33.9%となっています。

前回調査と比較すると、「学校や家庭では体験できない学習の充実」「放課後の子どもの安全・安心な居場所の確保」の割合が減少しています。

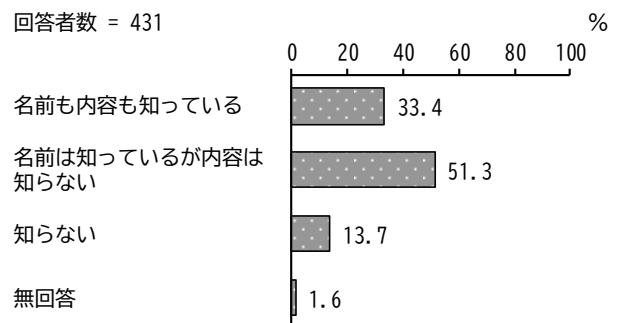


(8) こどもの権利について

問 21 あなたは、「こどもの権利」という言葉を知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「名前は知っているが内容は知らない」の割合が51.3%と最も高く、次いで「名前も内容も知っている」の割合が33.4%、「知らない」の割合が13.7%となっています。

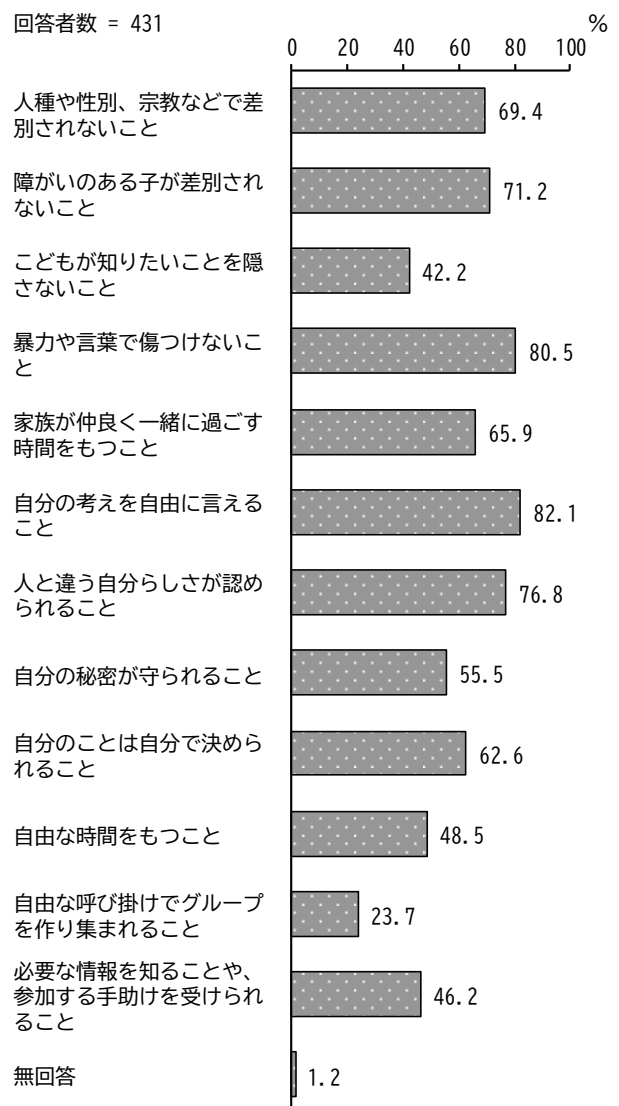
回答者数 = 431



問 22 こどもの権利の中で特に大切だと思うことはどれですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

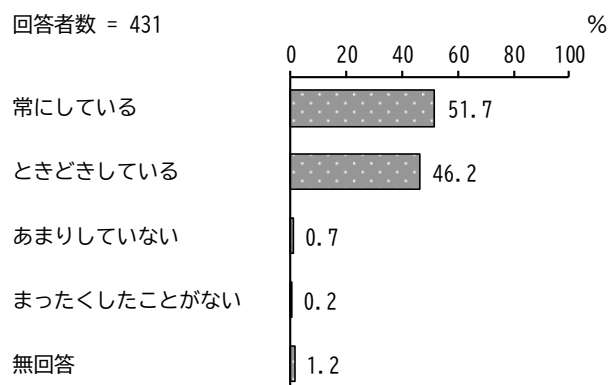
「自分の考えを自由に言えること」の割合が82.1%と最も高く、次いで「暴力や言葉で傷つけないこと」の割合が80.5%、「人と違う自分らしさが認められること」の割合が76.8%となっています。

回答者数 = 431



問 23 あなたは、子育てをしていて、子どもからの意見や要望を聞き、それらを取り入れるように意識をしたことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

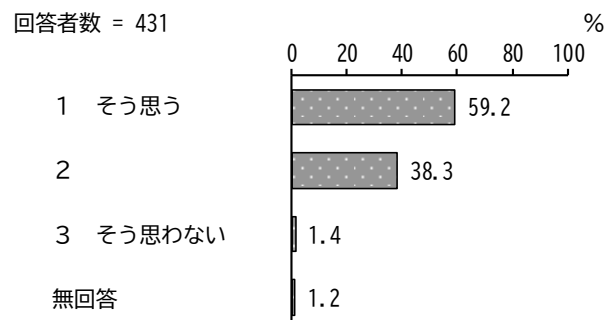
「常にしている」の割合が51.7%と最も高く、次いで「ときどきしている」の割合が46.2%となっています。



問 24 あなたは、以下のことについてどのように思いますか。それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

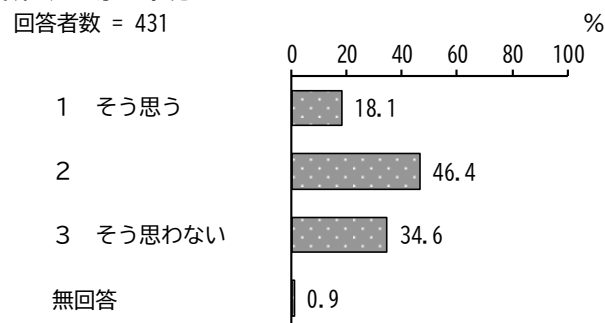
こどもは権利の主体である

「1 そう思う」の割合が59.2%と最も高く、次いで「2」の割合が38.3%となっています。



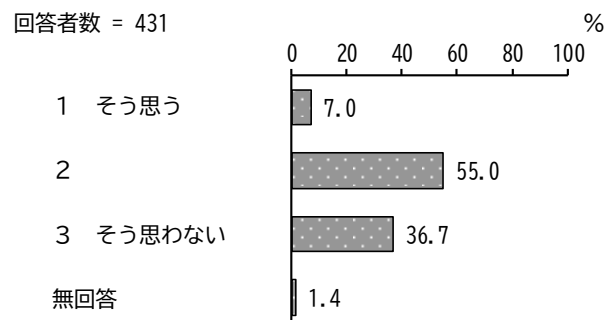
あなたの周りには、こどもや若者の遊びや体験活動の機会や場が十分にある

「2」の割合が46.4%と最も高く、次いで「3 そう思わない」の割合が34.6%、「1 そう思う」の割合が18.1%となっています。



障害のあるこども・若者、発達に特性のあるこども・若者の地域社会への参加・包容（インクルージョン）が推進されている

「2」の割合が55.0%と最も高く、次いで「3 そう思わない」の割合が36.7%となっています。



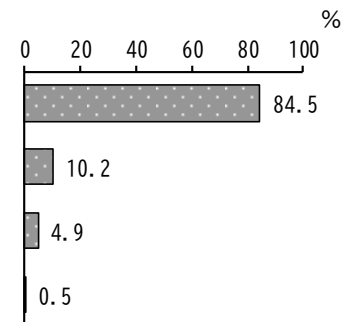
(9) ヤングケアラーについて

問 25 あなたは、「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「聞いたことがあり、内容も知っている」の割合が 84.5%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、よく知らない」の割合が 10.2%となっています。

回答者数 = 431

聞いたことがあり、内容も知っている
聞いたことはあるが、よく知らない
聞いたことはない
無回答

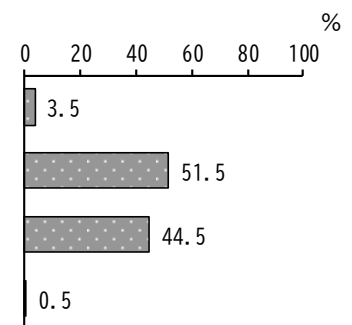


問 26 あなたの身近に、ヤングケアラーと思われる子どもがいる家庭はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「ない」の割合が 51.5%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 44.5%となっています。

回答者数 = 431

ある
ない
わからない
無回答

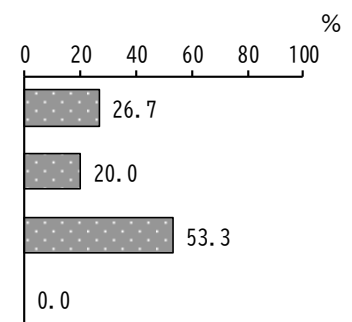


問 26－(1) 問 26 で「1. ある」と回答した方にうかがいます。あなたはその家庭に対し、どのようなことをしましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「何もなかった」の割合が 53.3%と最も高く、次いで「相談にのった」の割合が 26.7%、「市の窓口や相談機関等に相談した」の割合が 20.0%となっています。

回答者数 = 15

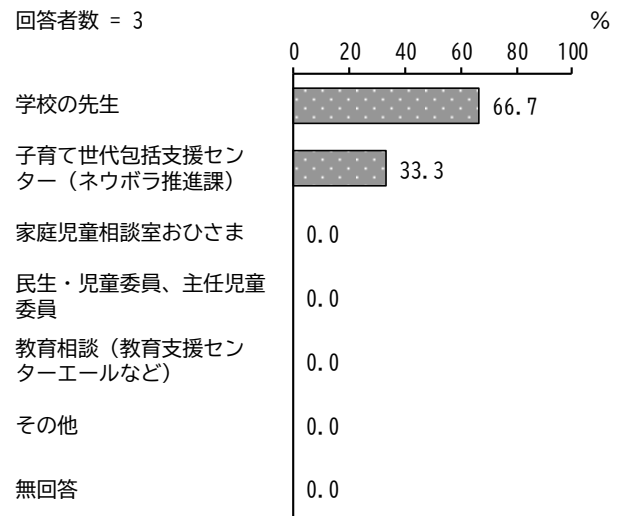
相談にのった
市の窓口や相談機関等に相談した
何もなかった
無回答



問 26－（2） 問 26－（1）で「2. 市の窓口や相談機関等に相談した」と回答した方
にうかがいます。その相談先はどこですか。当てはまる番号すべてに○をつけてく
ださい。

「学校の先生」が2件となっています。「子育
て世代包括支援センター（ネウボラ推進課）」が
1件となっています。

回答者数 = 3



(10) 北杜市の子育て関連の取り組み全般について

問 27 北杜市における子育ての環境や支援への満足度・楽しさ・大変さ・子育てしやすさについて、それぞれ当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

満足度

「3」の割合が 37.1%と最も高く、次いで「2」の割合が 35.3%、「4」の割合が 13.9%となっています。

回答者数 = 431

1 満足度が高い

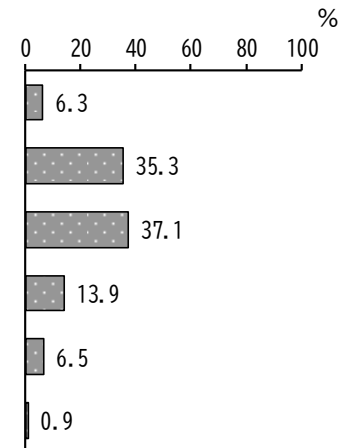
2

3

4

5 満足度が低い

無回答



子育ての楽しさ

「2」の割合が 42.7%と最も高く、次いで「3」の割合が 29.7%、「1 子育てが楽しい」の割合が 22.5%となっています。

回答者数 = 431

1 子育てが楽しい

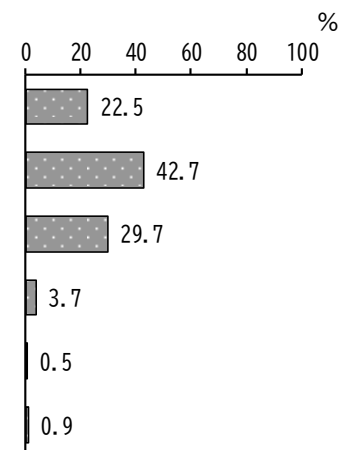
2

3

4

5 子育てが楽しくない

無回答



子育ての大変さ

「3」の割合が 36.0%と最も高く、次いで「4」の割合が 27.4%、「2」の割合が 17.6%となっています。

回答者数 = 431

1 子育てが大変と感じない

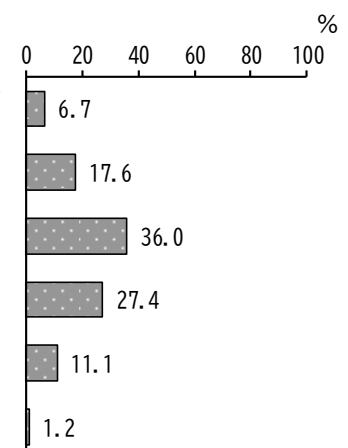
2

3

4

5 子育てが大変と感じる

無回答



子育てのしやすさ

「3」の割合が35.7%と最も高く、次いで「2」の割合が34.6%、「4」の割合が13.9%となっています。

回答者数 = 431

1 子育てしやすい

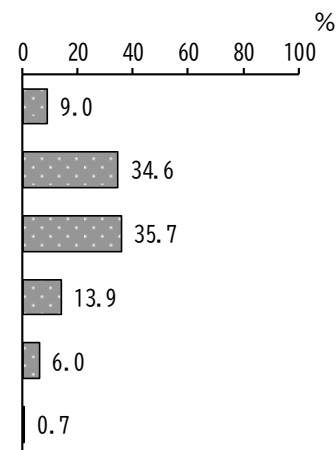
2

3

4

5 子育てしにくい

無回答



問 28 市の子育て環境や子育て支援事業に対して、あなたはどの程度満足を感じていますか。次の①～⑧の項目についてそれぞれ評価し、あなたのお考えに最も近いものを1つずつ選び、番号を○印で囲んでください。

『①保育料第2子以降無料化制度』で「非常に満足」の割合が高くなっています。また、『④病児・病後児保育』で「利用したことがない」の割合が高くなっています。

■ 非常に満足 ■ 満足 ■ 不満
■ 非常に不満 ■ 利用したことがない □ 無回答

回答者数 = 431

①保育料第2子以降無料化制度

②市立保育園

③認定こども園

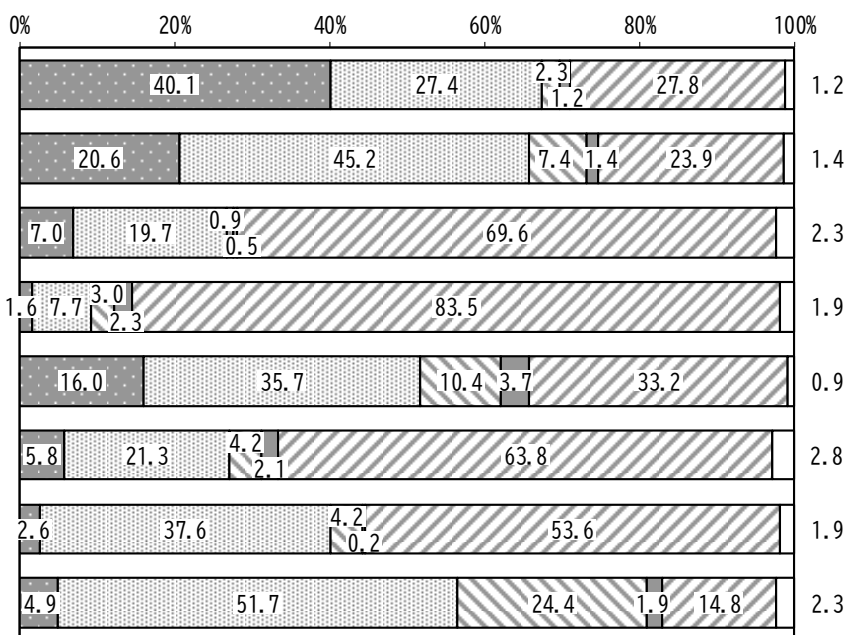
④病児・病後児保育

⑤放課後児童クラブ
(学童保育)

⑥児童館

⑦子育て情報サイト
「やまねっと」

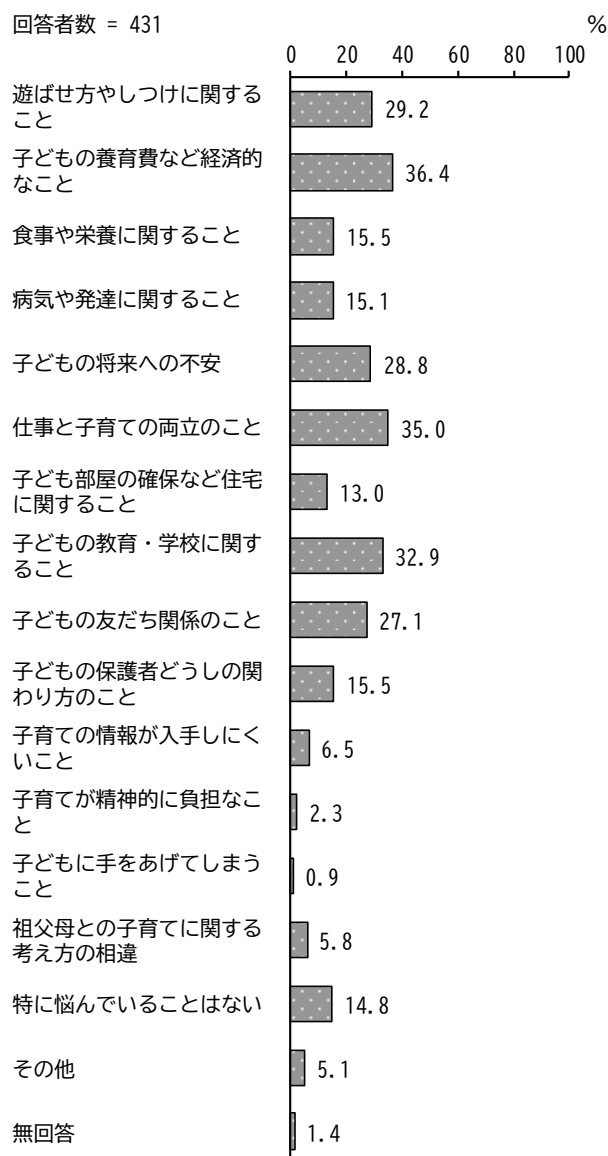
⑧子育て環境全般



問 29 お子さんの子育てに関して、悩んでいるのはどのようなことですか。当てはまる理由すべてに○をつけてください。

「子どもの養育費など経済的なこと」の割合が36.4%と最も高く、次いで「仕事と子育ての両立のこと」の割合が35.0%、「子どもの教育・学校に関すること」の割合が32.9%となっています。

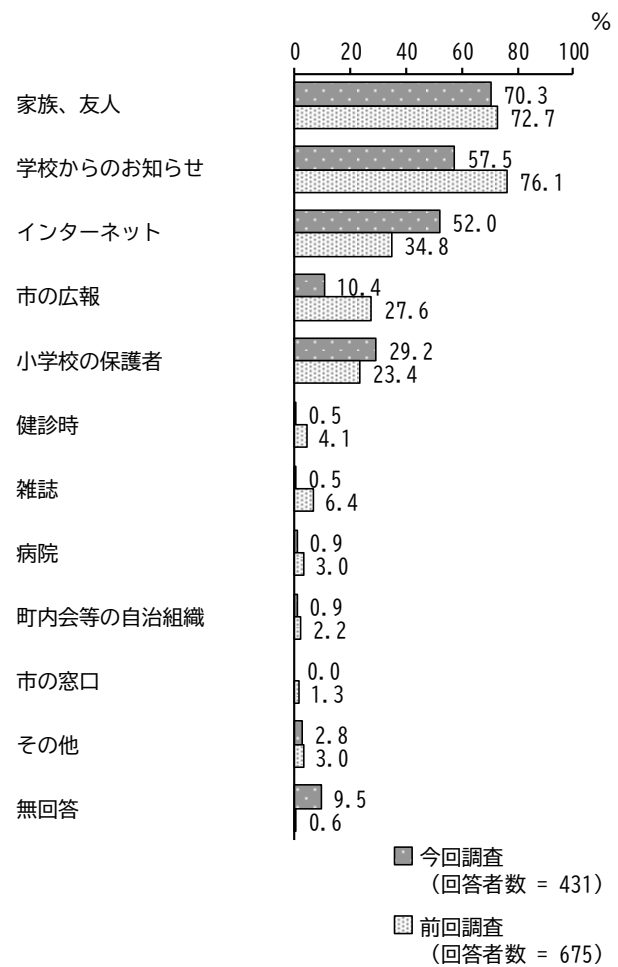
回答者数 = 431



問 30 あなたは子育てに関する情報を主にどのように入手していますか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

「家族、友人」の割合が70.3%と最も高く、次いで「学校からのお知らせ」の割合が57.5%、「インターネット」の割合が52.0%となっています。

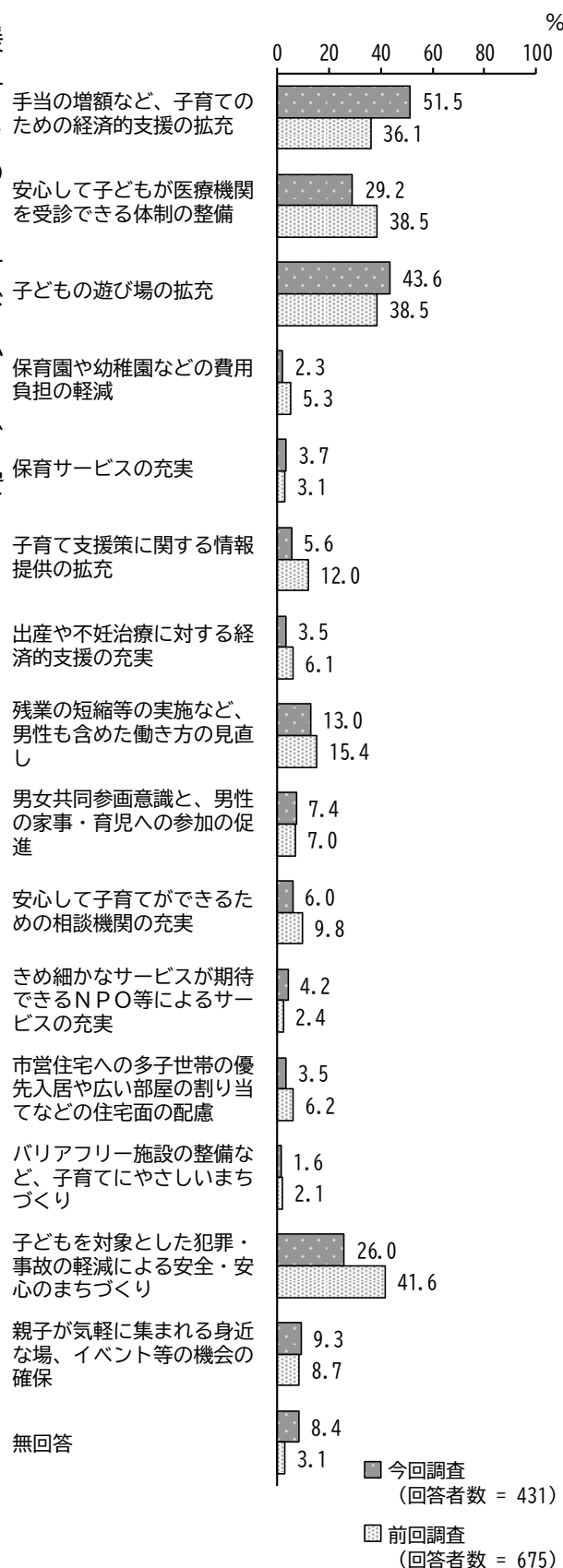
前回調査と比較すると、「インターネット」「小学校の保護者」の割合が増加しています。一方、「学校からのお知らせ」「市の広報」「雑誌」の割合が減少しています。



問 31 市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいと期待していますか。
当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

「手当の増額など、子育てのための経済的支援の拡充」の割合が51.5%と最も高く、次いで「子どもの遊び場の拡充」の割合が43.6%、「安心して子どもが医療機関を受診できる体制の整備」の割合が29.2%となっています。

前回調査と比較すると、「手当の増額など、子育てのための経済的支援の拡充」「子どもの遊び場の拡充」の割合が増加しています。一方、「安心して子どもが医療機関を受診できる体制の整備」「子育て支援策に関する情報提供の拡充」「子どもを対象とした犯罪・事故の軽減による安全・安心のまちづくり」の割合が減少しています。

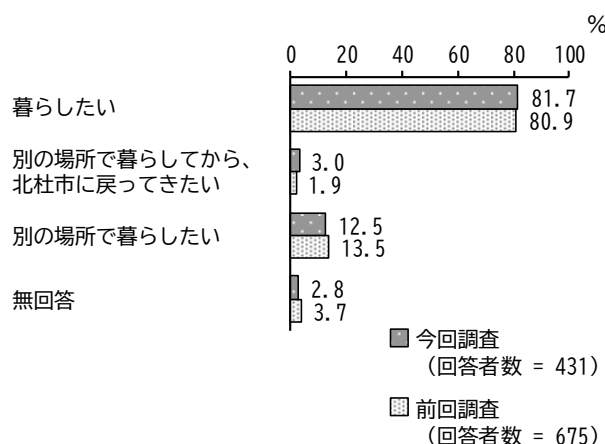


※前回調査では、「子どもの遊び場の拡充」の選択肢は「児童館や公園など子どもの遊び場の拡充」となっていました。

問 32 あなたは、これからも北杜市で暮らしたいですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「暮らしたい」の割合が 81.7%と最も高く、次いで「別の場所で暮らしたい」の割合が 12.5%となっています。

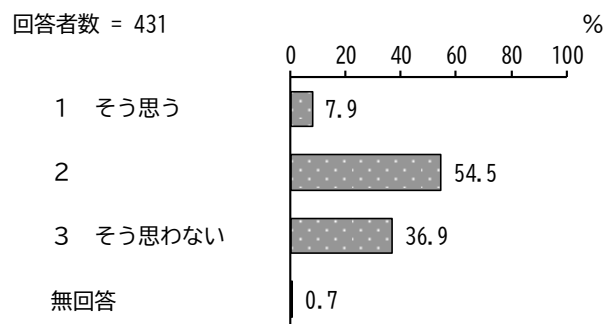
前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 33 あなたは、以下のことについてどのように思いますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

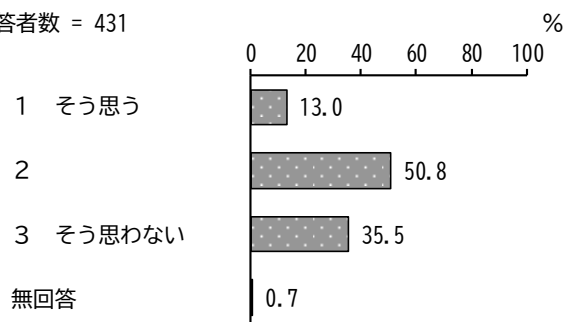
子どもまんなか社会の実現に向かっている

「2」の割合が 54.5%と最も高く、次いで「3 そう思わない」の割合が 36.9%となっています。



結婚、妊娠、子ども・子育てに温かい社会の実現に向かっている

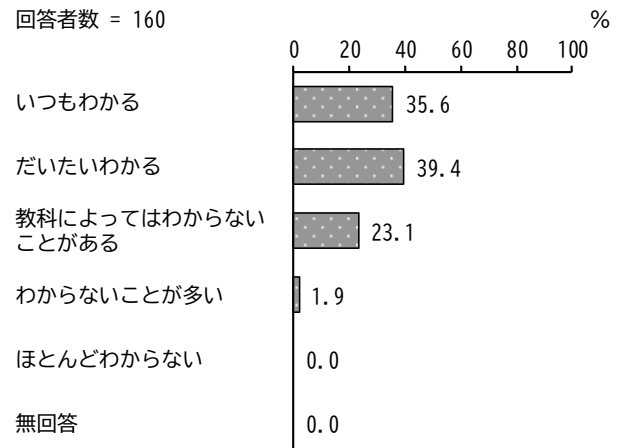
「2」の割合が 50.8%と最も高く、次いで「3 そう思わない」の割合が 35.5%、「1 そう思う」の割合が 13.0%となっています。



3 小学5年生

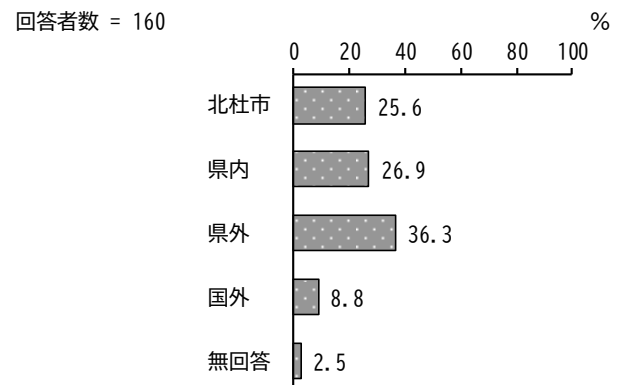
問1 あなたは、学校での授業がわかりますか。(あてはまるもの1つに○)

「だいたいわかる」の割合が 39.4%と最も高く、次いで「いつもわかる」の割合が 35.6%、「教科によってはわからないことがある」の割合が 23.1%となっています。



問2 あなたは、将来、どこで仕事をしたいですか。(あてはまるもの1つに○)

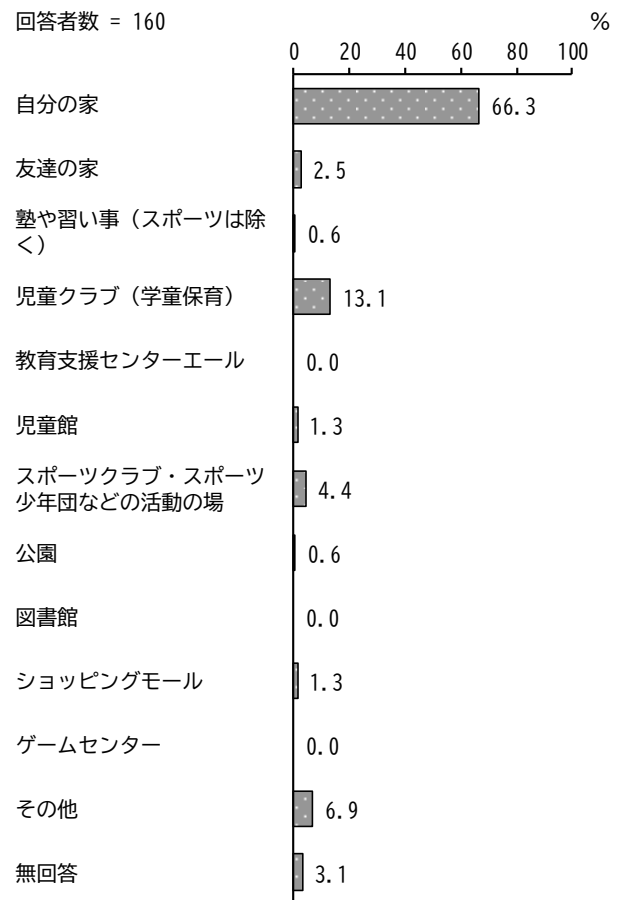
「県外」の割合が 36.3%と最も高く、次いで「県内」の割合が 26.9%、「北杜市」の割合が 25.6%となっています。



問3 あなたは、夏休みの間（日中）、どこで過ごすことが多かったですか。
（あてはまるもの1つに○）

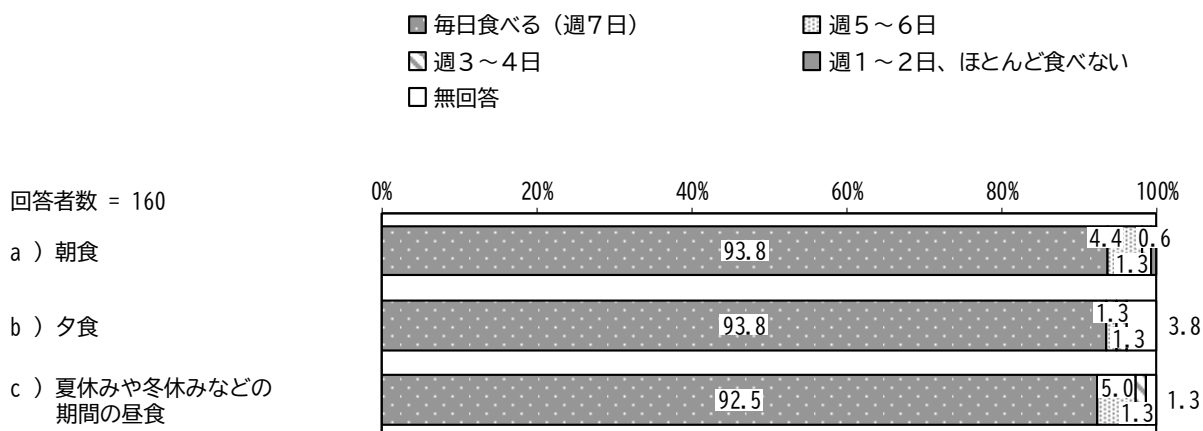
「自分の家」の割合が 66.3%と最も高く、次いで「児童クラブ（学童保育）」の割合が 13.1%となっています。

回答者数 = 160



問4 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。
(a～c それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

全ての項目で「毎日食べる（週7日）」の割合が高くなっています。



a) 朝食

【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「毎日食べる（週7日）」の割合が高くなっています。

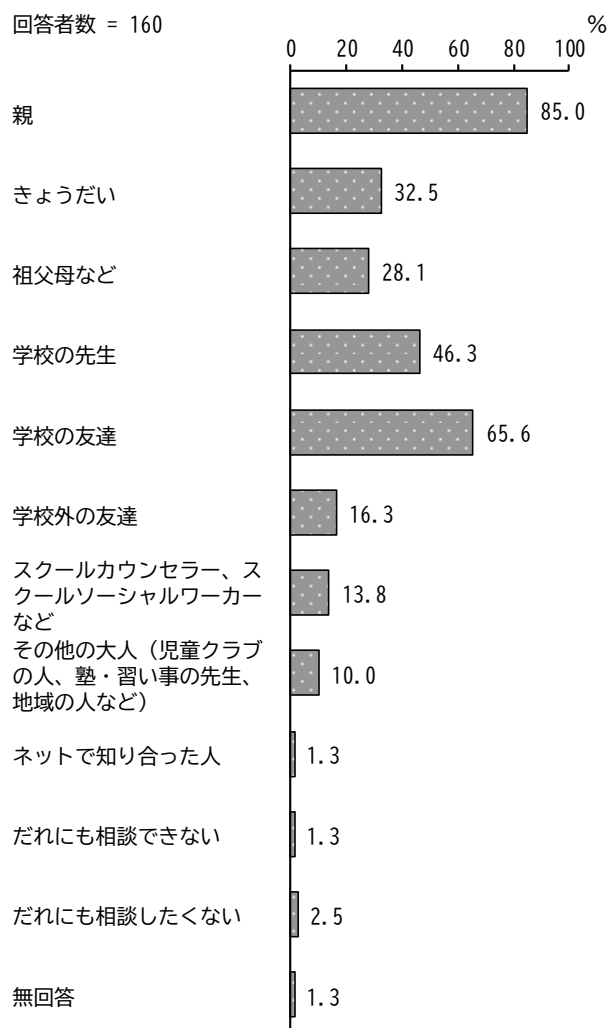
単位：％

区分	回答者数 (件)	毎日 食べる (週7 日)	週 5～ 6日	週 3～ 4日	週 1～2日、 ほとん ど食べ ない	無 回 答
全 体	160	93.8	4.4	1.3	0.6	—
ふたり親世帯	84	95.2	4.8	—	—	—
ひとり親世帯	10	100.0	—	—	—	—
その他（不明等）	66	90.9	4.5	3.0	1.5	—

問5 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。(1～9については、あてはまるものすべてに○)

「親」の割合が85.0%と最も高く、次いで「学校の友達」の割合が65.6%、「学校の先生」の割合が46.3%となっています。

回答者数 = 160



【家族構成別】

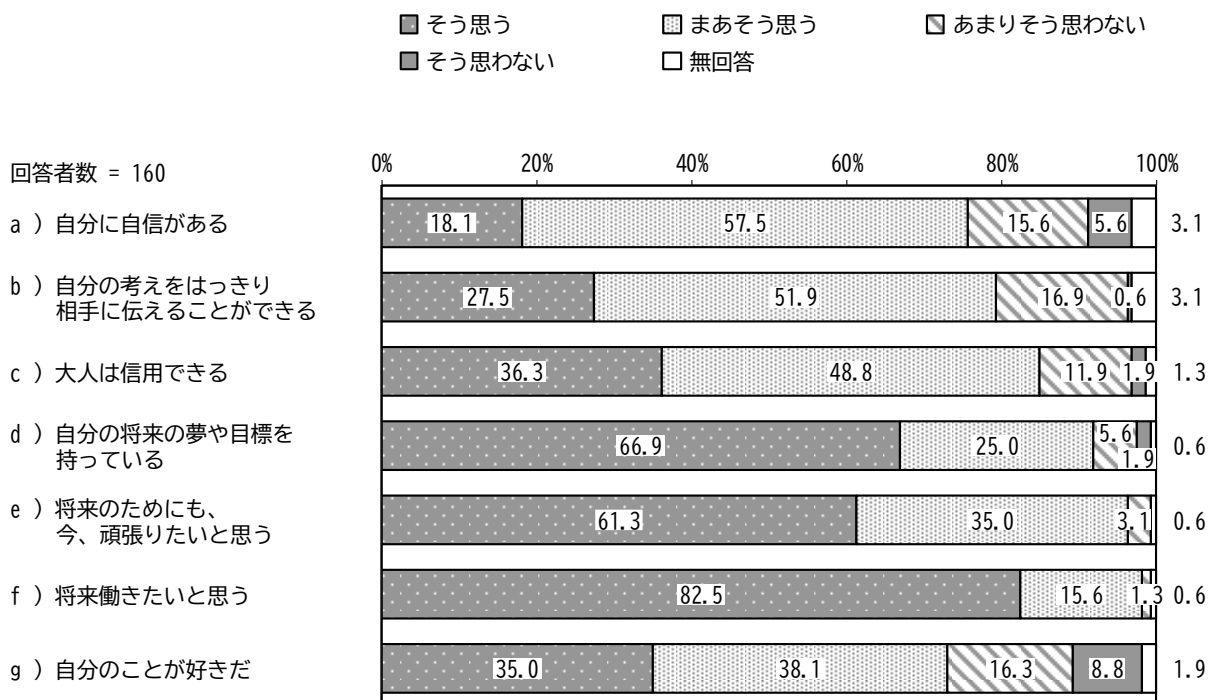
家族構成別にみると、ひとり親世帯で「学校の先生」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	親	きょうだい	祖父母など	学校の先生	学校の友達	学校外の友達	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど	その他の大人 (児童クラブの人、塾・習い事の先生、地域の人など)	ネットで知り合った人	だれにも相談できない	だれにも相談したくない	無回答
全 体	160	85.0	32.5	28.1	46.3	65.6	16.3	13.8	10.0	1.3	1.3	2.5	1.3
ふたり親世帯	84	84.5	38.1	34.5	44.0	66.7	11.9	14.3	13.1	1.2	1.2	2.4	1.2
ひとり親世帯	10	100.0	30.0	20.0	70.0	80.0	20.0	—	10.0	—	—	—	—
その他 (不明等)	66	83.3	25.8	21.2	45.5	62.1	21.2	15.2	6.1	1.5	1.5	3.0	1.5

問6 あなたが日常生活の中で感じていることについてお答えください。
(a～gそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

『f) 将来働きたいと思う』で「そう思う」の割合が高くなっています。一方、『g) 自分のことが好きだ』で「そう思わない」の割合が高くなっています。



a) 自分に自信がある

【相談相手別】

相談相手別にみると、その他の大人（児童クラブの人、塾・習い事の先生、地域の人など）で「まあそう思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう 思う	まあ そう 思う	い あ ま り そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答
全 体	160	18.1	57.5	15.6	5.6	3.1
親	136	19.9	61.8	11.8	4.4	2.2
きょうだい	52	26.9	59.6	11.5	1.9	—
祖父母など	45	26.7	57.8	6.7	6.7	2.2
学校の先生	74	18.9	64.9	10.8	2.7	2.7
学校の友達	105	23.8	58.1	13.3	2.9	1.9
学校外の友達	26	26.9	61.5	3.8	7.7	—
スクールカウンセラー、 スクールソーシャルワ ーカーなど	22	18.2	54.5	18.2	9.1	—
その他の大人（児童クラ ブの人、塾・習い事の先 生、地域の人など）	16	12.5	81.3	—	6.3	—
ネットで知り合った人	2	—	50.0	—	50.0	—
だれにも相談できない	2	—	—	100.0	—	—
だれにも相談したくない	4	—	25.0	75.0	—	—

b) 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

【相談相手別】

相談相手別にみると、その他の大人（児童クラブの人、塾・習い事の先生、地域の人など）で「まあそう思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう 思う	まあ そう 思う	い あ ま り そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答
全 体	160	27.5	51.9	16.9	0.6	3.1
親	136	27.9	52.9	16.2	0.7	2.2
きょうだい	52	23.1	55.8	21.2	—	—
祖父母など	45	26.7	60.0	13.3	—	—
学校の先生	74	24.3	60.8	10.8	1.4	2.7
学校の友達	105	30.5	51.4	16.2	—	1.9
学校外の友達	26	34.6	38.5	26.9	—	—
スクールカウンセラー、 スクールソーシャルワーカーなど	22	18.2	54.5	27.3	—	—
その他の大人（児童クラ ブの人、塾・習い事の先 生、地域の人など）	16	12.5	81.3	6.3	—	—
ネットで知り合った人	2	—	50.0	50.0	—	—
だれにも相談できない	2	—	100.0	—	—	—
だれにも相談したくない	4	25.0	25.0	50.0	—	—

c) 大人は信用できる

【相談相手別】

相談相手別にみると、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどで「まあそう思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	まあそう思う	い あまり そう 思わ な	そう 思わ ない	無 回 答
全 体	160	36.3	48.8	11.9	1.9	1.3
親	136	41.2	48.5	8.8	0.7	0.7
きょうだい	52	48.1	40.4	11.5	—	—
祖父母など	45	40.0	46.7	11.1	2.2	—
学校の先生	74	45.9	50.0	2.7	—	1.4
学校の友達	105	37.1	48.6	11.4	1.9	1.0
学校外の友達	26	26.9	50.0	23.1	—	—
スクールカウンセラー、 スクールソーシャルワ ーカーなど	22	27.3	63.6	9.1	—	—
その他の大人（児童クラ ブの人、塾・習い事の先 生、地域の人など）	16	31.3	56.3	6.3	6.3	—
ネットで知り合った人	2	100.0	—	—	—	—
だれにも相談できない	2	—	100.0	—	—	—
だれにも相談したくない	4	—	50.0	50.0	—	—

d) 自分の将来の夢や目標を持っている

【相談相手別】

相談相手別にみると、祖父母などで「そう思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう 思う	まあ そう 思う	い あ ま り そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答
全 体	160	66.9	25.0	5.6	1.9	0.6
親	136	65.4	27.9	5.9	—	0.7
きょうだい	52	69.2	26.9	3.8	—	—
祖父母など	45	80.0	15.6	2.2	2.2	—
学校の先生	74	75.7	17.6	6.8	—	—
学校の友達	105	73.3	21.9	4.8	—	—
学校外の友達	26	69.2	30.8	—	—	—
スクールカウンセラー、 スクールソーシャルワ ーカーなど	22	63.6	27.3	4.5	4.5	—
その他の大人（児童クラ ブの人、塾・習い事の先 生、地域の人など）	16	62.5	31.3	—	6.3	—
ネットで知り合った人	2	100.0	—	—	—	—
だれにも相談できない	2	50.0	—	—	50.0	—
だれにも相談したくない	4	50.0	—	25.0	25.0	—

e) 将来のためにも、今、頑張りたいと思う

【相談相手別】

相談相手別にみると、祖父母などで「そう思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう 思う	まあ そう 思う	い あ ま り そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答
全 体	160	61.3	35.0	3.1	—	0.6
親	136	63.2	33.1	2.9	—	0.7
きょうだい	52	69.2	28.8	1.9	—	—
祖父母など	45	80.0	17.8	2.2	—	—
学校の先生	74	70.3	25.7	2.7	—	1.4
学校の友達	105	64.8	32.4	1.9	—	1.0
学校外の友達	26	65.4	34.6	—	—	—
スクールカウンセラー、 スクールソーシャルワ ーカーなど	22	72.7	27.3	—	—	—
その他の大人（児童クラ ブの人、塾・習い事の先 生、地域の人など）	16	56.3	43.8	—	—	—
ネットで知り合った人	2	50.0	50.0	—	—	—
だれにも相談できない	2	50.0	50.0	—	—	—
だれにも相談したくない	4	25.0	50.0	25.0	—	—

f) 将来働きたいと思う

【相談相手別】

相談相手別にみると、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどで「そう思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	まあそう思う	いあまり そう思わな	そう思わない	無回答
全 体	160	82.5	15.6	1.3	—	0.6
親	136	83.8	14.7	0.7	—	0.7
きょうだい	52	92.3	7.7	—	—	—
祖父母など	45	88.9	11.1	—	—	—
学校の先生	74	90.5	8.1	—	—	1.4
学校の友達	105	84.8	14.3	—	—	1.0
学校外の友達	26	88.5	11.5	—	—	—
スクールカウンセラー、 スクールソーシャルワーカーなど	22	100.0	—	—	—	—
その他の大人（児童クラブの人、塾・習い事の先生、地域の人など）	16	81.3	18.8	—	—	—
ネットで知り合った人	2	100.0	—	—	—	—
だれにも相談できない	2	100.0	—	—	—	—
だれにも相談したくない	4	25.0	50.0	25.0	—	—

g) 自分のことが好きだ

【相談相手別】

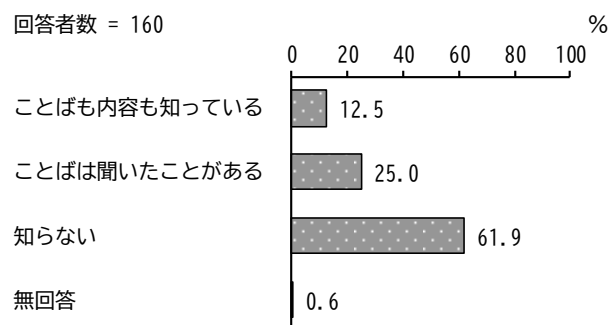
相談相手別にみると、祖父母などで「そう思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう 思う	まあ そう 思う	い あ ま り そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答
全 体	160	35.0	38.1	16.3	8.8	1.9
親	136	40.4	38.2	13.2	6.6	1.5
きょうだい	52	42.3	42.3	9.6	5.8	—
祖父母など	45	57.8	33.3	8.9	—	—
学校の先生	74	44.6	32.4	14.9	6.8	1.4
学校の友達	105	38.1	39.0	15.2	6.7	1.0
学校外の友達	26	42.3	30.8	15.4	11.5	—
スクールカウンセラー、 スクールソーシャルワ ーカーなど	22	31.8	31.8	27.3	9.1	—
その他の大人（児童クラ ブの人、塾・習い事の先 生、地域の人など）	16	43.8	31.3	25.0	—	—
ネットで知り合った人	2	50.0	—	—	50.0	—
だれにも相談できない	2	—	—	—	100.0	—
だれにも相談したくない	4	—	25.0	50.0	25.0	—

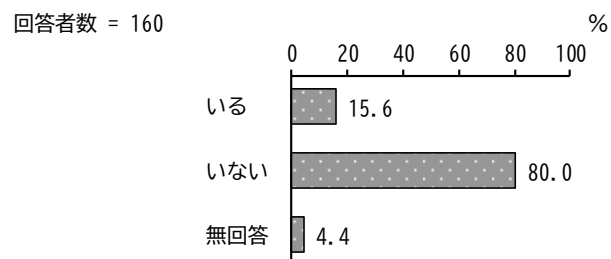
問7 あなたは「ヤングケアラー」ということばを知っていますか。
(あてはまるもの1つに○)

「知らない」の割合が61.9%と最も高く、次いで「ことばは聞いたことがある」の割合が25.0%、「ことばも内容も知っている」の割合が12.5%となっています。



問8 家族の中にあなたがお世話している人はいますか。(ここで「お世話」とは、大人が行うような家事や家族のお世話を指します。)(あてはまるもの1つに○)

「いる」の割合が15.6%、「いない」の割合が80.0%となっています。

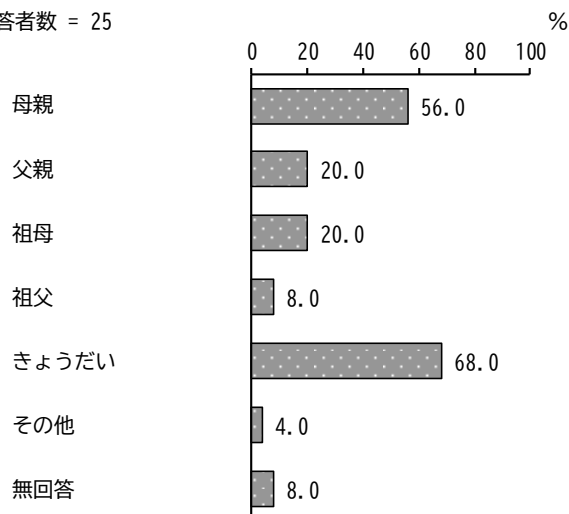


問9 問8の質問で「1いる」と答えた人にお聞きします。あなたは誰に、どのようなお世話をしていますか。

- ① あなたがお世話している人（あてはまるものすべてに○）
6「その他」に○をした時は、（ ）の中に自分で考えた答えを書いてください。

「きょうだい」の割合が68.0%と最も高く、次いで「母親」の割合が56.0%、「父親」、「祖母」の割合が20.0%となっています。

回答者数 = 25

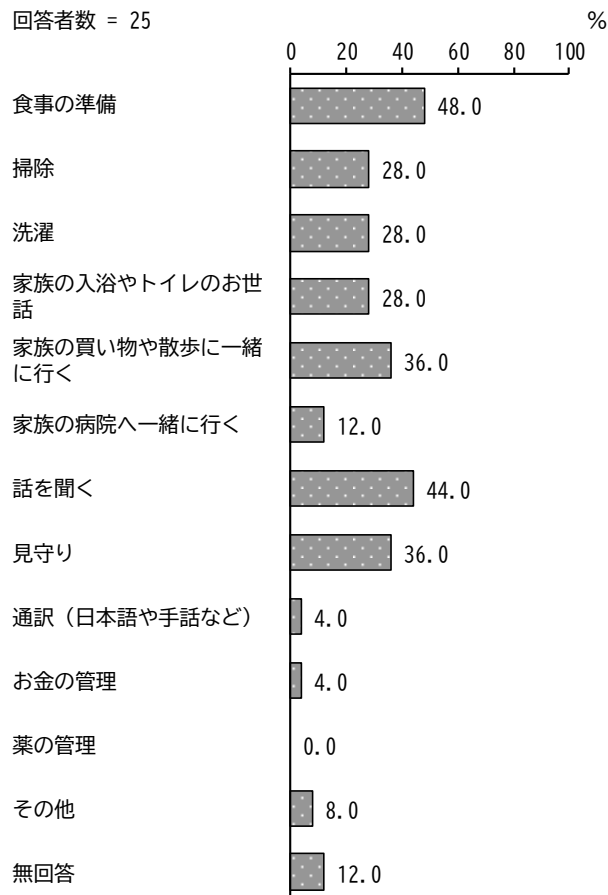


- ② あなたはどのようなお世話をしていますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

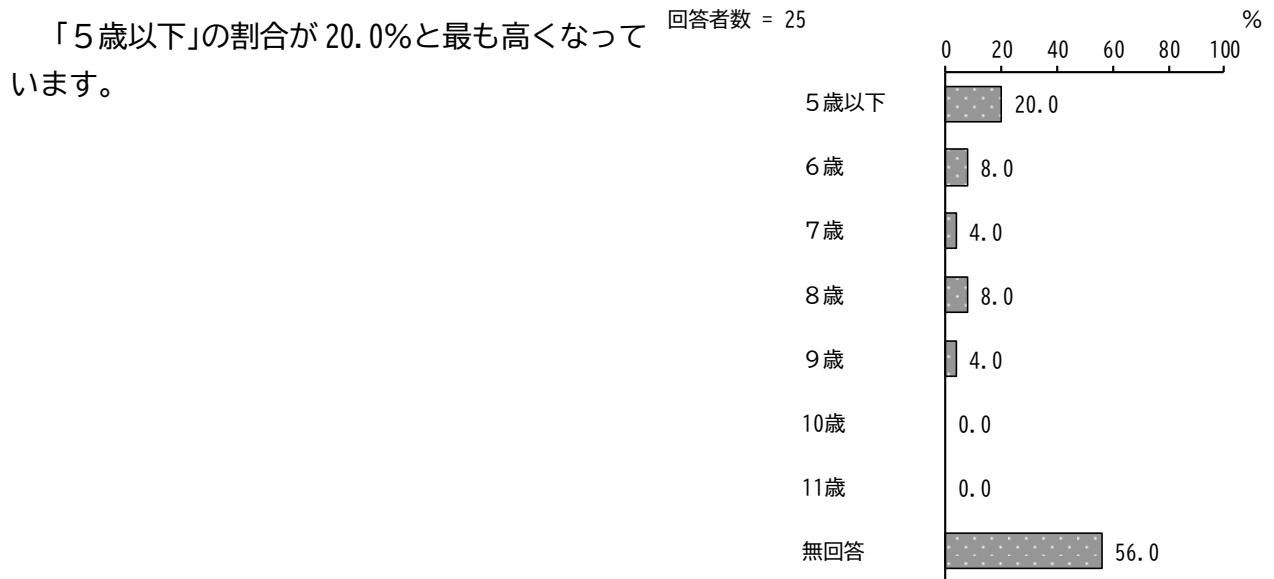
12「その他」に○をした時は、（ ）の中に自分で考えた答えを書いてください。

「食事の準備」の割合が48.0%と最も高く、次いで「話を聞く」の割合が44.0%、「家族の買い物や散歩に一緒に行く」、「見守り」の割合が36.0%となっています。

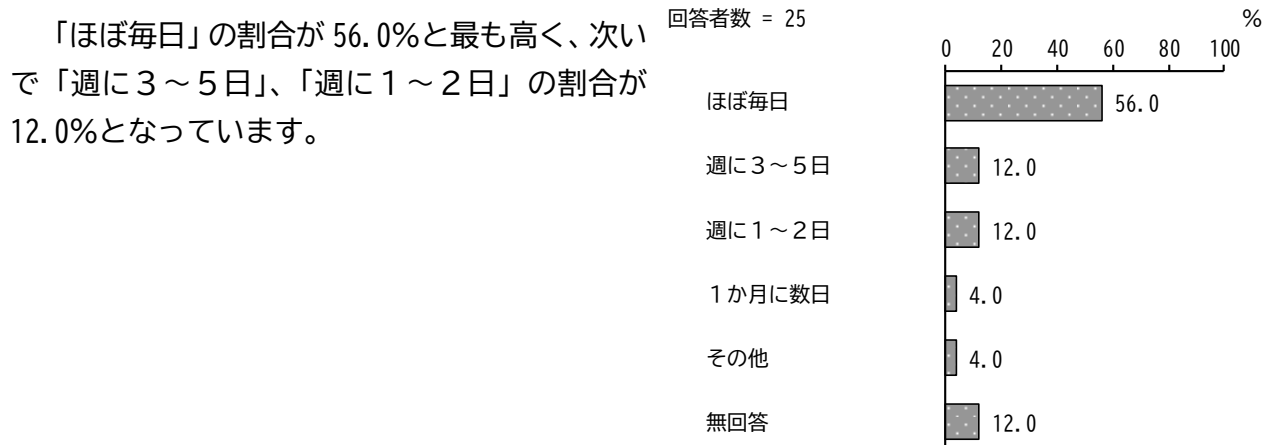
回答者数 = 25



- ③ あなたはその人を何才からお世話していますか。
(はっきりとわからない場合は、だいたいでかまいません)

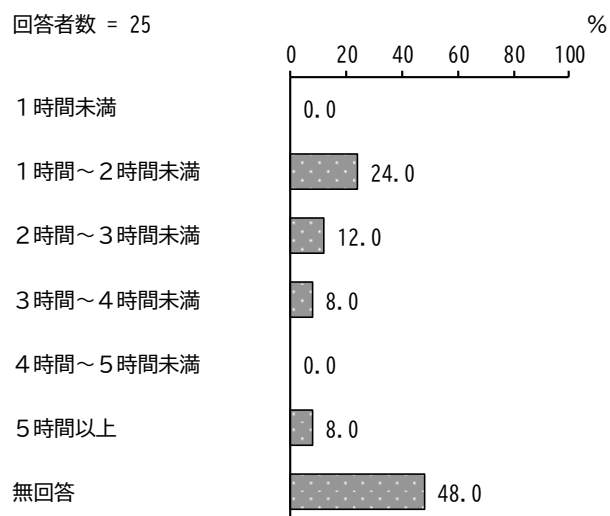


- ④ あなたはその人をどのくらいお世話していますか。(あてはまるもの1つに○)
5「その他」に○をした時は()の中に自分で考えた答えを書いてください。



⑤ あなたは平日何時間くらいお世話をしていますか。
 (日によって違う場合は、この1か月で一番長かった日の時間を教えてください。)

「1時間～2時間未満」の割合が24.0%と最も高く、次いで「2時間～3時間未満」の割合が12.0%となっています。

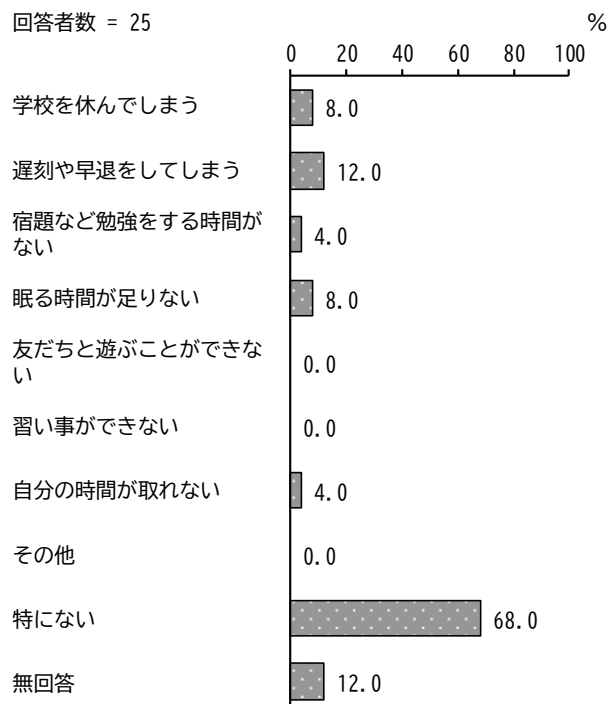


問10 お世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

8「その他」に○をした時は、()の中に自分で考えた答えを書いてください。

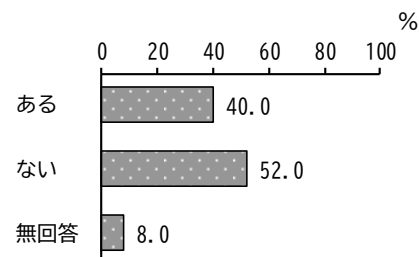
「特にない」の割合が68.0%と最も高く、次いで「遅刻や早退をしてしまう」の割合が12.0%となっています。



問 11 あなたがお世話している家族のことや、お世話の悩みについて誰かに相談したことはありますか。(あてはまるもの1つに○)

「ある」の割合が 40.0%、「ない」の割合が 52.0%となっています。

回答者数 = 25



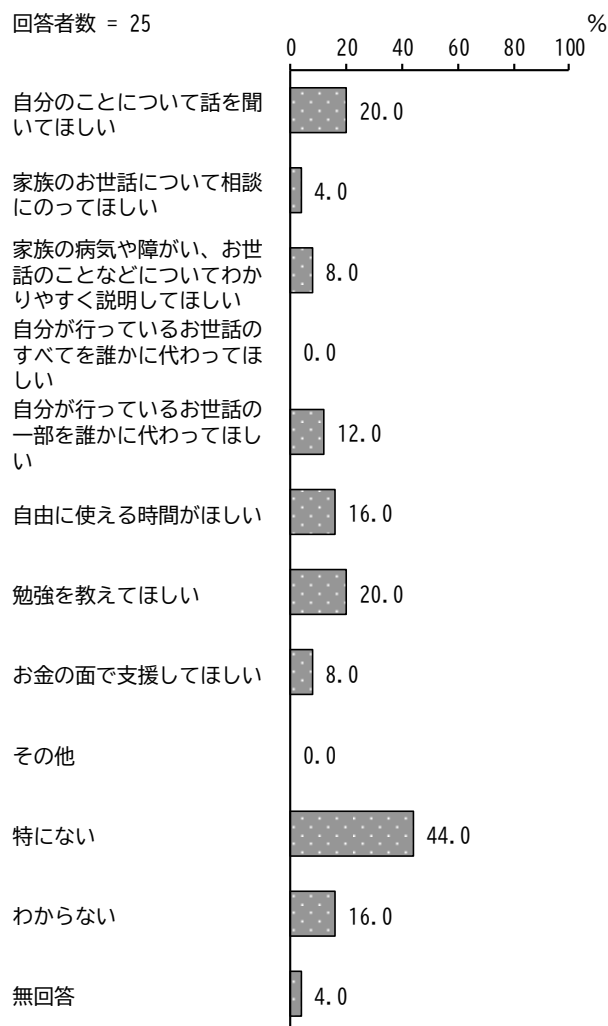
問 12 学校や周りの大人にしてもらいたいことはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

5、9に○をした時は、()の中に自分で考えた答えを書いてください。

「特にない」の割合が 44.0%と最も高く、次いで「自分のことについて話を聞いてほしい」、「勉強を教えてほしい」の割合が 20.0%となっています。

回答者数 = 25

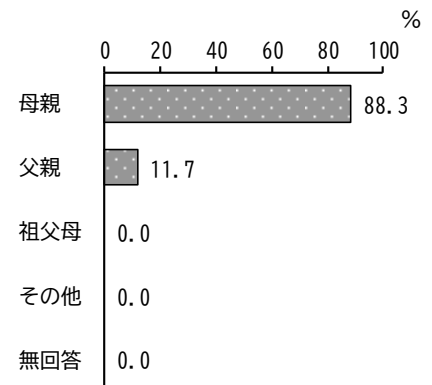


4 小学5年生保護者

問1 お子さんにご記入している方との関係は、次のどれにあたりますか。お子さんからみた続柄でお答えください。（あてはまるもの1つに○）

「母親」の割合が 88.3%と最も高く、次いで
「父親」の割合が 11.7%となっています。

回答者数 = 120



【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

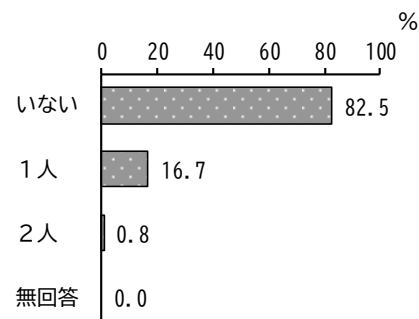
単位：％

区分	回答者数 (件)	母親	父親	祖父母	その他	無回答
全 体	120	88.3	11.7	—	—	—
ふたり親世帯	109	88.1	11.9	—	—	—
ひとり親世帯	10	90.0	10.0	—	—	—
その他（不明等）	1	100.0	—	—	—	—

問2 お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。単身赴任中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めて教えてください。(a~hは、お子さんから見た続柄です。それぞれについて、あてはまるものにチェックしてください)

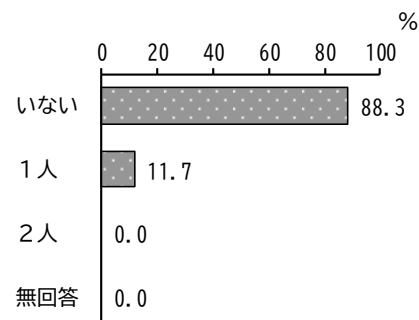
a) 祖母

「いない」の割合が82.5%と最も高く、次いで
「1人」の割合が16.7%となっています。 回答者数 = 120



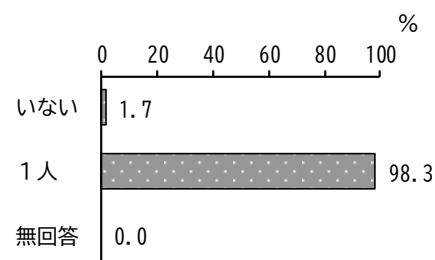
b) 祖父

「いない」の割合が88.3%と最も高く、次いで
「1人」の割合が11.7%となっています。 回答者数 = 120



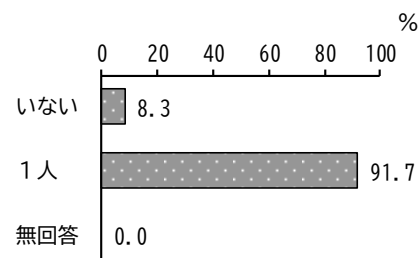
c) 母親

「いない」の割合が1.7%、「1人」の割合が
98.3%となっています。 回答者数 = 120



d) 父親

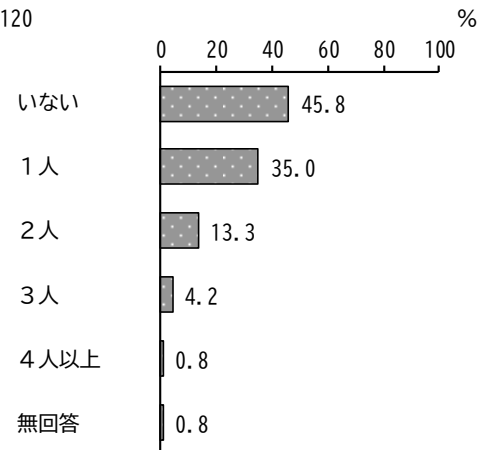
「いない」の割合が8.3%、「1人」の割合が
91.7%となっています。 回答者数 = 120



e) 姉・兄

「いない」の割合が45.8%と最も高く、次いで「1人」の割合が35.0%、「2人」の割合が13.3%となっています。

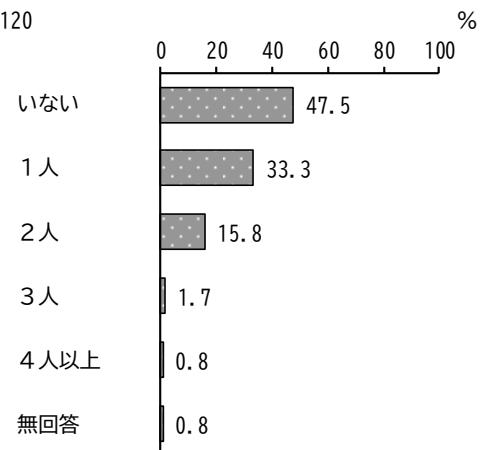
回答者数 = 120



f) 妹・弟

「いない」の割合が47.5%と最も高く、次いで「1人」の割合が33.3%、「2人」の割合が15.8%となっています。

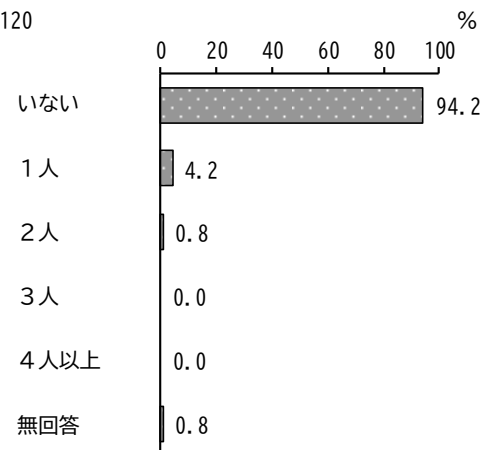
回答者数 = 120



g) その他

「いない」の割合が94.2%と最も高くなっています。

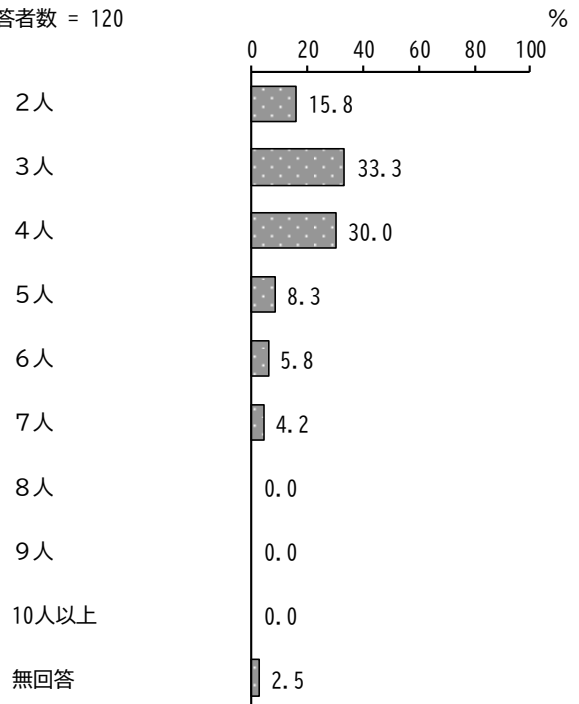
回答者数 = 120



h) 合計（あなたや対象のお子さんを含む）

「3人」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「4人」の割合が 30.0%、「2人」の割合が 15.8%となっています。

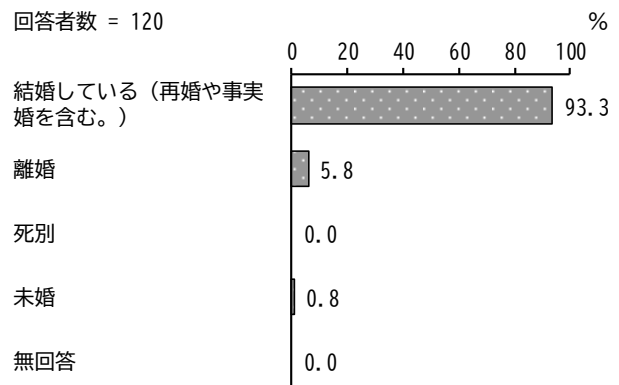
回答者数 = 120



問3 保護者の婚姻状況を教えてください。（あてはまるもの1つに○）

「結婚している（再婚や事実婚を含む。）」の割合が 93.3%と最も高くなっています。

回答者数 = 120



【家族構成別】

家族構成別にみると、ふたり親世帯で「結婚している（再婚や事実婚を含む。）」の割合が高くなっています。

単位：%

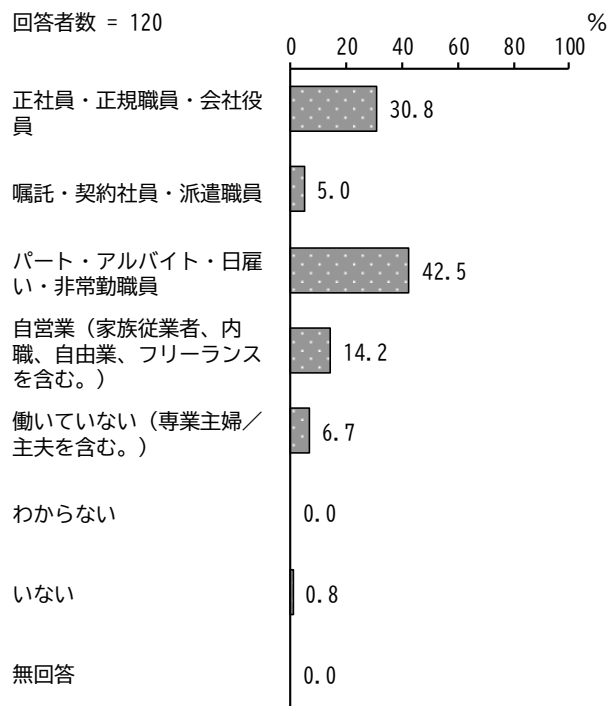
区分	回答者数（件）	結婚している（再婚や事実婚を含む。）	離婚	死別	未婚	無回答
全 体	120	93.3	5.8	—	0.8	—
ふたり親世帯	109	100.0	—	—	—	—
ひとり親世帯	10	20.0	70.0	—	10.0	—
その他（不明等）	1	100.0	—	—	—	—

問4 保護者の就労状況について、あてはまるものを回答してください。
(a, b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

a) 母親

「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」の割合が42.5%と最も高く、次いで「正社員・正規職員・会社役員」の割合が30.8%、「自営業（家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。）」の割合が14.2%となっています。

回答者数 = 120



【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「自営業（家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。）」の割合が高くなっています。

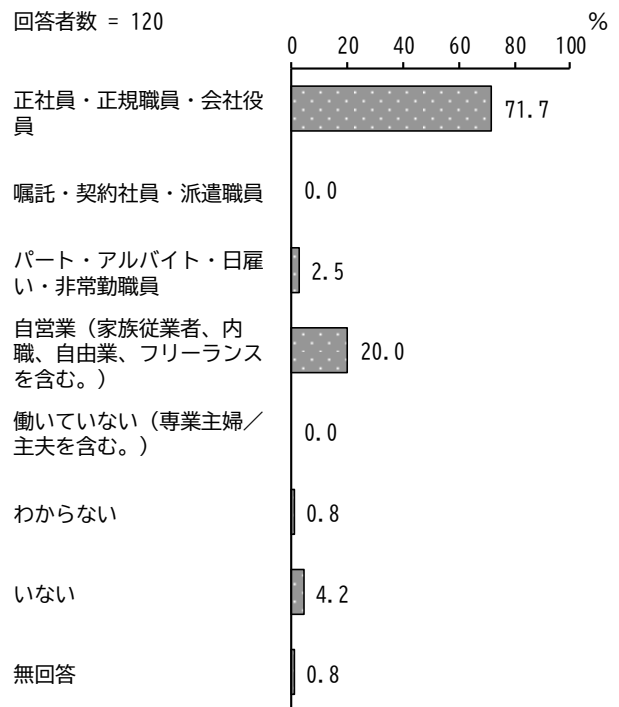
単位：%

区分	回答者数（件）	正社員・正規職員・会社役員	嘱託・契約社員・派遣職員	パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	自営業（家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。）	働いていない（専業主婦／主夫を含む。）	わからない	いない	無回答
全 体	120	30.8	5.0	42.5	14.2	6.7	—	0.8	—
ふたり親世帯	109	29.4	4.6	46.8	12.8	6.4	—	—	—
ひとり親世帯	10	40.0	10.0	—	30.0	10.0	—	10.0	—
その他（不明等）	1	100.0	—	—	—	—	—	—	—

b) 父親

「正社員・正規職員・会社役員」の割合が 71.7%と最も高く、次いで「自営業（家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。）」の割合が 20.0%となっています。

回答者数 = 120



【家族構成別】

家族構成別にみると、ふたり親世帯で「正社員・正規職員・会社役員」の割合が高くなっています。

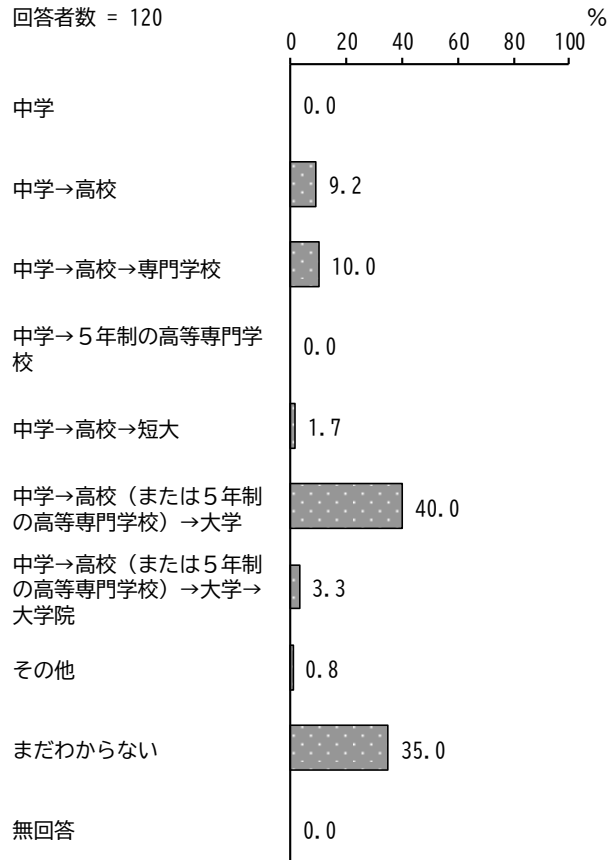
単位：%

区分	回答者数(件)	正社員・正規職員・会社役員	嘱託・契約社員・派遣職員	パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	自営業（家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。）	働いていない（専業主婦／主夫を含む。）	わからない	いない	無回答
全 体	120	71.7	—	2.5	20.0	—	0.8	4.2	0.8
ふたり親世帯	109	77.1	—	2.8	20.2	—	—	—	—
ひとり親世帯	10	20.0	—	—	10.0	—	10.0	50.0	10.0
その他（不明等）	1	—	—	—	100.0	—	—	—	—

問5 お子さんは将来、どの学校に進学すると思いますか。(あてはまるもの1つに○)

「中学→高校（または5年制の高等専門学校）→大学」の割合が40.0%と最も高く、次いで「まだわからない」の割合が35.0%、「中学→高校→専門学校」の割合が10.0%となっています。

回答者数 = 120



【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「中学→高校→専門学校」「中学→高校（または5年制の高等専門学校）→大学」の割合が高くなっています。

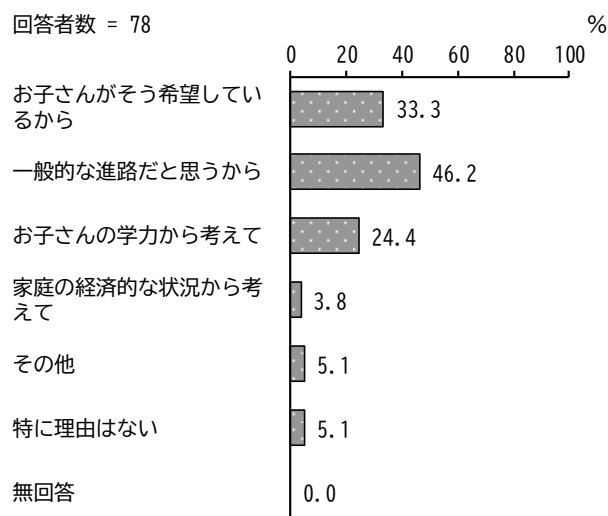
単位：%

区分	回答者数(件)	中学	中学→高校	中学→高校→専門学校	中学→5年制の高等専門学校	中学→高校→短大	中学→高校（または5年制の高等専門学校）→大学	中学→高校（または5年制の高等専門学校）→大学→大学院	その他	まだわからない	無回答
全 体	120	—	9.2	10.0	—	1.7	40.0	3.3	0.8	35.0	—
ふたり親世帯	109	—	10.1	9.2	—	0.9	39.4	3.7	0.9	35.8	—
ひとり親世帯	10	—	—	20.0	—	10.0	50.0	—	—	20.0	—
その他（不明等）	1	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—

問6 問5の質問で1～8と答えた場合、その理由は何ですか。
(1～5については、あてはまるものすべてに○)

「一般的な進路だと思うから」の割合が46.2%と最も高く、次いで「お子さんがそう希望しているから」の割合が33.3%、「お子さんの学力から考えて」の割合が24.4%となっています。

回答者数 = 78



【家族構成別】

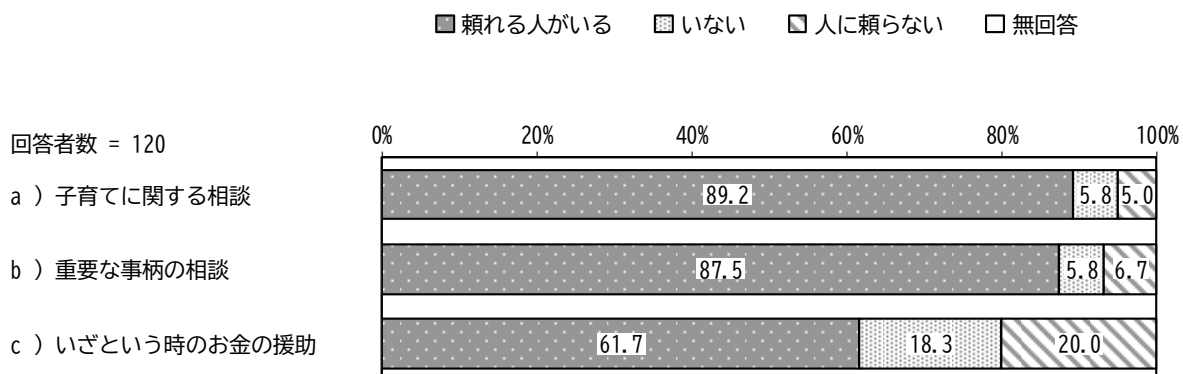
家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	お子さんがそう希望しているから	一般的な進路だと思うから	お子さんの学力から考えて	家庭の経済的な状況から考えて	その他	特に理由はない	無回答
全 体	78	33.3	46.2	24.4	3.8	5.1	5.1	—
ふたり親世帯	70	32.9	48.6	25.7	2.9	5.7	4.3	—
ひとり親世帯	8	37.5	25.0	12.5	12.5	—	12.5	—
その他(不明等)	—	—	—	—	—	—	—	—

問7 あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。
(a～c それぞれについて、1～3のあてはまるもの1つに○)

『a) 子育てに関する相談』『b) 重要な事柄の相談』で「頼れる人がいる」の割合が高くなっています。一方、『c) いざという時のお金の援助』で「いない」「人に頼らない」の割合が高くなっています。



a) 子育てに関する相談

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	頼れる人がいる	いない	人に頼らない	無回答
全 体	120	89.2	5.8	5.0	—
ふたり親世帯	109	90.8	5.5	3.7	—
ひとり親世帯	10	70.0	10.0	20.0	—
その他(不明等)	1	100.0	—	—	—

b) 重要な事柄の相談

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	頼れる人がいる	いない	人に頼らない	無回答
全 体	120	87.5	5.8	6.7	—
ふたり親世帯	109	89.9	5.5	4.6	—
ひとり親世帯	10	60.0	10.0	30.0	—
その他（不明等）	1	100.0	—	—	—

c) いざという時のお金の援助

【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「いない」の割合が高くなっています。

単位：％

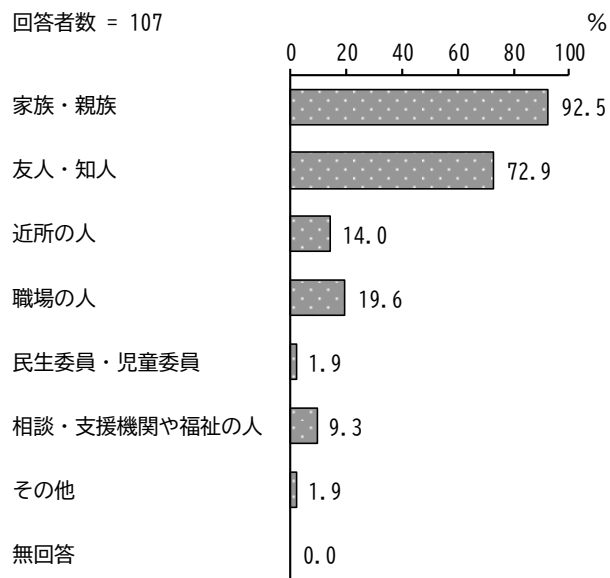
区分	回答者数 (件)	頼れる人がいる	いない	人に頼らない	無回答
全 体	120	61.7	18.3	20.0	—
ふたり親世帯	109	64.2	13.8	22.0	—
ひとり親世帯	10	30.0	70.0	—	—
その他（不明等）	1	100.0	—	—	—

また、「1 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。
(①～⑦のあてはまるものすべてに○)

a) 子育てに関する相談

「家族・親族」の割合が 92.5%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が 72.9%、「職場の人」の割合が 19.6%となっています。

回答者数 = 107



【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

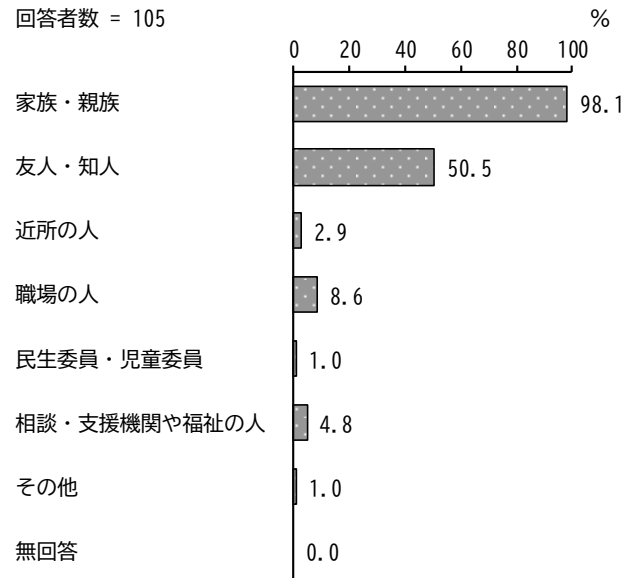
単位：%

区分	回答者数(件)	家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員	相談・支援機関や福祉の人	その他	無回答
全 体	107	92.5	72.9	14.0	19.6	1.9	9.3	1.9	—
ふたり親世帯	99	93.9	72.7	13.1	19.2	2.0	10.1	1.0	—
ひとり親世帯	7	71.4	71.4	14.3	14.3	—	—	14.3	—
その他(不明等)	1	100.0	100.0	100.0	100.0	—	—	—	—

b) 重要な事柄の相談

「家族・親族」の割合が98.1%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が50.5%となっています。

回答者数 = 105



【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

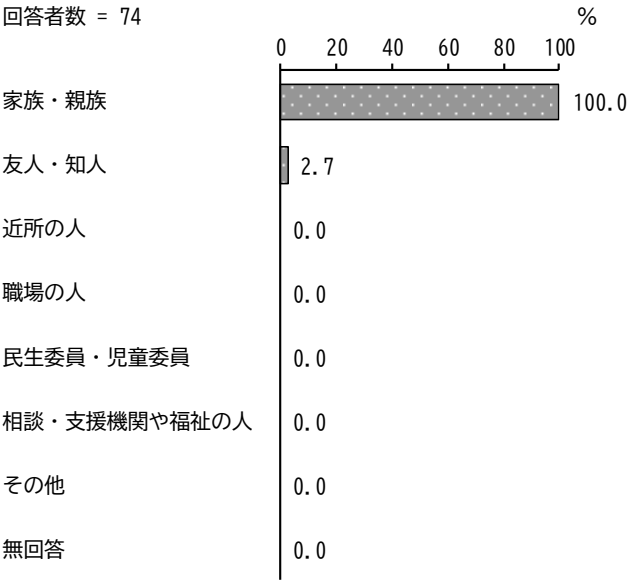
単位：%

区分	回答者数(件)	家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員	相談・支援機関や福祉の人	その他	無回答
全 体	105	98.1	50.5	2.9	8.6	1.0	4.8	1.0	—
ふたり親世帯	98	99.0	50.0	3.1	8.2	1.0	5.1	1.0	—
ひとり親世帯	6	83.3	50.0	—	16.7	—	—	—	—
その他（不明等）	1	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—

c) いざという時のお金の援助

「家族・親族」の割合が 100.0%と最も高くなっています。

回答者数 = 74



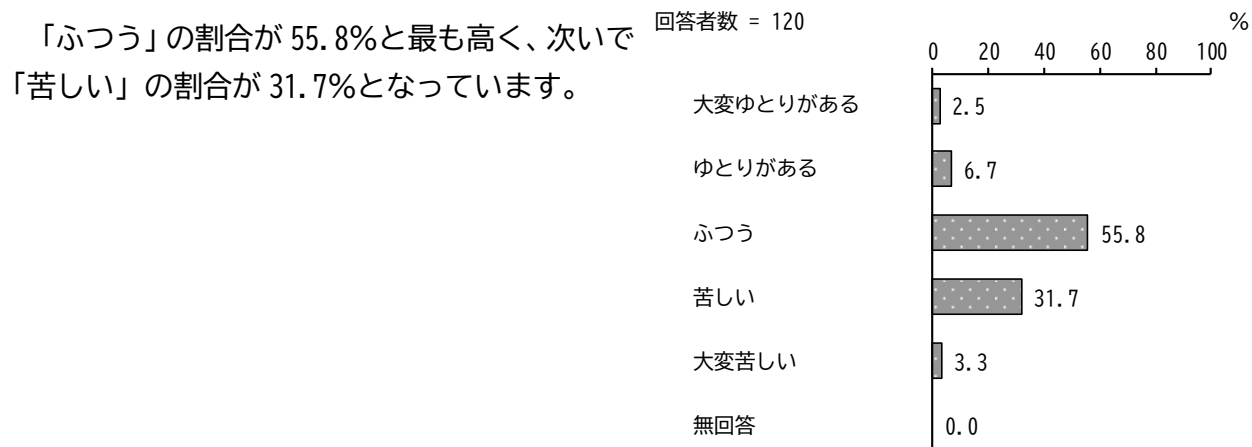
【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員	相談・支援機関や福祉の人	その他	無回答
全 体	74	100.0	2.7	—	—	—	—	—	—
ふたり親世帯	70	100.0	2.9	—	—	—	—	—	—
ひとり親世帯	3	100.0	—	—	—	—	—	—	—
その他（不明等）	1	100.0	—	—	—	—	—	—	—

問8 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。
(あてはまるもの1つに○)



【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「苦しい」の割合が高くなっています。

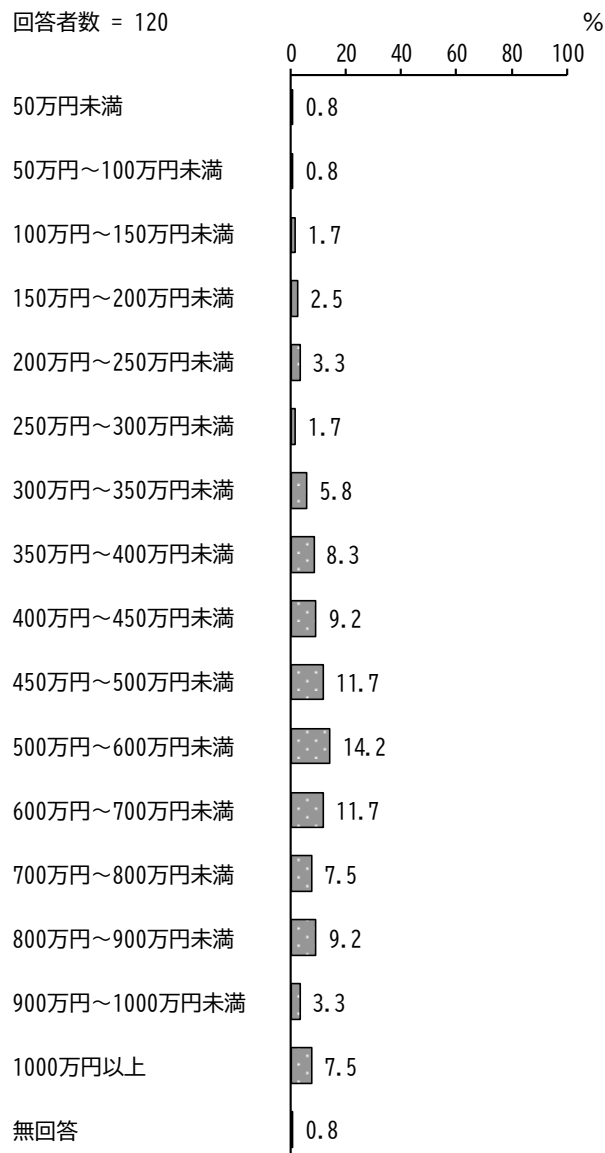
単位：%

区分	回答者数 (件)	大変ゆとりがある	ゆとりがある	ふつう	苦しい	大変苦しい	無回答
全 体	120	2.5	6.7	55.8	31.7	3.3	—
ふたり親世帯	109	2.8	7.3	57.8	30.3	1.8	—
ひとり親世帯	10	—	—	30.0	50.0	20.0	—
その他（不明等）	1	—	—	100.0	—	—	—

問9 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。
（あてはまるもの1つに○）

「500万円～600万円未満」の割合が14.2%と最も高く、次いで「450万円～500万円未満」、「600万円～700万円未満」の割合が11.7%となっています。

回答者数 = 120



【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

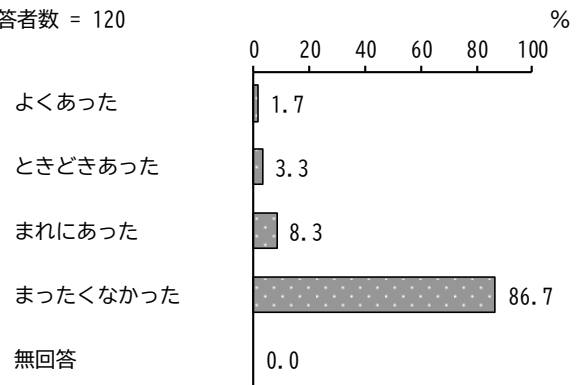
区分	回答者数 (件)	50万円未満	50万円～ 100万円未満	100万円～ 150万円未満	150万円～ 200万円未満	200万円～ 250万円未満	250万円～ 300万円未満	300万円～ 350万円未満	350万円～ 400万円未満
全 体	120	0.8	0.8	1.7	2.5	3.3	1.7	5.8	8.3
ふたり親世帯	109	0.9	0.9	1.8	0.9	2.8	0.9	4.6	8.3
ひとり親世帯	10	—	—	—	20.0	10.0	10.0	20.0	10.0
その他（不明等）	1	—	—	—	—	—	—	—	—

区分	400万円～ 450万円未満	450万円～ 500万円未満	500万円～ 600万円未満	600万円～ 700万円未満	700万円～ 800万円未満	800万円～ 900万円未満	900万円～ 1000万円未満	1000万円以上	無回答
全 体	9.2	11.7	14.2	11.7	7.5	9.2	3.3	7.5	0.8
ふたり親世帯	8.3	11.9	15.6	12.8	8.3	9.2	3.7	8.3	0.9
ひとり親世帯	20.0	10.0	—	—	—	—	—	—	—
その他（不明等）	—	—	—	—	—	100.0	—	—	—

問 10 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。(あてはまるもの1つに○)

「まったくなかった」の割合が86.7%と最も高くなっています。

回答者数 = 120



【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

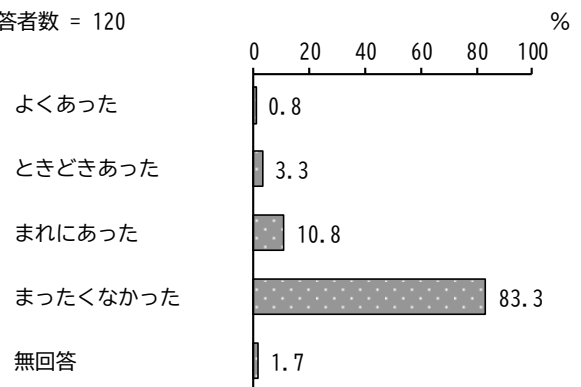
単位：%

区分	回答者数 (件)	よくあった	ときどきあった	まれにあった	まったくなかった	無回答
全 体	120	1.7	3.3	8.3	86.7	—
ふたり親世帯	109	1.8	1.8	6.4	89.9	—
ひとり親世帯	10	—	20.0	30.0	50.0	—
その他（不明等）	1	—	—	—	100.0	—

問 11 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。(あてはまるもの1つに○)

「まったくなかった」の割合が83.3%と最も高く、次いで「まれにあった」の割合が10.8%となっています。

回答者数 = 120



【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「まれにあった」の割合が高くなっています。

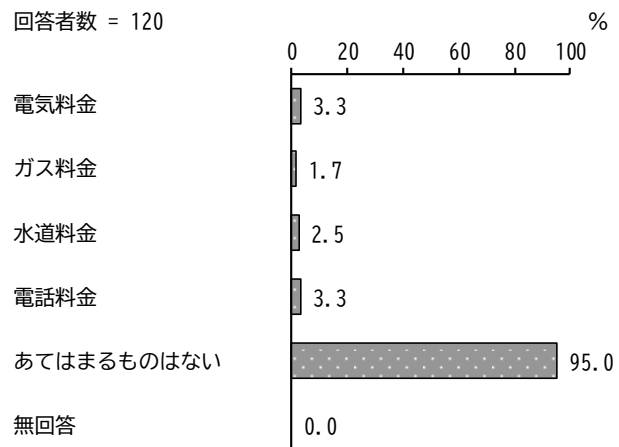
単位：%

区分	回答者数 (件)	よくあった	ときどきあった	まれにあった	まったくなかった	無回答
全 体	120	0.8	3.3	10.8	83.3	1.7
ふたり親世帯	109	0.9	1.8	10.1	85.3	1.8
ひとり親世帯	10	—	20.0	20.0	60.0	—
その他(不明等)	1	—	—	—	100.0	—

問 12 あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で支払えなかったことがありましたか。(1～4については、あてはまるものすべてに○)

「あてはまるものはない」の割合が95.0%と最も高くなっています。

回答者数 = 120



【家族構成別】

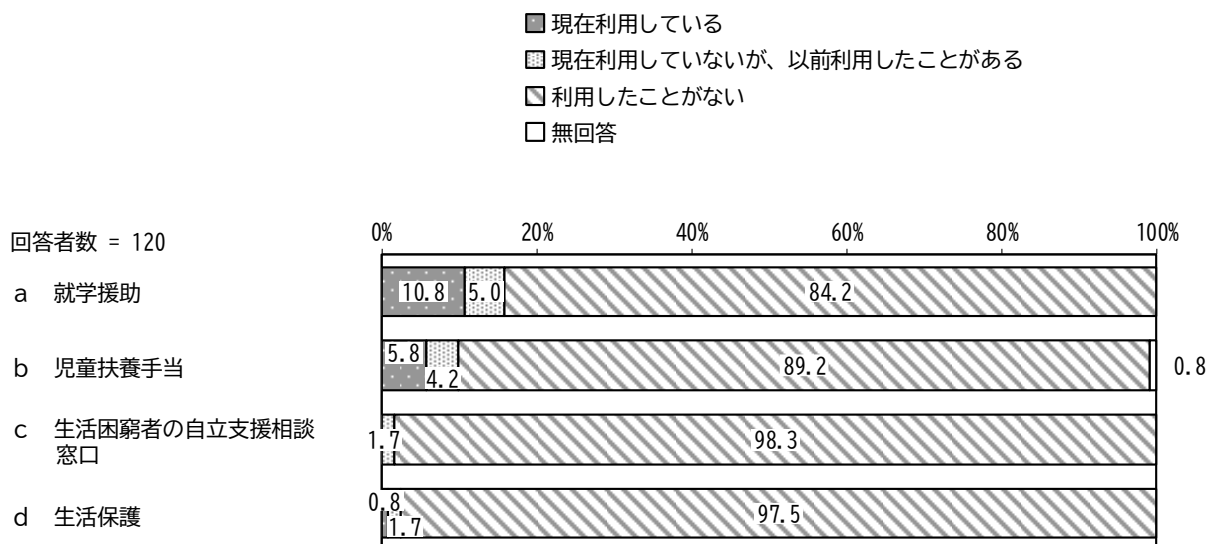
家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	電気 料金	ガス 料金	水道 料金	電話 料金	あてはまる ものはない	無 回 答
全 体	120	3.3	1.7	2.5	3.3	95.0	—
ふたり親世帯	109	2.8	0.9	1.8	2.8	95.4	—
ひとり親世帯	10	10.0	10.0	10.0	10.0	90.0	—
その他（不明等）	1	—	—	—	—	100.0	—

問 13 あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。
(a～dそれぞれについて、1～3のあてはまるもの1つに○)

『a 就学援助』で「現在利用している」の割合が高くなっています。一方、『c 生活困窮者の自立支援相談窓口』『d 生活保護』で「利用したことがない」の割合が高くなっています。



a 就学援助

【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「現在利用している」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	現在利用している	現在利用していないが、以前利用したことがある	利用したことがない	無回答
全 体	120	10.8	5.0	84.2	—
ふたり親世帯	109	7.3	5.5	87.2	—
ひとり親世帯	10	50.0	—	50.0	—
その他(不明等)	1	—	—	100.0	—

b 児童扶養手当

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	現在 利用している	現在利用して いないが、以前 利用した ことがある	利用 したことが ない	無 回 答
全 体	120	5.8	4.2	89.2	0.8
ふたり親世帯	109	3.7	3.7	91.7	0.9
ひとり親世帯	10	30.0	10.0	60.0	—
その他（不明等）	1	—	—	100.0	—

c 生活困窮者の自立支援相談窓口

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	現在 利用している	現在利用して いないが、以前 利用した ことがある	利用 したことが ない	無 回 答
全 体	120	—	1.7	98.3	—
ふたり親世帯	109	—	1.8	98.2	—
ひとり親世帯	10	—	—	100.0	—
その他（不明等）	1	—	—	100.0	—

d 生活保護

【家族構成別】

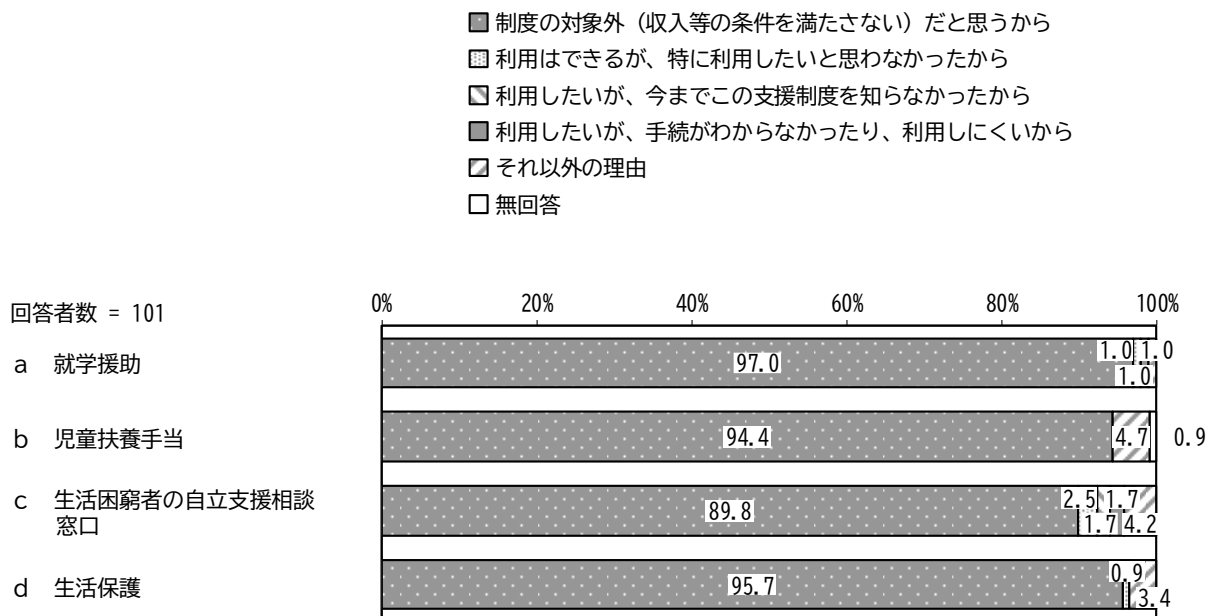
家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	現在 利用している	現在利用して いないが、以前 利用した ことがある	利用 したことが ない	無 回 答
全 体	120	0.8	1.7	97.5	—
ふたり親世帯	109	0.9	1.8	97.2	—
ひとり親世帯	10	—	—	100.0	—
その他（不明等）	1	—	—	100.0	—

また、「3利用したことがない」場合、その理由は何ですか。
(①～⑤のあてはまるもの1つに○)

『a 就学援助』で「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」の割合が高くなっています。



a 就学援助

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数（件）	制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	それ以外の理由	無回答
全 体	101	97.0	1.0	—	1.0	1.0	—
ふたり親世帯	95	96.8	1.1	—	1.1	1.1	—
ひとり親世帯	5	100.0	—	—	—	—	—
その他（不明等）	1	100.0	—	—	—	—	—

b 児童扶養手当

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	制度の対象外(収入 等の条件を満たさ ない)だと思うから	利用はできるが、特 に利用したいと思 わなかったから	利用したいが、今 までの支援制度を 知らなかったから	利用したいが、手続 がわからなかった り、利用しにくい から	それ以外の理由	無回答
全 体	107	94.4	—	—	—	4.7	0.9
ふたり親世帯	100	96.0	—	—	—	3.0	1.0
ひとり親世帯	6	66.7	—	—	—	33.3	—
その他(不明等)	1	100.0	—	—	—	—	—

c 生活困窮者の自立支援相談窓口

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	制度の対象外(収入 等の条件を満たさ ない)だと思うから	利用はできるが、特 に利用したいと思 わなかったから	利用したいが、今 までの支援制度を 知らなかったから	利用したいが、手続 がわからなかった り、利用しにくい から	それ以外の理由	無回答
全 体	118	89.8	2.5	1.7	1.7	4.2	—
ふたり親世帯	107	94.4	1.9	0.9	—	2.8	—
ひとり親世帯	10	40.0	10.0	10.0	20.0	20.0	—
その他(不明等)	1	100.0	—	—	—	—	—

d 生活保護

【家族構成別】

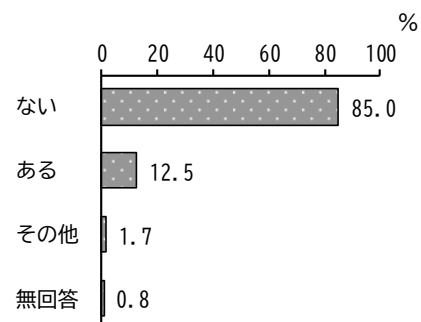
家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	制度の対象外(収入 等の条件を満たさ ない)だと思うから	利用はできるが、特 に利用したいと思 わなかったから	利用したいが、今 までの支援制度を 知らなかったから	利用したいが、手続 がわからなかった り、利用しにくい から	それ以外の理由	無回答
全 体	117	95.7	0.9	—	—	3.4	—
ふたり親世帯	106	97.2	0.9	—	—	1.9	—
ひとり親世帯	10	80.0	—	—	—	20.0	—
その他(不明等)	1	100.0	—	—	—	—	—

問 14 これまで行政や専門支援の窓口に、暮らしのことで困ったことがあったときに「相談したくてもできなかった」ということはありますか。
(あてはまるもの1つに○)

「ない」の割合が 85.0%、「ある」の割合が 12.5%となっています。 回答者数 = 120



【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「ある」の割合が高くなっています。

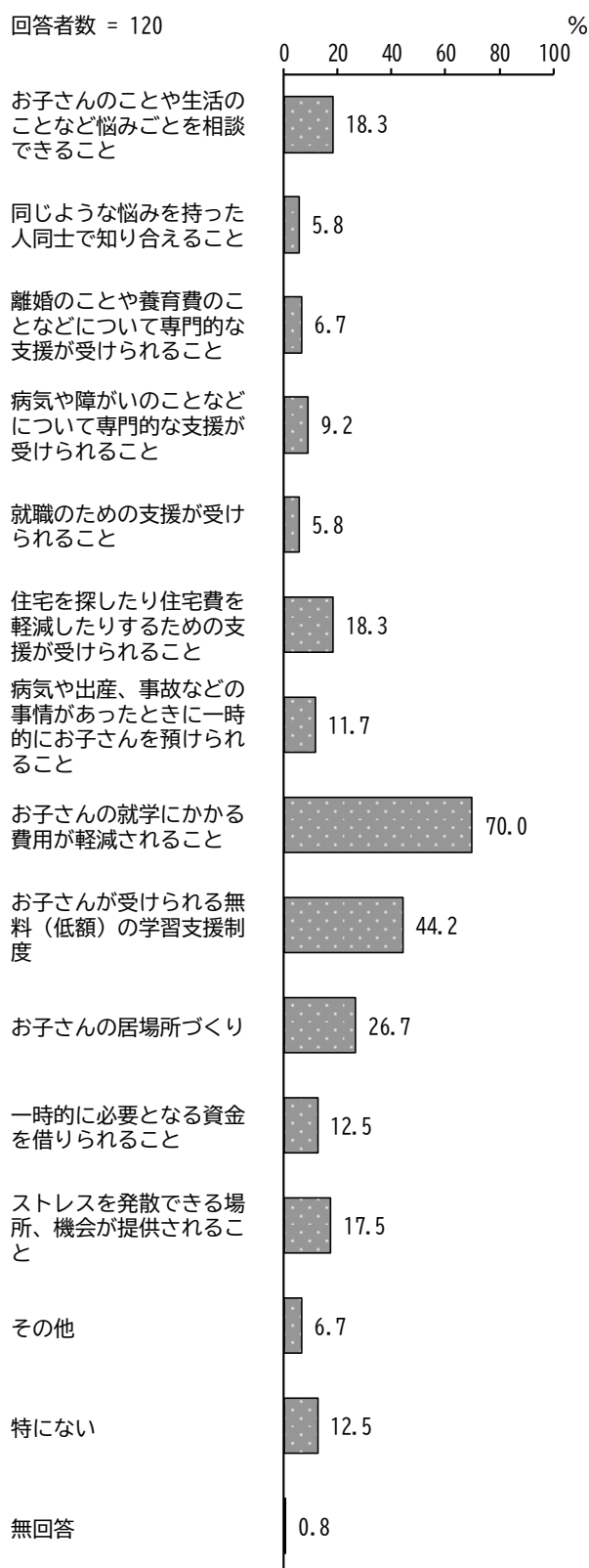
単位：%

区分	回答者数 (件)	ない	ある	その他	無回答
全 体	120	85.0	12.5	1.7	0.8
ふたり親世帯	109	86.2	11.9	0.9	0.9
ひとり親世帯	10	70.0	20.0	10.0	—
その他（不明等）	1	100.0	—	—	—

問 15 あなた自身が現在必要としていることで、重要だと思う支援等はあるどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

「お子さんの就学にかかる費用が軽減されること」の割合が70.0%と最も高く、次いで「お子さんが受けられる無料（低額）の学習支援制度」の割合が44.2%、「お子さんの居場所づくり」の割合が26.7%となっています。

回答者数 = 120



【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること」の割合が高くなっています。

単位：％

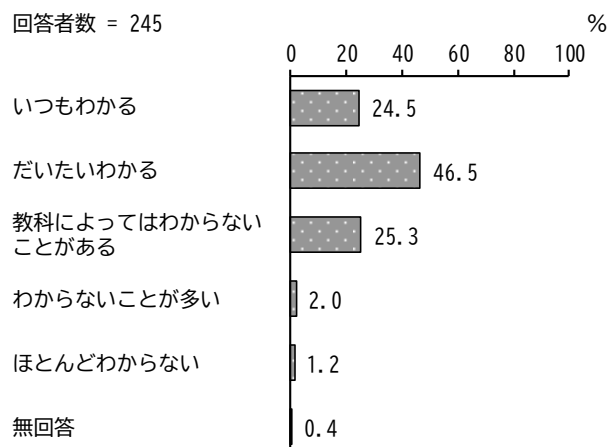
区分	回答者数(件)	お子さんのことや生活のことなど悩みごとを相談できること	同じような悩みを持った人同士で知り合えること	離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること	病気や障がいのことなどについて専門的な支援が受けられること	就職のための支援が受けられること	住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること	病気や出産、事故などの事情があったときに一時的にお子さんを預けられること
全 体	120	18.3	5.8	6.7	9.2	5.8	18.3	11.7
ふたり親世帯	109	17.4	5.5	2.8	10.1	5.5	15.6	11.0
ひとり親世帯	10	30.0	10.0	50.0	—	10.0	50.0	20.0
その他（不明等）	1	—	—	—	—	—	—	—

区分	お子さんの就学にかかる費用が軽減されること	お子さんが受けられる無料（低額）の学習支援制度	お子さんの居場所づくり	一時的に必要な資金を借りられること	ストレスを発散できる場所、機会が提供されること	その他	特にない	無回答
全 体	70.0	44.2	26.7	12.5	17.5	6.7	12.5	0.8
ふたり親世帯	68.8	42.2	26.6	11.9	18.3	7.3	11.9	0.9
ひとり親世帯	90.0	70.0	30.0	20.0	10.0	—	10.0	—
その他（不明等）	—	—	—	—	—	—	100.0	—

5 中学2年生

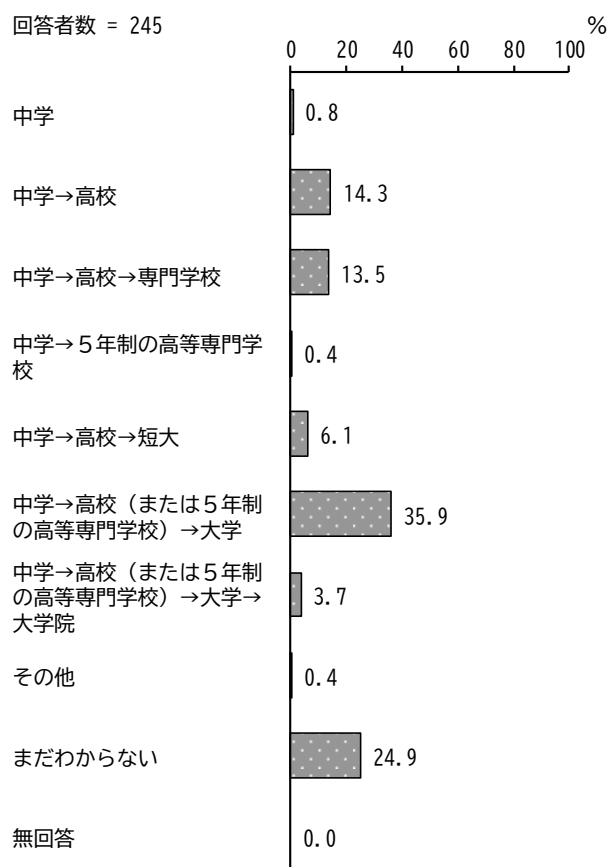
問1 あなたは、学校での授業がわかりますか。(あてはまるもの1つに○)

「だいたいわかる」の割合が 46.5%と最も高く、次いで「教科によってはわからないことがある」の割合が 25.3%、「いつもわかる」の割合が 24.5%となっています。



問2 あなたは、将来、どの学校に進学したいですか。(あてはまるもの1つに○)

「中学→高校（または5年制の高等専門学校）→大学」の割合が 35.9%と最も高く、次いで「まだわからない」の割合が 24.9%、「中学→高校」の割合が 14.3%となっています。



【保護者の進学希望別】

保護者の進学希望別にみると、中学→高校→専門学校で「中学→高校→専門学校」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	中学	中学 ↓ 高校	中学 ↓ 高校 ↓ 専門学校	中学 ↓ 5年制の高等専門学校	中学 ↓ 高校 ↓ 短大	中学 ↓ 高校 (または5年制の高等専門学校) ↓ 大学	中学 ↓ 高校 (または5年制の高等専門学校) ↓ 大学 ↓ 大学院	その他	まだわからない	無回答
全 体	126	1.6	11.9	12.7	0.8	5.6	34.9	4.8	—	27.8	—
中学	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
中学→高校	14	—	35.7	14.3	—	—	7.1	—	—	42.9	—
中学→高校 →専門学校	20	—	10.0	45.0	—	5.0	15.0	—	—	25.0	—
中学→5年制の 高等専門学校	1	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—
中学→高校 →短大	5	—	20.0	—	—	20.0	20.0	—	—	40.0	—
中学→高校（ま たは5年制の高 等専門学校） →大学	54	1.9	7.4	—	—	1.9	57.4	7.4	—	24.1	—
中学→高校（ま たは5年制の高 等専門学校） →大学→大学院	8	—	12.5	—	—	—	62.5	12.5	—	12.5	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
まだわからない	24	4.2	8.3	20.8	—	16.7	12.5	4.2	—	33.3	—

【世帯年収別】

世帯年収別にみると、1000 万円以上で「中学→高校（または5年制の高等専門学校）→大学」の割合が高くなっています。

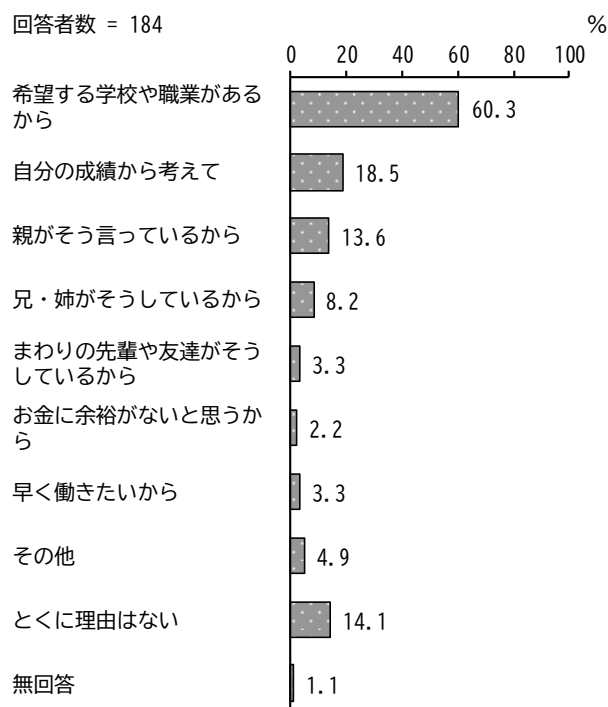
単位：％

区分	回答者数 (件)	中学	中学 ↓高校	中学 ↓高校↓ 専門学校	中学 ↓5年制の高等 専門学校	中学 ↓高校↓短大	中学 ↓高校(または5 年制の高 等専門学校) ↓大学	中学 ↓高校(または5 年制の高 等専門学校) ↓大学↓ 大学院	その他	まだ わからない	無 回答
全体	126	1.6	11.9	12.7	0.8	5.6	34.9	4.8	—	27.8	—
50 万円未満	1	—	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—
50 万円 ～100 万円未満	2	—	50.0	—	—	—	50.0	—	—	—	—
100 万円 ～150 万円未満	3	—	33.3	—	—	—	33.3	—	—	33.3	—
150 万円 ～200 万円未満	1	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—
200 万円 ～250 万円未満	3	—	—	—	—	—	33.3	—	—	66.7	—
250 万円 ～300 万円未満	3	—	—	33.3	—	—	66.7	—	—	—	—
300 万円 ～350 万円未満	6	—	16.7	16.7	—	16.7	—	—	—	50.0	—
350 万円 ～400 万円未満	5	—	—	20.0	—	20.0	60.0	—	—	—	—
400 万円 ～450 万円未満	6	—	—	16.7	16.7	—	16.7	—	—	50.0	—
450 万円 ～500 万円未満	8	—	12.5	12.5	—	25.0	12.5	—	—	37.5	—
500 万円 ～600 万円未満	12	—	16.7	16.7	—	8.3	16.7	16.7	—	25.0	—
600 万円 ～700 万円未満	20	—	15.0	15.0	—	—	40.0	10.0	—	20.0	—
700 万円 ～800 万円未満	13	7.7	23.1	7.7	—	—	15.4	—	—	46.2	—
800 万円 ～900 万円未満	18	—	11.1	16.7	—	—	38.9	11.1	—	22.2	—
900 万円 ～1000 万円未満	6	—	—	—	—	16.7	33.3	—	—	50.0	—
1000 万円以上	14	—	7.1	7.1	—	—	71.4	—	—	14.3	—

問3 問2の質問で1～8と答えた場合、その理由を教えてください。
(1～8については、あてはまるものすべてに○)

「希望する学校や職業があるから」の割合が60.3%と最も高く、次いで「自分の成績から考えて」の割合が18.5%、「とくに理由はない」の割合が14.1%となっています。

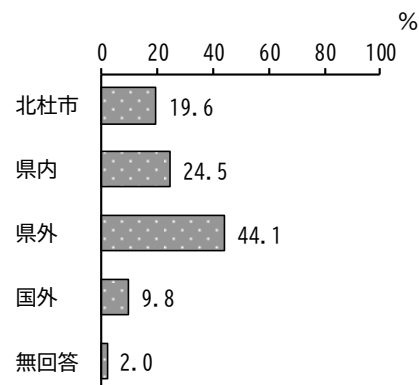
回答者数 = 184



問4 あなたは、将来、どこで仕事をしたいですか。(あてはまるもの1つに○)

「県外」の割合が44.1%と最も高く、次いで「県内」の割合が24.5%、「北杜市」の割合が19.6%となっています。

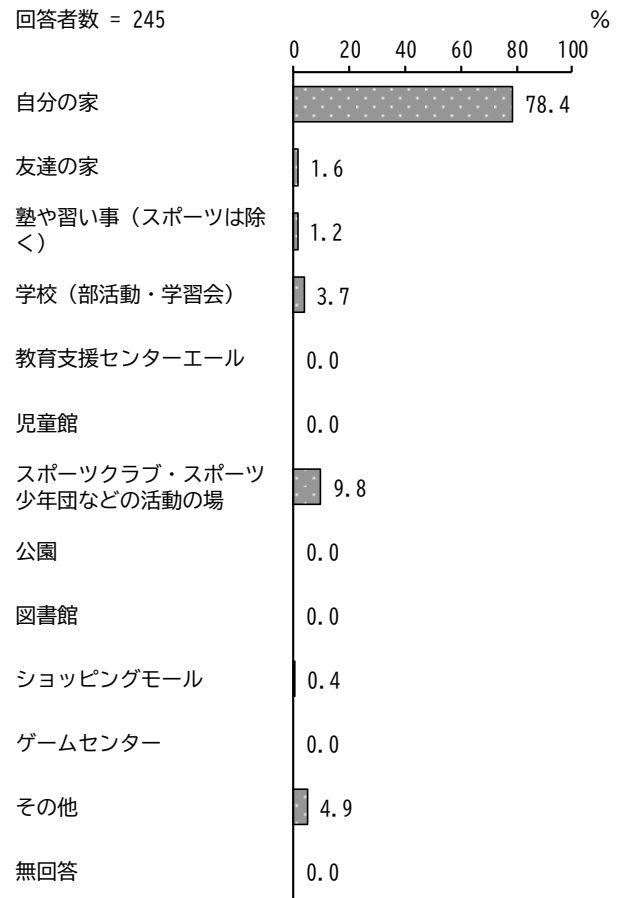
回答者数 = 245



問5 あなたは、夏休みの間（日中）、どこで過ごすことが多かったですか。
（あてはまるもの1つに○）

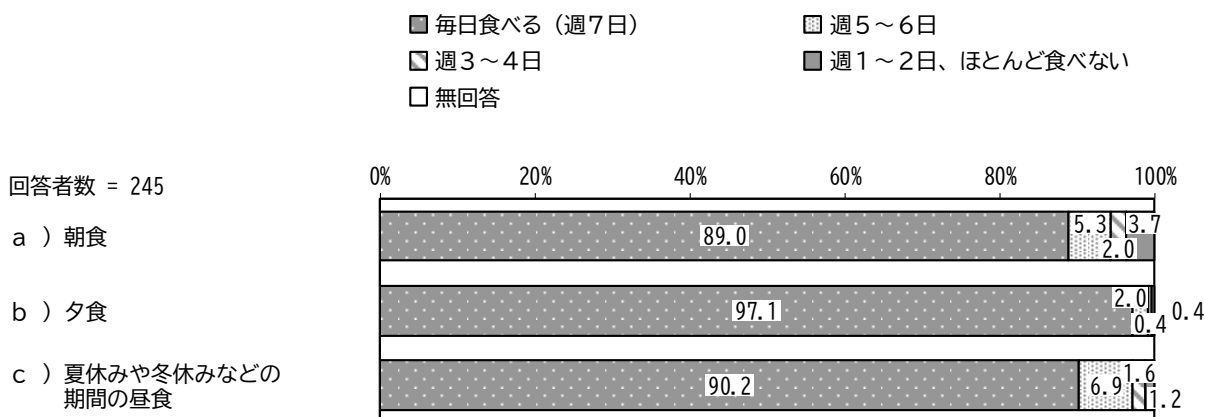
「自分の家」の割合が78.4%と最も高くなっています。

回答者数 = 245



問6 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。
(a～cそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

全ての項目で「毎日食べる(週7日)」の割合が高くなっています。



a) 朝食

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数(件)	毎日食べる(週7日)	週5～6日	週3～4日	週1～2日、ほとんど食べない	無回答
全 体	245	89.0	5.3	2.0	3.7	—
中央値の1／2未満	12	83.3	8.3	—	8.3	—
中央値の1／2以上中央値未満	23	87.0	4.3	4.3	4.3	—
中央値以上	86	90.7	7.0	2.3	—	—

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

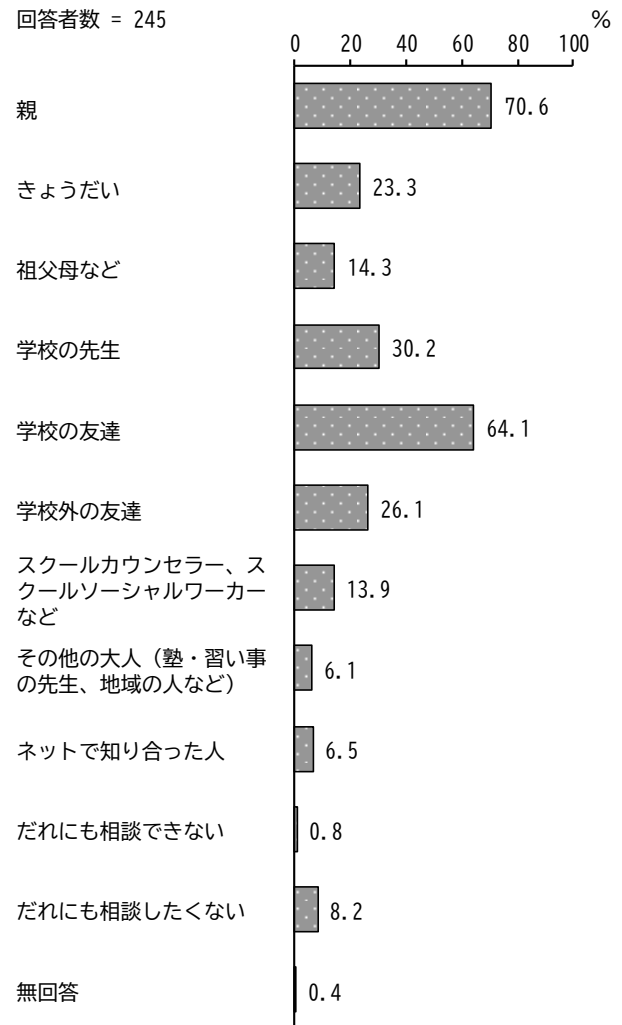
単位：％

区分	回答者数(件)	毎日食べる(週7日)	週5～6日	週3～4日	週1～2日、ほとんど食べない	無回答
全 体	219	89.0	5.0	1.8	4.1	—
ふたり親世帯	112	90.2	5.4	1.8	2.7	—
ひとり親世帯	11	63.6	18.2	9.1	9.1	—
その他(不明等)	96	90.6	3.1	1.0	5.2	—

問7 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。(1～9については、あてはまるものすべてに○)

「親」の割合が70.6%と最も高く、次いで「学校の友達」の割合が64.1%、「学校の先生」の割合が30.2%となっています。

回答者数 = 245



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「学校の友達」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	親	きょうだい	祖父母など	学校の先生	学校の友達	学校外の友達
全 体	245	70.6	23.3	14.3	30.2	64.1	26.1
中央値の1／2未満	12	58.3	25.0	8.3	41.7	91.7	8.3
中央値の1／2以上 中央値未満	23	69.6	26.1	8.7	43.5	65.2	13.0
中央値以上	86	73.3	17.4	17.4	24.4	65.1	23.3

区分	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど	その他の大人（塾・習い事の先生、地域の人など）	ネットでも知り合った人	だれにも相談できない	だれにも相談したくない	無回答
全 体	13.9	6.1	6.5	0.8	8.2	0.4
中央値の1／2未満	8.3	－	－	－	－	－
中央値の1／2以上 中央値未満	30.4	4.3	4.3	－	－	－
中央値以上	10.5	8.1	3.5	－	11.6	－

【家族構成別】

家族構成別にみると、その他（不明等）で「学校外の友達」の割合が高くなっています。

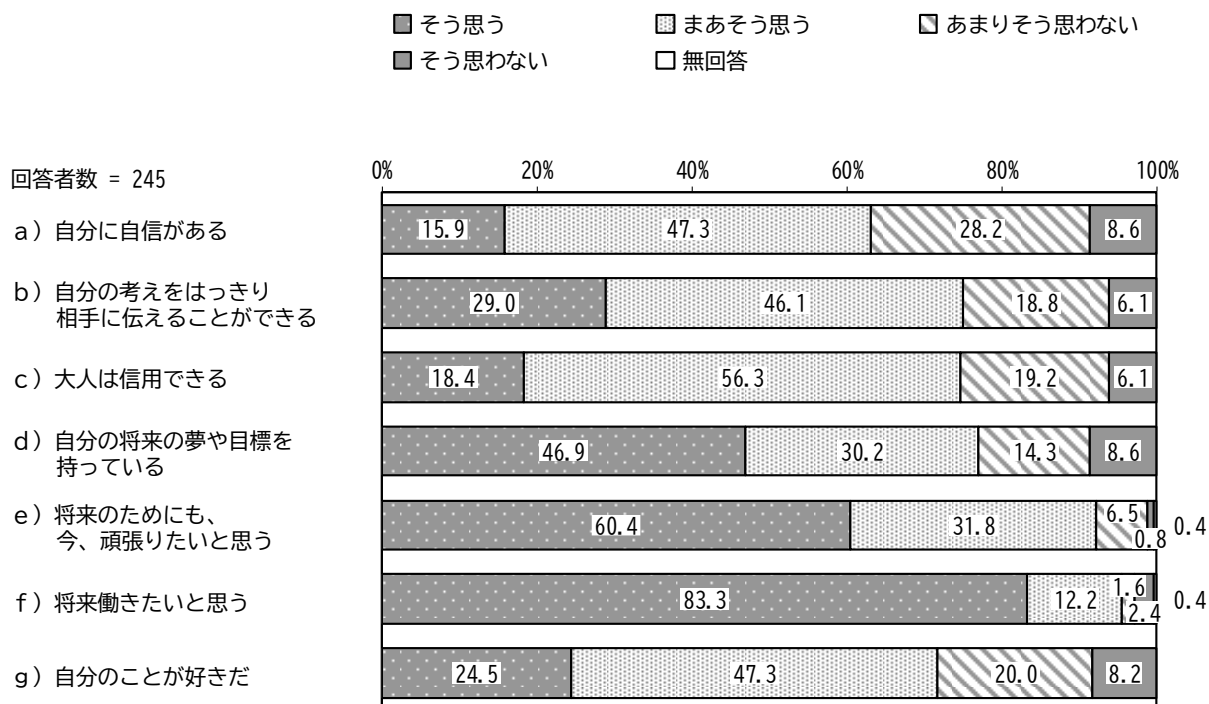
単位：％

区分	回答者数 (件)	親	きょうだい	祖父母など	学校の先生	学校の友達	学校外の友達
全 体	219	71.2	24.2	14.6	28.3	64.4	26.0
ふたり親世帯	112	70.5	21.4	15.2	28.6	66.1	17.9
ひとり親世帯	11	63.6	9.1	9.1	36.4	72.7	27.3
その他（不明等）	96	72.9	29.2	14.6	27.1	61.5	35.4

区分	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど	その他の大人（塾・習い事の先生、地域の人など）	ネットでも知り合った人	だれにも相談できない	だれにも相談したくない	無回答
全 体	15.1	6.8	5.5	－	8.7	0.5
ふたり親世帯	14.3	8.0	3.6	－	8.9	－
ひとり親世帯	9.1	－	－	－	18.2	－
その他（不明等）	16.7	6.3	8.3	－	7.3	1.0

問8 あなたが日常生活の中で感じていることについてお答えください。
(a～gそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

『f) 将来働きたいと思う』で「そう思う」の割合が、『c) 大人は信用できる』で「まあそう思う」の割合が高くなっています。



a) 自分に自信がある

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1 / 2未満で「まあそう思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	まあそう思う	いあまり そう思わな	そう思わない	無回答
全 体	245	15.9	47.3	28.2	8.6	—
中央値の1 / 2未満	12	—	58.3	33.3	8.3	—
中央値の1 / 2以上中央 値未満	23	17.4	47.8	26.1	8.7	—
中央値以上	86	16.3	40.7	36.0	7.0	—

【相談相手別】

相談相手別にみると、ネットで知り合った人で「まあそう思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	まあそう思う	いあまり そう思わな	そう思わない	無回答
全 体	245	15.9	47.3	28.2	8.6	—
親	173	17.9	48.6	28.9	4.6	—
きょうだい	57	22.8	45.6	24.6	7.0	—
祖父母など	35	22.9	45.7	31.4	—	—
学校の先生	74	21.6	48.6	25.7	4.1	—
学校の友達	157	16.6	53.5	24.8	5.1	—
学校外の友達	64	23.4	53.1	17.2	6.3	—
スクールカウンセラー、 スクールソーシャルワ ーカーなど	34	14.7	55.9	23.5	5.9	—
その他の大人（塾・習い 事の先生、地域の人な ど）	15	33.3	26.7	20.0	20.0	—
ネットで知り合った人	16	12.5	68.8	12.5	6.3	—
だれにも相談できない	2	—	50.0	—	50.0	—
だれにも相談したくない	20	10.0	25.0	40.0	25.0	—

b) 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「あまりそう思わない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	まあそう思う	い あまり そう 思わ な	そう 思わ ない	無 回 答
全 体	245	29.0	46.1	18.8	6.1	—
中央値の1／2未満	12	8.3	50.0	33.3	8.3	—
中央値の1／2以上中央 値未満	23	26.1	52.2	17.4	4.3	—
中央値以上	86	24.4	50.0	19.8	5.8	—

【相談相手別】

相談相手別にみると、祖父母などで「まあそう思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	まあそう思う	い あまり そう 思わ な	そう 思わ ない	無 回 答
全 体	245	29.0	46.1	18.8	6.1	—
親	173	29.5	49.7	19.1	1.7	—
きょうだい	57	33.3	49.1	15.8	1.8	—
祖父母など	35	22.9	68.6	8.6	—	—
学校の先生	74	27.0	52.7	18.9	1.4	—
学校の友達	157	31.8	50.3	14.0	3.8	—
学校外の友達	64	34.4	46.9	14.1	4.7	—
スクールカウンセラー、 スクールソーシャルワ ーカーなど	34	23.5	50.0	20.6	5.9	—
その他の大人（塾・習い 事の先生、地域の人な ど）	15	26.7	46.7	20.0	6.7	—
ネットで知り合った人	16	31.3	50.0	—	18.8	—
だれにも相談できない	2	50.0	—	50.0	—	—
だれにも相談したくない	20	15.0	30.0	25.0	30.0	—

c) 大人は信用できる

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2以上中央値未満で「そう思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう 思う	まあ そう 思う	い あ ま り そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答
全 体	245	18.4	56.3	19.2	6.1	—
中央値の1／2未満	12	8.3	50.0	25.0	16.7	—
中央値の1／2以上中央 値未満	23	30.4	43.5	26.1	—	—
中央値以上	86	23.3	53.5	19.8	3.5	—

【相談相手別】

相談相手別にみると、だれにも相談したくないで「あまりそう思わない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう 思う	まあ そう 思う	い あ ま り そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答
全 体	245	18.4	56.3	19.2	6.1	—
親	173	23.1	63.0	12.1	1.7	—
きょうだい	57	21.1	64.9	12.3	1.8	—
祖父母など	35	28.6	60.0	11.4	—	—
学校の先生	74	32.4	54.1	10.8	2.7	—
学校の友達	157	21.7	56.7	17.2	4.5	—
学校外の友達	64	17.2	50.0	23.4	9.4	—
スクールカウンセラー、 スクールソーシャルワ ーカーなど	34	38.2	41.2	17.6	2.9	—
その他の大人（塾・習い 事の先生、地域の人な ど）	15	20.0	53.3	20.0	6.7	—
ネットで知り合った人	16	18.8	62.5	—	18.8	—
だれにも相談できない	2	—	—	50.0	50.0	—
だれにも相談したくない	20	—	45.0	40.0	15.0	—

d) 自分の将来の夢や目標を持っている

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「あまりそう思わない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	まあそう思う	い あまり そう 思わ な	そう 思わ ない	無 回 答
全 体	245	46.9	30.2	14.3	8.6	—
中央値の1／2未満	12	41.7	25.0	25.0	8.3	—
中央値の1／2以上中央 値未満	23	43.5	39.1	8.7	8.7	—
中央値以上	86	45.3	26.7	17.4	10.5	—

【相談相手別】

相談相手別にみると、その他の大人（塾・習い事の先生、地域の人など）で「そう思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	まあそう思う	い あまり そう 思わ な	そう 思わ ない	無 回 答
全 体	245	46.9	30.2	14.3	8.6	—
親	173	48.6	30.6	15.6	5.2	—
きょうだい	57	52.6	28.1	10.5	8.8	—
祖父母など	35	54.3	34.3	11.4	—	—
学校の先生	74	55.4	24.3	16.2	4.1	—
学校の友達	157	48.4	31.8	13.4	6.4	—
学校外の友達	64	54.7	28.1	14.1	3.1	—
スクールカウンセラー、 スクールソーシャルワ ーカーなど	34	55.9	26.5	14.7	2.9	—
その他の大人（塾・習い 事の先生、地域の人な ど）	15	60.0	33.3	6.7	—	—
ネットで知り合った人	16	56.3	25.0	6.3	12.5	—
だれにも相談できない	2	50.0	—	—	50.0	—
だれにも相談したくない	20	30.0	35.0	10.0	25.0	—

e) 将来のためにも、今、頑張りたいと思う

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「まあそう思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	まあそう思う	いあまり そう思わな	そう思わない	無回答
全 体	245	60.4	31.8	6.5	0.8	0.4
中央値の1／2未満	12	33.3	41.7	25.0	—	—
中央値の1／2以上中央 値未満	23	65.2	26.1	8.7	—	—
中央値以上	86	57.0	39.5	2.3	1.2	—

【相談相手別】

相談相手別にみると、その他の大人（塾・習い事の先生、地域の人など）で「そう思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	まあそう思う	いあまり そう思わな	そう思わない	無回答
全 体	245	60.4	31.8	6.5	0.8	0.4
親	173	64.2	31.8	3.5	0.6	—
きょうだい	57	75.4	22.8	1.8	—	—
祖父母など	35	65.7	34.3	—	—	—
学校の先生	74	68.9	29.7	1.4	—	—
学校の友達	157	65.6	28.7	5.1	0.6	—
学校外の友達	64	70.3	23.4	4.7	—	1.6
スクールカウンセラー、 スクールソーシャルワ ーカーなど	34	79.4	20.6	—	—	—
その他の大人（塾・習い 事の先生、地域の人な ど）	15	93.3	6.7	—	—	—
ネットで知り合った人	16	68.8	18.8	12.5	—	—
だれにも相談できない	2	—	50.0	50.0	—	—
だれにも相談したくない	20	35.0	40.0	20.0	5.0	—

f) 将来働きたいと思う

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「まあそう思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	まあそう思う	いあまり そう思わな	そう思わない	無回答
全 体	245	83.3	12.2	1.6	2.4	0.4
中央値の1／2未満	12	75.0	25.0	—	—	—
中央値の1／2以上中央 値未満	23	91.3	8.7	—	—	—
中央値以上	86	81.4	15.1	2.3	1.2	—

【相談相手別】

相談相手別にみると、その他の大人（塾・習い事の先生、地域の人など）で「そう思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	まあそう思う	いあまり そう思わな	そう思わない	無回答
全 体	245	83.3	12.2	1.6	2.4	0.4
親	173	87.3	11.6	0.6	0.6	—
きょうだい	57	89.5	8.8	1.8	—	—
祖父母など	35	82.9	14.3	2.9	—	—
学校の先生	74	85.1	13.5	—	1.4	—
学校の友達	157	88.5	10.8	—	0.6	—
学校外の友達	64	84.4	12.5	—	3.1	—
スクールカウンセラー、 スクールソーシャルワ ーカーなど	34	91.2	8.8	—	—	—
その他の大人（塾・習い 事の先生、地域の人な ど）	15	100.0	—	—	—	—
ネットで知り合った人	16	87.5	12.5	—	—	—
だれにも相談できない	2	100.0	—	—	—	—
だれにも相談したくない	20	55.0	15.0	10.0	15.0	5.0

g) 自分のことが好きだ

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「まあそう思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	まあそう思う	いあまり そう思わな	そう思わない	無回答
全 体	245	24.5	47.3	20.0	8.2	—
中央値の1／2未満	12	8.3	66.7	8.3	16.7	—
中央値の1／2以上中央 値未満	23	21.7	39.1	34.8	4.3	—
中央値以上	86	25.6	52.3	14.0	8.1	—

【相談相手別】

相談相手別にみると、だれにも相談したくないで「あまりそう思わない」の割合が高くなっています。

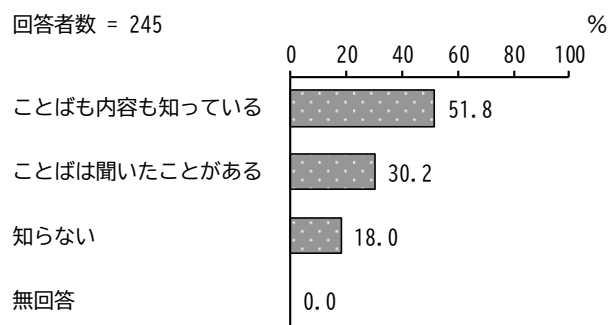
単位：％

区分	回答者数 (件)	そう思う	まあそう思う	いあまり そう思わな	そう思わない	無回答
全 体	245	24.5	47.3	20.0	8.2	—
親	173	30.1	49.1	19.1	1.7	—
きょうだい	57	29.8	47.4	21.1	1.8	—
祖父母など	35	31.4	51.4	17.1	—	—
学校の先生	74	29.7	48.6	18.9	2.7	—
学校の友達	157	24.2	53.5	18.5	3.8	—
学校外の友達	64	29.7	51.6	12.5	6.3	—
スクールカウンセラー、 スクールソーシャルワ ーカーなど	34	26.5	47.1	20.6	5.9	—
その他の大人（塾・習い 事の先生、地域の人な ど）	15	33.3	40.0	13.3	13.3	—
ネットで知り合った人	16	25.0	50.0	12.5	12.5	—
だれにも相談できない	2	—	50.0	—	50.0	—
だれにも相談したくない	20	15.0	25.0	35.0	25.0	—

問9 あなたは「ヤングケアラー」ということばを知っていますか。
(あてはまるものに1つ○)

「ことばも内容も知っている」の割合が51.8%と最も高く、次いで「ことばは聞いたことがある」の割合が30.2%、「知らない」の割合が18.0%となっています。

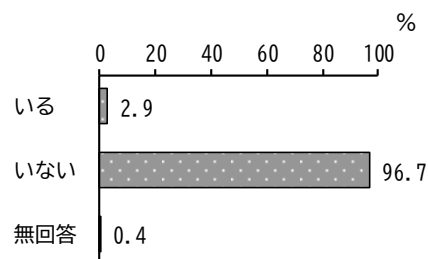
回答者数 = 245



問10 家族の中にあなたがお世話している人はいますか。(ここで「お世話」とは、大人が行うような家事や家族のお世話を指します。)
(あてはまるものに1つに○)

「いる」の割合が2.9%、「いない」の割合が96.7%となっています。

回答者数 = 245

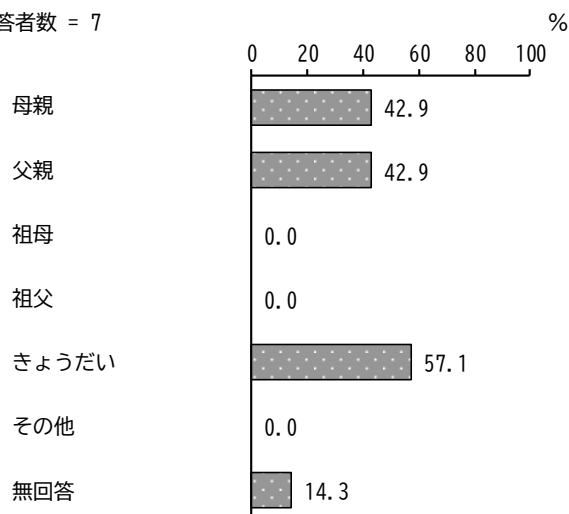


問11 問10の質問で「1 いる」と答えた人にお聞きします。あなたは誰に、どのようなお世話をしていますか。

① あなたがお世話している人(あてはまるものすべてに○)
6「その他」に○をした時は、()の中に自分で考えた答えを書いてください。

「きょうだい」が4件となっています。「母親」、「父親」が3件となっています。

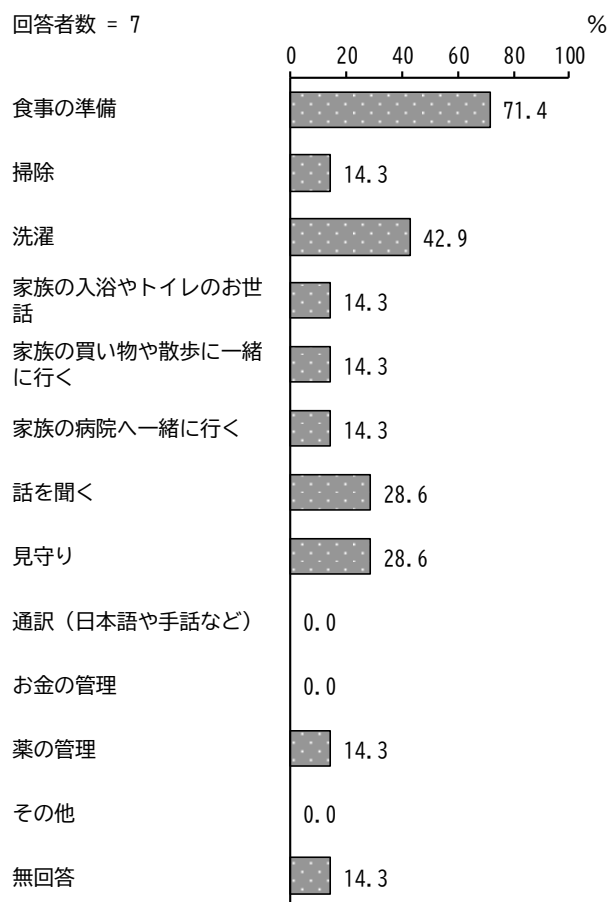
回答者数 = 7



- ② あなたはどのようなお世話をしていますか。お世話している人が何人かいる場合には、あてはまるものすべてに○をしてください。
12「その他」に○をした時は、()の中に自分で考えた答えを書いてください。

「食事の準備」が5件となっています。「洗濯」が3件、「話を聞く」、「見守り」が2件となっています。

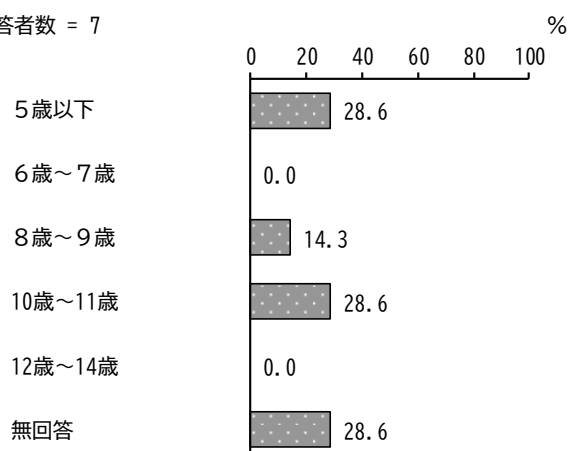
回答者数 = 7



- ③ あなたはその人を何才からお世話していますか。
(はっきりとわからない場合は、だいたいでかまいません)

「5歳以下」、「10歳～11歳」が2件となっています。「8歳～9歳」が1件となっています。

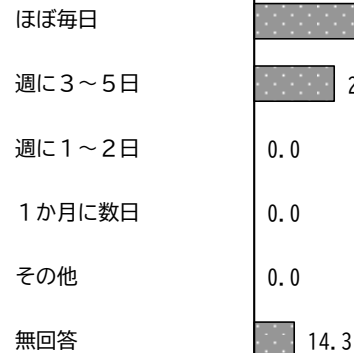
回答者数 = 7



- ④ あなたはその人をどのくらいお世話していますか。(あてはまるもの1つに○)
5「その他」に○をした時は()の中に自分で考えた答えを書いてください。

「ほぼ毎日」が4件となっています。「週に3～5日」が2件となっています。

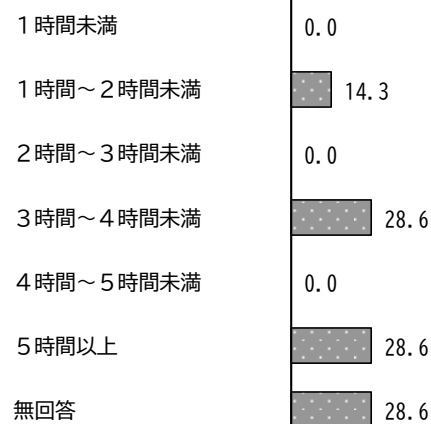
回答者数 = 7



- ⑤ あなたは平日何時間くらいお世話をしていますか。
(日によって違う場合は、この1か月で一番長かった日の時間を教えてください。)

「3時間～4時間未満」、「5時間以上」が2件となっています。「1時間～2時間未満」が1件となっています。

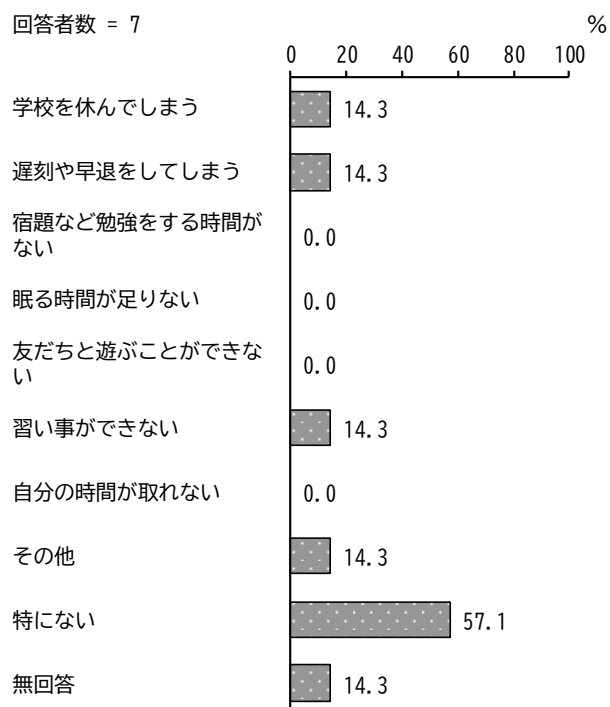
回答者数 = 7



問 12 お世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

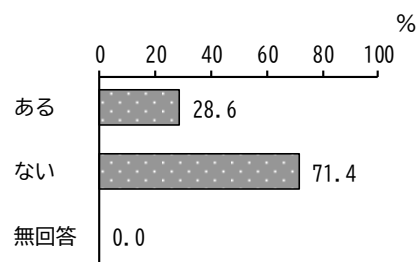
「特にない」が4件となっています。「学校を休んでしまう」、「遅刻や早退をしてしまう」、「習い事ができない」が1件となっています。

回答者数 = 7

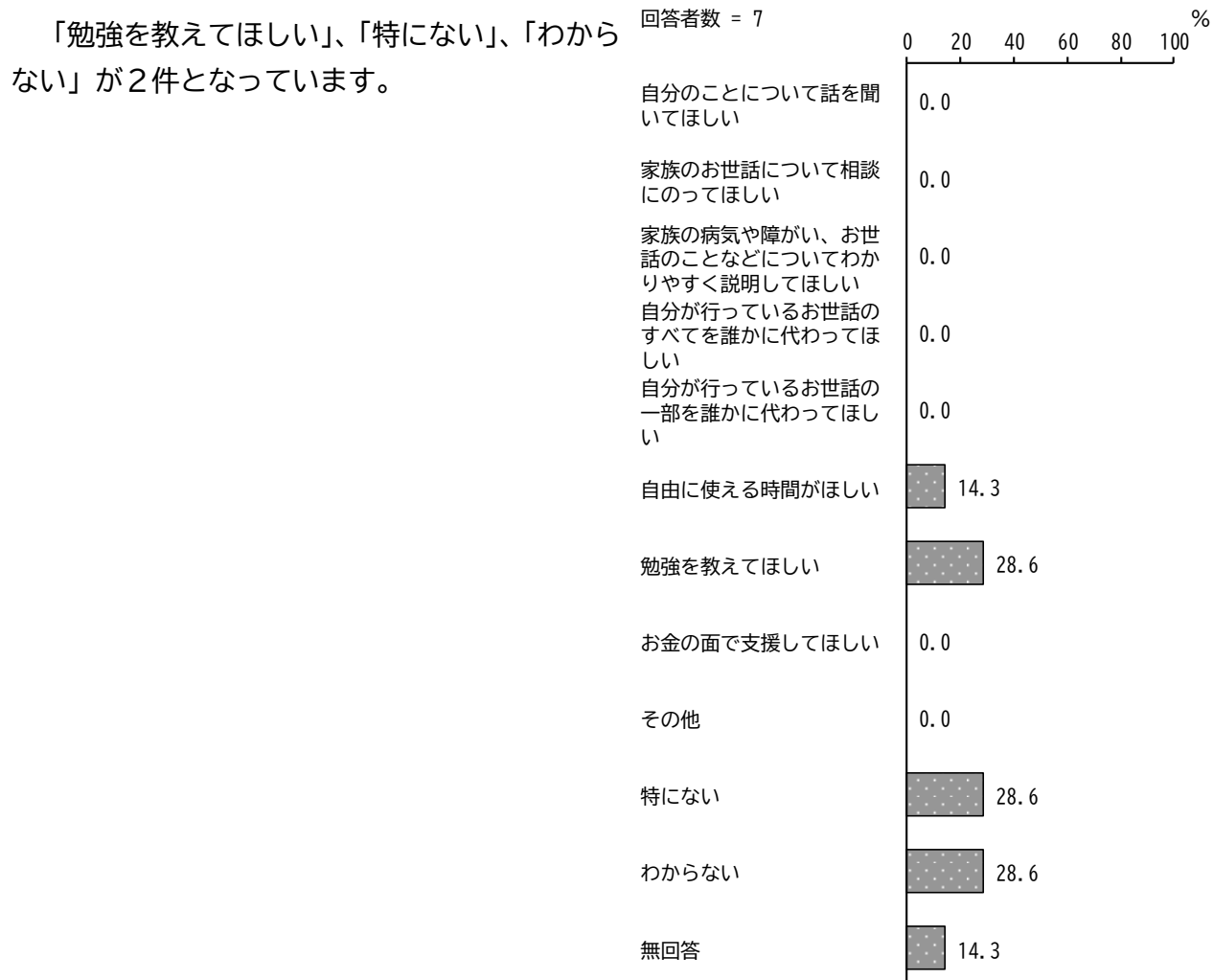


問 13 あなたがお世話している家族のことや、お世話の悩みについて誰かに相談したことはありますか。(あてはまるもの1つに○)

「ある」が2件、「ない」が5件となっています。回答者数 = 7



問 14 学校や周りの大人にしてもらいたいことはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

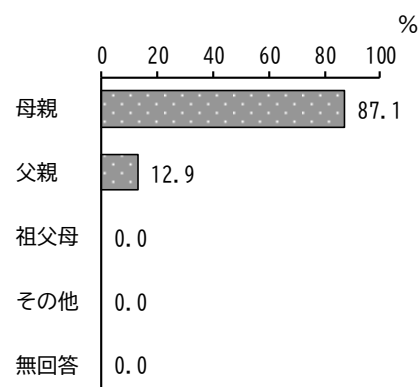


6 中学2年生保護者

問1 お子さんにご記入している方との関係は、次のどれにあたりますか。お子さんからみた続柄でお答えください。（あてはまるもの1つに○）

「母親」の割合が 87.1%と最も高く、次いで「父親」の割合が 12.9%となっています。

回答者数 = 147



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「父親」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	母親	父親	祖父母	その他	無回答
全 体	147	87.1	12.9	—	—	—
中央値の1／2未満	14	78.6	21.4	—	—	—
中央値の1／2以上中央値未満	29	86.2	13.8	—	—	—
中央値以上	99	87.9	12.1	—	—	—

【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「父親」の割合が高くなっています。

単位：％

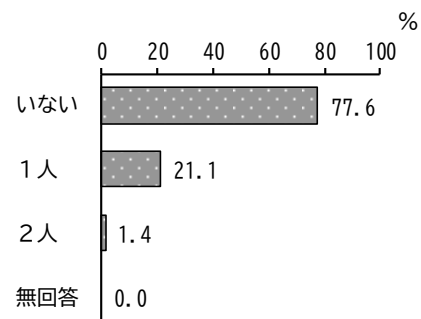
区分	回答者数 (件)	母親	父親	祖父母	その他	無回答
全 体	147	87.1	12.9	—	—	—
ふたり親世帯	133	89.5	10.5	—	—	—
ひとり親世帯	11	72.7	27.3	—	—	—
その他（不明等）	3	33.3	66.7	—	—	—

問2 お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。単身赴任中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めて教えてください。(a～hは、お子さんから見た続柄です。それぞれについて、あてはまるものにチェックしてください)

a) 祖母

「いない」の割合が77.6%と最も高く、次いで
「1人」の割合が21.1%となっています。

回答者数 = 147



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1 / 2以上中央値未満で「1人」の割合が高くなっています。

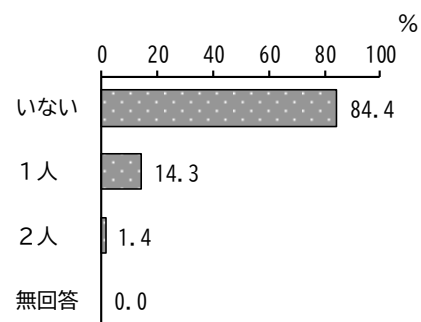
単位：%

区分	回答者数 (件)	いない	1人	2人	無回答
全 体	147	77.6	21.1	1.4	—
中央値の1 / 2未満	14	57.1	35.7	7.1	—
中央値の1 / 2以上中央値未満	29	62.1	37.9	—	—
中央値以上	99	83.8	15.2	1.0	—

b) 祖父

「いない」の割合が 84.4%と最も高く、次いで「1人」の割合が 14.3%となっています。

回答者数 = 147



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1/2未満で「1人」の割合が高くなっています。

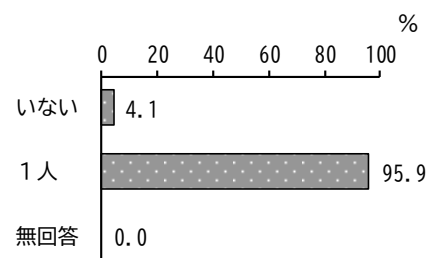
単位：%

区分	回答者数 (件)	いない	1人	2人	無回答
全 体	147	84.4	14.3	1.4	—
中央値の1/2未満	14	78.6	21.4	—	—
中央値の1/2以上中央値未満	29	79.3	20.7	—	—
中央値以上	99	85.9	12.1	2.0	—

c) 母親

「いない」の割合が 4.1%、「1人」の割合が 95.9%となっています。

回答者数 = 147



【生活困窮度別】

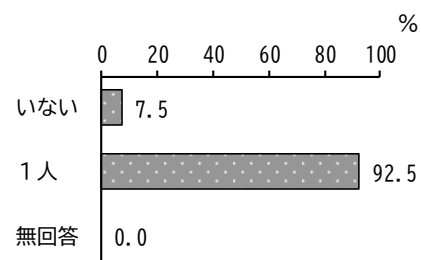
生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	いない	1人	無回答
全 体	147	4.1	95.9	—
中央値の1/2未満	14	14.3	85.7	—
中央値の1/2以上中央値未満	29	3.4	96.6	—
中央値以上	99	3.0	97.0	—

d) 父親

「いない」の割合が 7.5%、「1 人」の割合が 92.5%となっています。回答者数 = 147



【生活困窮度別】

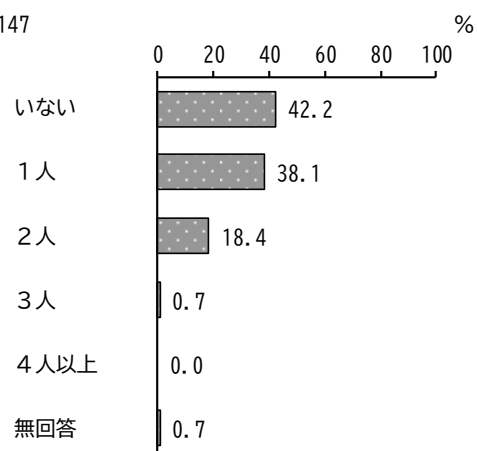
生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	いない	1 人	無回答
全 体	147	7.5	92.5	—
中央値の 1 / 2 未満	14	21.4	78.6	—
中央値の 1 / 2 以上中央値未満	29	6.9	93.1	—
中央値以上	99	5.1	94.9	—

e) 姉・兄

「いない」の割合が 42.2%と最も高く、次いで「1 人」の割合が 38.1%、「2 人」の割合が 18.4%となっています。回答者数 = 147



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の 1 / 2 以上中央値未満で「2 人」の割合が高くなっています。

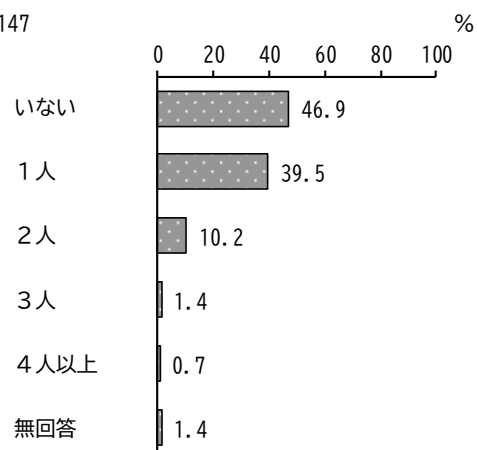
単位：%

区分	回答者数 (件)	いない	1 人	2 人	3 人	4 人以上	無回答
全 体	147	42.2	38.1	18.4	0.7	—	0.7
中央値の 1 / 2 未満	14	50.0	28.6	21.4	—	—	—
中央値の 1 / 2 以上中央値未満	29	27.6	34.5	34.5	3.4	—	—
中央値以上	99	43.4	42.4	13.1	—	—	1.0

f) 妹・弟

「いない」の割合が46.9%と最も高く、次いで
「1人」の割合が39.5%、「2人」の割合が10.2%
となっています。

回答者数 = 147



【生活困窮度別】

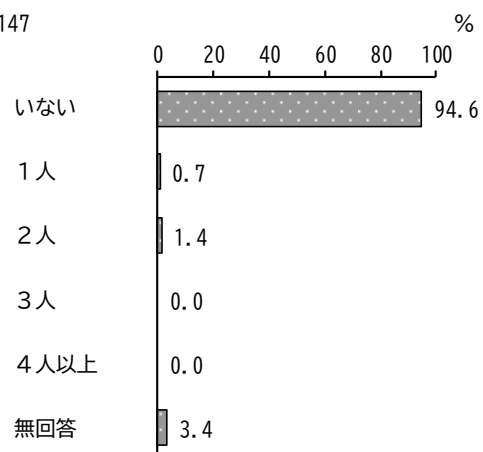
生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	いない	1人	2人	3人	4人以上	無回答
全 体	147	46.9	39.5	10.2	1.4	0.7	1.4
中央値の1／2未満	14	42.9	35.7	14.3	7.1	—	—
中央値の1／2以上中央値未満	29	41.4	31.0	13.8	3.4	3.4	6.9
中央値以上	99	48.5	42.4	9.1	—	—	—

g) その他

「いない」の割合が 94.6%と最も高くなっています。
回答者数 = 147



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

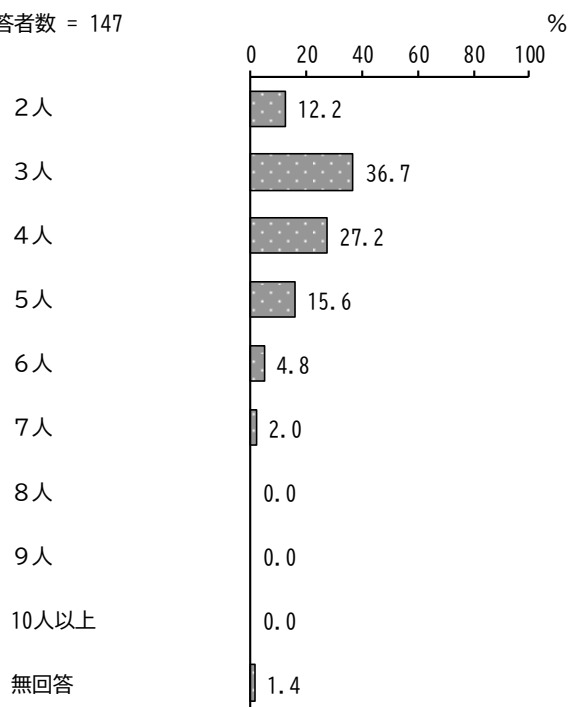
単位：%

区分	回答者数 (件)	いない	1人	2人	3人	4人以上	無回答
全 体	147	94.6	0.7	1.4	—	—	3.4
中央値の1／2未満	14	85.7	—	14.3	—	—	—
中央値の1／2以上中 央値未満	29	89.7	—	—	—	—	10.3
中央値以上	99	97.0	1.0	—	—	—	2.0

h) 合計（あなたや対象のお子さんを含む）

「3人」の割合が 36.7%と最も高く、次いで「4人」の割合が 27.2%、「5人」の割合が 15.6%となっています。

回答者数 = 147



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値以上で「3人」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人以上	無回答
全 体	147	12.2	36.7	27.2	15.6	4.8	2.0	—	—	—	1.4
中央値の1／2未満	14	7.1	14.3	35.7	21.4	—	14.3	—	—	—	7.1
中央値の1／2以上中央値未満	29	3.4	20.7	34.5	17.2	20.7	3.4	—	—	—	—
中央値以上	99	14.1	45.5	24.2	15.2	1.0	—	—	—	—	—

問3 保護者の婚姻状況を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

「結婚している（再婚や事実婚を含む。）」の割合が92.5%と最も高くなっています。

回答者数 = 147

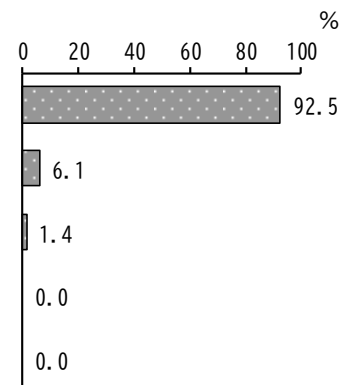
結婚している（再婚や事実婚を含む。）

離婚

死別

未婚

無回答



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	結婚している (再婚や 事実婚を含む。)	離婚	死別	未婚	無回答
全 体	147	92.5	6.1	1.4	—	—
中央値の1／2未満	14	71.4	14.3	14.3	—	—
中央値の1／2以上中央 値未満	29	93.1	6.9	—	—	—
中央値以上	99	96.0	4.0	—	—	—

【家族構成別】

家族構成別にみると、ふたり親世帯で「結婚している（再婚や事実婚を含む。）」の割合が高くなっています。

単位：％

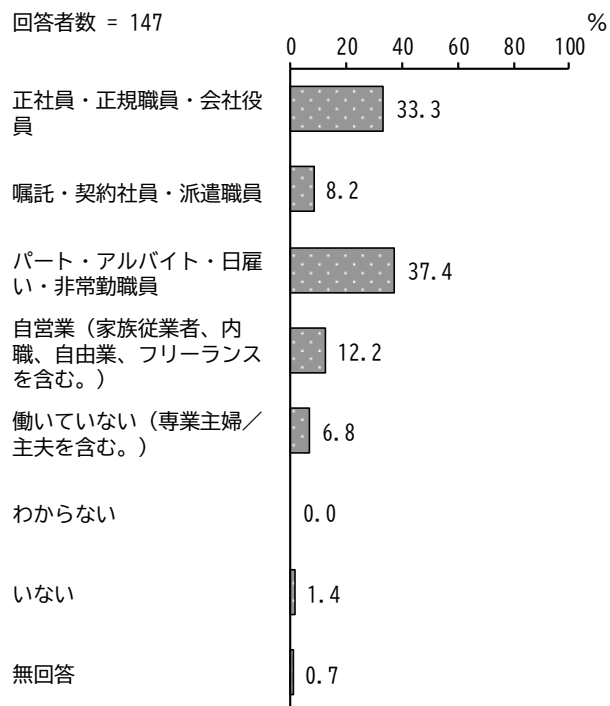
区分	回答者数 (件)	結婚している (再婚や 事実婚を含む。)	離婚	死別	未婚	無回答
全 体	147	92.5	6.1	1.4	—	—
ふたり親世帯	133	100.0	—	—	—	—
ひとり親世帯	11	9.1	72.7	18.2	—	—
その他（不明等）	3	66.7	33.3	—	—	—

問4 保護者の就労状況について、あてはまるものを回答してください。
(a, bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

a) 母親

「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」の割合が37.4%と最も高く、次いで「正社員・正
規職員・会社役員」の割合が33.3%、「自営業(家
族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)」
の割合が12.2%となっています。

回答者数 = 147



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1/2以上中央値未満で「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	正社員・正規職員・会社役員	嘱託・契約社員・派遣職員	パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)	働いていない(専業主婦/主夫を含む。)	わからない	いない	無回答
全 体	147	33.3	8.2	37.4	12.2	6.8	—	1.4	0.7
中央値の1/2未満	14	14.3	—	42.9	21.4	14.3	—	7.1	—
中央値の1/2以上中央値未満	29	20.7	10.3	51.7	13.8	3.4	—	—	—
中央値以上	99	41.4	8.1	33.3	9.1	6.1	—	1.0	1.0

【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「正社員・正規職員・会社役員」の割合が高くなっています。

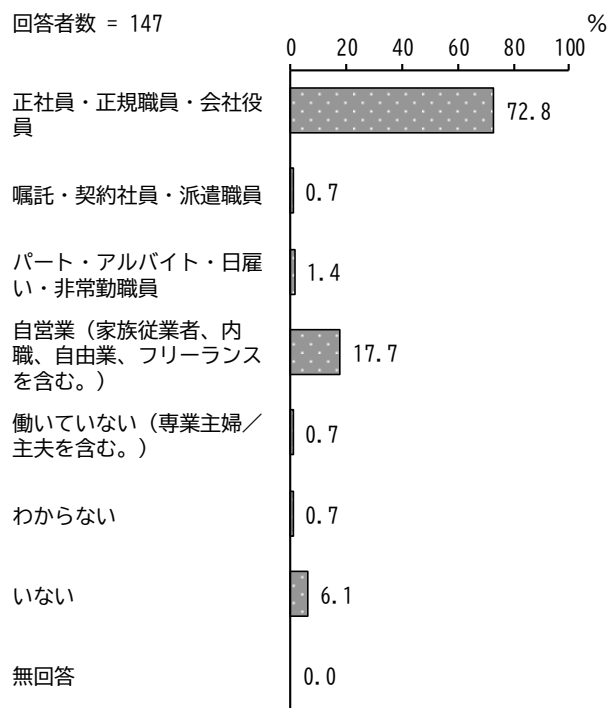
単位：％

区分	回答者数 (件)	正社員・正規職員・会社役員	嘱託・契約社員・派遣職員	パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	自営業（家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。）	働いていない（専業主婦／主夫を含む。）	わからない	いない	無回答
全 体	147	33.3	8.2	37.4	12.2	6.8	—	1.4	0.7
ふたり親世帯	133	31.6	8.3	38.3	13.5	7.5	—	—	0.8
ひとり親世帯	11	54.5	9.1	18.2	—	—	—	18.2	—
その他（不明等）	3	33.3	—	66.7	—	—	—	—	—

b) 父親

「正社員・正規職員・会社役員」の割合が 72.8%と最も高く、次いで「自営業（家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。）」の割合が 17.7%となっています。

回答者数 = 147



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値以上で「正社員・正規職員・会社役員」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	正社員・正規職員・会社役員	嘱託・契約社員・派遣職員	パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	自営業（家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。）	働いていない（専業主婦／主夫を含む。）	わからない	いない	無回答
全 体	147	72.8	0.7	1.4	17.7	0.7	0.7	6.1	—
中央値の1／2未満	14	35.7	—	7.1	28.6	—	7.1	21.4	—
中央値の1／2以上 中央値未満	29	58.6	3.4	3.4	27.6	—	—	6.9	—
中央値以上	99	83.8	—	—	12.1	1.0	—	3.0	—

【家族構成別】

家族構成別にみると、ふたり親世帯で「正社員・正規職員・会社役員」の割合が高くなっています。

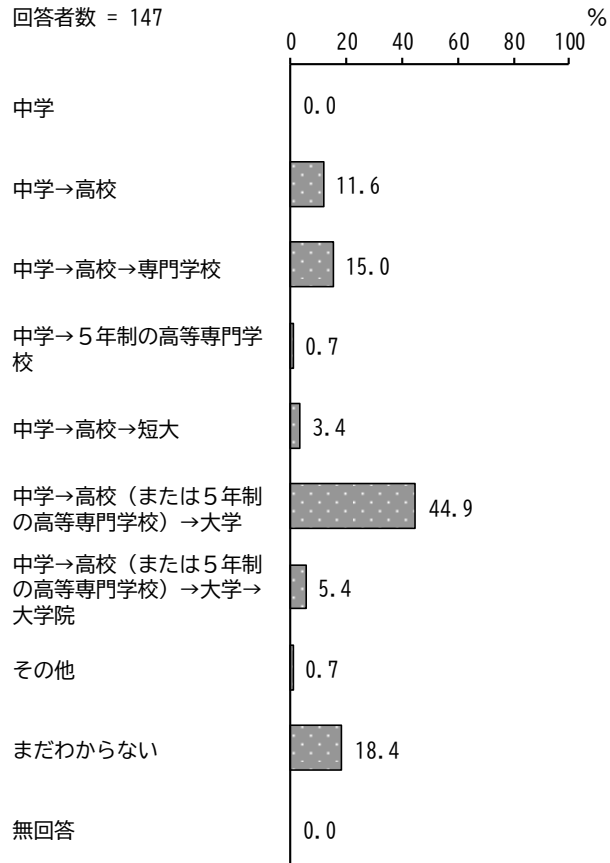
単位：％

区分	回答者数 (件)	正社員・正規職員・会社役員	嘱託・契約社員・派遣職員	パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	自営業（家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。）	働いていない（専業主婦／主夫を含む。）	わからない	いない	無回答
全 体	147	72.8	0.7	1.4	17.7	0.7	0.7	6.1	—
ふたり親世帯	133	78.2	0.8	1.5	18.0	0.8	0.8	—	—
ひとり親世帯	11	18.2	—	—	9.1	—	—	72.7	—
その他（不明等）	3	33.3	—	—	33.3	—	—	33.3	—

問5 お子さんは将来、どの学校に進学すると思いますか。(あてはまるもの1つに○)

「中学→高校（または5年制の高等専門学校）→大学」の割合が44.9%と最も高く、次いで「まだわからない」の割合が18.4%、「中学→高校→専門学校」の割合が15.0%となっています。

回答者数 = 147



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「中学→高校」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	中学	中学↓高校	中学↓高校↓専門学校	中学↓5年制の高等専門学校	中学↓高校↓短大	中学↓高校(または5年制の高等専門学校)↓大学	中学↓高校(または5年制の高等専門学校)↓大学↓大学院	その他	まだわからない	無回答
全 体	147	－	11.6	15.0	0.7	3.4	44.9	5.4	0.7	18.4	－
中央値の1／2未満	14	－	35.7	14.3	－	－	35.7	－	－	14.3	－
中央値の1／2以上中央値未満	29	－	13.8	31.0	3.4	10.3	24.1	－	3.4	13.8	－
中央値以上	99	－	7.1	11.1	－	2.0	51.5	8.1	－	20.2	－

【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「中学→高校」の割合が高くなっています。

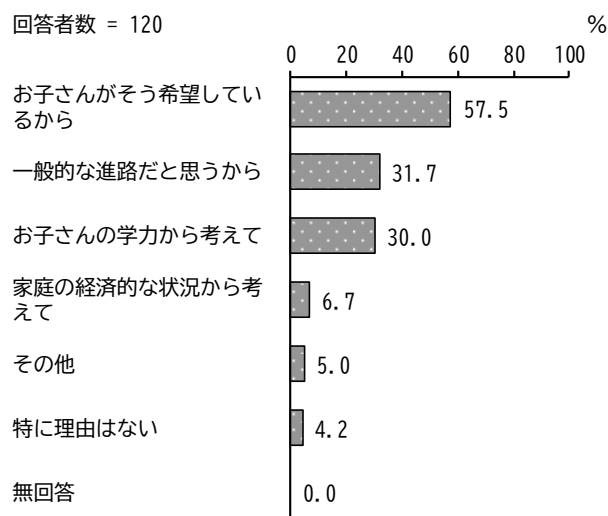
単位：％

区分	回答者数(件)	中学	中学↓高校	中学↓高校↓専門学校	中学↓5年制の高等専門学校	中学↓高校↓短大	中学↓高校(または5年制の高等専門学校)↓大学	中学↓高校(または5年制の高等専門学校)↓大学↓大学院	その他	まだわからない	無回答
全 体	147	－	11.6	15.0	0.7	3.4	44.9	5.4	0.7	18.4	－
ふたり親世帯	133	－	10.5	15.8	0.8	2.3	45.1	6.0	0.8	18.8	－
ひとり親世帯	11	－	27.3	9.1	－	18.2	36.4	－	－	9.1	－
その他(不明等)	3	－	－	－	－	－	66.7	－	－	33.3	－

問6 問5の質問で1～8と答えた場合、その理由は何ですか。
(1～5については、あてはまるものすべてに○)

「お子さんがそう希望しているから」の割合が57.5%と最も高く、次いで「一般的な進路だと思うから」の割合が31.7%、「お子さんの学力から考えて」の割合が30.0%となっています。

回答者数 = 120



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「一般的な進路だと思うから」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	お子さんがそう希望しているから	一般的な進路だと思うから	お子さんの学力から考えて	家庭の経済的な状況から考えて	その他	特に理由はない	無回答
全 体	120	57.5	31.7	30.0	6.7	5.0	4.2	—
中央値の1／2未満	12	50.0	41.7	25.0	—	8.3	—	—
中央値の1／2以上 中央値未満	25	52.0	24.0	16.0	16.0	8.0	4.0	—
中央値以上	79	60.8	31.6	36.7	5.1	3.8	5.1	—

【家族構成別】

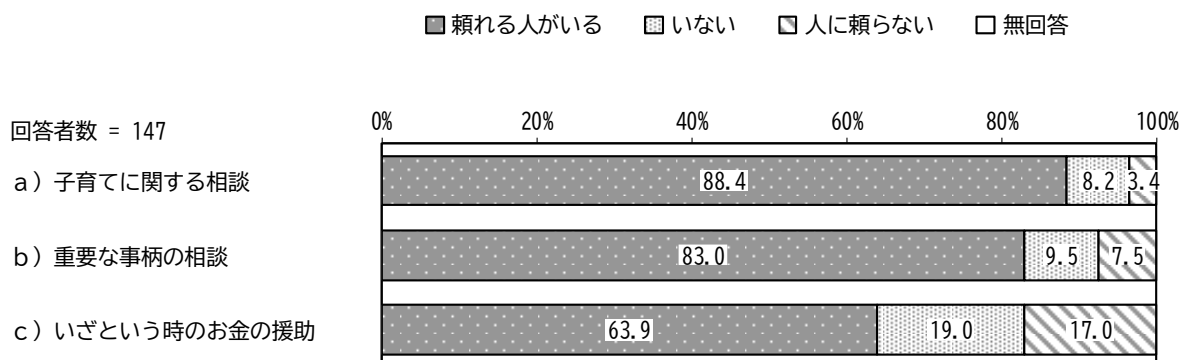
家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数(件)	お子さんがそう希望しているから	一般的な進路だと思うから	お子さんの学力から考えて	家庭の経済的な状況から考えて	その他	特に理由はない	無回答
全 体	120	57.5	31.7	30.0	6.7	5.0	4.2	—
ふたり親世帯	108	57.4	33.3	29.6	7.4	5.6	3.7	—
ひとり親世帯	10	60.0	20.0	30.0	—	—	10.0	—
その他(不明等)	2	50.0	—	50.0	—	—	—	—

問7 あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。
(a～cそれぞれについて、1～3のあてはまるもの1つに○)

『a) 子育てに関する相談』『b) 重要な事柄の相談』で「頼れる人がいる」の割合が高くなっています。一方、『c) いざという時のお金の援助』で「いない」「人に頼らない」の割合が高くなっています。



a) 子育てに関する相談

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	頼れる人がいる	いない	人に頼らない	無回答
全 体	147	88.4	8.2	3.4	—
中央値の1／2未満	14	85.7	14.3	—	—
中央値の1／2以上中央値未満	29	93.1	3.4	3.4	—
中央値以上	99	86.9	9.1	4.0	—

【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「頼れる人がいる」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	頼れる人がいる	いない	人に頼らない	無回答
全 体	147	88.4	8.2	3.4	—
ふたり親世帯	133	88.0	8.3	3.8	—
ひとり親世帯	11	100.0	—	—	—
その他（不明等）	3	66.7	33.3	—	—

b) 重要な事柄の相談

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2以上中央値未満で「頼れる人がいる」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	頼れる人がいる	いない	人に頼らない	無回答
全 体	147	83.0	9.5	7.5	—
中央値の1／2未満	14	64.3	28.6	7.1	—
中央値の1／2以上中央値未満	29	93.1	6.9	—	—
中央値以上	99	81.8	8.1	10.1	—

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	頼れる人がいる	いない	人に頼らない	無回答
全 体	147	83.0	9.5	7.5	—
ふたり親世帯	133	84.2	9.0	6.8	—
ひとり親世帯	11	81.8	9.1	9.1	—
その他（不明等）	3	33.3	33.3	33.3	—

c) いざという時のお金の援助

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「いない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	頼れる人がいる	いない	人に頼らない	無回答
全 体	147	63.9	19.0	17.0	—
中央値の1／2未満	14	42.9	50.0	7.1	—
中央値の1／2以上中央値未満	29	62.1	27.6	10.3	—
中央値以上	99	68.7	13.1	18.2	—

【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「いない」の割合が高くなっています。

単位：％

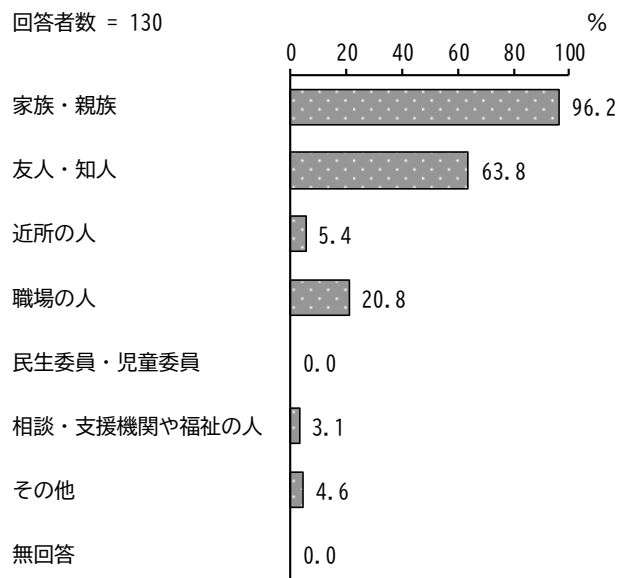
区分	回答者数 (件)	頼れる人がいる	いない	人に頼らない	無回答
全 体	147	63.9	19.0	17.0	—
ふたり親世帯	133	66.9	17.3	15.8	—
ひとり親世帯	11	45.5	36.4	18.2	—
その他（不明等）	3	—	33.3	66.7	—

また、「1 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。
(①～⑦のあてはまるものすべてに○)

a) 子育てに関する相談

「家族・親族」の割合が 96.2%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が 63.8%、「職場の人」の割合が 20.8%となっています。

回答者数 = 130



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1/2以上中央値未満で「友人・知人」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員	相談・支援機関や福祉の人	その他	無回答
全 体	130	96.2	63.8	5.4	20.8	—	3.1	4.6	—
中央値の1/2未満	12	83.3	50.0	—	8.3	—	—	8.3	—
中央値の1/2以上中央値未満	27	100.0	77.8	—	18.5	—	3.7	3.7	—
中央値以上	86	96.5	62.8	8.1	24.4	—	3.5	4.7	—

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

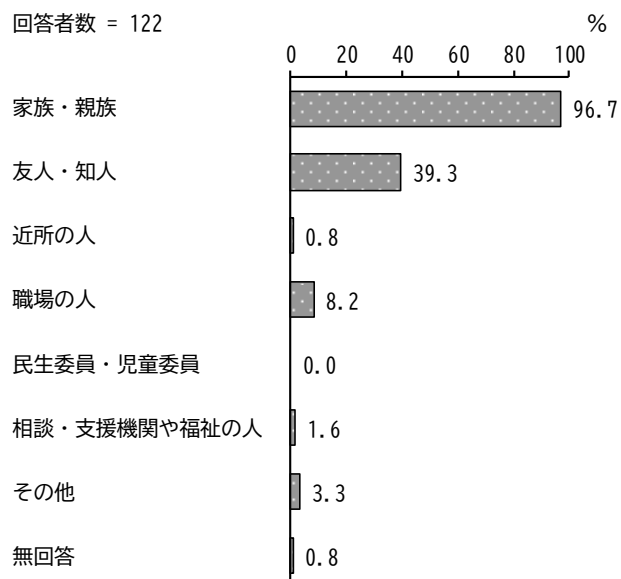
単位：%

区分	回答者数(件)	家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員	相談・支援機関や福祉の人	その他	無回答
全 体	130	96.2	63.8	5.4	20.8	—	3.1	4.6	—
ふたり親世帯	117	96.6	65.0	6.0	20.5	—	2.6	3.4	—
ひとり親世帯	11	90.9	54.5	—	18.2	—	9.1	18.2	—
その他(不明等)	2	100.0	50.0	—	50.0	—	—	—	—

b) 重要な事柄の相談

「家族・親族」の割合が96.7%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が39.3%となっています。

回答者数 = 122



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1/2以上中央値未満で「友人・知人」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員	相談・支援機関や福祉の人	その他	無回答
全 体	122	96.7	39.3	0.8	8.2	—	1.6	3.3	0.8
中央値の1/2未満	9	100.0	44.4	—	—	—	—	—	—
中央値の1/2以上中央値未満	27	100.0	48.1	—	7.4	—	—	3.7	—
中央値以上	81	95.1	37.0	1.2	9.9	—	2.5	3.7	1.2

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

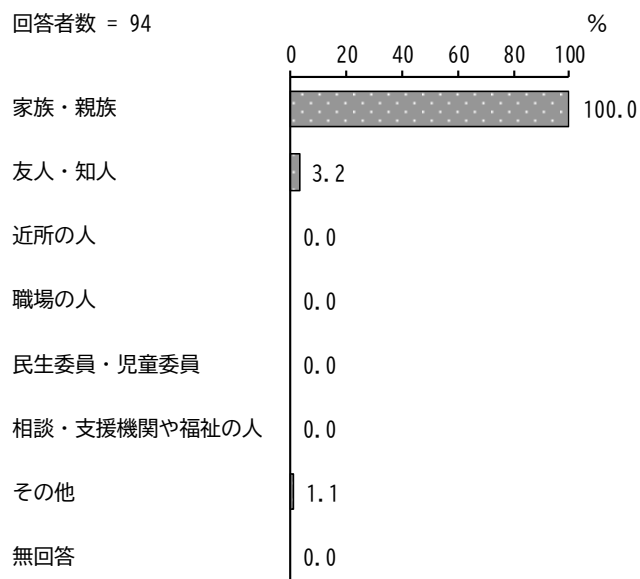
単位：%

区分	回答者数 (件)	家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員	相談・支援機関や福祉の人	その他	無回答
全 体	122	96.7	39.3	0.8	8.2	—	1.6	3.3	0.8
ふたり親世帯	112	97.3	37.5	0.9	7.1	—	1.8	2.7	0.9
ひとり親世帯	9	88.9	66.7	—	11.1	—	—	11.1	—
その他（不明等）	1	100.0	—	—	100.0	—	—	—	—

c) いざという時のお金の援助

「家族・親族」の割合が 100.0%と最も高くなっています。

回答者数 = 94



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員	相談・支援機関や福祉の人	その他	無回答
全 体	94	100.0	3.2	—	—	—	—	1.1	—
中央値の1／2未満	6	100.0	16.7	—	—	—	—	—	—
中央値の1／2以上中央値未満	18	100.0	—	—	—	—	—	5.6	—
中央値以上	68	100.0	2.9	—	—	—	—	—	—

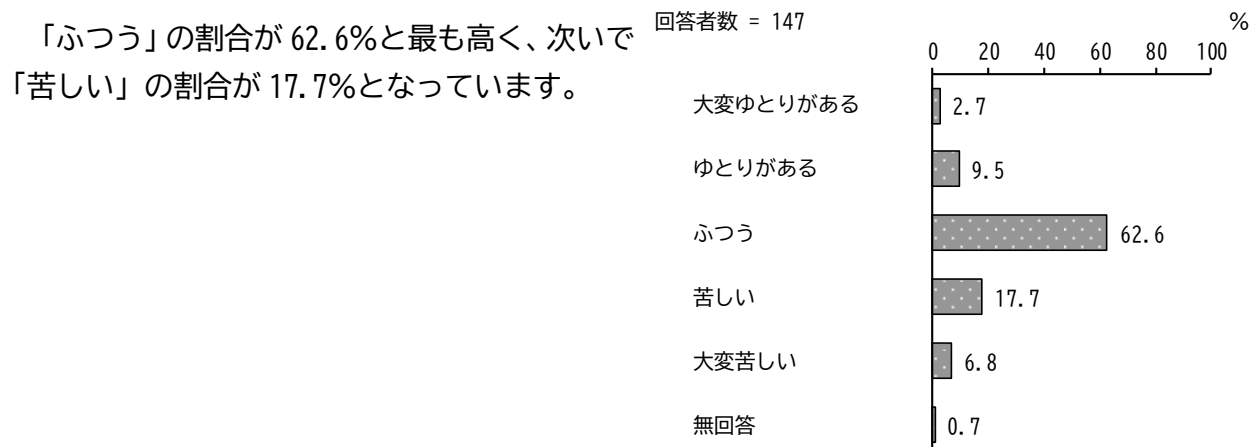
【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員	相談・支援機関や福祉の人	その他	無回答
全 体	94	100.0	3.2	—	—	—	—	1.1	—
ふたり親世帯	89	100.0	3.4	—	—	—	—	1.1	—
ひとり親世帯	5	100.0	—	—	—	—	—	—	—
その他（不明等）	—	—	—	—	—	—	—	—	—

問8 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。
(あてはまるもの1つに○)



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「苦しい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	大変ゆとりがある	ゆとりがある	ふつう	苦しい	大変苦しい	無回答
全 体	147	2.7	9.5	62.6	17.7	6.8	0.7
中央値の1／2未満	14	—	—	28.6	57.1	14.3	—
中央値の1／2以上中 中央値未満	29	—	—	51.7	27.6	20.7	—
中央値以上	99	4.0	13.1	70.7	10.1	2.0	—

【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「苦しい」の割合が高くなっています。

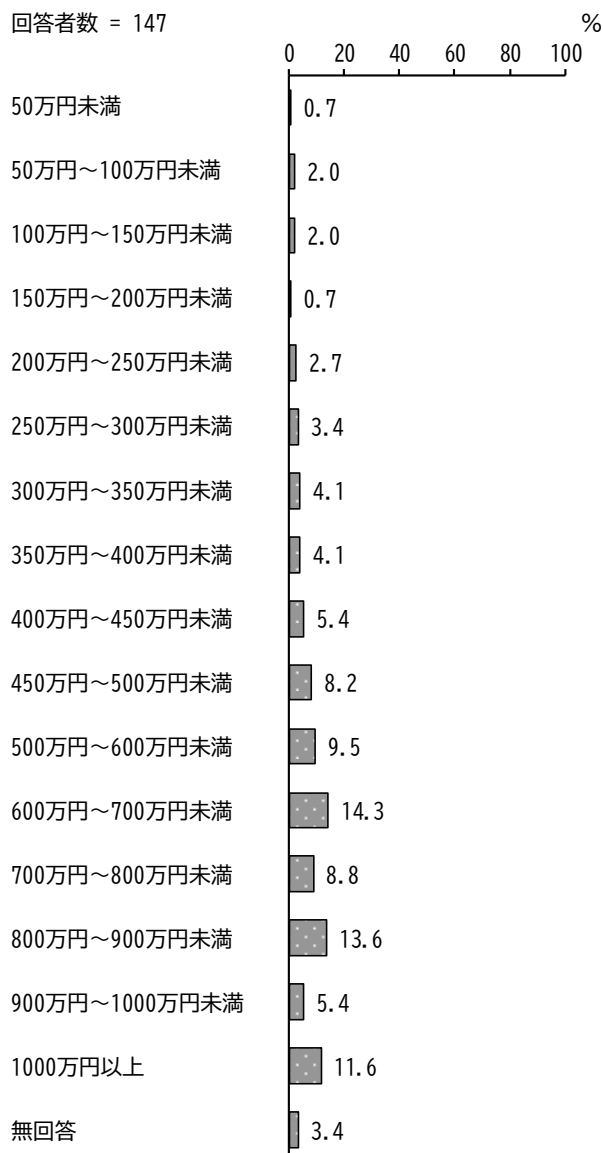
単位：％

区分	回答者数 (件)	大変ゆとりがある	ゆとりがある	ふつう	苦しい	大変苦しい	無回答
全 体	147	2.7	9.5	62.6	17.7	6.8	0.7
ふたり親世帯	133	2.3	9.8	65.4	15.8	6.8	—
ひとり親世帯	11	—	9.1	36.4	36.4	9.1	9.1
その他（不明等）	3	33.3	—	33.3	33.3	—	—

問9 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。
（あてはまるもの1つに○）

「600万円～700万円未満」の割合が14.3%と最も高く、次いで「800万円～900万円未満」の割合が13.6%、「1000万円以上」の割合が11.6%となっています。

回答者数 = 147



【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

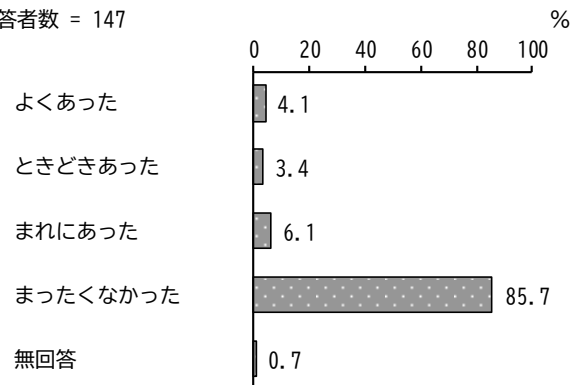
区分	回答者数 (件)	50万円未満	50万円～ 100万円未満	100万円～ 150万円未満	150万円～ 200万円未満	200万円～ 250万円未満	250万円～ 300万円未満	300万円～ 350万円未満	350万円～ 400万円未満
全 体	147	0.7	2.0	2.0	0.7	2.7	3.4	4.1	4.1
ふたり親世帯	133	—	2.3	1.5	—	2.3	3.0	4.5	3.8
ひとり親世帯	11	9.1	—	9.1	9.1	9.1	9.1	—	9.1
その他（不明等）	3	—	—	—	—	—	—	—	—

区分	400万円～ 450万円未満	450万円～ 500万円未満	500万円～ 600万円未満	600万円～ 700万円未満	700万円～ 800万円未満	800万円～ 900万円未満	900万円～ 1,000万円未満	1,000万円以上	無回答
全 体	5.4	8.2	9.5	14.3	8.8	13.6	5.4	11.6	3.4
ふたり親世帯	5.3	7.5	10.5	15.8	9.0	14.3	5.3	12.0	3.0
ひとり親世帯	—	9.1	—	—	9.1	—	9.1	9.1	9.1
その他（不明等）	33.3	33.3	—	—	—	33.3	—	—	—

問 10 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。(あてはまるもの1つに○)

「まったくなかった」の割合が85.7%と最も高くなっています。

回答者数 = 147



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値以上で「まったくなかった」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	よくあった	ときどきあった	まれにあった	まったくなかった	無回答
全 体	147	4.1	3.4	6.1	85.7	0.7
中央値の1／2未満	14	21.4	14.3	21.4	42.9	—
中央値の1／2以上中央値未満	29	6.9	6.9	10.3	75.9	—
中央値以上	99	1.0	1.0	2.0	96.0	—

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	よくあった	ときどきあった	まれにあった	まったくなかった	無回答
全 体	147	4.1	3.4	6.1	85.7	0.7
ふたり親世帯	133	3.0	3.8	5.3	88.0	—
ひとり親世帯	11	18.2	—	18.2	54.5	9.1
その他（不明等）	3	—	—	—	100.0	—

問 11 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。(あてはまるもの1つに○)

「まったくなかった」の割合が82.3%と最も高くなっています。

回答者数 = 147

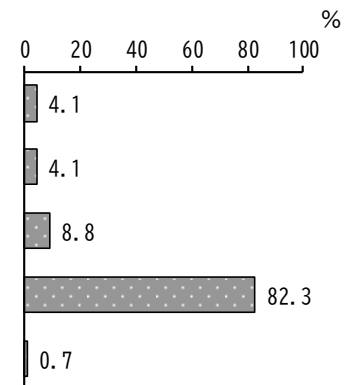
よくあった

ときどきあった

まれにあった

まったくなかった

無回答



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値以上で「まったくなかった」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	よくあった	ときどきあった	まれにあった	まったくなかった	無回答
全 体	147	4.1	4.1	8.8	82.3	0.7
中央値の1／2未満	14	21.4	21.4	14.3	42.9	—
中央値の1／2以上中央値未満	29	6.9	10.3	17.2	65.5	—
中央値以上	99	1.0	—	5.1	93.9	—

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

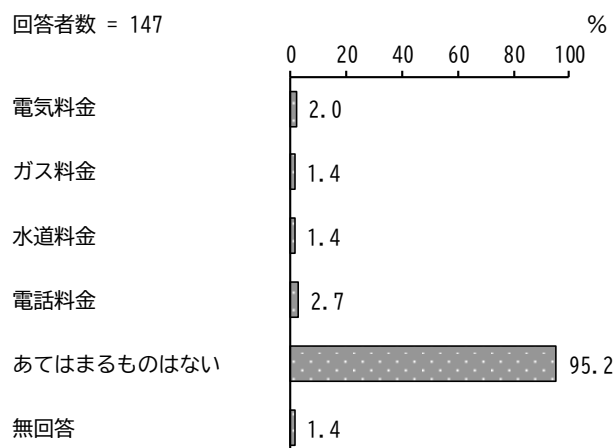
単位：%

区分	回答者数 (件)	よくあった	ときどきあった	まれにあった	まったくなかった	無回答
全 体	147	4.1	4.1	8.8	82.3	0.7
ふたり親世帯	133	3.8	3.8	7.5	85.0	—
ひとり親世帯	11	9.1	9.1	18.2	54.5	9.1
その他（不明等）	3	—	—	33.3	66.7	—

問 12 あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で支払えなかったことがありましたか。(1～4については、あてはまるものすべてに○)

「あてはまるものはない」の割合が95.2%と最も高くなっています。

回答者数 = 147



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	電気料金	ガス料金	水道料金	電話料金	あてはまるもの はない	無回答
全 体	147	2.0	1.4	1.4	2.7	95.2	1.4
中央値の1／2未満	14	21.4	14.3	14.3	14.3	71.4	7.1
中央値の1／2以上中 中央値未満	29	—	—	—	6.9	93.1	—
中央値以上	99	—	—	—	—	100.0	—

【家族構成別】

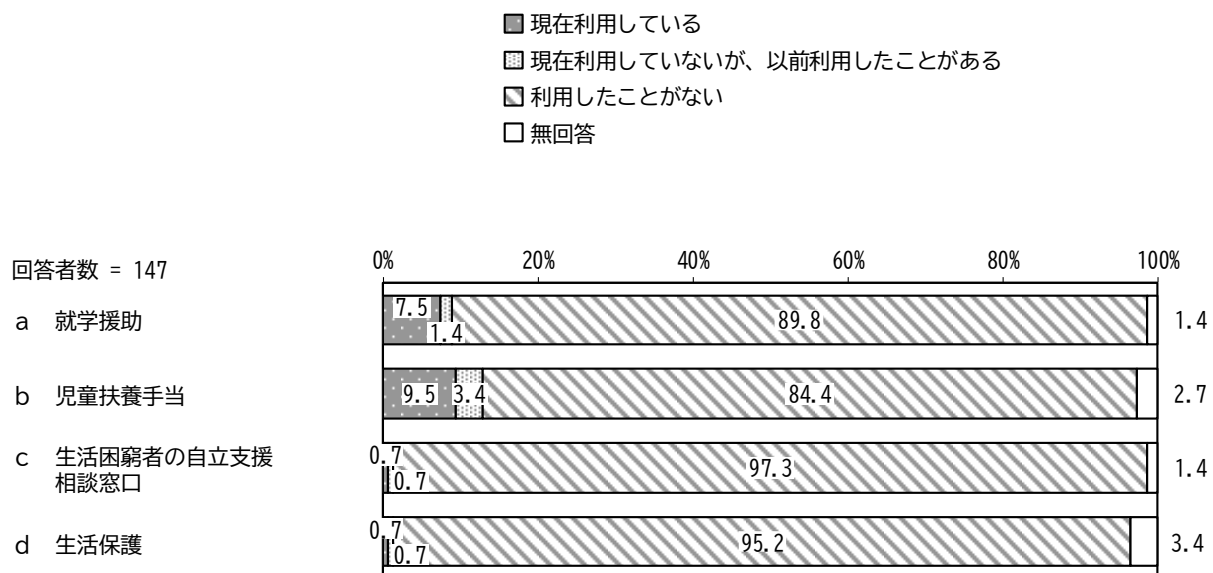
家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	電気料金	ガス料金	水道料金	電話料金	あてはまるもの はない	無回答
全 体	147	2.0	1.4	1.4	2.7	95.2	1.4
ふたり親世帯	133	1.5	1.5	0.8	3.0	96.2	0.8
ひとり親世帯	11	9.1	—	9.1	—	81.8	9.1
その他（不明等）	3	—	—	—	—	100.0	—

問 13 あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。
（a～dそれぞれについて、1～3のあてはまるもの1つに○）

『b 児童扶養手当』で「現在利用している」の割合が高くなっています。一方、『c 生活困窮者の自立支援相談窓口』、『d 生活保護』で「利用したことがない」の割合が高くなっています。



a 就学援助

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値以上で「利用したことがない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	現在 利用している	現在利用して いないが、以前 利用した ことがある	利用したことが ない	無 回 答
全 体	147	7.5	1.4	89.8	1.4
中央値の1／2未満	14	42.9	－	57.1	－
中央値の1／2以上中央値未 満	29	13.8	6.9	75.9	3.4
中央値以上	99	1.0	－	99.0	－

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	現在 利用している	現在利用して いないが、以前 利用した ことがある	利用したことが ない	無 回 答
全 体	147	7.5	1.4	89.8	1.4
ふたり親世帯	133	5.3	1.5	92.5	0.8
ひとり親世帯	11	36.4	－	54.5	9.1
その他（不明等）	3	－	－	100.0	－

b 児童扶養手当

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	現在 利用している	現在利用していないが、 以前利用したことがある	利用したことがない	無回答
全 体	147	9.5	3.4	84.4	2.7
中央値の1／2未満	14	21.4	7.1	64.3	7.1
中央値の1／2以上中央値未満	29	10.3	3.4	86.2	—
中央値以上	99	8.1	3.0	86.9	2.0

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	現在 利用している	現在利用していないが、 以前利用したことがある	利用したことがない	無回答
全 体	147	9.5	3.4	84.4	2.7
ふたり親世帯	133	8.3	1.5	88.0	2.3
ひとり親世帯	11	27.3	27.3	36.4	9.1
その他（不明等）	3	—	—	100.0	—

c 生活困窮者の自立支援相談窓口

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	現在 利用している	現在利用していないが、 以前利用したことがある	利用したことがない	無回答
全 体	147	0.7	0.7	97.3	1.4
中央値の1／2未満	14	7.1	7.1	85.7	—
中央値の1／2以上中央値未満	29	—	—	96.6	3.4
中央値以上	99	—	—	100.0	—

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	現在 利用している	現在利用していないが、 以前利用したことがある	利用したことがない	無回答
全 体	147	0.7	0.7	97.3	1.4
ふたり親世帯	133	0.8	0.8	98.5	—
ひとり親世帯	11	—	—	81.8	18.2
その他（不明等）	3	—	—	100.0	—

d 生活保護

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	現在 利用している	現在利用して いないが、以前 利用した ことがある	利用 したことが ない	無 回 答
全 体	147	0.7	0.7	95.2	3.4
中央値の1／2未満	14	7.1	7.1	78.6	7.1
中央値の1／2以上中央値未 満	29	—	—	96.6	3.4
中央値以上	99	—	—	98.0	2.0

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	現在 利用している	現在利用して いないが、以前 利用した ことがある	利用 したことが ない	無 回 答
全 体	147	0.7	0.7	95.2	3.4
ふたり親世帯	133	0.8	0.8	96.2	2.3
ひとり親世帯	11	—	—	81.8	18.2
その他（不明等）	3	—	—	100.0	—

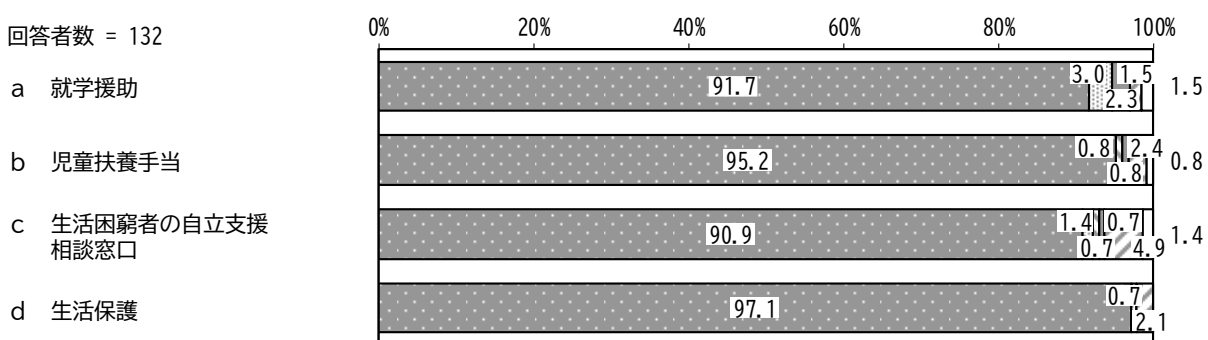
また、「3利用したことがない」場合、その理由は何ですか。

(①～⑤のあてはまるもの1つに○)

『d 生活保護』で「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」の割合が高くなっています。

- 制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから
- ▨ 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
- ▩ 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
- 利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから
- ▨ それ以外の理由
- 無回答

回答者数 = 132



a 就学援助

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	制度の対象外(収入 等の条件を満たさ ない)だと思うから	利用はできるが、特 に利用したいと思 わなかったから	利用したいが、今ま でこの支援制度を 知らなかったから	利用したいが、手続 がわからなかった り、利用しにくい から	それ以外の理由	無回答
全 体	132	91.7	3.0	—	2.3	1.5	1.5
中央値の1／2未満	8	37.5	37.5	—	12.5	—	12.5
中央値の1／2以上中 央値未満	22	90.9	—	—	4.5	4.5	—
中央値以上	98	95.9	1.0	—	1.0	1.0	1.0

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	制度の対象外(収入 等の条件を満たさ ない)だと思うから	利用はできるが、特 に利用したいと思 わなかったから	利用したいが、今ま でこの支援制度を 知らなかったから	利用したいが、手続 がわからなかった り、利用しにくい から	それ以外の理由	無回答
全 体	132	91.7	3.0	—	2.3	1.5	1.5
ふたり親世帯	123	91.9	2.4	—	2.4	1.6	1.6
ひとり親世帯	6	83.3	16.7	—	—	—	—
その他(不明等)	3	100.0	—	—	—	—	—

b 児童扶養手当

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	制度の対象外(収入 等の条件を満たさ ない)だと思うから	利用はできるが、特 に利用したいと思 わなかったから	利用したいが、今ま でこの支援制度を 知らなかったから	利用したいが、手続 がわからなかった り、利用しにくい から	それ以外の理由	無回答
全 体	124	95.2	－	0.8	0.8	2.4	0.8
中央値の1／2未満	9	66.7	－	11.1	11.1	－	11.1
中央値の1／2以上中 央値未満	25	96.0	－	－	－	4.0	－
中央値以上	86	98.8	－	－	－	1.2	－

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	制度の対象外(収入 等の条件を満たさ ない)だと思うから	利用はできるが、特 に利用したいと思 わなかったから	利用したいが、今ま でこの支援制度を 知らなかったから	利用したいが、手続 がわからなかった り、利用しにくい から	それ以外の理由	無回答
全 体	124	95.2	－	0.8	0.8	2.4	0.8
ふたり親世帯	117	96.6	－	0.9	－	1.7	0.9
ひとり親世帯	4	75.0	－	－	25.0	－	－
その他（不明等）	3	66.7	－	－	－	33.3	－

c 生活困窮者の自立支援相談窓口

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値以上で「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だ」と思うから」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思っ から	利用はできるが、特 に利用したいと思 わなかったから	利用したいが、今 ま でこの支援制度を 知らなかったから	利用したいが、手続 がわからなかった り、利用しにくい から	それ以外の理由	無回答
全 体	143	90.9	1.4	0.7	0.7	4.9	1.4
中央値の1／2未満	12	41.7	8.3	8.3	8.3	33.3	—
中央値の1／2以上中 央値未満	28	89.3	3.6	—	—	3.6	3.6
中央値以上	99	98.0	—	—	—	1.0	1.0

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思っ から	利用はできるが、特 に利用したいと思 わなかったから	利用したいが、今 ま でこの支援制度を 知らなかったから	利用したいが、手続 がわからなかった り、利用しにくい から	それ以外の理由	無回答
全 体	143	90.9	1.4	0.7	0.7	4.9	1.4
ふたり親世帯	131	92.4	1.5	—	—	4.6	1.5
ひとり親世帯	9	66.7	—	11.1	11.1	11.1	—
その他（不明等）	3	100.0	—	—	—	—	—

d 生活保護

【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	制度の対象外(収入 等の条件を満たさ ない)だと思うから	利用はできるが、特 に利用したいと思 わなかったから	利用したいが、今ま でこの支援制度を 知らなかったから	利用したいが、手続 がわからなかった り、利用しにくい から	それ以外の理由	無回答
全 体	140	97.1	0.7	—	—	2.1	—
中央値の1／2未満	11	81.8	9.1	—	—	9.1	—
中央値の1／2以上中 央値未満	28	96.4	—	—	—	3.6	—
中央値以上	97	100.0	—	—	—	—	—

【家族構成別】

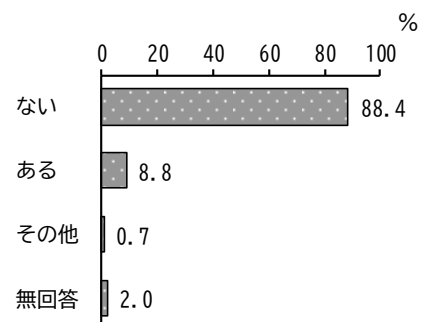
家族構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	制度の対象外(収入 等の条件を満たさ ない)だと思うから	利用はできるが、特 に利用したいと思 わなかったから	利用したいが、今ま でこの支援制度を 知らなかったから	利用したいが、手続 がわからなかった り、利用しにくい から	それ以外の理由	無回答
全 体	140	97.1	0.7	—	—	2.1	—
ふたり親世帯	128	98.4	—	—	—	1.6	—
ひとり親世帯	9	77.8	11.1	—	—	11.1	—
その他(不明等)	3	100.0	—	—	—	—	—

問 14 これまで行政や専門支援の窓口に、暮らしのことで困ったことがあったときに「相談したくてもできなかった」ということはありますか。
(あてはまるもの1つに○)

「ない」の割合が 88.4%、「ある」の割合が 8.8%となっています。 回答者数 = 147



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値以上で「ない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	ない	ある	その他	無回答
全 体	147	88.4	8.8	0.7	2.0
中央値の1／2未満	14	64.3	28.6	7.1	—
中央値の1／2以上中央値未満	29	82.8	13.8	—	3.4
中央値以上	99	93.9	5.1	—	1.0

【家族構成別】

家族構成別にみると、大きな差はみられません。

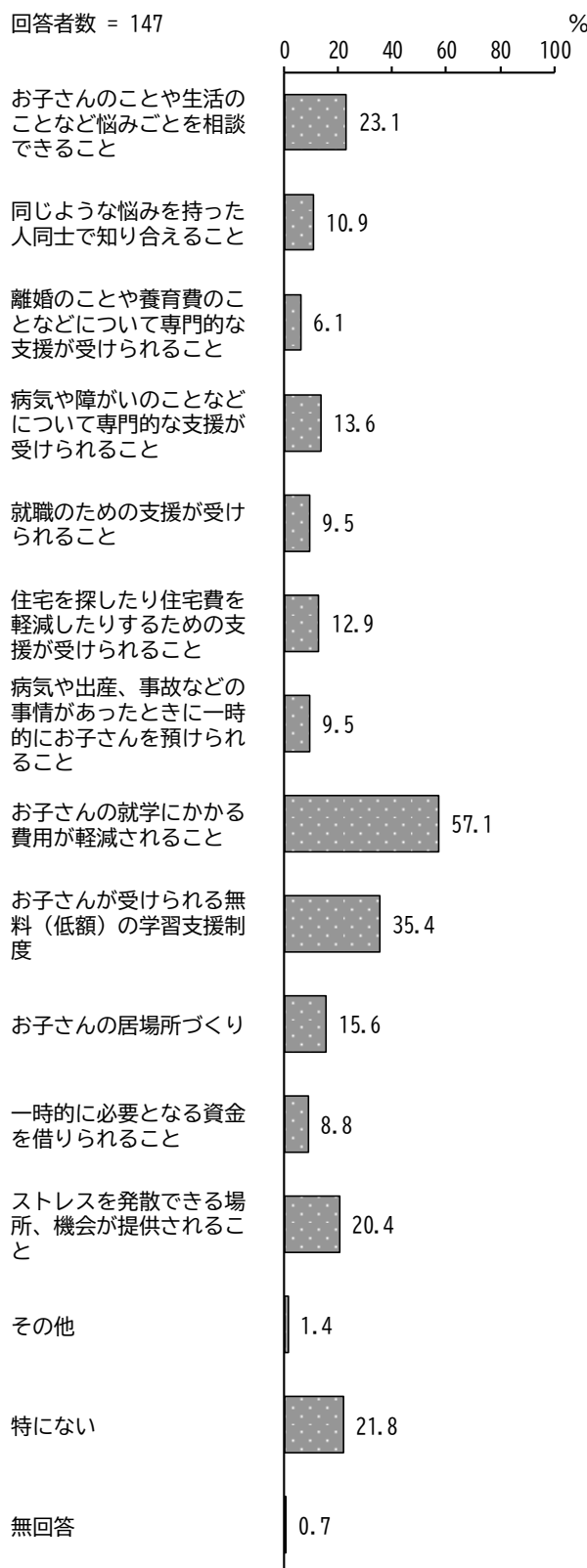
単位：％

区分	回答者数 (件)	ない	ある	その他	無回答
全 体	147	88.4	8.8	0.7	2.0
ふたり親世帯	133	91.7	6.8	0.8	0.8
ひとり親世帯	11	54.5	27.3	—	18.2
その他（不明等）	3	66.7	33.3	—	—

問 15 あなた自身が現在必要としていることで、重要だと思う支援等はあるどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

「お子さんの就学にかかる費用が軽減されること」の割合が 57.1%と最も高く、次いで「お子さんが受けられる無料（低額）の学習支援制度」の割合が 35.4%、「お子さんのことや生活のことなど悩みごとを相談できること」の割合が 23.1%となっています。

回答者数 = 147



【生活困窮度別】

生活困窮度別にみると、中央値の1／2未満で「住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	お子さんのことや生活のこと など悩みことを相談できること	同じような悩みを持った人同 士で知り合えること	離婚のことや養育費のことな どについて専門的な支援が受 けられること	病気や障がいのことなどにつ いて専門的な支援が受けられ ること	就職のための支援が受けられ ること	住宅を探したり住宅費を軽減 したりするための支援が受け られること	病気や出産、事故などの事情 があったときに一時的にお子 さんを預けられること
全 体	147	23.1	10.9	6.1	13.6	9.5	12.9	9.5
中央値の1／2未満	14	28.6	7.1	7.1	7.1	21.4	28.6	7.1
中央値の1／2以上 中央値未満	29	20.7	13.8	13.8	13.8	13.8	13.8	6.9
中央値以上	99	22.2	11.1	4.0	15.2	6.1	10.1	11.1

区分	お子さんの就学にかかる費用 が軽減されること	お子さんが受けられる無料 (低額)の学習支援制度	お子さんの居場所づくり	一時的に必要な資金を借 りられること	ストレスを発散できる場所、 機会が提供されること	その他	特にな い	無回 答
全 体	57.1	35.4	15.6	8.8	20.4	1.4	21.8	0.7
中央値の1／2未満	71.4	42.9	14.3	28.6	14.3	7.1	21.4	—
中央値の1／2以上 中央値未満	72.4	44.8	17.2	13.8	6.9	—	20.7	—
中央値以上	52.5	32.3	16.2	5.1	24.2	1.0	22.2	—

【家族構成別】

家族構成別にみると、ひとり親世帯で「お子さんが受けられる無料（低額）の学習支援制度」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	お子さんのことや生活のことなど悩みごとを相談できること	同じような悩みを持った人同士で知り合えること	離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること	病気や障がいのことなどについて専門的な支援が受けられること	就職のための支援が受けられること	住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること	病気や出産、事故などの事情があったときに一時的にお子さんを預けられること
全 体	147	23.1	10.9	6.1	13.6	9.5	12.9	9.5
ふたり親世帯	133	21.8	10.5	5.3	14.3	8.3	12.0	9.0
ひとり親世帯	11	27.3	9.1	18.2	9.1	27.3	27.3	9.1
その他（不明等）	3	66.7	33.3	－	－	－	－	33.3

区分	お子さんの就学にかかる費用が軽減されること	お子さんが受けられる無料（低額）の学習支援制度	お子さんの居場所づくり	一時的に必要な資金を借りられること	ストレスを発散できる場所、機会が提供されること	その他	特にない	無回答
全 体	57.1	35.4	15.6	8.8	20.4	1.4	21.8	0.7
ふたり親世帯	58.6	33.1	16.5	7.5	21.1	1.5	21.8	－
ひとり親世帯	45.5	63.6	9.1	27.3	18.2	－	18.2	9.1
その他（不明等）	33.3	33.3	－	－	－	－	33.3	－

7 若者

(1) あなた自身のことについて

問1 あなたの性別を選んで○をつけてください。(○は1つ)

「男性」の割合が 37.2%、「女性」の割合が 61.4%となっています。

回答者数 = 285

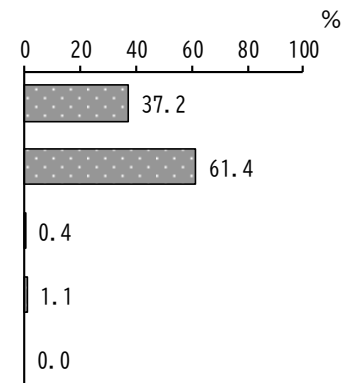
男性

女性

どちらでもない

答えたくない

無回答



問2 あなたの年齢を教えてください。(○は1つ)

「35 歳～39 歳」の割合が 32.6%と最も高く、次いで「16 歳～19 歳」の割合が 19.6%、「30 歳～34 歳」の割合が 19.3%となっています。

回答者数 = 285

16歳～19歳

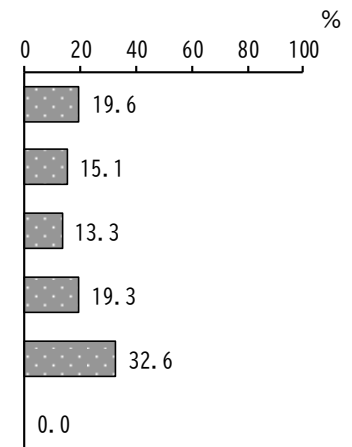
20歳～24歳

25歳～29歳

30歳～34歳

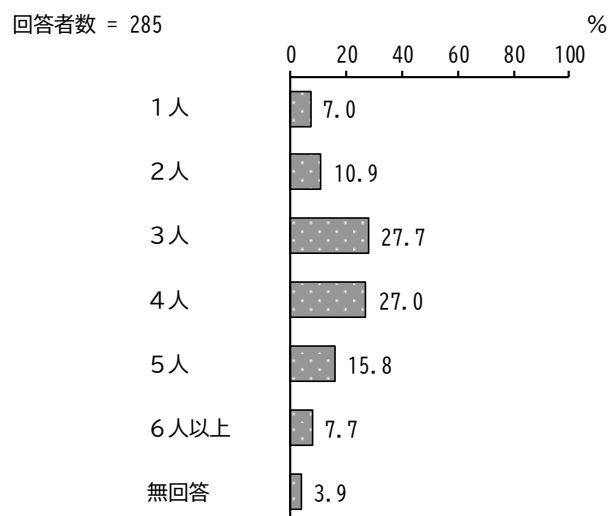
35歳～39歳

無回答



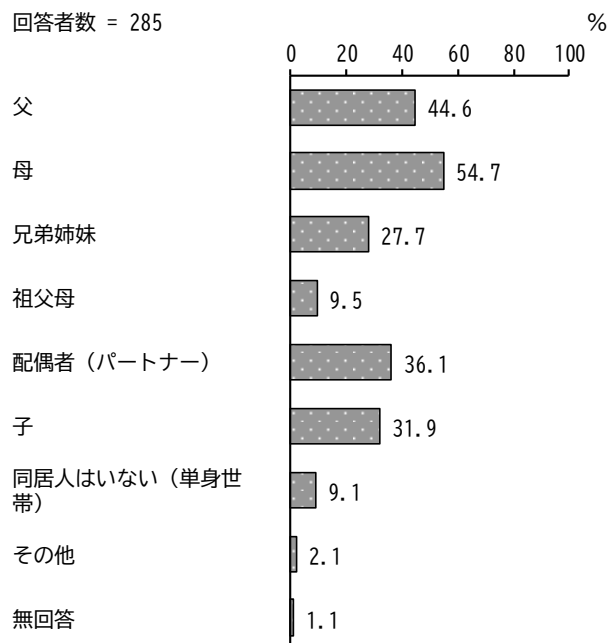
問3 あなたが同居している家族はあなたを入れて全員で何人ですか。（一時的に単身赴任している家族も人数に含みます。）（数字を記入）

「3人」の割合が27.7%と最も高く、次いで「4人」の割合が27.0%、「5人」の割合が15.8%となっています。

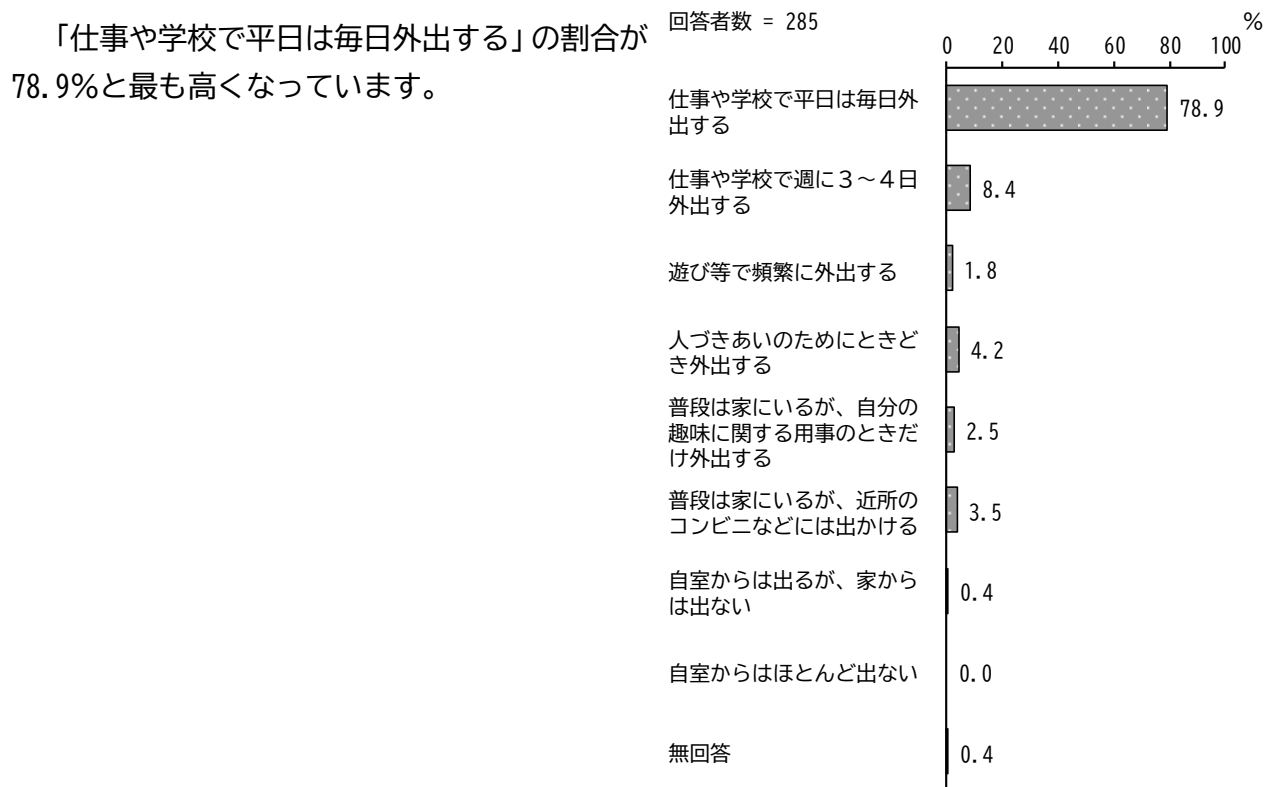


問4 現在、あなたが同居している家族を教えてください。（一時的に単身赴任している家族も含みます。）（○はいくつでも）
※あなたからみた続柄で○をつけてください。

「母」の割合が54.7%と最も高く、次いで「父」の割合が44.6%、「配偶者（パートナー）」の割合が36.1%となっています。



問5 あなたは普段どのくらい外出しますか。最もあてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)

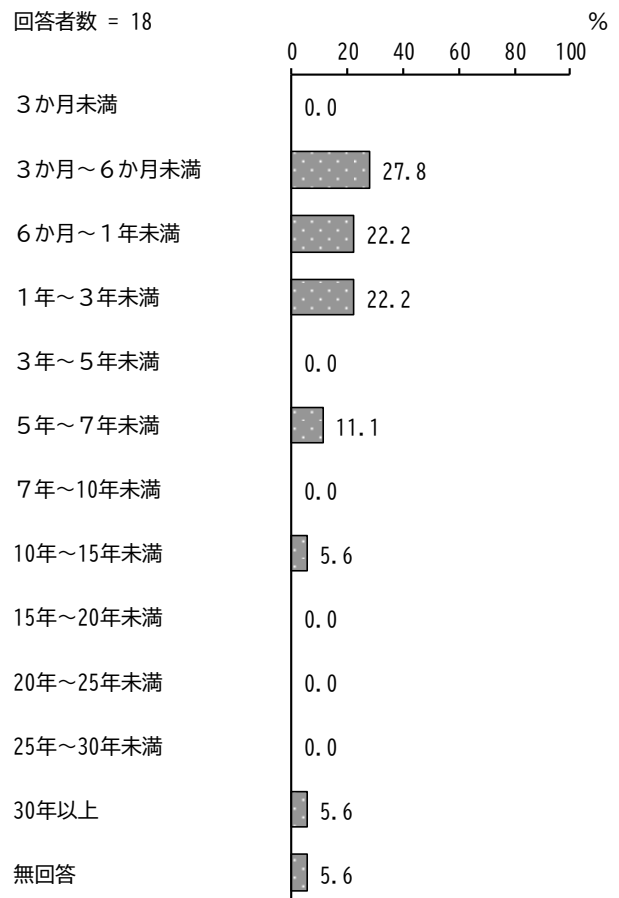


問5で「5. 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」から「8. 自室からはほとんど出ない」に○をした方にお伺いします。

問5－1 あなたが現在の状態となってどのくらい経ちますか。(○は1つ)

「3か月～6か月未満」の割合が27.8%と最も高く、次いで「6か月～1年未満」、「1年～3年未満」の割合が22.2%となっています。

回答者数 = 18

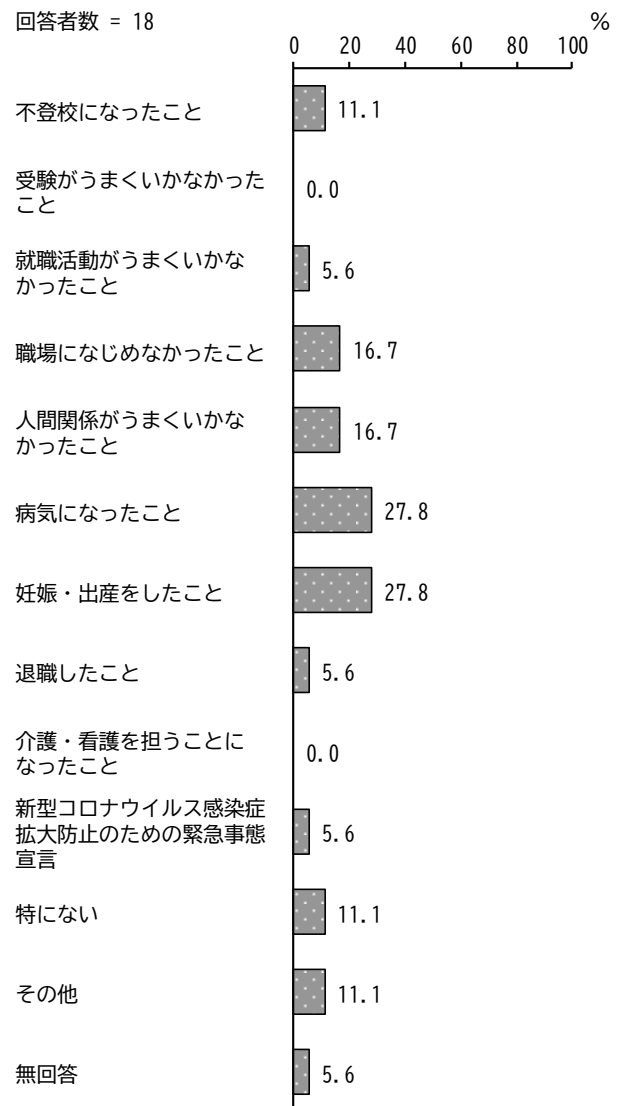


問5で「5. 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」から「8. 自室からはほとんど出ない」に○をした方にお伺いします。

問5－2 あなたがそのような状況になったきっかけは何でしたか。(○はいくつでも)

「病気になったこと」、「妊娠・出産をしたこと」の割合が27.8%と最も高く、次いで「職場になじめなかったこと」、「人間関係がうまくいかなかったこと」の割合が16.7%となっています。

回答者数 = 18

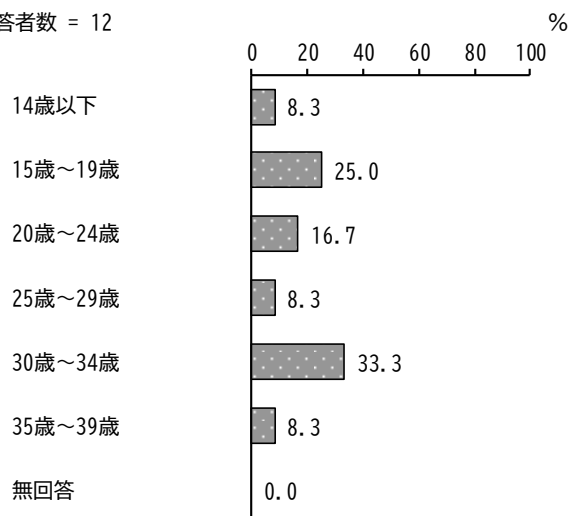


問5－1で「3. 6か月～1年未満」から「12. 30年以上」に○をした方にお伺いします。

問5－3 あなたの外出の状況が現在の状態になったのは、何歳の頃ですか。
(○は1つ)

「30 歳～34 歳」の割合が 33.3%と最も高く、
次いで「15 歳～19 歳」の割合が 25.0%、「20 歳
～24 歳」の割合が 16.7%となっています。

回答者数 = 12



【ひきこもりになってからの期間別】

ひきこもりになってからの期間別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	14歳以下	15歳 ～ 19歳	20歳 ～ 24歳	25歳 ～ 29歳	30歳 ～ 34歳	35歳 ～ 39歳	無回答
全 体	12	8.3	25.0	16.7	8.3	33.3	8.3	—
3か月未満	—	—	—	—	—	—	—	—
3か月～6か月未満	—	—	—	—	—	—	—	—
6か月～1年未満	4	—	25.0	—	—	75.0	—	—
1年～3年未満	4	25.0	25.0	25.0	—	25.0	—	—
3年～5年未満	—	—	—	—	—	—	—	—
5年～7年未満	2	—	50.0	50.0	—	—	—	—
7年～10年未満	—	—	—	—	—	—	—	—
10年～15年未満	1	—	—	—	100.0	—	—	—
15年～20年未満	—	—	—	—	—	—	—	—
20年～25年未満	—	—	—	—	—	—	—	—
25年～30年未満	—	—	—	—	—	—	—	—
30年以上	1	—	—	—	—	—	100.0	—

【ひきこもりになったきっかけ別】

ひきこもりになったきっかけ別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	14歳以下	15歳 ～ 19歳	20歳 ～ 24歳	25歳 ～ 29歳	30歳 ～ 34歳	35歳 ～ 39歳	無回答
全 体	12	8.3	25.0	16.7	8.3	33.3	8.3	—
不登校になったこと	2	50.0	50.0	—	—	—	—	—
受験がうまくいかなかったこと	—	—	—	—	—	—	—	—
就職活動がうまくいかなかったこと	—	—	—	—	—	—	—	—
職場になじめなかったこと	3	—	33.3	33.3	—	33.3	—	—
人間関係がうまくいかなかったこと	3	—	33.3	33.3	—	33.3	—	—
病気になったこと	5	—	40.0	20.0	—	40.0	—	—
妊娠・出産をしたこと	3	—	—	—	—	66.7	33.3	—
退職したこと	1	—	—	—	—	100.0	—	—
介護・看護を担うことになったこと	—	—	—	—	—	—	—	—
新型コロナウイルス感染症拡大防止のための緊急事態宣言	—	—	—	—	—	—	—	—
特にない	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	2	—	—	50.0	50.0	—	—	—

【悩みごと別】

悩みごと別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	14歳以下	15歳～ 19歳	20歳～ 24歳	25歳～ 29歳	30歳～ 34歳	35歳～ 39歳	無回答
全 体	12	8.3	25.0	16.7	8.3	33.3	8.3	—
勉強や進学のこと	1	—	100.0	—	—	—	—	—
学費のこと	1	—	100.0	—	—	—	—	—
生活費のこと	3	—	33.3	33.3	—	33.3	—	—
就職のこと	5	—	20.0	20.0	20.0	40.0	—	—
仕事のこと	3	—	33.3	33.3	—	33.3	—	—
家族のこと	3	—	33.3	33.3	—	33.3	—	—
友人や仲間のこと	2	—	50.0	50.0	—	—	—	—
性格のこと	1	—	—	100.0	—	—	—	—
恋愛のこと	—	—	—	—	—	—	—	—
健康のこと	6	—	33.3	16.7	16.7	33.3	—	—
容姿のこと	3	33.3	33.3	—	—	33.3	—	—
性別や体のこと	—	—	—	—	—	—	—	—
心に関すること	3	—	33.3	33.3	—	33.3	—	—
将来のこと	8	12.5	12.5	12.5	—	50.0	12.5	—
政治や社会のこと	4	—	25.0	—	—	75.0	—	—
はっきりとした悩みはないが、なんとなく不安	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—
特にない	1	—	—	100.0	—	—	—	—

【福祉相談窓口を知っているか別】

相談窓口を知っているか別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	14歳以下	15歳～ 19歳	20歳～ 24歳	25歳～ 29歳	30歳～ 34歳	35歳～ 39歳	無回答
全 体	12	8.3	25.0	16.7	8.3	33.3	8.3	—
知っている	2	—	50.0	—	—	50.0	—	—
知らない	10	10.0	20.0	20.0	10.0	30.0	10.0	—

【ほくとハッピーワーク（仕事に関する相談）を知っているか別】

ほくとハッピーワーク（仕事に関する相談窓口）を知っているか別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	14歳以下	15歳 ～ 19歳	20歳 ～ 24歳	25歳 ～ 29歳	30歳 ～ 34歳	35歳 ～ 39歳	無回答
全 体	12	8.3	25.0	16.7	8.3	33.3	8.3	—
知っている	1	—	—	—	—	100.0	—	—
知らない	11	9.1	27.3	18.2	9.1	27.3	9.1	—

【出会いサポートセンター（結婚に関する相談）を知っているか別】

出会いサポートセンター（結婚に関する相談）を知っているか別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	14歳以下	15歳 ～ 19歳	20歳 ～ 24歳	25歳 ～ 29歳	30歳 ～ 34歳	35歳 ～ 39歳	無回答
全 体	12	8.3	25.0	16.7	8.3	33.3	8.3	—
知っている	1	—	—	—	—	100.0	—	—
知らない	11	9.1	27.3	18.2	9.1	27.3	9.1	—

【希望する政策別】

希望する政策別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	14歳以下	15歳～19歳	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	無回答
全 体	12	8.3	25.0	16.7	8.3	33.3	8.3	—
青少年や若者が参加できるイベントや意見を発表できる機会をつくる	1	100.0	—	—	—	—	—	—
青少年や若者中心のイベントやボランティアなどの自主的な活動を支援する	—	—	—	—	—	—	—	—
地域活動や体験活動など、家庭・学校・地域がともに青少年を育成するまちづくりをする	1	100.0	—	—	—	—	—	—
子どもから大人まで、青少年活動のリーダーとなる人を養成する	2	—	—	—	—	50.0	50.0	—
経済的な困難を抱えている家庭を支援する	1	—	100.0	—	—	—	—	—
ヤングケアラーの子どもたちを支援する	1	—	100.0	—	—	—	—	—
いじめや虐待などの悩みを相談できる窓口を充実させ、支援する	4	—	50.0	—	25.0	—	25.0	—
ニートや引きこもりに関する相談や支援を充実させる	2	—	—	50.0	50.0	—	—	—
放課後などに気軽に行ける安全な居場所を提供する	3	33.3	33.3	—	—	33.3	—	—
多様な授業（国際交流等）を取り入れるなど、学校教育を充実させる	3	—	—	—	—	100.0	—	—
薬物やたばこなどの有害なものから子どもたちを守り、非行や犯罪防止につとめる	1	—	—	—	—	—	100.0	—
インターネットの適正な利用について学ぶ機会を充実させる	3	—	—	33.3	—	66.7	—	—
性の悩み相談など、思春期の子どもを支援する	1	—	100.0	—	—	—	—	—
妊娠・出産に向けた健康に関する学習や受胎教育を受けられること	1	—	—	—	—	100.0	—	—
結婚相談所や出会いの場の提供など、若者が結婚しやすい環境をつくる	—	—	—	—	—	—	—	—
就職に向けた相談やサポート体制を充実させる	3	—	33.3	33.3	—	33.3	—	—
特にない	1	—	—	100.0	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—

【政策に対する意思表示方法別】

政策に対する意思表示方法別にみると、大きな差はみられません。

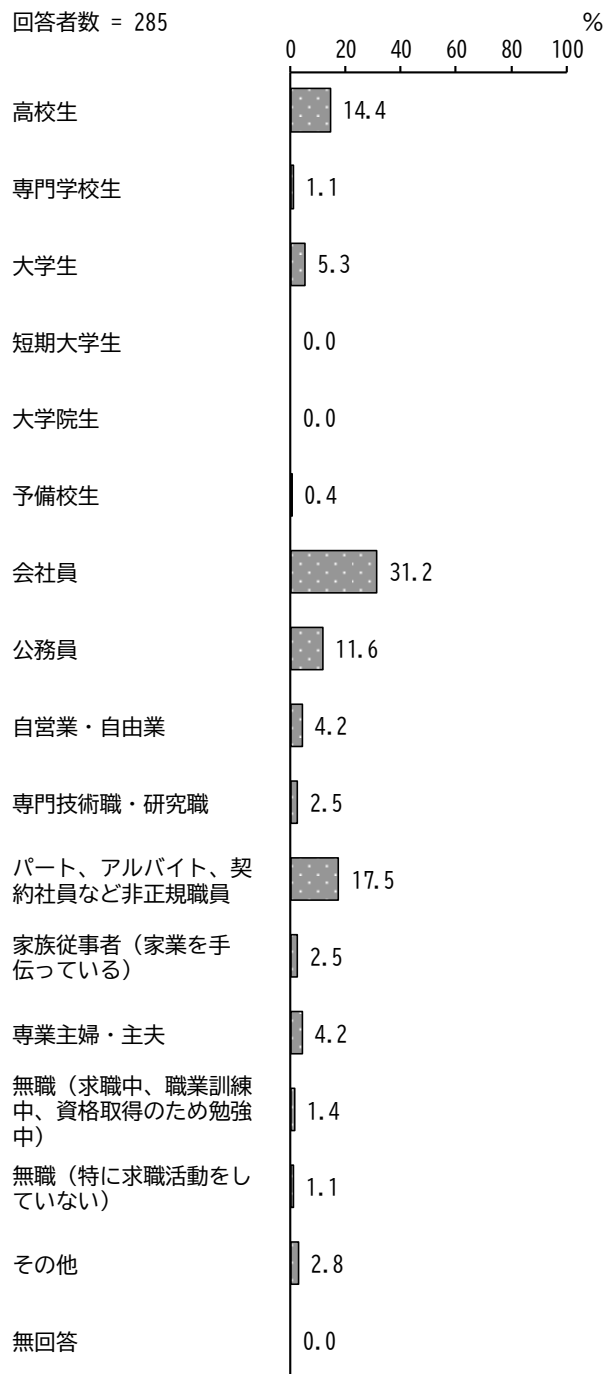
単位：％

区分	回答者数 (件)	14歳以下	15歳 ～ 19歳	20歳 ～ 24歳	25歳 ～ 29歳	30歳 ～ 34歳	35歳 ～ 39歳	無回答
全 体	12	8.3	25.0	16.7	8.3	33.3	8.3	—
対面（リアル）	2	—	—	—	50.0	50.0	—	—
対面（オンライン）	2	—	—	—	—	50.0	50.0	—
メール	6	16.7	50.0	—	—	16.7	16.7	—
SNS	5	20.0	40.0	—	—	40.0	—	—
アンケート（紙）	3	—	33.3	33.3	—	33.3	—	—
アンケート（Web）	6	16.7	33.3	16.7	—	33.3	—	—
市の審議会等への参加	2	—	—	50.0	—	50.0	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—

問6 あなたの職業（学生の方は学校）は、次のどれですか。（○は1つ）

「会社員」の割合が31.2%と最も高く、次いで「パート、アルバイト、契約社員など非正規職員」の割合が17.5%、「高校生」の割合が14.4%となっています。

回答者数 = 285



【年齢別】

年齢別にみると、16歳～19歳で「高校生」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	高校生	専門学校生	大学生	短期大学生	大学院生	予備校生	会社員	公務員
全 体	285	14.4	1.1	5.3	—	—	0.4	31.2	11.6
16歳～19歳	56	71.4	5.4	12.5	—	—	1.8	5.4	—
20歳～24歳	43	2.3	—	16.3	—	—	—	41.9	9.3
25歳～29歳	38	—	—	—	—	—	—	50.0	18.4
30歳～34歳	55	—	—	—	—	—	—	32.7	21.8
35歳～39歳	93	—	—	1.1	—	—	—	33.3	10.8

区分	自営業・自由業	専門技術職・研究職	パート、アルバイト、契約社員など非正規職員	家族従事者（家業を手伝っている）	専業主婦・主夫	無職（求職中、職業訓練中、資格取得のため勉強中）	無職（特に求職活動をしていない）	その他	無回答
全 体	4.2	2.5	17.5	2.5	4.2	1.4	1.1	2.8	—
16歳～19歳	—	—	—	—	—	—	—	3.6	—
20歳～24歳	—	4.7	16.3	2.3	2.3	2.3	—	2.3	—
25歳～29歳	2.6	—	15.8	5.3	—	2.6	2.6	2.6	—
30歳～34歳	3.6	—	21.8	1.8	9.1	3.6	1.8	3.6	—
35歳～39歳	9.7	5.4	26.9	3.2	6.5	—	1.1	2.2	—

(2) 働くことについて

問7 あなたは現在就職活動や、進学のための勉強などをしていますか。(○は1つ)

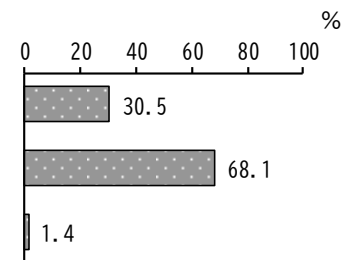
「している」の割合が 30.5%、「していない」の割合が 68.1%となっています。

回答者数 = 285

している

していない

無回答



問8 あなたは、現在収入を伴う仕事をしていますか。(○は1つ)

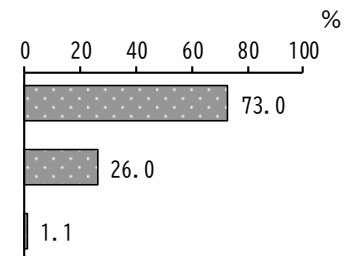
「している」の割合が 73.0%、「していない」の割合が 26.0%となっています。

回答者数 = 285

している

していない

無回答



問8で「2. していない」に○をした方にお伺いします。

問9 あなたは、今後、働くことについてどう考えていますか。(○は1つ)

「今は働いていないがそのうち働きたい」の割合が 75.7%と最も高く、次いで「仕事があればすぐに働きたい」の割合が 13.5%となっています。

回答者数 = 74

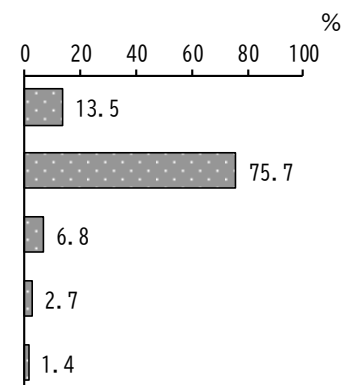
仕事があればすぐに働きたい

今は働いていないがそのうち働きたい

働きたいが働けない

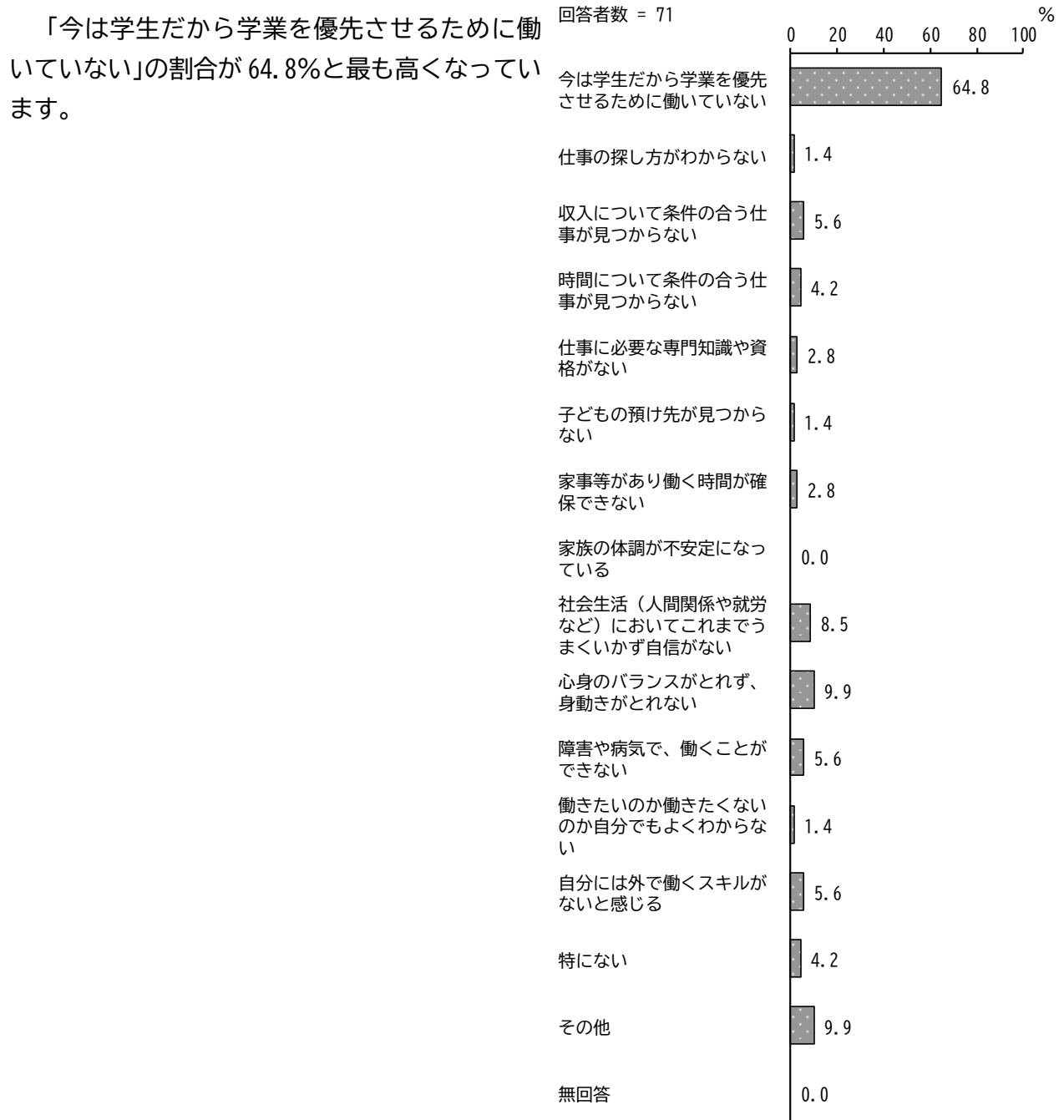
働きたいと思わない

無回答



問9で「1. 仕事があればすぐに働きたい」「2. 今は働いていないがそのうち働きたい」「3. 働きたいが働けない」に○をした方にお伺いします。

問9-1 「働きたい」という思いがある一方で、現在働いていない理由を教えてください。(○はいくつでも)



問8で「1. している」に○をした方にお伺いします。

問10 あなたは、現在の仕事に満足していますか。(○は1つ)

「やや満足している」の割合が31.3%と最も高く、次いで「満足している」の割合が22.6%、「やや不満である」の割合が20.7%となっています。

回答者数 = 208

不満である

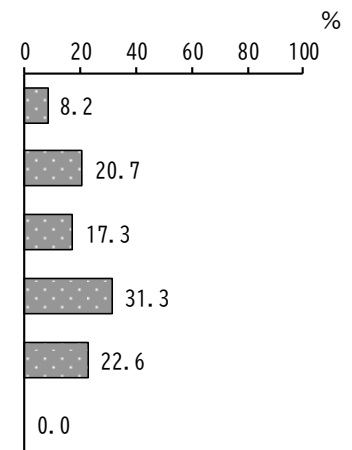
やや不満である

どちらともいえない

やや満足している

満足している

無回答



問10で「1. 不満である」「2. やや不満である」に○をした方にお伺いします。

問10-1 不満に感じる理由を教えてください。(○は3つまで)

「給料が安い」の割合が71.7%と最も高く、次いで「やりがいを感じられない」の割合が26.7%、「労働時間が長い」の割合が23.3%となっています。

回答者数 = 60

給料が安い

労働時間が長い

上司や同僚との人間関係が悪い

不安定な雇用形態である

やりがいを感じられない

仕事内容が自分に合っていない

責任が重すぎる

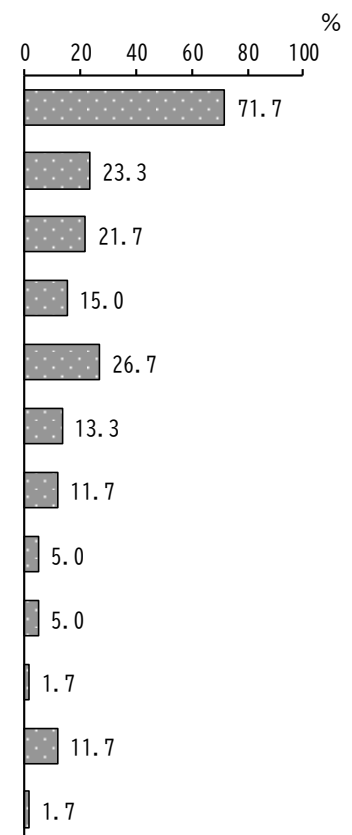
自分の仕事を認めてもらえない

職場に居場所がないと感じている

社風になじめない

その他

無回答

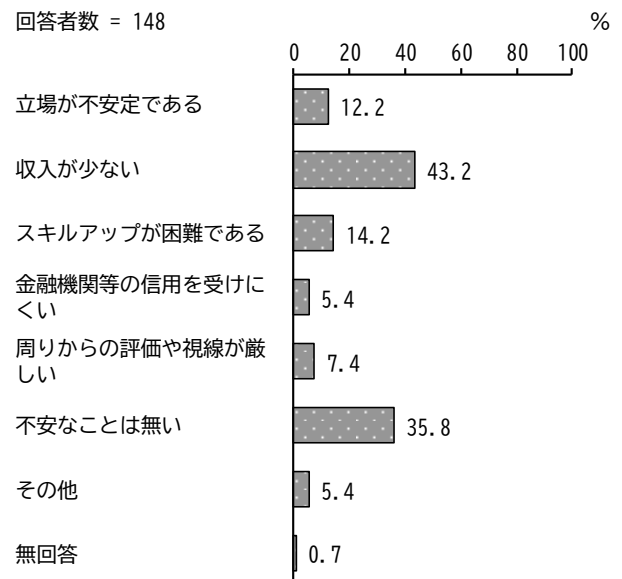


問10で「3. どちらともいえない」「4. やや満足している」「5. 満足している」に○をした方にお伺いします。

問11 あなたは現在の雇用形態について不安なことはありますか。(○はいくつでも)

「収入が少ない」の割合が43.2%と最も高く、次いで「不安なことは無い」の割合が35.8%、「スキルアップが困難である」の割合が14.2%となっています。

回答者数 = 148

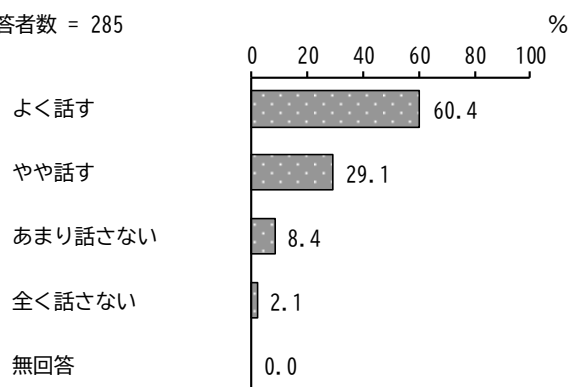


(3) 家族や家庭について

問12 あなたは家でよく話をするほうですか。それとも話さないほうですか。
(○は1つ)

「よく話す」の割合が60.4%と最も高く、次いで「やや話す」の割合が29.1%となっています。

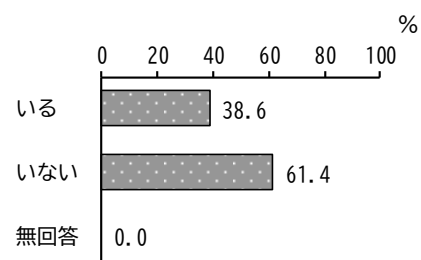
回答者数 = 285



問13 あなたには配偶者（パートナー）がいますか。(○は1つ)

「いる」の割合が38.6%、「いない」の割合が61.4%となっています。

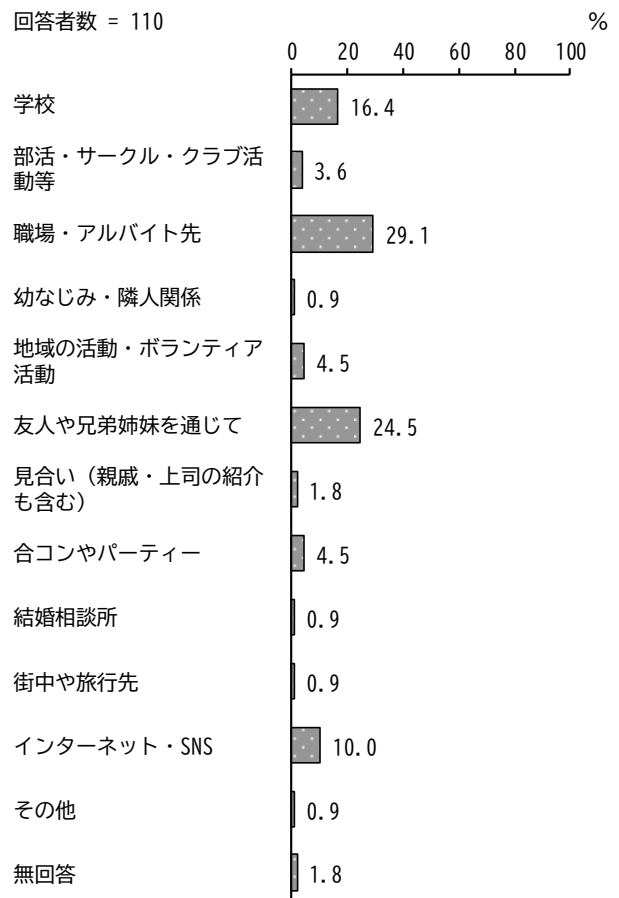
回答者数 = 285



問13で「1. いる」に○をした方にお伺いします。

問14 あなたは、現在の配偶者（パートナー）とどのようなきっかけでお知り合いになりましたか。最もあてはまると思うものを選んでください。（○は1つ）

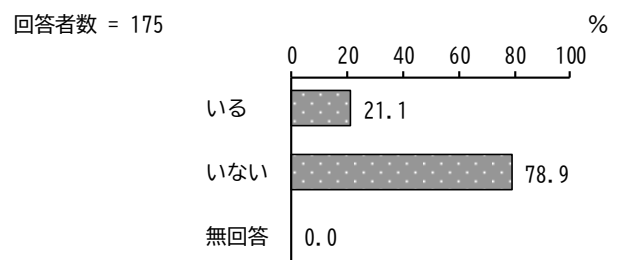
「職場・アルバイト先」の割合が29.1%と最も高く、次いで「友人や兄弟姉妹を通じて」の割合が24.5%、「学校」の割合が16.4%となっています。



問13で「2. いない」に○をした方にお伺いします。

問15 あなたは、現在交際している恋人はいますか。（○は1つ）

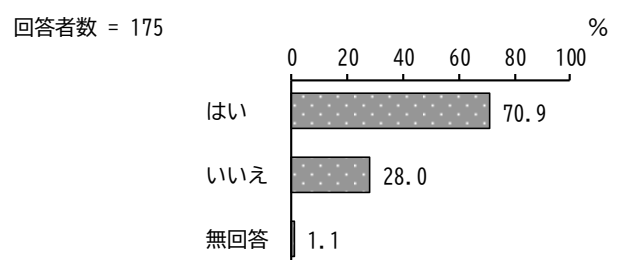
「いる」の割合が21.1%、「いない」の割合が78.9%となっています。



問13で「2. いない」に○をした方にお伺いします。

問16 あなたは、いつかは結婚したいと思いますか。（○は1つ）

「はい」の割合が70.9%、「いいえ」の割合が28.0%となっています。

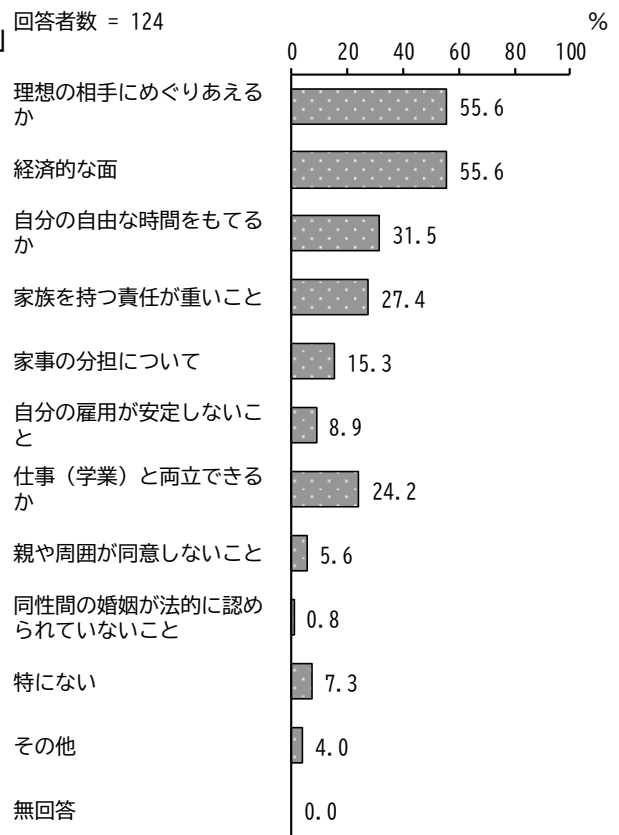


問 16 で「1. はい」に○をした方にお伺いします。

問 16-1 あなたが現在結婚について抱いている不安として、当てはまるものを選んでください。(○はいくつでも)

「理想の相手にめぐりあえるか」、「経済的な面」の割合が 55.6%と最も高く、次いで「自分の自由な時間をもてるか」の割合が 31.5%となっています。

回答者数 = 124

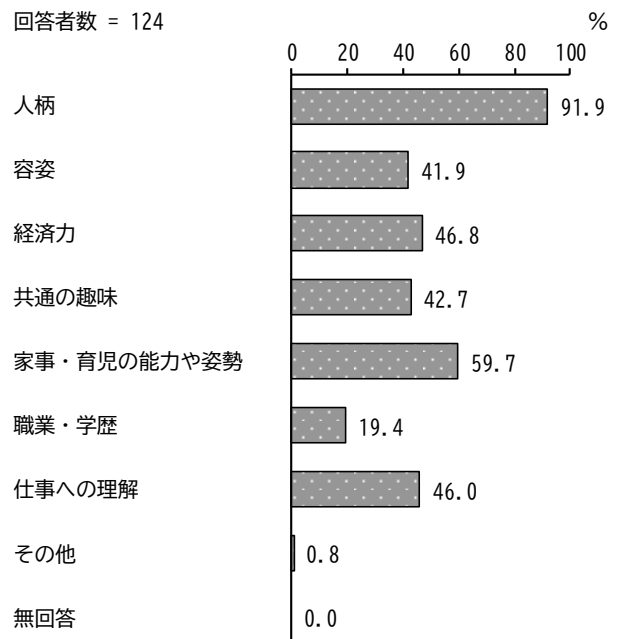


問 16 で「1. はい」に○をした方にお伺いします。

問 16-2 結婚相手に求めるもので、あてはまるものを選んでください。(○はいくつでも)

「人柄」の割合が 91.9%と最も高く、次いで「家事・育児の能力や姿勢」の割合が 59.7%、「経済力」の割合が 46.8%となっています。

回答者数 = 124

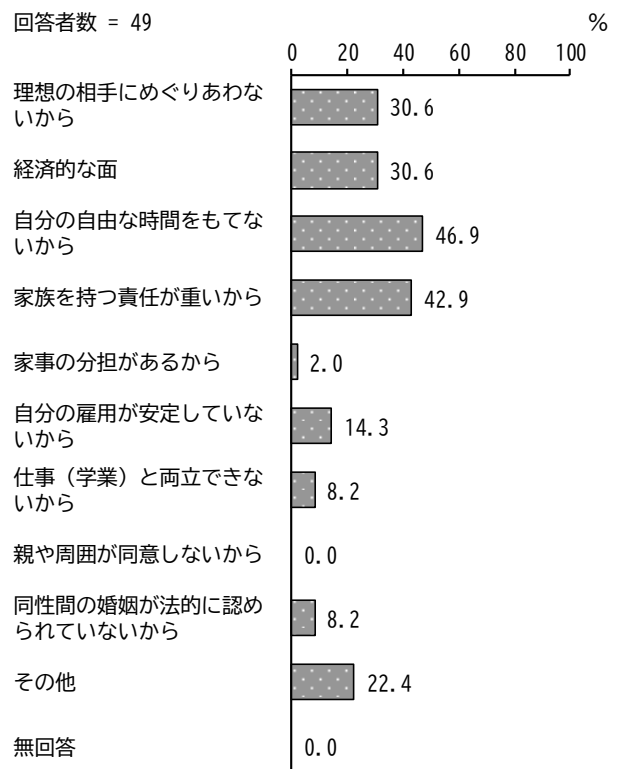


問 16 で「2. いいえ」に○をした方にお伺いします。

問 16－3 あなたが結婚したくないと考える理由をお答えください。
(○はいくつでも)

「自分の自由な時間をもてないから」の割合が 46.9%と最も高く、次いで「家族を持つ責任が重いから」の割合が 42.9%、「理想の相手にめぐりあわないから」、「経済的な面」の割合が 30.6%となっています。

回答者数 = 49

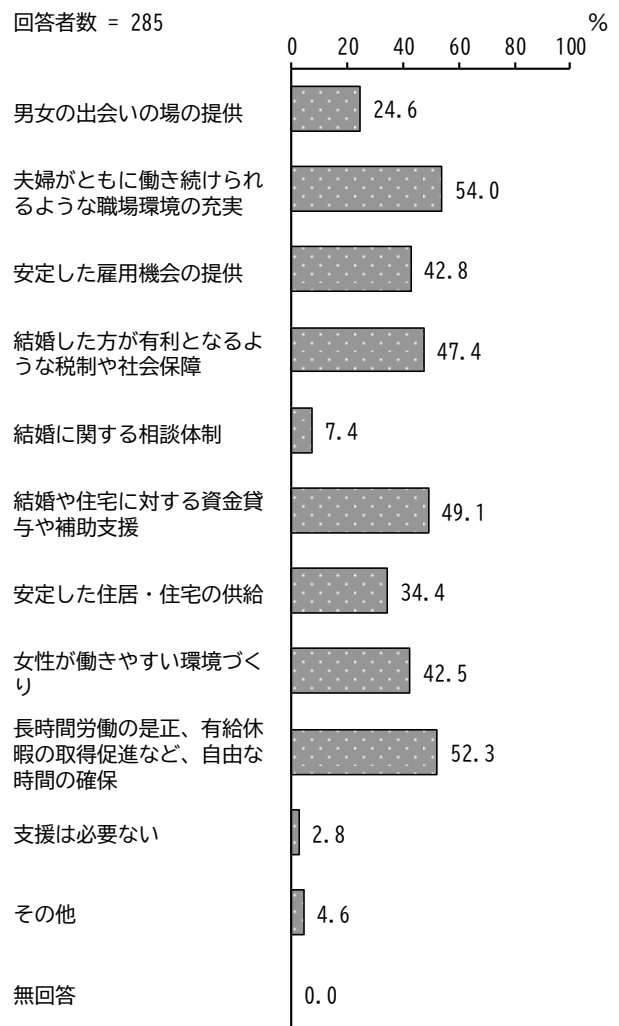


(4) 結婚・出産・子育てのしやすい環境づくりについて

問 17 結婚しやすい、結婚したいと思える環境をつくるには、どのような支援が効果的だと思いますか。(〇はいくつでも)

「夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実」の割合が 54.0%と最も高く、次いで「長時間労働の是正、有給休暇の取得促進など、自由な時間の確保」の割合が 52.3%、「結婚や住宅に対する資金貸与や補助支援」の割合が 49.1%となっています。

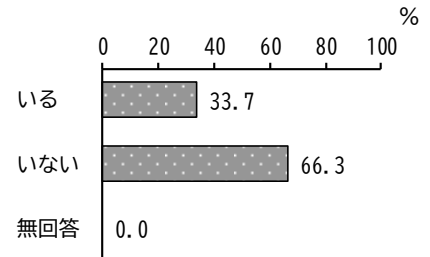
回答者数 = 285



問 18 あなたには、現在、子どもがいますか。(○は1つ)

「いる」の割合が 33.7%、「いない」の割合が 66.3%となっています。

回答者数 = 285

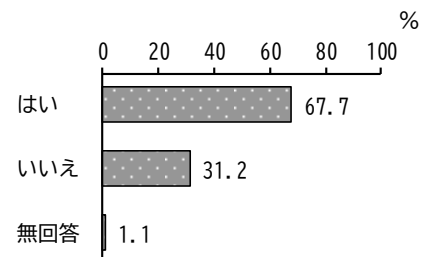


問 18 で「2. いない」に○をした方にお伺いします。

問 18-1 あなたは、いつかは子どもを持ちたいと思いますか。(○は1つ)

「はい」の割合が 67.7%、「いいえ」の割合が 31.2%となっています。

回答者数 = 189



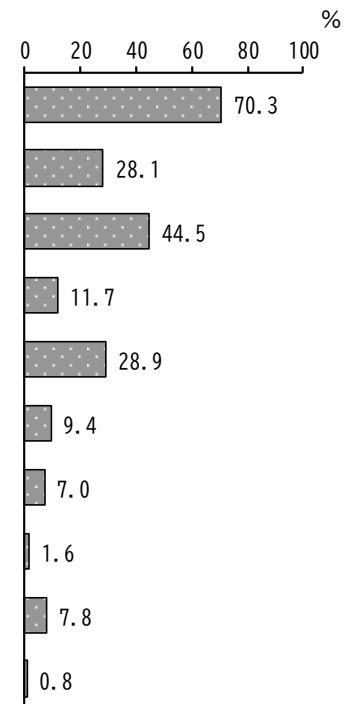
問 18-1 で「1. はい」に○をした方にお伺いします。

問 18-2 子どもを持ちたい理由を選んでください。(○はいくつでも)

「子どもがいて生活が楽しくなるから」の割合が 70.3%と最も高く、次いで「好きな人の子どもを持ちたいから」の割合が 44.5%、「子どもは将来の社会の支えとなるから」の割合が 28.9%となっています。

回答者数 = 128

子どもがいて生活が楽しくなるから
結婚して子どもを持つことは自然なことだから
好きな人の子どもを持ちたいから
子どもは夫婦関係を安定させるから
子どもは将来の社会の支えとなるから
子どもは老後の支えになるから
配偶者（パートナー）あるいは親など周囲が望むから
子どもを持つことで周囲から認められるから
その他
無回答

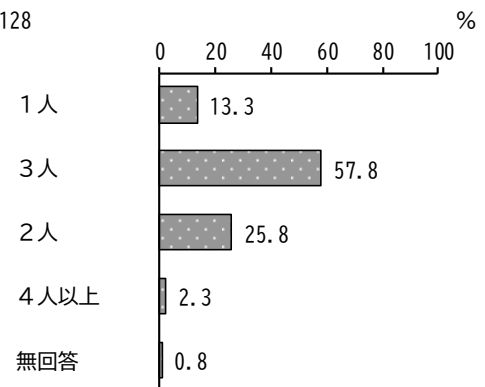


問 18-1 で「1. はい」に○をした方にお伺いします。

問 18-3 あなたは、何人の子どもを持ちたいと思いますか。(○は1つ)

「3人」の割合が 57.8%と最も高く、次いで
「2人」の割合が 25.8%、「1人」の割合が 13.3%
となっています。

回答者数 = 128

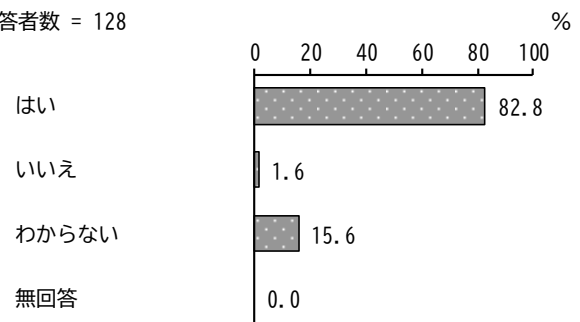


問 18-1 で「1. はい」に○をした方にお伺いします。

問 18-4 あなたは、子どもが生まれた後、働く（働き続ける）考えがありますか。
(○は1つ)

「はい」の割合が 82.8%と最も高く、次いで
「わからない」の割合が 15.6%となっています。

回答者数 = 128

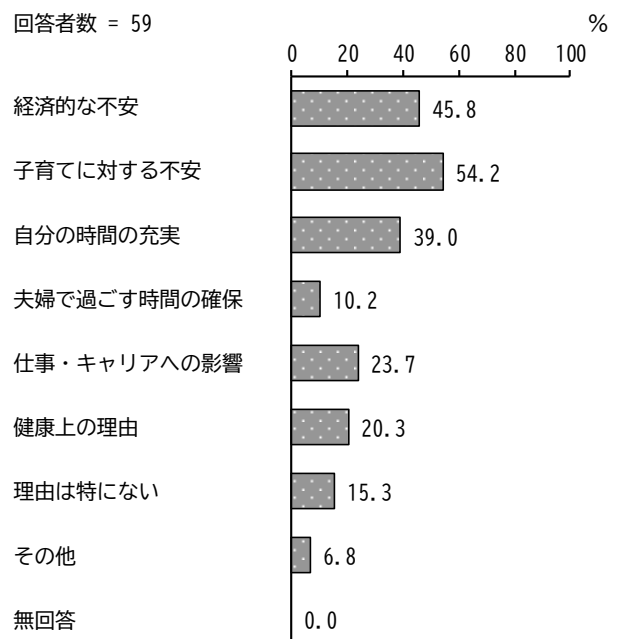


問 18-1 で「2. いいえ」に○をした方にお伺いします。

問 18-5 あなたが子どもを持ちたいと思わない理由を選んでください。
(○はいくつでも)

「子育てに対する不安」の割合が 54.2%と最も
高く、次いで「経済的な不安」の割合が 45.8%、
「自分の時間の充実」の割合が 39.0%となってい
ます。

回答者数 = 59

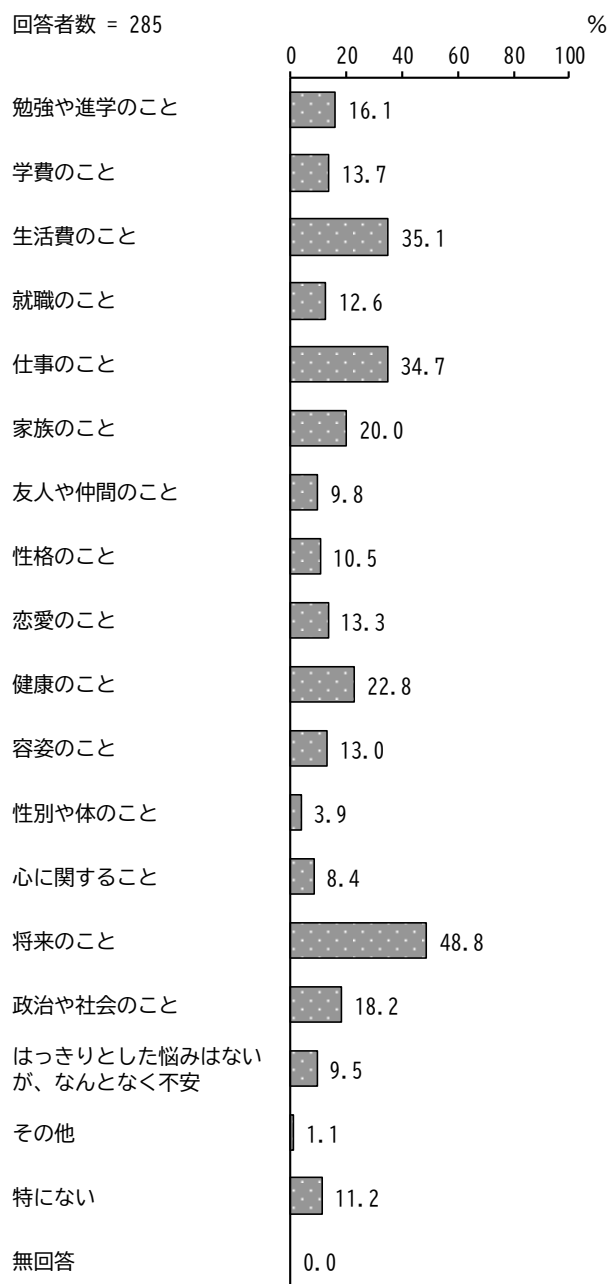


（５）あなた自身の普段の生活や悩みなどについて

問 19 あなたは、現在困っていることや悩んでいることがありますか。
（〇はいくつでも）

「将来のこと」の割合が 48.8%と最も高く、次いで「生活費のこと」の割合が 35.1%、「仕事のこと」の割合が 34.7%となっています。

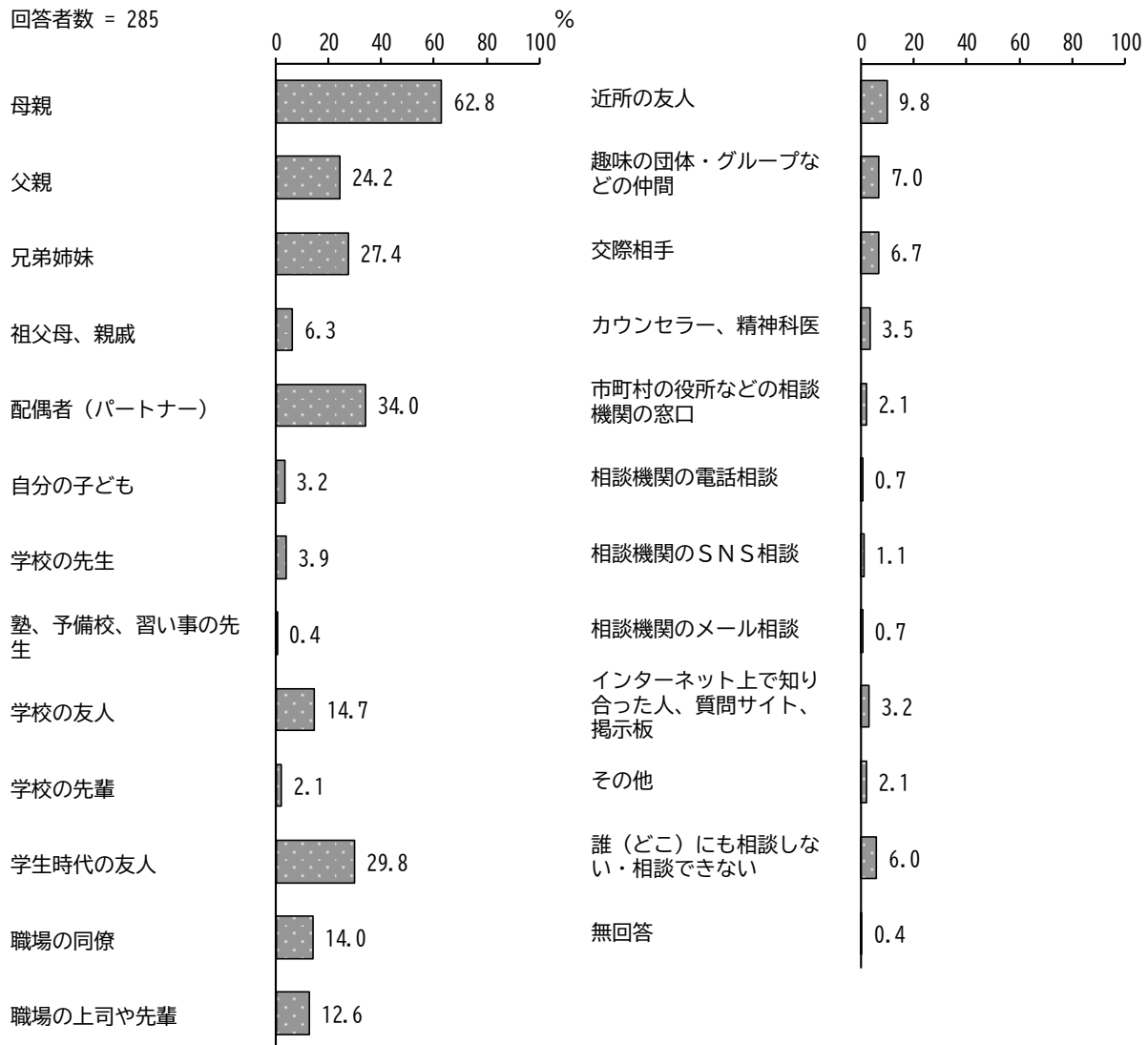
回答者数 = 285



問 20 あなたが何でも話せる相手や、悩んでいるときに相談に乗ってくれる人（場所）を教えてください。（〇はいくつでも）

「母親」の割合が 62.8%と最も高く、次いで「配偶者（パートナー）」の割合が 34.0%、「学生時代の友人」の割合が 29.8%となっています。

回答者数 = 285



【同居家族別】

同居家族別にみると、配偶者（パートナー）で「配偶者（パートナー）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	母親	父親	兄弟姉妹	祖父母、親戚	配偶者（パートナー）	自分の子ども	学校の先生	塾、予備校、習い事の先生	学校の友人	学校の先輩	学生時代の友人	職場の同僚
全 体	285	62.8	24.2	27.4	6.3	34.0	3.2	3.9	0.4	14.7	2.1	29.8	14.0
父	127	66.9	35.4	28.3	9.4	8.7	—	6.3	0.8	24.4	3.9	27.6	8.7
母	156	70.5	28.2	26.9	9.0	9.6	—	6.4	0.6	23.7	3.8	26.9	10.9
兄弟姉妹	79	72.2	38.0	35.4	7.6	6.3	—	10.1	—	31.6	5.1	31.6	8.9
祖父母	27	74.1	22.2	25.9	11.1	7.4	3.7	11.1	—	18.5	3.7	29.6	14.8
配偶者（パートナー）	103	51.5	14.6	31.1	2.9	85.4	7.8	1.0	—	1.0	—	33.0	21.4
子	91	53.8	12.1	29.7	3.3	81.3	8.8	1.1	—	1.1	—	28.6	24.2
同居人はいない（単身世帯）	26	69.2	30.8	30.8	3.8	3.8	—	—	—	11.5	—	42.3	11.5
その他	6	66.7	—	—	—	16.7	—	—	—	—	—	16.7	16.7

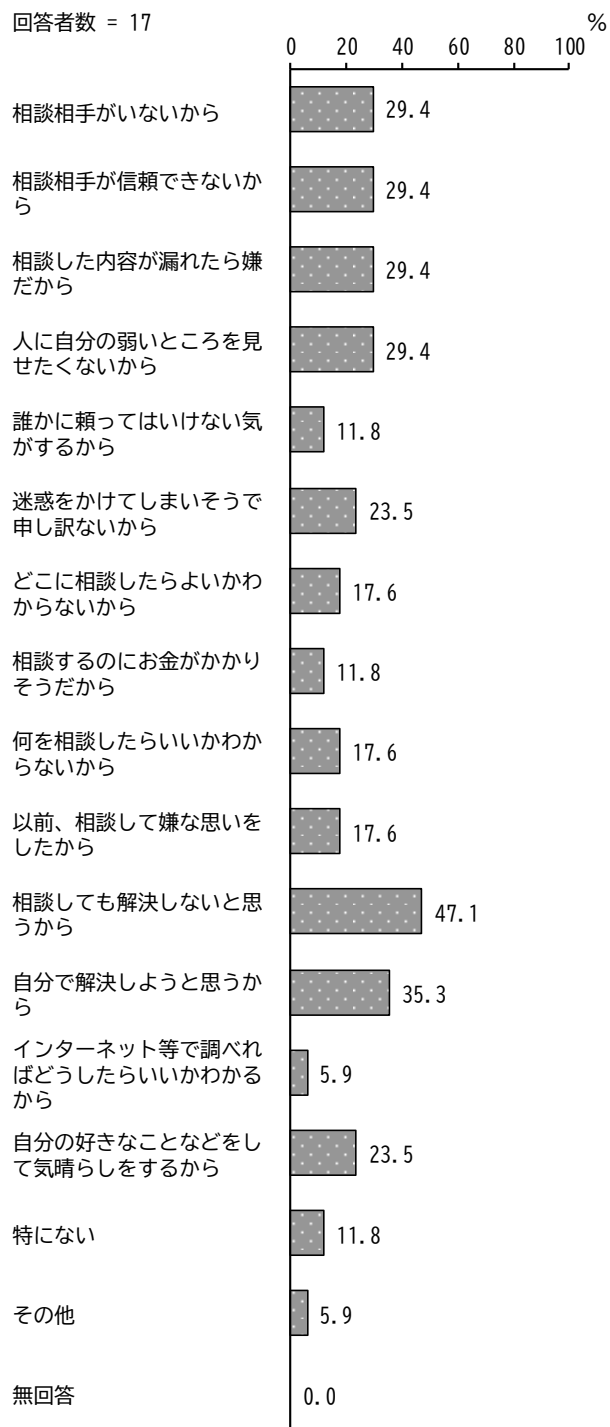
区分	職場の上司や先輩	近所の友人	趣味の団体・グループなどの仲間	交際相手	カウンセラー、精神科医	市町村の役所などの相談機関の窓口	相談機関の電話相談	相談機関のSNS相談	相談機関のメール相談	インターネット上で知り合った人、質問サイト、掲示板	その他	誰（どこ）にも相談しない・相談できない	無回答
全 体	12.6	9.8	7.0	6.7	3.5	2.1	0.7	1.1	0.7	3.2	2.1	6.0	0.4
父	12.6	5.5	7.9	9.4	3.1	2.4	0.8	1.6	0.8	5.5	2.4	9.4	—
母	12.8	5.8	7.1	7.1	4.5	2.6	1.3	1.9	1.3	5.1	1.9	7.7	0.6
兄弟姉妹	10.1	3.8	5.1	8.9	3.8	1.3	1.3	1.3	—	5.1	1.3	6.3	—
祖父母	14.8	7.4	7.4	3.7	—	—	—	—	—	7.4	7.4	3.7	—
配偶者（パートナー）	13.6	13.6	5.8	—	2.9	1.9	—	—	—	1.0	2.9	4.9	—
子	15.4	15.4	5.5	2.2	1.1	3.3	—	—	—	1.1	2.2	4.4	—
同居人はいない（単身世帯）	7.7	11.5	7.7	15.4	3.8	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	16.7	—	16.7	16.7	—	—	—	—	—	—	—	16.7	—

問 20 で「24. 誰（どこ）にも相談しない・相談できない」に○をした方にお伺いします。

問 20－1 相談しない・相談できない理由を教えてください。（○はいくつでも）

「相談しても解決しないと思うから」の割合が 47.1%と最も高く、次いで「自分で解決しようと思うから」の割合が 35.3%、「相談相手がいないから」、「相談相手が信頼できないから」「相談した内容が漏れたら嫌だから」「人に自分の弱いところを見せたくないから」の割合が 29.4%となっています。

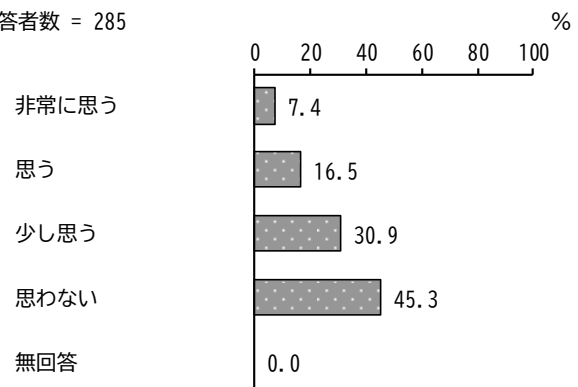
回答者数 = 17



問 21 現在の状態（人間関係など置かれている環境や、不安に思っているもの・悩みなど）について、どこかに相談したいと思いますか。（○は1つ）

「思わない」の割合が 45.3%と最も高く、次いで「少し思う」の割合が 30.9%、「思う」の割合が 16.5%となっています。

回答者数 = 285

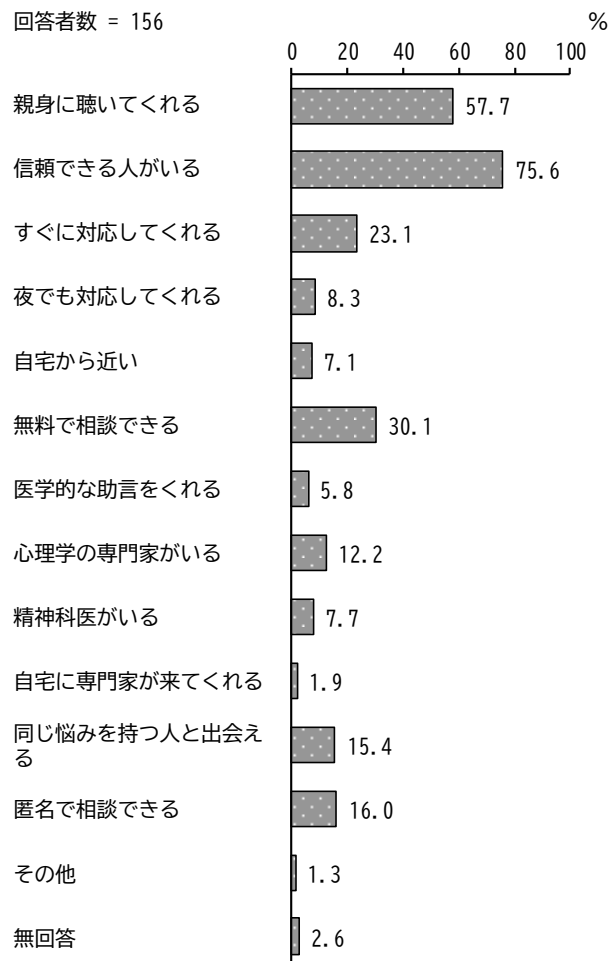


問 21 で「1.非常に思う」「2.思う」「3.少し思う」のいずれかに○をした方にお伺いします。

問 21-1 現在の状態について相談するなら、どのようなところに相談したいと思いますか。（○はいくつでも）

「信頼できる人がいる」の割合が 75.6%と最も高く、次いで「親身に聴いてくれる」の割合が 57.7%、「無料で相談できる」の割合が 30.1%となっています。

回答者数 = 156

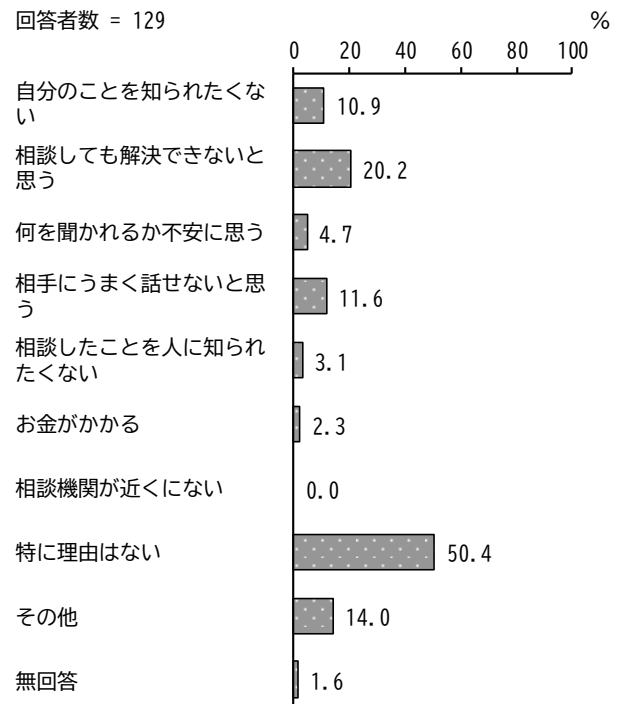


問 21 で「4. 思わない」に○をした方にお伺いします。

問 21-2 相談したくないと思う理由は何ですか。(○はいくつでも)

「特に理由はない」の割合が 50.4%と最も高く、次いで「相談しても解決できないと思う」の割合が 20.2%、「相手にうまく話せないと思う」の割合が 11.6%となっています。

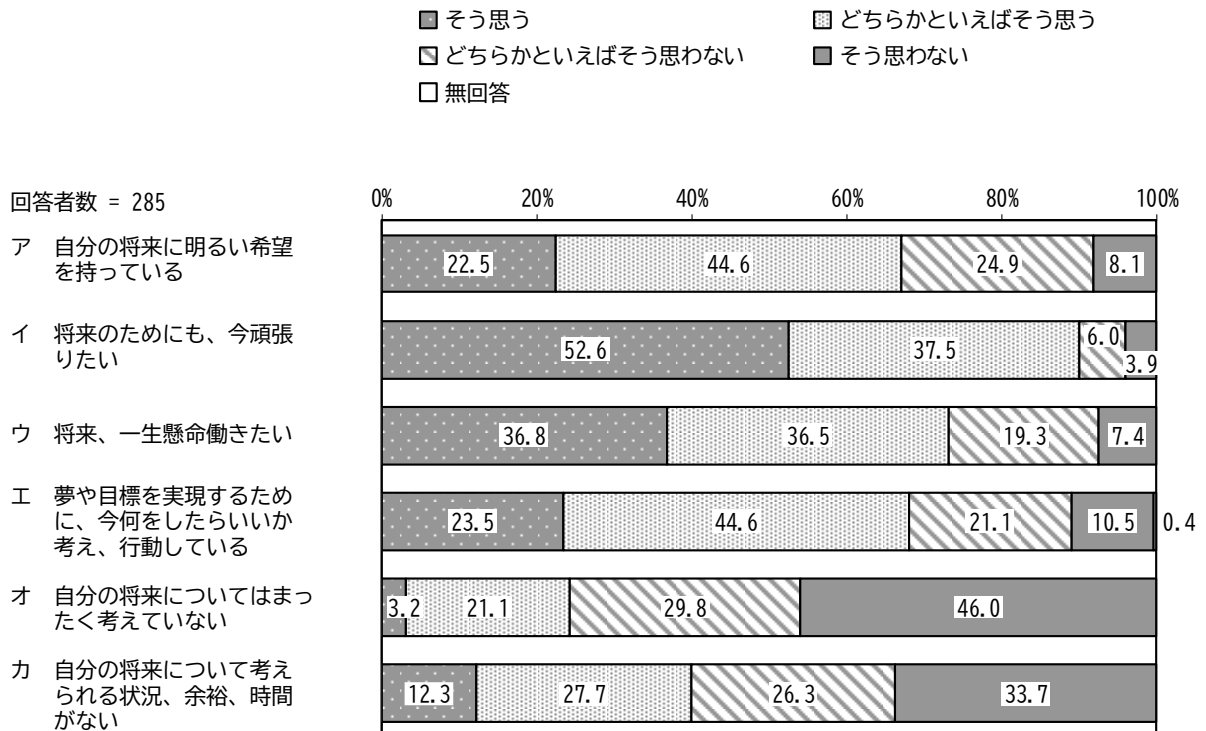
回答者数 = 129



(6) 将来について

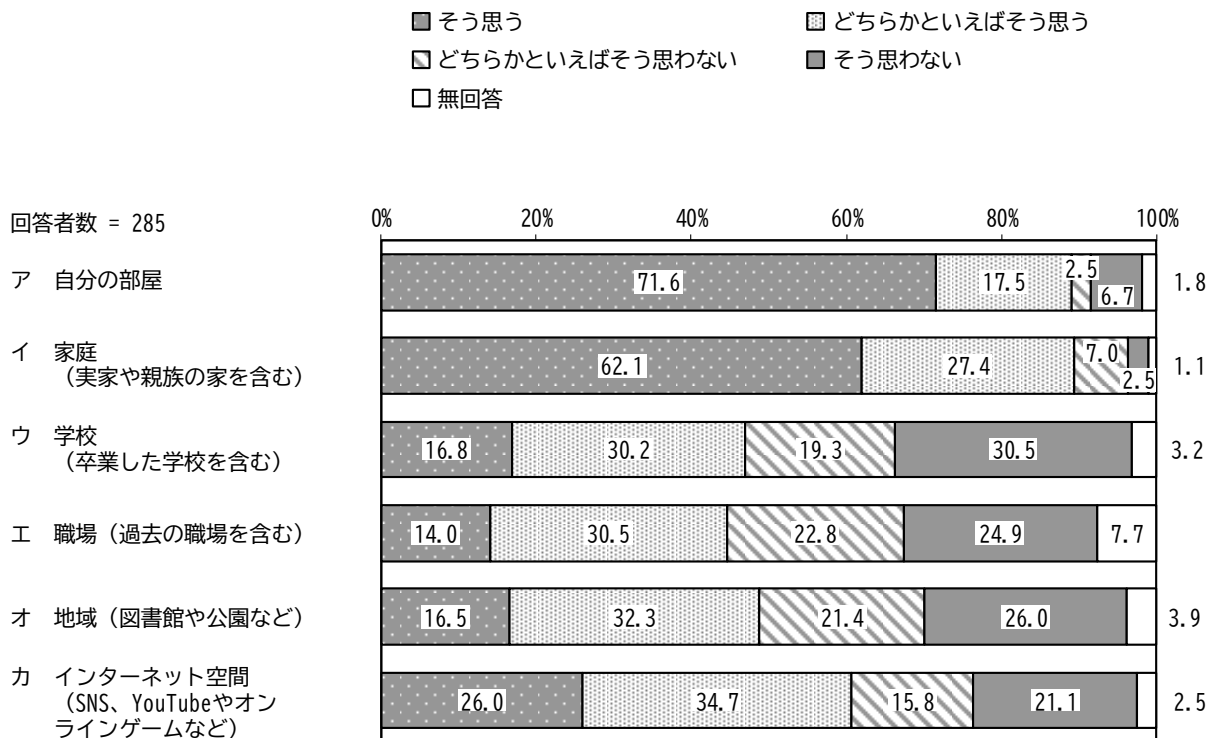
問 22 あなたは、自分の将来についてどう考えていますか。
(ア～カについてそれぞれ○は1つ)

『イ 将来のためにも、今頑張りたい』で「そう思う」の割合が高くなっています。一方、『オ 自分の将来についてはまったく考えていない』、『カ 自分の将来について考えられる状況、余裕、時間がない』で「そう思わない」の割合が高くなっています。



問 23 次の場所は、今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、居心地の良い場所など）になっていますか。（ア～カについてそれぞれ○は1つ）

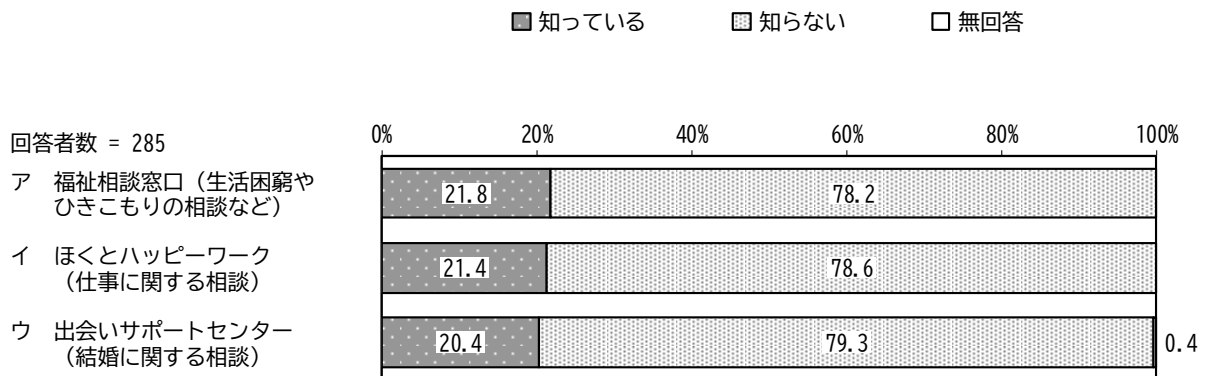
『ア 自分の部屋』、『イ 家庭（実家や親族の家を含む）』で「そう思う」の割合が高くなっています。また、『カ インターネット空間（SNS、YouTube やオンラインゲームなど）』で「どちらかといえばそう思う」の割合が高くなっています。



(7) 北杜市について

問 24 あなたは、次の相談窓口を知っていますか。(それぞれ○は1つ)

『ア 福祉相談窓口（生活困窮やひきこもりの相談など）』、『イ ほくとハッピーワーク（仕事に関する相談）』、『ウ 出会いサポートセンター（結婚に関する相談）』で「知らない」の割合が高くなっています。



ア 福祉相談窓口（生活困窮やひきこもりの相談など）

【相談相手別】

相談相手別にみると、学校の先生で「知っている」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	知っている	知らない	無回答
全 体	285	21.8	78.2	—
母親	179	21.2	78.8	—
父親	69	18.8	81.2	—
兄弟姉妹	78	26.9	73.1	—
祖父母、親戚	18	38.9	61.1	—
配偶者（パートナー）	97	25.8	74.2	—
自分の子ども	9	22.2	77.8	—
学校の先生	11	45.5	54.5	—
塾、予備校、習い事の先生	1	100.0	—	—
学校の友人	42	19.0	81.0	—
学校の先輩	6	33.3	66.7	—
学生時代の友人	85	20.0	80.0	—
職場の同僚	40	40.0	60.0	—
職場の上司や先輩	36	36.1	63.9	—
近所の友人	28	32.1	67.9	—
趣味の団体・グループなどの仲間	20	40.0	60.0	—
交際相手	19	21.1	78.9	—
カウンセラー、精神科医	10	30.0	70.0	—
市町村の役所などの相談機関の窓口	6	66.7	33.3	—
相談機関の電話相談	2	50.0	50.0	—
相談機関のＳＮＳ相談	3	100.0	—	—
相談機関のメール相談	2	100.0	—	—
インターネット上で知り合った人、 質問サイト、掲示板	9	44.4	55.6	—
その他	6	16.7	83.3	—
誰（どこ）にも相談しない・相談できない	17	11.8	88.2	—

イ ほくとハッピーワーク（仕事に関する相談）

【相談相手別】

相談相手別にみると、趣味の団体・グループなどの仲間で「知っている」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	知っている	知らない	無回答
全 体	285	21.4	78.6	—
母親	179	22.3	77.7	—
父親	69	20.3	79.7	—
兄弟姉妹	78	26.9	73.1	—
祖父母、親戚	18	22.2	77.8	—
配偶者（パートナー）	97	29.9	70.1	—
自分の子ども	9	22.2	77.8	—
学校の先生	11	9.1	90.9	—
塾、予備校、習い事の先生	1	100.0	—	—
学校の友人	42	9.5	90.5	—
学校の先輩	6	16.7	83.3	—
学生時代の友人	85	21.2	78.8	—
職場の同僚	40	37.5	62.5	—
職場の上司や先輩	36	25.0	75.0	—
近所の友人	28	39.3	60.7	—
趣味の団体・グループなどの仲間	20	45.0	55.0	—
交際相手	19	26.3	73.7	—
カウンセラー、精神科医	10	20.0	80.0	—
市町村の役所などの相談機関の窓口	6	66.7	33.3	—
相談機関の電話相談	2	50.0	50.0	—
相談機関のSNS相談	3	33.3	66.7	—
相談機関のメール相談	2	50.0	50.0	—
インターネット上で知り合った人、 質問サイト、掲示板	9	11.1	88.9	—
その他	6	16.7	83.3	—
誰（どこ）にも相談しない・相談できない	17	5.9	94.1	—

ウ 出会いサポートセンター（結婚に関する相談）

【相談相手別】

相談相手別にみると、趣味の団体・グループなどの仲間で「知っている」の割合が高くなっています。

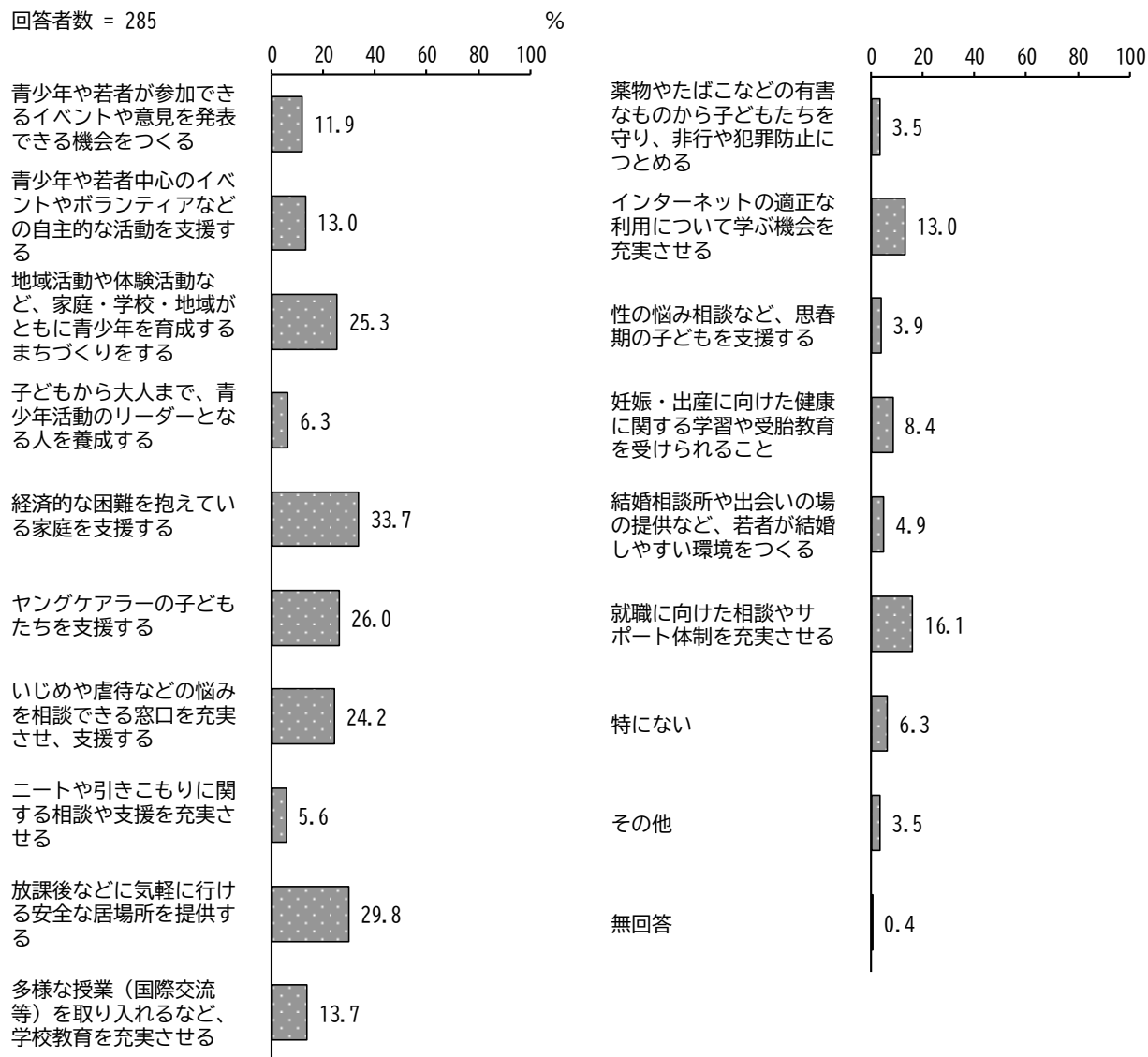
単位：％

区分	回答者数 (件)	知っている	知らない	無回答
全 体	285	20.4	79.3	0.4
母親	179	19.0	80.4	0.6
父親	69	17.4	82.6	—
兄弟姉妹	78	25.6	73.1	1.3
祖父母、親戚	18	33.3	66.7	—
配偶者（パートナー）	97	33.0	66.0	1.0
自分の子ども	9	33.3	66.7	—
学校の先生	11	18.2	81.8	—
塾、予備校、習い事の先生	1	100.0	—	—
学校の友人	42	9.5	90.5	—
学校の先輩	6	33.3	66.7	—
学生時代の友人	85	22.4	77.6	—
職場の同僚	40	40.0	60.0	—
職場の上司や先輩	36	30.6	69.4	—
近所の友人	28	39.3	60.7	—
趣味の団体・グループなどの仲間	20	45.0	55.0	—
交際相手	19	21.1	78.9	—
カウンセラー、精神科医	10	10.0	90.0	—
市町村の役所などの相談機関の窓口	6	50.0	50.0	—
相談機関の電話相談	2	50.0	50.0	—
相談機関のSNS相談	3	33.3	66.7	—
相談機関のメール相談	2	50.0	50.0	—
インターネット上で知り合った人、 質問サイト、掲示板	9	44.4	55.6	—
その他	6	50.0	50.0	—
誰（どこ）にも相談しない・相談できない	17	5.9	94.1	—

問 25 あなたは、北杜市が取り組む青少年や若者の政策にどんなことを望みますか。
(〇は3つまで)

「経済的な困難を抱えている家庭を支援する」の割合が 33.7%と最も高く、次いで「放課後などに気軽に行ける安全な居場所を提供する」の割合が 29.8%、「ヤングケアラーの子どもたちを支援する」の割合が 26.0%となっています。

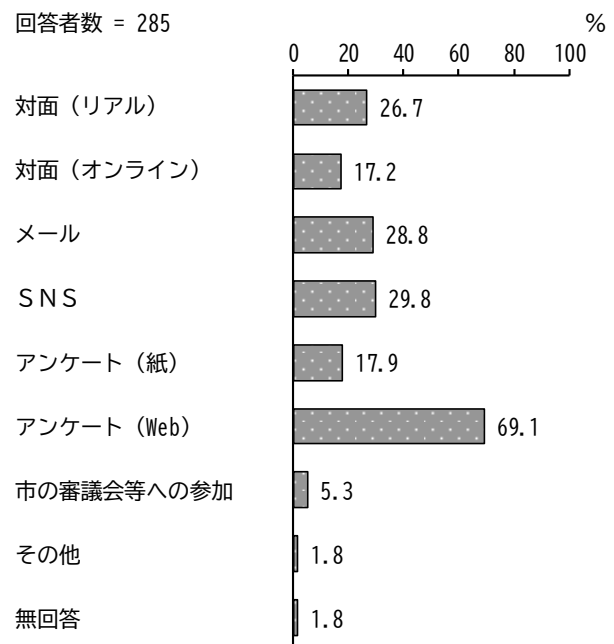
回答者数 = 285



問 26 市の施策に対して自分の意見を言うとしたら、どのような方法で伝えたいと思いますか。(〇はいくつでも)

「アンケート (Web)」の割合が 69.1%と最も高く、次いで「SNS」の割合が 29.8%、「メール」の割合が 28.8%となっています。

回答者数 = 285



Ⅲ 自由回答

1 未就学児童保護者

※（ ）は意見数

項目	主な意見
1. お住まいの地域やご家族、ご家庭の状況について(32)	・歩道が狭く、舗装されておらず、ベビーカーが押しづらい所が非常に多いと感じる。北杜市で子育てをしていて、子どものために動いてくださっているのはとても感じるのでありがたい。 ・県外から引っ越して来たが、とても不便な街。子供服買うにも市外に行く。買い物が大変。進学して戻って来たいと思えない。今は親としては将来子供にはここに住んでほしくない。個人的に北杜市の真ん中辺りの長坂に「しまむら」誘致してほしい。子供から高齢者まで買いに行ける。子育て世代けっこう聞く。スーパーも「ツルヤ」長野県の。山梨県に多分ないので。子供連れのイベントをやってほしい。小さくても。各支所がある所？やるにあたって大変なのはわかる。そこに行く機会が増え、その土地の農産物(野菜、食べ物)買うと思う。昼はそこで、夕飯の野菜かえるし。飲食店の弁当子供向けなど、イベントが祭りとかマルシェ(たまに)しかなく結局市外に行く。市外でお金を使う。となる。数十年後の話、佐久市と長坂の圏央道？開通すれば住む方も少しは増えると思う。(だいぶ人口は減っている)その頃にはリニアも開通して、昔よりは。まとまらず申し訳ない。いち、子育て世代の意見。 ・移住者が多い北杜市では、ワンオペ、アウェイ育児に悩んでいる方は多いと思う。親が風邪をひいてしまった時、不定期の仕事が発生した時などに少し子供を見守ってもらえるような地域の関係づくりができていればもっと肩の力を抜いて子育てを楽しめるのになあと思う。保育園に預けるという一択ではなく、公民館などを開放して異世代交流の場をつくり、親子の時間を過ごしやすい制度を設けるなど、多様な子育てができる地域にしていきたいと思う。子育てについても私も誰かの役に立ちたいし、頼らせてほしい。 ・車社会のため、お年寄りのデマンドバス？のように、子どもの習い事の送迎サービスがリーズナブルに一般的になれば日々の生活の負担が減る。仕事の時間も増やせる可能性が出てくる。 ・妊娠、出産、育児に関して、もっと多くの人(特に男性や年配の方)に正しい認識を持ってもらいたい。「つわりは病気じゃないのだから甘えるな」「女性はみんな普通に経験すること→出産は大したことではない」「育児は女性の方が向いている、女性がすべき」というような、妊娠、出産、育児に対する認識が甘すぎる人が未だ多いように感じる。個人差はあるけれど、つわりで入院する人もいるし、臨月にもなれば、ただ座っているだけで辛い人もいる。出産で命を落とす女性もいる。男性には、妻に万一のことがあっても自分1人で子を育てていくのだという覚悟を持った上で、子を持つことを考えてほしい。なお、母子共に健康に出産を終えた場合でも、母乳での授乳以外の育児は男性もできるので、当事者意識を持って育児をしてほしい。妊娠中は、女性は体調不良で思うように動けないが、男性は身体的負担ゼロなので、家事や出産準備に積極的に協力してあげてほしい。「帝王切開なんて楽しちゃダメ。お腹を痛めて生まないと！」等、迷信のようなことを言って追いつめないでほしい。(年配の方に多い)長々と書いてしまったが、育児に関わる人の声を集めて、支援につなげてほしいなと思う。「妊娠中、出産、育児中、こんなことが辛かった、もっとこうしてほしい、逆に、こうしてもらえて助かった」というような、具体的でリアリティのある意見を集められると、現実に沿った支援につなげられるのでは、と思う。男性の育児休業取得が速算されているが、制度があっても、人の認識が変わらない限り、子育てしやすい環境は実現しない気がする。

2. 子育てをめぐる環境について(26)	・子育てに幸せを感じることは多いが、子供の病気が続く、子供が怪我をする、子供のイヤイヤ期、仕事が忙しい、仕事がうまくいかない、自分の体調が悪い、などが重なるととても苦しくなることがある。子供を安心して預けられて、自分の時間をもう少し持つことができればもっと笑顔で子供と接することができる気がする。 ・小学生の児童が安全に遊べるところがほしい。学区が広かったり、親の仕事の都合で学童を利用している子どもが多かったりして、なかなか友達同士で遊べないと聞く。プレイパークのようなそこにいけば誰かいて遊べるというところがあるといいなと思う。北杜市の子育て政策や環境の良さをいかしつつ、北杜市の弱い部分をこれからもカバーして行ってほしい。子どもが増えれば市も元気になるはず。 ・コンクリートの中での活動ではなく、自然の中での活動。アクティビティの充実を。特性の多い子どもが増えているが（発達障害）、自然の中で活動することにより、ずいぶん軽減されるのではないかなと思う。教育（教える、覚える）という視点よりも、体験（感じる、表現する）という活動を増やしてほしい。答えがいらぬ活動、アートや音楽などの活動もいいかもしれない。ひとり親や働く親のためには、子どもの環境充実には送迎の充実、家事代行のサービスの充実を図っていただきたい。不登校支援の場所は多いが、支援が必要な子どもに対する居場所や支援がまだまだだと感じるので、そういった場所を作れるといいなと思う。保育学会理事、東大名誉教授の汐見先生や、保育者のためのエコビレッジのぐうたら村、パーマカルチャーデザイナーの四井真治氏、東大教授の上野千鶴子さんなど、教育、保育について活動されている方がいらっしゃるの、行政とつながった方がいいなと思う。広島市や熊本での改革のように、北杜市も、ぜひ柔軟な視点で、新たな改革をおこなってほしい。オルタナティブスクールを、通える範囲に「公教育として」設置する、サポートルームの充実、など、一斉教育ではない場を増やしてほしい。 ・小学校ではスイミングスクールバスが学校まで送迎して下さるシステムがとてめありがたいので子どもたちが安全に乗れて習い事や小学生、中学生が親なしでも過ごせる手段として子どもバスなどがあると、親の負担も減り、子ども自身も自由が持てるようになり北杜に住んでいても、交通の不便が軽減できるのではと思う。もっと子ども達に自由を与えてあげたい。大人は車で移動できるけど、大人が居ないと何もできないような所がかわいそうに感じる時がある。自分で考えて自分の好きなように自ら動く。子どもの権利を実現できる北杜市になってほしいと願っている。 ・全国的にも注目されるほどの先進的な教育を手がける私立の小学校、中学校などを積極的に誘致してほしい。意識の高い子育て世代の移住者が増えるはず。北杜市は都市圏からの移住人気は高いが、教育環境だけがまだ弱いと思う。
3. 公園について(26)	・北杜市には、大きい公園があまりないので、公園を作してほしい。今は、北杜市にあまりないので、休日などは、韮崎の公園などへ行っている。 ・市外にはある、遊具のある広い公園が無い。 ・公園なども沢山あるのに、草刈りもされておらず、市外に遊びに行くことも多い。新たな遊び場もうれしいが、今あるものを十分活用してほしい。 ・親水体験ができる小川やボール遊びができる広い芝生広場がある公園があると嬉しい。 ・公園が少なく、広い子そだての場づくり計画もとんざし、次はもっと子育て中の人から情報を得てから構想してほしい。

4. 保護者の就労状況について(6)	・小学校でもスクールバスがあるとありがたい。送迎の負担が重い。そのせいで働く時間を調整しないといけないので。田舎のデメリットが少しでも減って子育てしやすい土地になってほしい。 ・子供の風邪であやまる社会でなくなるといい。申請と働く期間が合わない？時があるので、そのあたりのタイムラグがなくなると良いと思う。 ・パパが会社員などの場合は必然的に母親への家事育児負担が大きくなってしまうと思う。会社が子育てへの理解があるか、ないかで、家庭での子育てのしやすさにも繋がってくると思うので、会社にも子育ての理解を広めるような政策があればいいかと思う。ネウボラのみなさん、いつも温かく迎えてくれる雰囲気があり感謝。 ・主人が育休取った。職場のスタッフで初めての取得者だったので、手続きがかなり複雑だったそう。もっとシンプルな書類や手続きならもっともっと育休（お父さんの）が取りやすくなると思う。北杜市独自の産後パパ育休の進め方奨め方に期待する。 ・日頃から北杜市の子どもに対する支援や取り組みにととても感謝している。正社員として、1才から市の保育園で見ていただくことができ、安心しておまかせして働くことができている。どうぞよろしく。期待している。
5. 保育園や幼稚園などの利用状況や意向について(56)	・娘が現在認定こども園に通っている。先生方がいつも大変よくしてくださり、あたたかい雰囲気で娘もとても楽しく過ごしている。先日の保育園の民営化についての説明会で、少し不安になってしまった。3才の娘だが、いちばん心配で気がかりなことが、仲よくなった先生やお友達と離れてしまうことみたい。だから、いちばんは子どもたちの気持ちに寄り添っていただけるような対策を考えていただきたいと思う。子どもは思ったよりも繊細で敏感。 ・すてきな自然の中で子育てしたいと移住してくる人が多いのに、保育園は普通のところばかり。せっかくの自然や森や川をいかしてもっと自然の中で保育できる場があったら、預けたいとおもえる。ヨハネ保育園に入れなくてずっとチャンスをまつ人もいなくてすむと思う。 ・保育園、学校の給食に無農薬、有機栽培の食材を使用してほしい。そういった作物の栽培が盛んであるからこそ積極的に取り入れていけば、子どもたちの成長にもより良いのではないかと思う。 ・母親が産休、育休中に上の子の保育園利用ができない制度はやめた方がイイと思う。新生児で手がかかるのに上の子も看るというのは、すごく大変。（この制度今はなかったらすみません、不要な意見） ・保育園の預かり時間が7:30～、小学校はそれより遅いその差をなくしてほしい（出勤時間にかかわるので就学時に差があると困る）幼稚園部の入園可能人数がふえるとうれしい。年少で幼稚園部入園→職さがし→就職の流れだと預け先が決まっているので安心。

6. 病児保育・医療について(21)	・病児保育の利用、予約をしやすくしてほしい。フルタイム勤務をしていて、子供の具合が悪くなると、どうしても病院につれていくのが遅くなる。なのに、利用時間が16:00となると、病院受診が間に合わない。ネット予約可などにし、予約時間をのばしていただけると、利用しやすくなると思う。また、預けられる時間をもっと早くしてほしい。希望としては、7:30～可能にしてほしい。 ・ただし、他市町村と比較するなかでファミサポの利用のしにくさ、病児保育施設が1つしかないことは、働く母にとって大変マイナスな点であると常々思っている。改善を強く希望する。 ・北杜市は出産できる病院がないため、助産院や自宅出産の緊急時の搬送が市街のかかなり遠くになってしまうので、母子共に危険度があがってしまうのが現状。市内に受け入れてもらえる産科の医院を作っていただきたい。 ・小児科、皮膚科、眼科等の病院を増やしてほしい。 ・夜間、休日医療に関しては、甲府まで行かないと受診できず、子供が複数人いると、その負担はより大きい。また、受診機関に関する情報はインターネットで検索できるが、連絡すると小児科医が当番ではなく受診できないことが多々あり、複数の医療機関に連絡しなければならぬので、夜間休日の医療機関の充実を図っていただきたい。
7. 児童館その他施設について(17)	・気軽に利用できる、子供が遊べる屋内施設も作ってほしい。 ・つどいの広場や子育て支援センターの方々にはとてもお世話になった。なくさないでほしい。 ・普段たんぽぽルームを利用させてもらっているが、狭過ぎると思う。武川小学校の下校前までであれば児童館の方まで使い、ハイハイや歩く練習ができるが、下校後や夏休み中等になると小学生が大勢来るので、狭いスペースで過ごすしかなくなる。他の3つのつどいの広場にも行ったが、どこも歩き回れるスペースがあり、たんぽぽだけなぜで児童館と併設され、あんなに狭いのだろうと不思議に思う。小学生には、たんぽぽルームの方には近づかないように言ってくれているが、事故があってからでは遅いとも思う。子供たちの数が減少している中、新たに設置するのは難しいことと理解しているが、小学生と赤ちゃん、双方の過ごしやすさのためにも、検討いただければ幸い。 ・子育て支援センターでの個別相談やつどいの広場などを日常的に利用している。子育ての不安を解消し、頑張る気持ちをいただいている。北杜市で子育てできてよかったと思う。本当にありがとう。支援として力をいれてほしい。 ・もっと気軽に利用出来る児童館や図書館が身近にあると大変嬉しい。
8. 学童・児童クラブについて(7)	・学童の給食の提供、子供が学童を利用するのは、保育園と同じく、親の就労を理由とするもの。なぜ、給食の提供が無いのか疑問。特に夏休み中のお弁当は衛生面からみても、食中毒等が心配される。何か問題が起きてからでは遅い。学童の早期安全給食化の実現を希望する。 ・この頃北杜市内の学童について、良くない話を何度か聞いた。具体的には、自営業をされている保護者の方へお店の営業時間が終了したタイミングで即座に子どもを迎えにくるよう電話がかかってきたり、夏休みや土曜日など他に預ける子どもが少ない日は、あからさまに嫌な顔をされたり、早く迎えにくるよう電話がきたり、など。他にも発達障害のあるお子さんと他のお友達との間に起きたトラブルを、事実と異なる内容で保護者の方に伝え、発達障害のあるお子さんの立場が悪くなるような状況にした。アレルギーのあるお子さんにアレルギー食品を扱えて病院に運送された話などなど。これから学童の利用を控える親としては、学童で働く方々のモチベーションに対して不安をおぼえる。学童以外で公的でも民間でも安心して子どもを預けられる場所が選択肢として増えることを望む。

8. 学童・児童クラブについて(7)	・学校の学童で外あそびがないことが不健康。給食はもっと和食にしてほしい。給食にクレープが出ることがおかしい。果物で栄養をとるべき。さとうは家でとりすぎている。もっと考えてほしい。 ・子育てしやすい環境を作ろうと試行錯誤していただきありがたい。しかし学童は親がお休みの日は利用出来ない状況など、疑問を感じる。 ・次に放課後児童クラブ。小学校でのピーナツアレルギー事件、対応が酷すぎると思う。我が家はその小学校ではないし、放課後児童クラブも利用していないが耳に届いている。当時「その児童クラブはどうなっているのか」と保護者間でも話題になった。児童館の件も、児童クラブの件も「現場に長くいる職員の在り方」が問題なのではないか。
9. 産後ケアについてについて(3)	・産後ケアセンターを利用した。子育ての悩みや、家族に相談することでもないようなささいなことを相談でき、もやもやしていたことや、小さな疑問を解決できたことで気持ちが楽になった。施設のみなさんも親切で話やすく、施設もキレイでとてもリフレッシュできた。主人が3泊しておいでと言ってくれたので、補助金のでる最大まで使わせて頂いた。子育ては本当に体力勝負。お母さん、お父さんがゆったりした気持ちで子供と接することができる施設やサービス、支援に税金が使われてほしい(個人的には、北杜市のスーパーにお父さんと一緒に入れる赤ちゃんルーム(おむつを替えたり、ミルクを使ったりする部屋)があると気軽に掛付けられるので、充実させてほしい) お父さん同士の交流ができる機会も作ってほしい。 ・子どもも5才になり、まだ生まれて数ヶ月の頃、母乳がなかなか出ずに悩んでいたところ、市の保健士さんに、今のミルクはとても栄養面で充実しているので大丈夫と思うので、切りかえてもいいのではとアドバイスをいただき、決心がつき、ミルクに切りかえた。今ではとても元気にすくすくと成長し、その時のアドバイスにととても感謝している。出産した病院でも、産後ケアセンターでも、親や親せきなども「がんばれば母乳は出る」と言われたが、思うようにいかず、経験豊かな保健士さんがおっしゃる事ならと、とても心強かったことを覚えている。私事で申し訳ないが、遠くの県外によめに行った友達は、産後、母乳がなかなか出ずに、悩み、子どもが1才にならないうちに心身をこわしてしまい、子どもは乳児院へ、本人は実家でうつ状態のまま、今も生死のさかいをさまよっている。このことを聞いたのは、もうそうってからのことだったので、どうしてあげることもできず、今でもとても心苦しい思い。もし、その友達の地域でも、北杜市のように、産後につどいの広場や相談できる場所があったなら、状況はちがっていたのではないかと思う。こういった孤独な母親と子どもが少しでもいい世の中になったら良いと思う。北杜市では、そういったお考えに基づいて、このようなアンケートにも力を入れて取り組まれているかと思う。ぜひ、今後とも1人でも不幸な母親や子どもをつくらないように取り組んで行ってほしいと思う。 ・市でも、産前産後宿泊型のケア事業があるということは知っているが、石和まで行かなければいけないので、北杜市内にもあるといいなと思う。

10. 北杜市の支援対策について(50)	・子供手当が支給されるのはとてもありがたいが、小学校→中学校→高校と年齢が上がっていく程お金がかかるが、今の現状、学年が上がると減額になってしまい生活的にも苦しい時があるのでそこを改善できたらしてほしい。 ・給食費無償化についてでもどこの園（市外市内問わず）でも全額無償に対応してもらいたいと思う。 ・認可外保育園や企業型保育園の無償化についてそれぞれで保育料がかかるがもうすこし認可外、企業型保育園と相談をしていただき保育料の負担を考えてもらいたい。出産から育児までの手当を増額してほしい。他の市などで聞いた時の手当の差があり子供を育てていくのに1番の問題は金銭面になってくると思っている。経済的支援をもう少し充実してくれた方が子供を産む人も増えてくると思う。手当てや補助金を申請してからが長くなかなかお金が入ってこないことが多いのももう少し早くできるようにシステムを改善してもらいたい。何ヶ月も後になると必要な時や困った時の助けにならない。 ・学校を無償化にしてほしいと切実に思う。よろしく。 ・北杜市は、近隣の市より家賃が高いため、子育て支援住宅の拡大を希望する。第二子以降の助成金（子供手当）の増額を希望する。北杜商品券は非常にありがたかった。また、定期的にお願いしたい。認可外の幼稚園だが、移住者も増やしており、世帯数増加に貢献していると思う。わたしたちもその一人。将来の北杜市を考えると、別荘地、避暑地だけでは、成り立たないと思う。北杜市を盛り上げる取り組みには、SNSやサイトで、市外、県外に魅力を発信してほしい。子供はお風呂にいれる人が多いと思うので、水道光熱費の助成金希望。ピッコロ幼稚園に助成金をお願いしたい。
11. アンケートについて(15)	・実際にアンケートをしても結果と対策、実行したことを公表してほしい。毎回このアンケートに意味があるのかと思う。 ・子供が休んだ日数、大人がそれに伴って休んだ日数は多すぎて覚えていない。作成した人、子育てしたことある。ひとりだけならまだしも3人いるので余裕なし。保育園の民営化問題、中学校の統合問題もどうなった？点じゃなくて線で考える教育アンケートをして。 ・このようなアンケートを企画して 10 くださる熱意が素晴らしいと思う。ただ、〆切りまで約日というタイミングで配布されたのが残念。忙しいママさんパパさんに 10 日でこのボリュームか〜い！！と余程やる気にならないと or 伝えたいことがないと、このアンケートに回答しようと思わないだろうなあ。もったいないと勝手に思っている。もっとカンタンに調査できる方法があったらいいなあ。何も思いつかない。よろしく。 ・私たち親が育ててもらった時代よりはるかにサポート体制は厚くなっているのだと感じる。アンケートの中にもあったが、親のリフレッシュ（例えば、美容院）に子供を同行させるには難しいと思う時は確かに必ずあるが、家族にお願いしたり、予定を変更したりとやりくりはしている。その中で、母だけが出掛けていく事自体に罪悪感みたいのを感じている気がする。だが”そういうもの”だと認識している。子供達がいる事で何かを犠牲にしているとは思わないし、いずれ、私にも”出来る”順番が回ってくると思っている。子育てをしている時は長く感じる時間も、ふと気付くとあっという間に過ぎてしまう事を知っている。我が家の場合は年の差（13 歳差）育児なので、長女が少し手をかける事少なくなるなと思った時の次女の誕生だった。振り返って月日の早さに恐怖だった。（笑）真っ只中にいると必死なので、悩む事もあったし、長く感じるが、この子達に、がっつり関われるのってあと何年かと考えた時、それは人生の中でほんの少しだと思った。北杜市に色んなサポート体制がある事も分かっているが、なるべく自分だと思っている。今後も利用する事は少ないと思う。 ・子育て世代はインターネットに強い世代が多いと思う。調査が必要であるなら紙や送付代にお金をつかわず、もっと別のところへ予算をまわしてほしい。

12. 一時預かり・休日保育について(6)	・北杜市の休日保育を利用したいのに3歳児以上ではないと対象にならない。ファミサポも考えたが、祝日休日に預かってくれる所(家)がない。結局、仕事を休んで、みることになる。休日保育の年齢を下げしてほしい。 ・今は、望んだ環境(保育園)に通えているが、北杜市内の公立の小学校に入ることを思うと、保育園での教育方針とギャップが生まれて本人が適応できるのか不安なところはある。何がこどもにとって、最適なのかこれから親も学んで選んでいかねばと思っている。北杜市のつどいの広場は、とても充実していて子育て期間はたくさん活用させて貰ってきた。ただ、ファミサポ以外に託児などが無い為に、一時預かりの利用が出来たらという思いはある。今後またそのようなサービスを受けることができたなら有り難い。 ・保育園の土曜保育も市内に3か所だけで驚いた。基本仕事の人だけで、うちは近いのでもいいが遠い方は大変だなと思った。引っ越し前の所は「リフレッシュ」でも預けも大丈夫だった。買い物にいくなど。例えば午前中とかけっこう預けている人いた。平日フルタイムで働いて土日は子供の事をして大変。土地柄預けている人はあまりいないように思う。土日休み方多い。土曜保育の人はお弁当だった。今思えば色々な時間もあるからなのか、補助の違いなのかかわからないが北杜市もお弁当でもいいと思う。昼食食べて帰る子なんかおにぎりだけでもいいからと言われたものだ。食事時間が早いから。 ・我が家は職場に子供同伴 OK なので息子は連れていっている。が、気軽に利用できる一時保育などあればいいなあと思ったりしている。(できれば姉と同じ保育園で) ・未満児で子どもを預ける先がない時の母親の孤独感や心身の疲れは計り知れない。もう少しリフレッシュで気軽に預けられる場所があるとありがたい。親子といえ、やはり少し離れる時間も大切だと思う。ただ、別の市に住んでいたこともあるので、比べると北杜市の子育て支援は充実していると思う。
13. その他(4)	・実行するのであれば、小中学校の統合計画の推進、早期実現をお願いしたい。 ・扶養は今のままが良い。 ・またその際に個人情報の扱いが雑、口頭で伝えた住所(祖父母の住所で実際私たちは住んでいない)に住んでいない私と娘の名前で小学校の書類が送られていた。聞き間違いや言い間違いがあったら、どうしていたのか担当部署の方にお聞きしたい。その事を電話で教育委員会にも伝えたが、電話での謝罪のみで上司の方の意見や対応策などは何もなかった。普通の企業であれば事故案件で市に提出しないといけなと思うが、市はどのような対応をしたのかとても疑問。子供たちの個人情報はしっかりと管理してもらわないと困る。必要であれば、市にまた問い合わせしたいと思う。

2 小学生児童保護者

※（ ）は意見数

項目	主な意見
1. お住まいの地域やご家族、ご家庭の状況について(24)	・支援制度や環境の整備はもちろんだが、市民全体でもっと子どもや若い世帯が生きやすい社会をみんなで作ろうという方向に意識をシフトしないといけない。大人（おじさん）が会議室の中で考えた支援を押し付けて既成事実を作るのでは一向に変わらない。もっと子どもや若い母親や、子どもと向き合っている保育士や先生など、現場の声を聞いてほしい。地域行事や地区の活動など、今本当に必要なものなのか？ジェンダーギャップなど時代に遅れたものになっていないか？など見直しが必要だと思う。娘、息子がこの北杜市に戻って生活しようと思えるように。また保育士や先生の働く環境、所得待遇の改善もまだまだ。こうした人たちが自信を持って生き生きと働けるようになることが、子どもたちの幸せにつながる。 ・出産施設が無いことが最大の難点だろうか、産めないのに、子育て、これは充実しているとはいえない。まずはそれらが先決と考える。そのためには、市立病院の再建、内部改革をお願いしたい。都市部へ人が流れるときは、何が理由なのかを考えれば、住みやすさと定住の確保が最大に確保できると考える。いくら施設があっても、危険や困難に遭遇した際の対応の早さが、安心に繋がる。楽しみだけで生活は成り立たないから。通学路の周辺森林の整備が不十分、公園を作っている場合じゃない。道作りを自治体のコミュニティだけに頼る、高齢化の地域で無理がある。ゴミ出しすら困難な地域があり、一軒ずつ回収しなければならないくらいに難しい状況。運転できない高齢者が、遠いゴミステーションに行けず困っている。北杜市への誘致に頑張っている様子があるが、その先がある。市の職員の、業務内容と実績のアウトカムは把握されているか？一般企業の側から見たら、甘いと感じることが多々ある。第三者機関の調査を入れるなど市政の開示も求めたい。何と無くやる、ではなく、根拠ある、適切な人道的支援を提供できる市政を希望する。 ・子育て世代を支援するだけでなく、その世代は介古の問題や自身の体の問題が色々ある年代だと思うので、幅広く支援していくことが全体の住みやすさにつながると思う。また、昔から続く地域の役割が負担になる所も多々あるので無くせるものは無くして、新しいことを考えていくことも必要かと思う。北杜市が大好きなので、全世代が住みやすいまちであってほしい。 ・小淵沢にはスーパーがないのでかい物がたいへん。病院が少なくてこまっている。 ・子供が気軽に行ける場所に図書館を。減らさずにできるのならば、そのまま。
2. 子育てをめぐる環境について(24)	・外でもっと安心して遊ばせられるようにしたい。家の近所は歩道がなく、細いわき道でも、スピードを出した車（年配の方が運転している軽トラなど）や、全く歩行者優先ではない方が多く見受けられる。神奈川から北杜にきて驚いたのは子ども達が外で遊んでないこと。自転車でもっと色々な所に行きたいが道や車がこわくてなかなかできない。 ・もっと小学生が外で遊べるような場所を作ってほしい。お店も少ないし、楽しい事がない。自然が豊かなのはいいが、もっと便利な環境を作ってほしい。住んでいてもつまらない。不便。あまり魅力がない。 ・病院、習い事の、何をするにも遠く、車での移動が必須。もう少し、身近にサービスをうけられると有難い。 ・保育サービスと同じくらいに学童、学生のバスサービス、駅まで行きやすい、行きたい学校に行きやすいやりたい部活をやらせてあげたい、子どもたちの選択肢や希望を広げてほしい。

2. 子育てをめぐる環境について(24)	・すでにある多様な教育環境を肉付けする形で、発達特性を診療する病院や療育施設を作ってほしい。市民病院がいくつもあるのだから、小児救急を作ってほしい。病院や保育園、学校もそうだが、合併することで無駄が減り質も上がるなら見直すべきなのではないかと思う。
3. 公園について(11)	・もっと広大な、使っていない土地を買い取って公園施設を充実させてほしい。(北杜市保健センターではない、もっと広い場所) ・公園ゆめひろば富士見のような場所が理想的、広場、遊具、水あそび、休憩所、パン屋さん、図書館。この度高根に総合公園ができるようだが、遠くて行く気になれない。町にひとつ、もしくは長坂辺りだとうれしい。 ・自然が豊かなのだから、子供が遊べる公園を作ってほしい。 ・公園、日かげのあるベンチ等をふやしてほしい。 ・子どもが減っているとはいえ、ちょっと遊べる公園も無く、遊具のある公園も遠く、何とかならないものかと思う。
4. 保護者の就労状況について(3)	・特に育ち盛りを抱えると食費がかさみ、フルタイムで共働きせざるを得なくなる。 ・企業に対しての、学校都合による遅刻、早退への配慮の呼びかけ(降雪、台風時)のくり上げ下校や迎えの際に欠勤とならない様な対策を。 ・保育園に無料で預けられて、仕事は行けるけど、結局感染症などで仕事を休まなければならないという、子どもによりも職場への罪悪感が大きい。とはいえ、祖父母も高齢であまり頼れない。子どもの体調不良で休みばかり取ることに寛大な職場はあまりなく子どもも親も心の余裕がなくなっている気がする。風邪引いても大丈夫。いつでもすぐに診てくれて、安心して休める又は仕事に行けるという環境が理想。
5. 保育・小学校について(35)	・少子化が進み、親の意見を聞いてくれるのは、とてもありがたい。でも、共働きをしている中で子供達と一番時間を過ごしているのは保育者、学校の先生。もっと、先生達の気持ち(保護者の方がこうあってほしい)が私達保護者に上手に伝わって、先生達も気持ちに余裕が来ると子供達もハッピーになり、保護者もハッピー、先生もハッピーと難しいかと思うが、みんながみんな思いを伝えられる環境があったらと思う。 ・子供が給食のカレーライスが最高に美味しいと言っている。家庭のカレーライスより断然おいしいみたい。親として、どのような味の違いがあるのか、給食の試食会を開催してほしいと思っている。食育も重要視しているので、食材の産地、添加物の有無など気になっている。 ・子供の数が少ないので、通学、帰宅の際に1人になってしまう時がある。学校の終業時間が調整できれば、山梨交通のバスで家の近くまで帰って来られるので家族が学校まで迎えに行かなくてもよくなるのだが、それが出来ないため毎日学校まで迎えに行かなければならない。山梨交通のバスは市からの助成金が出ていると聞いたが、ほとんど利用者がいないように見える。せめて一部の小中学生(スクールバスのエリア外の生徒)だけでも山梨交通バスを使えば、家族も迎えに行かないで済むし、山梨交通も乗客が増えてお互いにWINWINになると思う。学校への送迎が大変、子供の数が少ない等で、自分の子供が成人して家族を持った時に北杜市に戻って来てほしいとは言えないと思う。 ・学校行事等に参加の際、さらに小さい子供がいる家庭への配慮をもう少ししてほしい。 ・子育てのために支援や増額などがあると本当にありがたい気持ちはあるが、それによって親が子どもをしっかりと子育てしていないようにも思える。(保育料無償化で未満児から保育園に入園させるが、それほど就業していない等)時代とともに子育ての仕方は変わっていることは理解しているが、保護者の負担を減らすために行われていることが、保護者がラクになり子育てをちゃんとしていないように感じてしまうのが残念である。

6. 中学・高校について(33)	・就学援助費等の補助はありがたいが、数年に1度の指定体育着の購入を負担に感じている。また、中学生では体育着に加え、制服やカバン、上履き等の購入もある。全てを新品で揃えると10万近くかかると聞きました。まだ先のことだが、今から非常に不安。それらを廃止することはできないか。 ・中学校への不安、不満（小淵沢中）、部活動の充実。個々を自由に伸ばしていける教育、不登校（そもそも学校に入れない）の子への支援、補助。 ・習い事などをするのに北杜市では選択肢が少なすぎる。甲府方面まで行くには親の送迎が必要。高校へ進学する際、駅までの道のりも送迎が必要。車がないと生活できないことが北杜市に生活する面で不満。 ・高校や大学にも安心して通えるようになってほしい。大きくなってからの不安の方が大きい為、子どもを産みにくくなっていると思う。一人親や非課税世帯ばかり手当てがあり、納税者の負担が大きい。辛い思いをして仕事している人の方がよほど損をしている気がする。北杜市は小さい子への手当てを充実させていると思うが、勉強をしたい子どもが都心部に劣らない学力をつけられるように学業支援をしてもらえるようになれば、より発展すると思う。 ・中学校の再編を5年以内に決めてほしい。
7. 児童館について(3)	・すたま児童館があるおかげで、仕事延長にも対応でき、とても助かっている。ワクワク教室も地域の方々とつながることができ、とても素晴らしいと思う。こどもも楽しく参加している。ありがとう。 ・こどもランドは税金の無駄使い。児童館が全ての小学校の近くにないの不公平。子ども達だけで北杜市周遊できるように無料市バスパス発行してほしい。 ・地域への助成金から、子ども会へいくらか頂いているようだが、年々減っていると聞く。いろんな人が子どもたちを支えてくれるのが理想なので、地域が活性化することが子どもたちにとっても大切なことと思う。昨年、子どものバスケの試合で、長坂体育館が会場の予定だが、湿気で床が濡れて危険なため、高根体育館へ急遽変更になった。有事の際は避難所にもなるような場所が、老朽化でそのような状態で大丈夫だろうか。子ども同士で遊べる場があるのが理想だが、現状では児童館や放課後の学校の活用が現実的かと思う。勉強よりも、もっと「遊ぶ」ことを学びとして推奨してはどうだろうか。外の遊具だけでなく、素晴らしいボードゲームもあるし、昔からのあやとりやハンカチ落としなどの室内でもできる遊びがある。手遊び唄なども、今の子は知らない。ワクワク教室の方が児童館で遊んでくれることもあると聞いたが、いつなのか情報がなく、機会を逃してしまう。
8. 小学校就学後の放課後・休日の過ごし方について(17)	・放課後や休日に気軽に行ける遊び場がないので、子ども達が体を動かせる場所を希望する。北杜市は近所に友達も少なく、昔みたいに自分達で友達同士だけで考えて遊ぶ経験ができていない。長坂は児童館もなく、学童以外で子ども達が過せる場所があれば有難い。 ・身近な場所学童は就労している家庭申請をしている家庭しか利用できず、ちょっとした幼児や少し仕事が遅くなったときなど、子どもが気軽にたちよれるスペースがあるとよい。 ・放課後学校で遊んで帰る、または親の迎えを待つという選択肢がないので親も子供も非常に忙しく感じる。また図書館の開館時間も短く平日働いていると利用が難しいのが非常に残念。市役所も対応時間が短いので利用や届出、相談がしづらい。もっと現代の働き方に合わせた時間で対応できるようにしていただきたい。 ・長期休暇時の、学童の開始時間を早くしてほしい。8:00 受け入れでは仕事に間に合わない為。

8. 小学校就学後の放課後・休日の過ごし方について(17)	・長期休暇時の、学童の開始時間を早くしてほしい。8:00 受け入れでは仕事に間に合わない為。 ・放課後児童クラブや学童に関しては案内がなくどのようにしたら加入できるのかなどわからない。北杜市のホームページを見てもわかりづらい。送迎問題や放課後の過ごし方など時間制限があるうえ、ひとりっこで留守番もできないので仕事を再開することもできずに困っている。北杜市のいいところは緑豊か、水が豊か、景色が美しい、という自然環境に惹かれて移住したが、ものすごい勢いで森林伐採が進んでどんどん家を建てているし、ソーラーパネルのせいで景観は台無しだしどんどん外国資本企業が増えるし高速道路作ろうとするし、行政はお金儲けしか考えてないのかとがっかり。ソーラーパネルの撤去やブナの森、広葉樹の育成など環境改善にも力を入れてほしい。木がなくなるとそれだけで気温が上昇する。森林伐採で温暖化も進むし子どもたちの未来の住環境にも繋がることに気づいてほしい。
9. 子どもが集まる場所(6)	・空き家がたくさん残っている中で、居場所作りとして使いたいと思っている。しかし現状金銭的な面でも難しく、またその地域の方に連絡してもゆずってもらえません。(売却意志なし) 児童館や学校から距離のある家はこういったところで新しく子供が集まる場所として再利用をしたい。わたし個人の活動だが。 ・学校に行きたくない子ども達へのケアが足りないと感じる。子どもが学校に行かないと、別の場所への送迎、昼食、利用代金、親の働く時間への負担、何も+になることはない。けど、子どもが嫌がることに寄りそいたい。無理に行かせて自殺でもされたらと思うと、負担になっても子ども第一に考える。こんなに学校に行きたくない子どもがたくさんいるのに、その経済的支援は全くない。そりゃームリにでも学校に行けてなるのはわかる。結局、子どもがガマンするか、大人がガマンするか。中学を出たら支援金すらなくなる。お金がかかるのはそこからなのに。そういう話をママ友などから聞くと生まない方がいいなって思う。 ・子供達の不登校が増えているように感じる。少子化に当たって、何を優先したら良いのか、私も常に考える。まずは、縦割りの（異年齢）の関係かなとも感じるの、スポ少の集いや地域の集まりなど、顔を合わせる機会（親子・近所同士が）の拡充を意識したいと思う。 ・思うことは2つ。フリースクールや子供の居場所に行く場合。金銭的補助。子供の移動がもっと自由に、気楽にできるようになるといい。 ・まず学校以外の子どもの居場所について。NPO 法人ひなたぼっこを含めた本当の意味で「子どもを真ん中」にした居場所作りをしている施設の支援に早急に取り組んでほしい。このままの学校運営ではどんどん未来に不安を感じ自信をなくす子どもが増え不登校が増えると思う。学校運営について字を書けないならタブレットでノートをとればいい。書き写すのに時間がかかるなら写真を取ればいい。九九や暗算が苦手なら計算機能を使えばいい。その子その子にあった授業へのアプローチの仕方があるはず。一人一人のやる気をどう引き出すのか。教育現場の方達にはもっと考えてほしい。未来を作るのは今の子どもたち。私たちではない。時代は変わっている。子どもたちも変わっている。10 年後 20 年後の未来を想像しもっと柔軟にスピーディに教育現場も変わってほしい。
10. 北杜市の支援対策について(18)	・支援が不平等である。低収入家族への支援は多くあるが、それ以外の家庭は特にない。入学時などの書類配布の中に、明らか低収入家族しか利用できない通知が入っている意味が分からない。市の方で対象者が分かっているのだから、必要な方だけに配布すべき。対象でない方からすれば、手続き自体に困惑するし、支援が受けられない、不平等感がすごい。子どものために、仕事をどうにかくめんしようとしている人もいると思う。

10. 北杜市の支援対策について(18)	・医療費無償化や給食費無償化や安価な学童保育料など様々な子育て支援に感謝している。 ・ひとり親や子育ての支援が充実していて市の取り組みはとても素晴らしいと思うが、審査が厳しく、支援が受けられていない状況。経済的にも苦しい状況なので、そのあたりの改善があるとありがたい。 ・現在3人の子供がいるが、以前あった第四子以降 100 万円の給付金があったら、四人目をつくっていた可能性がある。しかしながら、小中学校の給食費無償化など、近隣の市にはない取り組みには本当に助けられている。 ・日本の経済状況を考えると出産に踏みきる人々が減っていくなか、北杜市では出産してから費用が掛かりにくい(オムツやミルク、離乳食)など定期的に届けるなど他の市町村よりメリットがあっても良いと考える。子供を気軽に預けられる場所(時間)など少なく、シングルやDVなどで避難している人が社会から取り残されやすいと感じる。子どものフォローも大切だが親も一人の人としての時間が確保出来るような体制を望む。両方が揃って初めて支援と言えるのではないかと考える。
11. アンケートについて(8)	・15 年前につどいの広場で市役所の方から、子育ての環境や支援についての要望を聞かれた。色々な意見が出て、市役所の方に熱心に聞いてもらったが、15 年経っても変わらない。このアンケートの結果を広報で教えてほしい。 ・現在不登校の我が子は、国や行政のサービスは一際受けていない。理由は、つまらないから。学校や児童クラブやその他サービス、本当に子どもファーストで考えられているのだろうか？伸びのび育つ自由な環境か？つまらない事に6年も時間を費やしたくない。このアンケートは国や市が提供する学校教育や子育て環境についてだが学校に行けない子ども達(不登校児)やその家族についてはどうお考えなのか？アンケートには、不登校に関しては触れられておらず、学校へ行くこと前提のアンケートだった。非常に不満に思っている。現在北杜市の不登校の子どもは年々増加している。不登校児の居場所も沢山子ども達が来る様になった。そんな現場が、国や市の支援を十分に受けられず、困窮しているのを知っているか？子どものためと言いつつ、学校教育に収められない子どもたちのケアについてはスルーするのは、本当に子ども達の未来を考えているとは思えない。全ての子ども達のために十分な支援をお願いしたい。 ・そもそもうちの子は障害児なのでアンケートが合っていない。色々書かせていただいたので、ただのアンケートで終わらず、何かしらのきっかけになると嬉しい。面倒くさい親だと思われたならそれまで。読んでいただきありがとう。 ・学区外スクールバスについて「スクールバスの運転手の方が把握できない事があって」理解できないと言われてスクールバス利用を断られる。登録してしまえば良いのでは？学区外とはいえ学区内のバス停より近いし、安全面に関しては外の生徒と何の違いがあるのだろうか？移住者を多く募っても柔軟に対応できない(決まった事だからって窓口の人は言うだけ)、行政は思考停止？誰の何の為のサービス？このアンケートが意味ある時間になるよう切に願う。高根町東井出、28 号線長田工務店の向いのバス停(東小スクールバス)はなぜ廃止に？同じ生徒中学進学して長澤のバス停から徒歩 50 分かけて帰宅していると聞いている。 ・子育てに限らず、地域がくらし、地域でくらすことを考え、未来に向かってできることを、小さな取組から始めること。そしてできれば一人ではなく身近な住民同士が手を取り合って取り組み始めること。今までの仕組は見直しつつ、くらしの豊かさを追求していく。行政のサポートはもちろん必要だが、各々が役割分担しながら、コミュニケーションを取りながら進めるべきだと思う。自営等、自由業には就労形態が当てはまらず、答えにくかった。今の時代を鑑みた質問項目を期待したい。

12. 子どもの権利について(3)	・子どもの権利を尊重してほしい。学校に関して、指定品や校則の必要性を感じない。 ・子育て支援は親にとって都合の良いものになりがち。子育て、つまり「子」にとって大切なことは何か、その為の支援をしてくれる行政、社会であってほしい。もっと子どもに何が困っているか聞いて、改善していくべきではないか。小学生のリアルな意見、少し成長した、中高生に本当の気持ちなど、その上で、何が必要なのか市として支援していったほしい。子どもの権利、主体とは誰なのか。親へのサービスにかたよることがないようにとりくんでほしい。中学校などの制服について、LGBTQを意識していくべきではないか。LGBTQなどの観点からだけでなく、もっと子どもが自由に、動きやすく、選択することができるべきではないか。あたり前のように、セーラーと学生服を与えられる。「ちがってもいいよ」とは言ってくれるが、それは「ちがうことをする」ことになってしまう。こんな中で育って、大人になってからは、LGBTQでねと言われても、心から自然に違う人たちを受け入れられないと思う。今の大人たちがそう。私自身もインクルージョンの項目があったが、小学校、中学校において、支援級などで分けて育てることはインクルージョンではない。もちろん個別の支援が必要なこともあるだろうが、それは、他の子ども達も一緒に行うべき。相手がどう困るのか、どう手助けすればよいのか、そういうことを小さい頃からあたりまえのようにしていかなければ、大人になって、差別的になるのは当然のこと。もっと、多様な人たちがいるということを知りながら育ってほしい。子どもたちはもっとできるはず。小学校について、現在、高根西のみが通学バスがないが、中学校のバスと兼用することはできないのか？また、小学生はともかく、地域の人でも中学校の通学バスに乗ることはできないのか？地域の人ともっと知り合うチャンスにもなる。市でも横のつながりをもって、サービスも横につながってほしい。 ・北杜市の子育て世代は移住者がとても増えている。多くの人は北杜市の教育にではなく、自然の豊かさ、都会にはないものに惹かれて移住している。多様な考えやライフスタイル、いろいろな地域から来た人達と北杜市で生まれ育った人達が同じ学校で、誰一人とりのこされなく、共に学んでいくためには、山梨スタンダードやGIGAスクールなど、教育の質の高さ、学力向上などの全国平均的な学校に子供を合わせていくような教育ではなく、今の北杜市にいる子供や保護者に合わせいろいろな考えを受け入れ変わっていく必要があると思う。又は、多様な学校を選べるように学校のあり方自体を変えていくことも考えてもいいと思う。移住してくる人は、学力の高さや質より現在の幸福度の高さ（wellbeing）を求めている。日本の子供の幸福度は世界的にも最低ランク。国連から何度も勧告されている、過度に競争的教育システムの改善、インクルーシブ教育への移行、包括性教育の推進、学校の政策決定への子ども参加などは、教育方針以前の子供の人権問題。国も子ども基本法の施行やCOCOLOプランなどの対策を始めたが、北杜市も現状としっかり向かい合い、今すぐ改善していったほしい。そのために、こども基本法や子どもの権利条約をなんとなく知っている、知らなかったではなく、教職員、保育士、保護者はもちろん、子供達自身や、地域の人たちにもしっかり周知し、立場の弱い子供の権利を守っていける地域にしてほしい。そのために、行政から独立した立場の子どもコミッショナーやオンブズパーソンなどの専門機関を置くことも考えてほしい。日本でも30以上の自治体で設置されている。今の子供達の現状を保護者の立場から見ると、先生も親も日々仕事に忙しすぎる大人に管理され、その中で大人に気を使って、少しの自己主張又は、不登校という大人の管理への拒否しか出来なくなっているように思う。子供に聞くと、大人に言ってもどうせ無駄だということも聞く。子供は本当なら支援が必要なだけで、管理をしてしまったら、人権の侵害になってしまっているのではないかと思う。子供の人権のためにも、教員の働き方改革、保護者の忙しさの改善、大人の教育感の改善など、大人の心の余欲や時代の変化への対応に対する支援も必要だと思う。
--------------------------	--

IV 調査票

1 未就学児童保護者



ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。

なお、子ども・子育て支援新制度は、以下のような考え方に基いています。

- 急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができている社会を実現することを目的としています。
 - 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
 - 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。
- 地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。

(用語の定義)

この調査票における用語の定義は以下のとおりです。

- ・幼稚園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
- ・保育園：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）
- ・認定こども園：幼稚園と保育所（園）の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
- ・子育て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- ・教育：問14までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問15以降においては幼児期の施設における教育の意味で用いています。

北杜市子ども・子育て支援事業計画策定に関するニーズ調査
(未就学児童用)

皆様には、日頃から市政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。
さて、本市では「子ども・子育て支援法」に基づく子ども・子育て支援の制度の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする「第2期北杜市子ども・子育て支援事業計画」(令和2年度～令和6年度)を策定し、事業に取り組んでいます。

本調査は、次期計画の策定にあたり、皆様への教育・保育・子育て支援に関するサービスの「利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために実施させていただきます。

皆様のご回答が北杜市の子どもたちの未来を創ります。ご多忙とは存じますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。

令和6年6月 北杜市長 上村 英司

◆ご記入にあたってのお願い◆

今回の調査は、市内にお住まいの小学校入学前のお子さんがいらっしゃる1,000世帯にお願いしています。

宛名のお子さんについてご記入ください。

皆様からいただいたご回答は、統計的に処理し、個別の回答者や回答内容が表されることはありません。また、調査結果は市の施策策定以外の目的に使用することはございませんので、安心してご答えください。

1. ご回答は、**宛名のお子さんの保護者の方**が記入してください。
2. アンケート調査票には、当てはまる番号に○印を付けるものと、具体的な内容を記述していただくものとがあります。設問にしたがって、鉛筆か、黒または青のボールペンで、はっきりと記入してください。
3. アンケートはインターネットの回答が可能です。
その場合は、右の二次元コードもしくは下記のURLから回答ください。
URL: <https://questant.jp/q/X28Ei5AB>
ID: ****
4. ご回答いただいた本調査票は、封筒に入れ、
令和6年6月30日(日) までに提出してください。
※住所・氏名のご記入は必要ありません。
5. アンケート調査の内容や記入方法についてご不明の点がございましたら、お手数ですが、下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先
北杜市 ことち政策部 子育て政策課
〒408-0188 北杜市須玉町大豆生田961-1
TEL 0551-4211332 FAX 0551-42-2335
北杜市子育て情報サイト「やまなっと」: <https://www.city.hokuto.yamanashi.jp/kosodate/>



お住まいの地域についてうかがいます。

問 1 お住まいの町に当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|--------|---------|
| 1. 明野町 | 2. 須玉町 |
| 3. 高根町 | 4. 長坂町 |
| 5. 大泉町 | 6. 小淵沢町 |
| 7. 白州町 | 8. 武川町 |

宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問 2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください(内に数字でご記入ください。数字は一律に一字)。

令和・平成 年 月 生まれ

問 3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を 内に数字でご記入ください。

きょうだい数 人

問 4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係で、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | |
|-------|-------|------------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他 () |
|-------|-------|------------|

問 5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者がいない |
|-----------|------------|

問 6 宛名のお子さんの子育て (教育を含む) を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | | | |
|----------|---------|---------|----------|------------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 | 4. 主に祖父母 | 5. その他 () |
|----------|---------|---------|----------|------------|

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問 7 宛名のお子さんの子育て (教育を含む) に日常的に関わっている方はどなた (施設等職員) ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | |
|--------|-----------|------------|--------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. 祖父母 | 4. 幼稚園 |
| 5. 保育園 | 6. 認定こども園 | 7. その他 () | |

問 8 宛名のお子さんの子育て (教育を含む) に、影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

- | | | |
|------------------------|-----------|------------|
| 1. 家庭 (祖父母等へ預けるケースを含む) | 2. 地域 | 3. 幼稚園 |
| 4. 保育園 | 5. 認定こども園 | 6. その他 () |

問 9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------------|-------------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | } ⇒ 問9-(1)へ |
| 2. 緊急時または用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | } ⇒ 問9-(2)へ |
| 4. 緊急時または用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | |
| 5. いずれもない | ⇒ 問10へ |

問 9-(1) 問 9 で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他 () |

問 9-(2) 問 9 で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他 () |

問10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人がある、または相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 「いる」または「ある」 ⇒ 問10-(1)へ 2. いずれも「ない」 ⇒ 問11へ

問10-(1) 問10で“1. 「いる」または「ある」”に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 配偶者	2. 親族（親・きょうだいなど）
3. 友人や知人	4. 近所の人
5. 子育て支援施設（地域子育て支援拠点、児童館等）やNPO法人	
6. 保健師	7. 保育士
8. 幼稚園教諭	9. 民生委員・児童委員
10. かかりつけの医師	11. 自治体の子育て関連担当窓口
12. 助産師	
13. その他	

問11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

宛名のお子さんの保護者の就業状況についてうかがいます。

問12 宛名のお子さんの保護者の現在の就業状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。
(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	⇒ (1)-1へ
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	⇒ (2)へ
6. これまで就労したことがない	

(1)-1 (1)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（就業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください(□□内に数字でご記入ください。数字は一位に一字)。

1週当たり □ □ 日	1日当たり □ □ 時間
-------------	--------------

(1)-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時刻は、必ず (例) 08時、18時のように、24時間制でお答えください(□□内に数字でご記入ください。数字は一位に一字)。

家を出る時刻 □ □ 時 □ □ 分	帰宅時刻 □ □ 時 □ □ 分
--------------------	------------------

(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、 育休・介護休業中ではない	⇒ (2)-1へ
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、 産休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、 育休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、 育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	⇒ 問14へ
6. これまで就労したことがない	

(2)-1 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育児・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください(□□内に数字でご記入ください。数字は一杯に一字)。

1週当たり	□	日	1日当たり	□	時間
-------	---	---	-------	---	----

(2)-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育児・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時刻は、必ず(例)08時、18時のように、24時間制でお答えください(□□内に数字でご記入ください。数字は一杯に一字)。

家を出る時刻	□	時	□	分	帰宅時刻	□	時	□	分
--------	---	---	---	---	------	---	---	---	---

問13 問12の(1)または(2)で「3.」「4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問14へお進みください。
フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

- | |
|---|
| 1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある |
| 2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない |
| 3. パート・アルバイト等(フルタイム以外)の就労を続けることを希望 |
| 4. パート・アルバイト等(フルタイム以外)をやめて子育てや家事に専念したい |

(2) 父親

- | |
|---|
| 1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある |
| 2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない |
| 3. パート・アルバイト等(フルタイム以外)の就労を続けることを希望 |
| 4. パート・アルバイト等(フルタイム以外)をやめて子育てや家事に専念したい |

問14 問12の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問15へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけ、該当する□□内には数字をご記入ください(数字は一杯に一字)。

(1) 母親

- | |
|---|
| 1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない) |
| 2. 1年より先、一番下の子どもが□□歳になったころに就労したい |
| 3. すぐにも、または1年以内に就労したい
→希望する就労形態 { ①. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
②. パートタイム、アルバイト等(「①」以外)
(数字に○、②は□に数字を記入) →1週当たり □ 日 1日当たり □ 時間 |

(2) 父親

- | |
|---|
| 1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない) |
| 2. 1年より先、一番下の子どもが□□歳になったころに就労したい |
| 3. すぐにも、または1年以内に就労したい
→希望する就労形態 { ①. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
②. パートタイム、アルバイト等(「①」以外)
(数字に○、②は□に数字を記入) →1週当たり □ 日 1日当たり □ 時間 |

宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

※ここについて「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育園など、問15に示した事業が含まれます。

問15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また、「1. 利用している」場合、宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

利用の有無(当てはまる番号1つに○)	現在の利用状況(当てはまる番号すべてに○)
1. 利用している	1. 幼稚園(通常時間) 2. 幼稚園の預かり保育(定期的な利用のみ) 3. 認可保育園 4. 認定こども園 5. 北杜市立保育園はこしら 6. 家庭的保育 7. 事業所内保育施設 8. 自治体の認証・認定 9. その他の認可外の 10. 居宅訪問型保育 11. ファミリーサポ 12. その他 トセンター
2. 利用していない	⇒問15-(4)へ

(参考) 平日の定期的な教育・保育事業

事業名	事業の概要
幼稚園(通常時間)	3～5歳児を預かり、就学前の幼児教育を提供する事業。現在、北杜市で該当する事業は行われていません。
幼稚園の預かり保育	幼稚園利用者のうち、保護者の就労等により家庭での保育が困難な場合に、降園時間後や長期休業時等に、幼稚園で子どもを預かる事業。現在、北杜市で該当する事業は行われていません。
認可保育園	保護者の就労等により家庭での保育が困難な場合に、県知事の認可を受けた保育園で子どもを預かり、乳幼児期からの保育を提供する事業。
認定こども園	保護者の就労等に関わらず、幼稚園と保育園が一体となった施設で子どもを預かり、教育と保育の両方を提供する事業。
小規模な保育施設	国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね6～19人のも。現在、北杜市で該当する事業は行われていません。
家庭的保育	保育者の家庭等で子どもを保育する事業。
事業所内保育施設	企業が主に従業員用に運営する施設。
自治体の認証・認定保育施設	認可保育園ではないが、自治体が認証・認定した施設。現在、北杜市で該当する事業は行われていません。
居宅訪問型保育	ベビシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業。現在、北杜市で該当する事業は認可外で行われています。
ファミリーサポーターセンター	地域において育児や介護の援助を授けたい人で行いたい人が会員となり、育児や介護について即け合う会員組織事業。

問15- (1) 問15で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1. 週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かを、□□□内に具体的な数字でご記入ください(問15で複数の事業に○をつけた方は、合計日数、合計時間及び通算の利用時間帯をご記入ください。数字は一律に一字。時間は、必ず(例)09時、18時のように24時間制でご記入ください。

(1) 現在

1週当たり	□□日	1日当たり	□□時間	□□時	□□分	～	□□時	□□分
-------	-----	-------	------	-----	-----	---	-----	-----

(2) 希望

1週当たり	□□日	1日当たり	□□時間	□□時	□□分	～	□□時	□□分
-------	-----	-------	------	-----	-----	---	-----	-----

問15- (2) 現在、定期的に利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。「1」、「2」のいずれかに○をつけてください。北杜市外の場合は、最も定期的に利用している教育・保育事業の実施場所がある具体的な市町村名を1つお書きください。また、送迎時に主に良く利用する送迎方法について当てはまる番号1つに○をつけてください。

【教育・保育の実施場所】

1. 北杜市内	2. 北杜市外(市町村名:)
---------	-----------------

【実施場所への送迎方法】

1. 徒歩	2. 自転車
3. 自家用車	4. 園バス
5. 路線バス	6. 電車
7. その他()	

問15- (3) 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育てをしている方が現在就労している
3. 子育てをしている方が就労予定がある/求職中である
4. 子育てをしている方が家族・親族などを介護している
5. 子育てをしている方が病氣や障害がある
6. 子育てをしている方が学生である
7. その他()

⇒ 問16へ

問15- (4) 問15で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 利用する必要がない（子どもの教育や発達のため、子どもが母親が就労していないなどの理由）
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、教育・保育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため（ ☐ 歳くらいになったら利用しようと考えている）
9. その他（ ）

問16 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育園等の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

1. 幼稚園（通常時間）	2. 幼稚園の預かり保育（定期的な利用のみ）
3. 認可保育園	4. 認定こども園
5. 小規模な保育施設	6. 家庭的保育
7. 事業所内保育施設	8. 自治体の認証・認定保育施設
9. その他の認可外の保育施設	10. 居宅訪問型保育
11. ファミリー サポート センター	12. その他（ ）
13. 今後利用する予定はない	

問16- (1) 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。北杜市外の場合は、最も定期的に利用したい教育・保育事業の実施場所がある具体的な市町村名を1つお書きください。

1. 北杜市内	2. 北杜市外（市町村名： ）
---------	--------------------------------------

問16- (2) 問16で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「3. ～12.」のいずれかにも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

宛名のお子さん地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、北杜市では「地域子育て支援センター」及び「つどいの広場」がこれにあたります）等を利用していますか。おおよその利用回数（頻度）を内に数字でご記入ください（数字は一律に一字）。

1. 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）
1週当たり 回 または 1ヶ月当たり 回 程度
2. その他北杜市で実施している類似の事業（ベビー教室、相談室、児童館、ファミリー サポート センター）
1週当たり 回 または 1ヶ月当たり 回 程度
3. 利用していない

問18 問17のような地域子育て支援拠点事業等について、今は利用していないができれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を内に数字でご記入ください（数字は一律に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

1. 利用していないが、今後利用したい
1週当たり 回 または 1ヶ月当たり 回 程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
1週当たり 更に 回 または 1ヶ月当たり 更に 回 程度
3. 利用しない、利用日数を増やしたいとは思わない

問20- (1) 問20の(1)または(2)で、「3.月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、月に1～2回利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため	2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため	4. 息抜きのため
5. その他()	

問21 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時、18時のように24時間制でご記入ください(数字は一律に一字)。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない	
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	利用したい時間帯
3. 休みの期間中、週に数日利用したい	⇨ □□ 時 □□ 分から □□ 時 □□ 分まで

問21- (1) 問21で、「3.週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、週に数日利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 週に数回仕事が入るため	2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため	4. 息抜きのため
5. その他()	

問19 下記に挙げる事業①～⑨について、「A知っている」「Bこれまでに利用したことがある」「C今後利用したい」の各項目の、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

	A	B	C
	知っている	これまでに利用したことがある	今後利用したい
① 子育て情報サイト「やまねっこ」	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
② マタニティカフェ（同窓学級）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
③ 産後ケア事業（待合型）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
④ 養育支援訪問事業（ヘルパー事業）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑤ ペピー教室・セルフケア体操・離乳食クッキングなど	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑥ 発育・発達相談（ほっとルーム、5歳児相談）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑦ 家庭児童相談（虐待、DV、子育て全般）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑧ ファミリー サポート センター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑨ 児童館	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的な」教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時、18時のように24時間制でご記入ください（数字は一律に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育園、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない	
2. ほぼ毎週利用したい	利用したい時間帯
3. 月に1～2回は利用したい	⇨ □□ 時 □□ 分から □□ 時 □□ 分まで

(2) 日曜・祝日

1. 利用する必要はない	
2. ほぼ毎週利用したい	利用したい時間帯
3. 月に1～2回は利用したい	⇨ □□ 時 □□ 分から □□ 時 □□ 分まで

宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や
宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問 23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や療育のため以外に、私用、親の通院、不定期の就
労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○を
つけ、この1年間の利用日数（おおよそ）も□□内に数字でご記入ください（数字は一枚に一字）。

利用している事業・日数（年間）		計	日
1. 一時保育 （通所・介護などやむを得ない緊急の場合、保育園などで一時的 に子どもを保育する事業）		□□	日
2. 幼稚園の預かり保育 （通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する 場合のみ）		□□	日
3. ファミリー サポート センター （地域住民が子どもを預かる事業）		□□	日
4. ベビーシッター		□□	日
5. その他（ ）		□□	日
6. 利用していない			

問 23-（1） 問 23 で「6. 利用していない」と回答した方にうかがいます。現在利用していない理
由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない	2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある	4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能 時間・日数など）がよくない
5. 利用料がかかる・高い	6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象になるかどうか わからない	8. 事業の利用方法（手続き等）がわから ない
9. その他（ ）	

問 24 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用
したいと思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日
数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を□□内に数字でご記入くだ
さい。数字は一枚に一字）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計	日
ア. 私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の 思い事等）、リフレッシュ目的	□□	日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む） や親の通院等	□□	日
ウ. 不定期の就労	□□	日
エ. その他（ ）	□□	日
2. 利用する必要はない		

問 24-（1） 問 24 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問 24 の目的でお子さんを預
ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われるですか。当てはまる番号すべ
てに○をつけてください。

1. 大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育園等）
2. 小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援拠点等）
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で開催する事業（例：ファミリー サポート センター等）
4. その他（ ）

問 25 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹を含む）の育児疲れ
や育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いま
すか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する
事業）の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入く
ださい（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を□□内に数字でご記入ください（数字
は一枚に一字）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

利用希望	泊数
1. 利用したい	計 □□ 泊
ア. 冠婚葬祭	□□ 泊
イ. 保護者や家族の育児疲れ・不安	□□ 泊
ウ. 保護者や家族の病気	□□ 泊
エ. その他（ ）	□□ 泊
2. 利用する必要はない	

宛名のお子さんが5歳以上である方に、
小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

⇒5歳未満の方は、問31へお進みください

問26 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちには、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には、利用を希望する時間も□□内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください（数字は一律に一字）。

回答例	週 5 日くらい
①. 自宅	
1. 自宅	週 □ 日くらい
2. 祖父母や友人・知人宅	週 □ 日くらい
3. 習い事 （ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 □ 日くらい
4. 児童館 ※1	週 □ 日くらい
5. 放課後児童クラブ（学童保育） ※2	週 □ 日くらい → 下校時から □□ 時まで
6. ファミリー サポート センター ※3	週 □ 日くらい
7. その他（図書館、公園など）	週 □ 日くらい

※1 児童館：18歳未満の全ての子どもが利用でき、乳幼児を育児中の親子の交流の場や小学生等の放課後の居場所を提供しています。

※2 放課後児童クラブ（学童保育）：保護者が就労等により居間家庭にいない場合などに、支援員の下の子どもたちの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、毎月の利用料がかかります。

※3 ファミリー サポート センター：子育てに関する知識を持った地域住民が子育て家庭等の身近な場所で開催する事業で、生後3ヶ月後から12歳の子どもを持つ保護者が利用できます。

問27 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になった時に、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には、利用を希望する時間も□□内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください（数字は一律に一字）。

※かきり先のことになりましたが、現在お持ちのイメージでお答えください。

回答例	週 5 日くらい
①. 自宅	
1. 自宅	週 □ 日くらい
2. 祖父母や友人・知人宅	週 □ 日くらい
3. 習い事 （ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 □ 日くらい
4. 児童館	週 □ 日くらい
5. 放課後児童クラブ（学童保育）	週 □ 日くらい → 下校時から □□ 時まで
6. ファミリー サポート センター	週 □ 日くらい
7. その他（図書館、公園など）	週 □ 日くらい

問28 問26または問27で「5. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日に、放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望はありますか。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□□内に（例）09時、18時のように24時間制でご記入ください（数字は一律に一字）。

(1) 土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	⇨	利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		□□ 時から □□ 時まで
3. 利用希望はない		

(2) 日曜・祝日 ※現在、北杜市では行っていません。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	⇨	利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		□□ 時から □□ 時まで
3. 利用希望はない		

問 29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい時間を、□□内に（例）09時、18時 のように24時間制で記入ください（数字は一位に一字）。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	⇒	利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	⇒	□□時から□□時まで
3. 利用希望はない		

問 30 小学生のお子さんが対象となる放課後子ども教室（ほくとワクワク教室）についてうかがいます。あなたの世帯の中に、小学生のお子さんがありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. いる	⇒ 問 30-(1)へ	2. いない	⇒ 問 31へ
-------	-------------	--------	---------

問 30-（1） 問 30 で「いる」に○をつけた方にうかがいます。放課後子ども教室（ほくとワクワク教室）の今年度の利用状況について当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 参加申込書を提出していて、参加している	⇒ 問 30-(2)へ
2. 参加申込書を提出しているが、参加していない	⇒ 問 30-(3)へ
3. 参加申込書を提出していない	⇒ 問 30-(3)へ

問 30-（2） 問 30-（1）で「1. 参加申込書を提出していて、参加している」に○をつけた方にうかがいます。参加させるきっかけについて、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもが希望した	2. 他の保護者からすすめられた
3. 放課後児童クラブ（学童保育）からすすめられた	
4. 子どもの帰宅時間に保護者が不在	5. 他の子どもとの関わりがもてる場に参加させたい
6. 教室の内容について子どもに学ばせたい	
7. その他	□

問 30-（3） 問 30-（1）で「2. 参加申込書を提出していないが、参加していない」「3. 参加申込書を提出していない」に○をつけた方にうかがいます。参加していない理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 開催日に習い事をしている	2. 児童館や図書館を利用する
3. 教室までお迎えに来られる保護者がいない	
4. 教室内容に興味がない	
5. 預けることが不安	
6. その他	□

問 30-（4） 放課後子ども教室（ほくとワクワク教室）に期待することはどのようなことですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 地域住民や異年齢児童との交流	
2. 学校や家庭では体験できない学習の充実	
3. 放課後の子どもたちの安全・安心な居場所の確保	
4. その他	□

育児休業や短時間勤務制度など
職場の同立支援制度についてうかがいます。

問 31 宛名のお子さんが生まれたとき、父母のいずれか、または双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由として当てはまる番号すべてを下枠から選んでご記入ください。

母親（いずれかに○）	父親（いずれかに○）
1. 働いていなかった 問 31-(1)へ	1. 働いていなかった 問 31-(1)へ
2. 取得した（取得中である） 問 31-(1)へ	2. 取得した（取得中である） 問 31-(1)へ
3. 取得していない	3. 取得していない

「3. 取得していない」を選択した方のみ
その理由を下記から選択してください。

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事に忙しかった	2. 仕事に忙しかった
3. （産休後）仕事に早く復帰したかった	3. 仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった	4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった	5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる	6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育園などに預けることができた	7. 保育園などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した	8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえ	9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえ
るなど、制度を利用する必要がなかった	るなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した	10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）	11. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさ	12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさ
なかった	なかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった	13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）	14. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）
を取得できることを知らず、退職した	を取得できることを知らず、退職した
15. その他（	15. その他（

⇒ 問 31-(1)へ

問31- (1) 子どもが原則1歳（保育園における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は2歳）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問31- (2) 問31で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。該当しない方は問32へお進み下さい。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親	
1. 育児休業取得後、職場に復帰した	⇒ 問 31-(3) へ
2. 現在も育児休業中である	⇒ 問 31-(9) へ
3. 育児休業中に離職した	⇒ 問 32 へ
(2) 父親	
1. 育児休業取得後、職場に復帰した	⇒ 問 31-(3) へ
2. 現在も育児休業中である	⇒ 問 31-(9) へ
3. 育児休業中に離職した	⇒ 問 32 へ

問 31- (2) で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。母親・父親ともに該当しない方は、問 31- (9) へお進みください。母親・父親のいずれかが該当する場合は、該当する方のみお答えください。

問31- (3) 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。

(1) 母親	
1. 年度初めの入園に合わせたタイミングだった	2. それ以外だった
(2) 父親	
1. 年度初めの入園に合わせたタイミングだった	2. それ以外だった

問31- (4) 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときで取りかつたですか。□□内に数字でご記入ください（数字は一位に一字）。

(1) 母親			
実際の取得期間	□ 歳 □ □ ヶ月	希望	□ 歳 □ □ ヶ月
(2) 父親			
実際の取得期間	□ 歳 □ □ ヶ月	希望	□ 歳 □ □ ヶ月

問31- (5) お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りかつたですか。□□内に数字でご記入ください（数字は一位に一字）。

(1) 母親	
□ 歳 □ □ ヶ月	
(2) 父親	
□ 歳 □ □ ヶ月	

問31- (6) 問31- (4) で実際の復帰と希望が異なる方に希望の時期に職場復帰しなかった（できなかった）理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親	
1. 希望する保育園に入るため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他（ ）	

②父親	
1. 希望する保育園に入るため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他（ ）	

(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親	
1. 希望する保育園に入らなかったため	2. 自分や子どもなどの体調が悪化しなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	
6. その他（ ）	

②父親	
1. 希望する保育園に入らなかったため	2. 自分や子どもなどの体調が悪化しなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	
6. その他（ ）	

問31-（7） 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
2. 利用した
3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった） ⇒ 問31-（8）へ

(2) 父親

1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
2. 利用した
3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった） ⇒ 問31-（8）へ

問31-（8） 問31-（7）で「3. 利用しなかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 母親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育園の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえなど、子どもをみてくれる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他（ ）

(2) 父親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育園の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえなど、子どもをみてくれる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他（ ）

問31-（9） 問31-（2）で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。母親も父親も該当しない方は問32へお進み下さい。宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい
2. 1歳になる前に復帰したい

(2) 父親

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい
2. 1歳になる前に復帰したい

こどもの権利についてうかがいます。

問32 あなたは、「こどもの権利」という言葉を知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 名前も内容も知っている
2. 名前は知っているが内容は知らない
3. 知らない

問33 こどもの権利の中で特に大切だと思うことはどれですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 人種や性別、宗教などで差別されないこと
2. 障がいのある子が差別されないこと
3. こどもが知りたいたいことを隠さないこと
4. 暴力や言葉で傷つけないこと
5. 家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと
6. 自分の考えを自由に言えること
7. 人と違う自分らしさが認められること
8. 自分の秘密が守られること
9. 自分のことは自分で決められること
10. 自由な時間をもつこと
11. 自由な呼び掛けでグループを作り集まれること
12. 必要な情報を知ることや、参加する手助けを受けられること

問34 あなたは、子育てをしていて、子どもからの意見や要望を聞き、それらを取り入れるように意識をしたことはありませんか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 常にしている
2. ときどきしている
3. あまりしていない
4. まったくしない

問35 あなたは、以下のことについてどのように思いますか。それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

1 2 3	1 2 3	1 2 3
1 2 3	1 2 3	1 2 3
1 2 3	1 2 3	1 2 3

ヤングケアラーについてうかがいます。

※ヤングケアラーとは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものこと

問 36 あなたは、「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありますか。当てはまる番号
1つに○をつけてください。

1. 聞いたことがあり、内容も知っている
2. 聞いたことはあるが、よく知らない
3. 聞いたことはない

質問 37 あなたの身近に、ヤングケアラーと思われる子どもがいますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. ある ⇒ 問 37-(1)へ
3. わからない

問37-(1) 問37で「1. ある」と回答した方にうかがいます。あなたはその家庭に対し、どのようなことをしましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 相談にのった
2. 市の窓口や相談機関等に相談した ⇒ 問 37-(2)へ
3. 何もしなかった

問37-(2) 問37-(1)で「2. 市の窓口や相談機関等に相談した」と回答した方にうかがいます。その相談先はどこですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 保育士、幼稚園の先生、学校の先生
2. 子育て世代包括支援センター（ネットワーク推進課）
3. 家庭児童相談室おひさま
4. 民生・児童委員、主任児童委員
5. 教育相談（教育支援センターエールなど）
6. その他（ ）

最後に、北杜市の子育て関連の取り組み全般についてうかがいます。

問38 北本市における子育ての環境や支属への満足度・楽しさ・大変さ・子育てのしやすさについて、それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

満足度が低い	1	2	3	4	5	満足度が高い
子育てが楽しい	1	2	3	4	5	子育てが楽しくない
子育てが大変と感ずる	1	2	3	4	5	子育てが大変と感ずる
子育てしやすい	1	2	3	4	5	子育てしにくい

問39 市の子育て環境や子育て支援事業に対して、あなたはどの程度満足を感じていますか。
次の①～④の項目についてそれぞれ評価し、あなたのお考えに最も近いものを1つずつ選び、番号を○印で囲んでください。

	非常に満足	満足	不満足	非常に不満	利用したことがない	不満・非常に不満な場合の理由をお書き下さい。
① 子育て支援センター	1	2	3	4	5	
② つどいの広場	1	2	3	4	5	
③ 保育料第2子以降無 料化制度	1	2	3	4	5	
④ 市立保育園	1	2	3	4	5	
⑤ 認定こども園	1	2	3	4	5	
⑥ 病児・病後児保育	1	2	3	4	5	
⑦ 放課後児童クラブ (学童保育)	1	2	3	4	5	
⑧ ファミリーサポート センター	1	2	3	4	5	
⑨ 児童館	1	2	3	4	5	
⑩ 子育て情報サイト 「やまねっと」	1	2	3	4	5	
⑪ 子育て環境全般	1	2	3	4	5	

問40 あなたは、北杜市の保育園・認定こども園の保育内容の充実のためにどのような取組が必要だと思いますか。主なもの2つに○をつけてください。

1. 基本的な生活習慣を身に付ける
2. あいざやルールを守る意識を育てる
3. 自然とふれあう体験をする
4. 世代間交流など、いろいろな人とふれあう体験をする
5. 保国・認定こども園と小学校のつながりを深める
6. 保護者同士が子育てについて情報交換しあえるネットワークづくり
7. その他（
8. 特になし
9. わからない）

問41 お子さんの子育てに関して、悩んでいるのはどのようなことですか。当てはまる理由すべてに○をつけてください。

1. 遊ばせ方やしつけに関すること
2. 遊びや食事・生活に関すること
3. 食事や栄養に関すること
4. 子どもの将来への不安
5. 子どもの健康など仕事に関すること
6. 子どもが病気になること
7. 子どもの教育・学校に関すること
8. 子どもの保護者どうしの関わり方のこと
9. 子育てで精神的に負担なこと
10. 子育てで精神的に負担なこと
11. 子育てで精神的に負担なこと
12. 子育てで精神的に負担なこと
13. 子育てで精神的に負担なこと
14. 子育てで精神的に負担なこと
15. 子育てで精神的に負担なこと
16. 子育てで精神的に負担なこと

問 42 あなたは子育てに関する情報を主にごどのように入手していますか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

1. 家族、友人
2. 保育園や学校からのお知らせ
3. インターネット
4. 市の広報
5. 保育園・幼稚園などの保護者
6. 健診時
7. 雑誌
8. 病院
9. 町内会等の自治組織
10. 市の窓口
11. その他（ ）

問43 市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいと期待していますか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

1. 手当の増額など、子育てのための経済的支援の拡充（具体的に：）
2. 安心して子どもが医療機関を受診できる体制の整備（具体的に：）
3. 子どもの遊び場の拡充（具体的に：）
4. 保育園や幼稚園などの費用負担の軽減
5. 保育サービスの充実（具体的に：）
6. 子育て支援策に関する情報提供の拡充
7. 出産や不妊治療に対する経済的支援の充実
8. 産後の短縮等の実施など、男性も含めた働き方の見直し
9. 男女共同参画意識と、男性の家事・育児への参加の促進
10. 安心して子育てのできるための相談機関の充実
11. きめ細かなサービスが期待できるNPO等によるサービスの提供（具体的に：）
12. 市営住宅への多子世帯の優先入居や広い部屋割り当てなどの住宅面の配慮
13. パパフレンド施設の整備など、子育てにやさしいまちづくり（具体的に：）
14. 子どもを対象とした犯罪・事故の軽減による安全・安心のまちづくり
15. 親子が気軽に集まれる身近な場、イベント等の機会の確保（具体的に：）

問 44 あなたは、これから北杜市で暮らしたいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 暮らしたい
2. 別の場所ですらしてから、北杜市に戻ってきたい
3. 別の場所ですらしたい

問45 あなたは、以下のことについてどのように思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

子どもまんが社会の実現に向かっている	そう思う 1 ← 2 → そう思わない 3
結婚、妊娠、子ども・子育てに温かい社会の実現に向かっている	そう思う 1 ← 2 → そう思わない 3

問 46 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

[illegible]

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れ、**6月30日(日)まで**に投函してください。

2 小学生児童保護者

北杜市子ども・子育て支援事業計画策定に関するニーズ調査

(小学生用)

皆様には、日頃から市政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。
さて、本市では「子ども・子育て支援法」に基づく子ども・子育て支援の制度の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする「第2期北杜市子ども・子育て支援事業計画」(令和2年度～令和6年度)を策定し、事業に取り組んでいます。

本調査は、中期計画の策定にあたり、皆様の教育・保育・子育て支援に関するサービスの「利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために実施させていただきます。

皆様のご回答が北杜市の子どもたちの未来を創ります。ご多忙とは存じますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。

令和6年6月 北杜市長 上村 英司

◆ご記入にあたってのお願い◆

今回の調査は、市内にお住まいの小学生のお子さんがいっしょに1,000世帯にお願いしています。

宛名のお子さんについてご記入ください。

皆様からいただいたご回答は、統計的に処理し、個別の回答者や回答内容が公表されることはありません。また、調査結果は市の施策策定以外の目的に使用することはありませんので、安心してご答えください。

1. ご回答は、**宛名のお子さんの保護者の方**が記入してください。

2. アンケート調査票には、当てはまる番号にO印を付けるものと、具体的な内容を記述していただくものがあります。設問にしたがって、鉛筆か、黒または青のボールペンで、はっきりと記入してください。

3. アンケートはインターネットの回答が可能です。

その場合は、右の二次元コードもしくは下記のURLから回答ください。

URL : <https://questant.jp/q/HOD6PX6W>

ID : * * * * *



4. ご回答いただいた本調査票は、封筒に入れ、

令和6年6月30日(日) までに提出してください。

※住所・氏名のご記入は必要ありません。

5. アンケート調査の内容や記入方法についてご不明の点がございましたら、お手数ですが、下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先

北杜市 ことば政策部 子育て政策課
〒408-0188 北杜市須玉町大豆生田961-1
TEL 0551-42-1332 FAX 0551-42-2335
北杜市子育て情報サイト「やまなつと」: <https://www.city.hokuto.yamanashi.jp/kosodate/>

回答するにあたってお読みください

ここで回答していただいた内容(施設や事業の利用希望等)は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。

なお、子ども・子育て支援新制度は、以下のような考え方に基づいています。

- 急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしつかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。
地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるよう支援を目指しています。

※ この調査で「子育て」とは教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援を指し、「教育」とは、家庭や地域での教育を含めた広い意味で用いています。

お住まいの地域についてうかがいます。

問 1 お住まいの町に当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|--------|---------|
| 1. 明野町 | 2. 須玉町 |
| 3. 高根町 | 4. 長坂町 |
| 5. 大森町 | 6. 小淵沢町 |
| 7. 白州町 | 8. 武川町 |

宛名のお子さんのご家族の状況についてうかがいます。

問 2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください(□□内に数字で○ご記入ください。数字は一位に一字)。

平成 □□ 年 □□ 月 生まれ

問 3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を□□内に数字で○ご記入ください。

きょうだい数 □□ 人

問 4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係で、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | |
|-------|-------|------------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他 () |
|-------|-------|------------|

問 5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者はいない |
|-----------|------------|

問 6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にに行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | | | |
|----------|---------|---------|----------|------------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 | 4. 主に祖父母 | 5. その他 () |
|----------|---------|---------|----------|------------|

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問 7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設等職員を含む)ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | |
|-----------------------|-------------------|------------|--------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. 祖父母 | 4. 小学校 |
| 5. 児童館・放課後児童クラブ(学童保育) | 6. 学習塾・各種教室・運動クラブ | 7. その他 () | |

問 8 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に、影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

- | | | |
|-----------------------|-------------------|------------|
| 1. 家庭(祖父母等へ預けるケースも含む) | 2. 地域 | 3. 小学校 |
| 4. 児童館・放課後児童クラブ(学童保育) | 5. 学習塾・各種教室・運動クラブ | 6. その他 () |

問 9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------------|--------------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | ⇒ 問 9- (1) へ |
| 2. 緊急時または用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | ⇒ 問 9- (2) へ |
| 4. 緊急時または用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | |
| 5. いずれもない | ⇒ 問 10 へ |

問 9- (1) 問 9 で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるが、少し不安がある |
| 6. その他 () |

問 9- (2) 問 9 で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるが、少し不安がある |
| 6. その他 () |

問 10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人がある、または相談でき
る場所がありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 「いる」または「ある」⇒問10-(1)へ

2. いずれも「ない」⇒問 11 へ

問10-（1） 問10で “1. 「いる」または「ある。」” に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て
（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号す
べてに○をつけてください。

1. 配偶者

2. 親族（親・きょうだい）

3. 友人や知人

4. 近所の人

5. 子育て支援施設（児童館等）やNPO法人

6. 保健師

7. 小学校教育

8. 民生委員・児童委員

9. かかりつけの医師

10. 学習塾・運動クラブ等の指導者

11. 自治体の子育て関連担当窓口

12. 児童館・政課後児童クラブ（学童保育）の職員

13. その他 []

問 11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートが
あればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問 12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。
(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない

2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である

3. ハート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない

4. ハート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である

5. 以前は就労していたが、現在は就労していない

6. これまで就労したことがない

⇒ (1)-1 へ

⇒ (2) へ

(1) -1 (1) で「1. ～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労
日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時
間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護
休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください（□□内に数字でご記入くださ
い。数字は一位に一字）。

1週当たり □ □ 日

1日当たり □ □ 時間

(1) -2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパー
ンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況について
お答えください。時刻は、必ず（例）08時、18時のように、24時間制でお答えくだ
さい（□□内に数字でご記入ください。数字は一位に一字）。

家を出る時刻 □ □ 時 □ □ 分

帰宅時刻 □ □ 時 □ □ 分

(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、 育休・介護休業中ではない	⇒ (2)-1へ
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、 育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等（フルタイム）以外の就労）で就労しており、 育休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等（フルタイム）以外の就労）で就労しているが、 育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	
6. これまで就労したことがない	

⇒ 問14へ

(2)-1 (2)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間がある一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください（□□内に数字でご記入ください。数字は一律に一字）。

1週当たり	日	1日当たり	時間
-------	---	-------	----

(2)-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時刻は、必ず（例）08時、18時のように、24時間制でお答えください（□□内に数字でご記入ください。数字は一律に一字）。

家を出る時刻	時	分	帰宅時刻	時	分
--------	---	---	------	---	---

問13 問12の(1)または(2)で「3.」「4.」(パート・アルバイト等で就労している)のいずれかに○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問14へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（フルタイム）以外の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（フルタイム）以外）をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（フルタイム）以外の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（フルタイム）以外）をやめて子育てや家事に専念したい

問14 問12の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問15へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけ、該当する□□内に数字をご記入ください（数字は一律に一字）。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが□□歳になったときに就労したい
3. すぐにも、または1年以内に就労したい →希望する就労形態

①. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）

②. パートタイム、アルバイト等（「①」以外）

（数字に○、②は□に数字を記入）
→1週当たり□日 1日当たり□時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが□□歳になったときに就労したい
3. すぐにも、または1年以内に就労したい →希望する就労形態

①. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）

②. パートタイム、アルバイト等（「①」以外）

（数字に○、②は□に数字を記入）
→1週当たり□日 1日当たり□時間

宛名のお子さんに対する地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問15 下記に挙げる事業①～⑥について、「A知っている」「Bこれまでに利用したことがある」「C今後利用したい」の項目ごとに、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

	A	B	C
	知っている	これまでに利用したことがある	今後利用したい
① 子育て情報サイト「やまねっと」	はい	いいえ	はい
② 放課後児童クラブ（学童保育）	はい	いいえ	はい
③ 放課後子ども教室（ほくとワフワフ教室）	はい	いいえ	はい
④ 児童館	はい	いいえ	はい
⑤ 教育相談（学校や教育委員会等）	はい	いいえ	はい
⑥ ファミリー サポート センター	はい	いいえ	はい

宛名のお子さんの病気の対応についてうかがいます。

問 16 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで小学校に通えなかったことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. あった ⇒ 問 16-(1)へ 2. なかった ⇒ 問 17へ

問16- (1) 宛名のお子さんが病気やケガで小学校に通えなかった場合に、この1年間にに行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□□内に数字でご記入ください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一律に一字)。

1年間の対処方法	日数
1. 父親が仕事を休んだ	□□ 日
2. 母親が仕事を休んだ	□□ 日
3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった	□□ 日
4. 父親または母親のうち就労していない方が子どもを看た	□□ 日
5. 病児・病後児の保育を利用した	□□ 日
6. ファミリー サポート センターを利用した	□□ 日
7. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□□ 日
8. その他 ()	□□ 日

⇒ 問 16-(5)へ

問16- (2) 問16- (1) で「1.」「2.」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても□□内に数字でご記入ください(数字は一律に一字)。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医への受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ □□ 日 ⇒ 問 16-(3)へ
2. 利用したいとは思わない ⇒ 問 16-(4)へ

問16- (3) 問16- (2) で「1.」できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われるですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 児童館・児童養護施設等に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で開催する事業(例：ファミリー サポート センター等)
4. その他 ()

⇒ 問 17へ

問16- (4) 問16- (2) で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもを他人に看てもらうのは不安がある 2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間、日数) 4. 利用料がかかる・高い
など) がよくない
5. 利用料がわからない
6. 親が仕事を休んで対応する
7. その他 ()

⇒ 問 17へ

問16- (5) 問16- (1) で「3.」～「8.」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「3.」～「8.」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても数字でご記入ください(数字は一律に一字)。

1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ 仕事を休んで看たかった日数 □□ 日 ⇒ 問 17へ
2. 休んで看ることは非常に難しい ⇒ 問 16-(6)へ
3. 就労していない者がいるので、問題ない ⇒ 問 17へ

問16- (6) 問16- (5) で「2. 休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない 2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないので休めない 4. その他 ()

お子さんの放課後の過ごし方と「放課後児童クラブ(学童保育)」
についてうかがいます。

問7 宛名のお子さんは、現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。また、希望としてどのような場所を過ごさせたいですか。当てはまる番号すべてに○を記入し、それ以外に利用している、または希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には、利用している、または希望する時間が□内1～5数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように2.4時間制でご記入ください（数字は1枠に1文字）。

1 通当たりの日数[数字を記入]	現 状		希 望	
	週 5 日くらい	週 1 日くらい	週 5 日くらい	週 1 日くらい
①. 自宅				
1. 自宅	週 5 日くらい	週 1 日くらい	週 5 日くらい	週 1 日くらい
2. 祖父母や友人・知人宅	週 5 日くらい	週 1 日くらい	週 5 日くらい	週 1 日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、 学習塾など)	週 5 日くらい	週 1 日くらい	週 5 日くらい	週 1 日くらい
4. 児童館 ※1	週 5 日くらい	週 1 日くらい	週 5 日くらい	週 1 日くらい
5. 放課後児童クラブ (学童保育) ※2	週 5 日くらい → 下校時から 5 時まで	週 1 日くらい → 下校時から 1 時まで	週 5 日くらい	週 1 日くらい → 下校時から 1 時まで
6. ファミリー サポート センター ※3	週 5 日くらい	週 1 日くらい	週 5 日くらい	週 1 日くらい
7. その他 (図書館、公園など)	週 5 日くらい	週 1 日くらい	週 5 日くらい	週 1 日くらい

※1 児童館：18歳未満の全ての子どもが利用でき、乳幼児を育児中の親子の交流の場や小学生等の放課後の居場所を提供しています。

※2 放課後児童クラブ（学童保育）：保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、支援員の下で子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、毎月の利用料がかかります。

※3 ファミリー サポート センター：子育てに関する知識を持った地域住民が子育て家庭等の身近な場所
で保育する事業で、生後3ヶ月後から12歳の子どもを持つ保護者が利用できます。

宛名のお子さんが小学校3年生以下の方にはうかがいます。
宛名のお子さんが小学校4年生以上の場合は間20へお進みください。

宛名のお子さんが、小学校高学年（4～6年生）になった時に、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所ですごさせたいと思いますか、当に貼る番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ（学童保育）」の場合は、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。（例）18時のように24時間制でご記入ください。（数字は一位に一字）

放課後を過ごさせたい場所[複数選択可]		1 週当たりの希望日数[数字を記入]
1. 自宅	週 日くらい	
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 日くらい	
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 日くらい	
4. 児童館	週 日くらい	
5. 放課後児童クラブ (学童保育)	週 日くらい → 下校時から 時まで	
6. ファミリー サポート センター	週 日くらい	
7. その他 (図書館、公園など)	週 日くらい	

問 19 問 17 または問 18 で「5. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日・夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望はありますか。（1）～（3）それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用しない時間帯を、□□内に（例）09時、18時のように24時間制で記入ください（数字は一律に一字）。

(1) 土曜日	
1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} 利用したい時間帯 ↑ 時から 時まで
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用希望はない	
(2) 日曜・祝日 ※現在、北杜市では行っていません。	
1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} 利用したい時間帯 ↑ 時から 時まで
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用希望はない	
(3) 長期休暇中（夏休み・冬休みなど）	
1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} 利用したい時間帯 ↑ 時から 時まで
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用希望はない	

問 20 放課後子ども教室（ほくとワクワク教室）についてうかがいます。今年度の利用状況について当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 参加申込書を提出していて、参加している ⇒ 問 20-（1）へ
2. 参加申込書を提出しているが、参加していない ⇒ 問 20-（2）へ
3. 参加申込書を提出していない ⇒ 問 20-（2）へ

問 20-（1） 問 20 で「1. 参加申込書を提出していて、参加している」に○をつけた方にうかがいます。参加させるきっかけについて、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもが希望した
2. 他の保護者からすすめられた
3. 放課後児童クラブ（学童保育）からすすめられた
4. 子どもの帰宅時間に保護者が不在
5. 他の子どもとの関わりがもてる場に参加させたい
6. 教室の内容について子どもに学ばせたい
7. その他 []

⇒ 問 20-（3）へ

問 20-（2） 問 20 で「2. 参加申込書を提出しているが、参加していない」、「3. 参加申込書を提出していない」に○をつけた方にうかがいます。参加していない理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 開催日に習い事をしている
2. 児童館や図書館を利用する
3. 教室までお迎えに来られる保護者がいない
4. 教室内容に興味がない
5. 教室スタッフに知り合いがないので、預けることが不安
6. その他 []

問 20-（3） 放課後子ども教室（ほくとワクワク教室）に期待することはどのようなことですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 地域住民や異年齢児童との交流
2. 学校や家庭では体験できない学習の充実
3. 放課後の子どもの安全・安心な居場所の確保
4. その他 []

こどもの権利についてうかがいます。

問 21 あなたは、「こどもの権利」という言葉を知っていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 名前も内容も知っている
2. 名前は知っているが内容は知らない
3. 知らない

問 22 こどもの権利の中で特に大切だと思うことはどれですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 人種や性別、宗教などで差別されないこと
2. 障がいのある子が差別されないこと
3. こどもが知りたいことを隠さないこと
4. 暴力や言葉で傷つけないこと
5. 家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと
6. 自分の考えを自由に言えること
7. 人と違う自分らしさが認められること
8. 自分の秘密が守られること
9. 自分からは自分で決められること
10. 自由な時間をもつこと
11. 自由な呼び掛けでグループを作り集まれること
12. 必要な情報を知ることや、参加する手助けを受けられること

問 23 あなたは、子育てをしていて、子どもからの意見や要望を聞き、それらを取り入れるように意識をしたことはありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 常にしている
2. ときどきしている
3. あまりしていない
4. まったくしたことがない

問 24 あなたは、以下のことについてどのようなように思いますか。それぞれ当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

こどもは権利の主体である	そう思う 1	←	→	そう思わない 3
あなたの周りには、こどもや若者の遊びや体験活動の機会や場が十分に	そう思う 1	←	→	そう思わない 3
ある 障害のあるこども・若者、発達に特性のあるこども・若者の地域社会への参加・包摂（インクルージョン）が推進されている	そう思う 1	←	→	そう思わない 3

ヤングケアラーについてうかがいます。

※ヤングケアラーとは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものこと

問 25 あなたは、「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありますか。当てはまる番号
1つに○をつけてください。

1. 聞いたことがあり、内容も知っている
2. 聞いたことはあるが、よく知らない
3. 聞いたことはない

問26 あなたの身近に、ヤングケアラーと思われる子どもがいる家庭はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. ある ⇒ 問26-(1)へ
2. ない
3. わからない

問26-(1) 問26で「1. ある」と回答した方にうかがいます。あなたはその家庭に対し、どのようなことをしましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 相談にのった

2. 市の窓口や相談機関等に相談した ⇒ 問 26-(2)へ
3. 何もなかった

問26-(2) 問26-(1)で「2.市の窓口や相談機関等に相談した」と回答した方にうかがいます。

その相談先はどこですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 学校の先生

2. 子育て世代包括支援センター（ネウボラ推進課）

3. 家庭児童相談室おひさま

4. 民生・児童委員、主任児童委員

5. 教育相談（教育支援センターなど）

6. その他()

最後に、北杜市の子育て関連の取り組み全般についてうかがいます。

問27 北杜市における子育ての環境や支援への満足度・楽しさ・大変さ・子育てしやすさについて、それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

満足度が高い	1	2	3	4	5	満足度が低い
子育てが楽しい	1	2	3	4	5	子育てが楽しくない
子育てが大変と感じない	1	2	3	4	5	子育てが大変と感じる
子育てしやすい	1	2	3	4	5	子育てしにくい

問28 市の子育て環境や子育て支援事業などに対して、あなたはどの程度満足を感じていますか。
次の①～⑧の項目についてそれぞれ評価し、あなたのお考えに最も近いものを1つずつ選び、番号を○印で囲んでください。

	非常に満足	満足	不満足	非常に不満足	利用したことがない	不満・非常に不満な場合の理由をお書き下さい。
①保育料第2子以降無料化制度	1	2	3	4	5	
②市立保育園	1	2	3	4	5	
③認定こども園	1	2	3	4	5	
④病児・病後児保育	1	2	3	4	5	
⑤放課後児童クラブ (学童保育)	1	2	3	4	5	
⑥児童館	1	2	3	4	5	
⑦子育て情報サイト 「やまねっと」	1	2	3	4	5	
⑧子育て環境全般	1	2	3	4	5	

問 29 お子さんの子育てに関して、悩んでいるのはどのようなことですか。当てはまる理由すべてに○をつけてください。

1. 遊ばせ方やしつけに関すること	2. 子どもの養育費など経済的なこと
3. 食事や栄養に関すること	4. 病気や発達に関すること
5. 子どもの将来への不安	6. 仕事と子育ての両立のこと
7. 子ども部屋の確保など住居に関すること	8. 子どもの教育・学校に関すること
9. 子どもの友達関係のこと	10. 子どもの保護者どうしの関わり方なこと
11. 子育ての情報が入りにくいこと	12. 子育てが精神的に負担なこと
13. 子どもに手をあげてしまうこと	14. 祖父母との子育てに関する考え方の相違
15. 特に悩んでいることはない	16. その他 ()

問 30 あなたは子育てに関する情報を主にどのように入手していますか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

1. 家族、友人	2. 学校からのお知らせ
3. インターネット	4. 市の広報
5. 小学校の保護者	6. 健診時
7. 雑誌	8. 病院
9. 町内会等の自治組織	10. 市の窓口
11. その他 ()	

問 31 市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいと期待していますか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

1. 手当の増額など、子育てのための経済的支援の拡充 (具体的に:)
2. 安心して子どもが医療機関を受診できる体制の整備 (具体的に:)
3. 子どもの遊び場の拡充 (具体的に:)
4. 保育園や幼稚園などの費用負担の軽減
5. 保育サービスの充実 (具体的に:)
6. 子育て支援策に関する情報提供の拡充
7. 出産や不妊治療に対する経済的支援の充実
8. 残業の短縮等の実施など、男性も含めた働き方の見直し
9. 男女共同参画意識と、男性の家事・育児への参加の促進
10. 安心して子育てができるための相談機関の充実
11. きめ細かなサービスが期待できるNPO等によるサービスの充実 (具体的に:)
12. 市営住宅への多世帯の優先入居や広い部屋の割り当てなどの住宅面の配慮
13. バリアフリー施設の整備など、子育てにやさしいまちづくり (具体的に:)
14. 子どもを対象とした犯罪・事故の軽減による安全・安心のまちづくり
15. 親子が気軽に集まれる身近な場、イベント等の機会の確保 (具体的に:)

問 32 あなたは、これからも北杜市で暮らしたいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 暮らしたい
2. 別の場所ですらしてから、北杜市に戻ってきたい
3. 別の場所ですらしたい

問 33 あなたは、以下のことについてどのように思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

こどももなかなか社会の実現に向かっている	そう思う	←	→	そう思わない
	1		2	3
結婚、妊娠、こども・子育てに温かい社会の実現に向かっている	そう思う	←	→	そう思わない
	1		2	3

問 34 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。
同封の返信用封筒に入れ、6月30日(日)までに投函してください。

3 小学5年生

北杜市子ども生活実態調査 小学5年生用

北杜市では、みなさんがまちの活動に参加し、みなさんの力や声がまちづくりに生かされるよう令和2年に「第2期北杜市子ども・子育て支援事業計画」を策定しました。このアンケート調査の結果は、みなさんの気持ちや生活のようすを把握し、子どもにやさしいまちづくりを目指して、子どもの福祉の取り組みに役立てることを目的としていますので、ご協力をお願いします。

令和6年6月 北杜市長 上村 英司

ご回答にあたってのお願い

- ・このアンケートは、依頼文が配られたお子さんが自分で答えてください。
- ・あなたが答えた内容をおうちの方に見せる必要はありません。
- ・あなたが答えた内容を学校の先生が見ることはありません。
- ・名前は「入」方しないでいいです。
- ・正しい答えやまちがった答えはありませんので、あなたが思う答えを選んでください。
- ・「答えたくない質問に答える必要はありません」。
- ・「その他」を選んだ場合は、() 内に答えを入「力」してください。
- ・回答のめやすは、5～10分くらいです。
- ・6月30日(日)までに答えてください。



問1

あなたは、学校での授業がわかりますか。
(あてはまるもの1つに○)

1

いつもわかる

2

だいたいわかる

3

教科によってはわからないことがある

4

わからないことが多い

5

ほとんどわからない

問2

あなたは、将来、どこで仕事をしたいですか。(あてはまるもの1つに○)

1

北杜市

2

県内(市町村名:)

3

県外(都道府県名:)

4

国外

問3

あなたは、夏休みの間(日中)、どこで過ごすことが多かったですか。
(あてはまるもの1つに○)

1

自分の家

2

友達の家

3

塾や習い事(スポーツは除く)

4

児童クラブ(学童保育)

5

教育支援センターエール

6

児童館

7

スポーツクラブ・スポーツ少年団などの活動の場

8

公園

9

図書館

10

ショッピングモール

11

ゲームセンター

12

その他(具体的に)

問4

あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。
(a～cそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

毎日(週7日)食べる

週5日6日

週3日4日

ほとんど食べない

週1日2日

a) 朝食

1

2

3

4

b) 夕食

1

2

3

4

c) 夏休みや冬休みなどの期間の昼食

1

2

3

4

2

352

問5

あなたは困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。
(1～9については、あてはまるものすべてに○)

1

親

2

きょうだい

3

祖父母など

4

学校の先生

5

学校の友達

6

学校外の友達

7

スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど

8

その他の大人(児童クラブの人、塾・習い事の先生、地域の人など)

9

ネットで知り合った人

10

だれにも相談できない

11

だれにも相談したくない

問6

あなたが日常生活の中で感じていることについてお答えください。
(a～gそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
a) 自分に自信がある	1	2	3	4
b) 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる	1	2	3	4
c) 大人は信用できる	1	2	3	4
d) 自分の将来の夢や目標を持っている	1	2	3	4
e) 将来のためにも、今、頑張りたいと思う	1	2	3	4
f) 将来働きたいと思う	1	2	3	4
g) 自分のことが好きだ	1	2	3	4

3

問7

あなたは「ヤングケアラー」ということを知っていますか。
(あてはまるもの1つに○)

1

ことは内容も知っている

2

ことは聞いたことがある

3

知らない

※ヤングケアラーとは、家族にお世話が必要な人がいる場合に、大人が行うようなお世話を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている、18歳未満の子どものこと。

問8

家族の中にあなたがとお世話している人はいいますか。(ここで「お世話」とは、大人が行うような家事や家族のお世話を指します。
(あてはまるもの1つに○)

1

いる →問9に進んでください。

2

いない ⇒ ここで回答は終わりです。

問9

問8の質問で「1 いる」と答えた人にお聞きします。あなたは誰に、どのようなお世話をしていますか。

① あなたがお世話している人 (あてはまるものすべてに○)

6 「その他」に○をした時は、() の中に自分で考えた答えを書いてください。

1	母親	4	祖父
2	父親	5	きょうだい
3	祖母	6	その他 ()

4

353

② あなたはどのようなお世話をしていますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

12 「その他」に○をした時は、() の中に自分で考えた答えを書いてください。

1 食事の準備

8 見守り

2 掃除

9 通訳 (日本語や手話など)

3 洗濯

10 お金の管理

4 家族の入浴やトイレのお世話

11 薬の管理

5 家族の買い物や散歩と一緒に行く

12 その他

6 家族の病院へ一緒に行く

7 話を聞く

③ あなたはその人を何才からお世話していますか。(はっきりとわからない場合は、だいたいでかまいません)

() 才から

④ あなたはその人をどのくらいお世話していますか。(あてはまるもの1つに○)

5 「その他」に○をした時は、() の中に自分で考えた答えを書いてください。

1 ほぼ毎日

4 1か月に数回

2 週に3～5回

5 その他

3 週に1～2回

⑤ あなたは平日何時間くらいお世話をしていますか。(日によって違う場合は、この1か月で一番長かった日の時間を教えてください。)

1日 () 時間くらい

問10 お世話をしていることで、以下のような経験をすることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

8 「その他」に○をした時は、() の中に自分で考えた答えを書いてください。

1 学校を休んでしまう

6 習い事ができない

2 通刻や早退をしてしまう

7 自分の時間が取れない

3 宿題など勉強をする時間が

8 その他

ない

9 特にない

4 眠る時間が足りない

5 友だちと遊ぶことができない

問11 あなたがお世話している家族のことや、お世話の悩みについて誰かに相談したことはありますか。(あてはまるもの1つに○)

1 ある

2 ない

問12 学校や周りの大人にしてみたいことはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

5、9に○をした時は、() の中に自分で考えた答えを書いてください。

1 自分のことについて話を聞いてほしい

4 自分が行っているお世話のすべてを誰かに代わってほしい

2 家族のお世話について相談のってほしい

5 自分が行っているお世話の一部を誰かに代わってほしい

3 家族の病状や障がい、お世話のことなどについてわかりやすく説明してほしい

⇒ 具体的にどんなお世話、もしくはどんな時ですか

()

6 自由に使える時間がほしい

7 勉強を教えてほしい

8 お金の面で支援してほしい

9 その他

10 特にない

11 わからない

あなた自身、あるいは友だちなどで、家族のお世話をする中でこままっていることや心配なことがある場合には、相談ができる窓口として【北社市ネウボラ推進課】があります。あなたのひみつは必ず守り、一番よい方法をいっしょに考えます。

ネウボラ推進課 TEL 0551-42-1401

〒408-0012 北社市高根町真輪697 (保健センター内)

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

調査についての問い合わせ：子育て政策課 TEL 0551-42-1332

4 中学2年生

問1 あなたは、学校での授業がわかりますか。 (あてはまるもの1つに○) <table border="1"> <tr><td>1</td><td>いつもわかる</td></tr> <tr><td>2</td><td>だいたいわかる</td></tr> <tr><td>3</td><td>教科によってはわからないことがある</td></tr> <tr><td>4</td><td>わからないことが多い</td></tr> <tr><td>5</td><td>ほとんどわからない</td></tr> </table>	1	いつもわかる	2	だいたいわかる	3	教科によってはわからないことがある	4	わからないことが多い	5	ほとんどわからない	問2 あなたは、将来、どの学校に進学したいですか。(あてはまるもの1つに○) <table border="1"> <tr><td>1</td><td>中学</td></tr> <tr><td>2</td><td>中学→高校</td></tr> <tr><td>3</td><td>中学→高校→専門学校</td></tr> <tr><td>4</td><td>中学→5年制の高等専門学校</td></tr> <tr><td>5</td><td>中学→高校→短大</td></tr> <tr><td>6</td><td>中学→高校 (または5年制の高等専門学校) →大学</td></tr> <tr><td>7</td><td>中学→高校 (または5年制の高等専門学校) →大学→大学院</td></tr> <tr><td>8</td><td>その他 ()</td></tr> <tr><td>9</td><td>まだわからない →問4に進んでください。</td></tr> </table>	1	中学	2	中学→高校	3	中学→高校→専門学校	4	中学→5年制の高等専門学校	5	中学→高校→短大	6	中学→高校 (または5年制の高等専門学校) →大学	7	中学→高校 (または5年制の高等専門学校) →大学→大学院	8	その他 ()	9	まだわからない →問4に進んでください。
1	いつもわかる																												
2	だいたいわかる																												
3	教科によってはわからないことがある																												
4	わからないことが多い																												
5	ほとんどわからない																												
1	中学																												
2	中学→高校																												
3	中学→高校→専門学校																												
4	中学→5年制の高等専門学校																												
5	中学→高校→短大																												
6	中学→高校 (または5年制の高等専門学校) →大学																												
7	中学→高校 (または5年制の高等専門学校) →大学→大学院																												
8	その他 ()																												
9	まだわからない →問4に進んでください。																												
問3 問2の質問で1～8と答えた場合、その理由を答えてください。 (1～8については、あてはまるものすべてに○) <table border="1"> <tr><td>1</td><td>希望する学校や職業があるから</td></tr> <tr><td>2</td><td>自分の成績から考えて</td></tr> <tr><td>3</td><td>親がそう言っているから</td></tr> <tr><td>4</td><td>兄・姉がそうしているから</td></tr> <tr><td>5</td><td>まわりの先輩や友達がそうしているから</td></tr> <tr><td>6</td><td>お金に余裕がないと思うから</td></tr> <tr><td>7</td><td>早く働きたいから</td></tr> <tr><td>8</td><td>その他 ()</td></tr> <tr><td>9</td><td>とくに理由はない</td></tr> </table>	1	希望する学校や職業があるから	2	自分の成績から考えて	3	親がそう言っているから	4	兄・姉がそうしているから	5	まわりの先輩や友達がそうしているから	6	お金に余裕がないと思うから	7	早く働きたいから	8	その他 ()	9	とくに理由はない											
1	希望する学校や職業があるから																												
2	自分の成績から考えて																												
3	親がそう言っているから																												
4	兄・姉がそうしているから																												
5	まわりの先輩や友達がそうしているから																												
6	お金に余裕がないと思うから																												
7	早く働きたいから																												
8	その他 ()																												
9	とくに理由はない																												

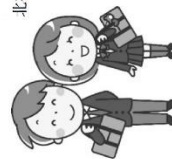
北杜市子どもの生活実態調査 中学2年生用

北杜市では、みなさんがまちの活動に活発に参加し、みなさんの力や声
がまちづくりに生かされるよう令和2年に「第2期北杜市子ども・子育て
支援事業計画」を策定しました。このアンケート調査の結果は、みなさん
の気持ちや生活のようすを把握し、子どもにやさしいまちづくりを目指し
て、子どもの福祉の取り組みに役立てることを目的としていますので、ご
協力をお願いします。

令和6年6月 北杜市長 上村 英司

ご回答にあたってのお願い

- ・このアンケートは、依頼文が配られたお子さんが自分で回答してください。
- ・あなたが回答した内容をおうちの方に見せる必要はありません。
- ・あなたが回答した内容を学校の先生が見ることはありません。
- ・名前は入力しないでいいです。
- ・正しい答えやまちがった答えはありませんので、あなたが思う答えを選んでください。
- ・答えたくない質問に答える必要はありません。
- ・「その他」を選択した場合は、() 内に答えを入力してください。
- ・6月30日までに回答してください。
- ・回答のめやすは、5～10分くらいです。



北杜市役所 子ども政策部 子育て政策課

問4

あなたは、将来、どこで仕事をしたいですか。(あてはまるもの1つに○)

1

北杜市

2

県内(市町村名:)

3

県外(都道府県名:)

4

国外

問5

あなたは、夏休みの間(日中)、どこで過ごすことが多かったですか。(あてはまるもの1つに○)

1

自分の家

2

友達の家

3

塾や習い事(スポーツは除く)

4

学校(部活動・学習会)

5

教育支援センター・エール

6

児童館

8

公園

9

図書館

10

ショッピングモール

11

ゲームセンター

12

その他

7

スポーツクラブ・スポーツ少年団などの活動の場

問6

あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。(a～cそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	毎日食べる (週7日)	週5、6日	週3、4日	週1、2日、 ほとんど食べない
a) 朝食	1	2	3	4
b) 夕食	1	2	3	4
c) 夏休みや冬休みなどの期間の昼食	1	2	3	4

問7

あなたは困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できと思う人はだれですか。
(1～9については、あてはまるものすべてに○)

1

親

2

きょうだい

3

祖父母など

4

学校の先生

5

学校の友達

6

学校外の友達

7

スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど

8

その他の大人(塾・習い事の先生、地域の人など)

9

ネットで知り合った人

10

だれにも相談できない

11

だれにも相談したくない

問8

あなたが日常生活の中で感じていることについてお答えください。
(a～gそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	そう思う	まあそう思う	ない	あまりそう思わない	そう思わない
a) 自分に自信がある	1	2	3	4	
b) 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる	1	2	3	4	
c) 大人は信用できる	1	2	3	4	
d) 自分の将来の夢や目標を持っている	1	2	3	4	
e) 将来のためにも、今、頑張りたいと思う	1	2	3	4	
f) 将来働きたいと思う	1	2	3	4	
g) 自分のことが好きだ	1	2	3	4	

問9 あなたは「ヤングケアラー」ということを知っていますか。
(あてはまるものに1つ○)

1 ことばも内容も知っている

2 ことばは聞いたことがある

3 知らない

※ヤングケアラーとは、家族にお世話が必要ながいる場合に、大人が行うようなお世話を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている、18歳未満の子どものこと。

問10 家族の中にあなたがお世話している人はいいますか。(ここで「お世話」とは、大人が行うような家事や家族のお世話を指します。)
(あてはまるもの1つに○)

1 いる →問11に進んでください。

2 いない ⇒ ここで回答は終わりです。

問11 問10の質問で「1 いる」と答えた人にお聞します。あなたは誰に、どのようなお世話をしていますか。

1 母親

2 父親

3 祖母

4 祖父

5 爷爷奶奶

6 その他 ()

① あなたがお世話している人 (あてはまるものすべてに○)

6 「その他」に○をした時は、()の中に自分で考えた答えを書いてください。

1 食事の準備

2 掃除

3 洗濯

4 家族の入浴やトイレのお世話

5 家族の買い物や散歩と一緒に行く

6 家族の病院へ一緒に行く

7 話を聞く

8 見守り

9 通訳 (日本語や手話など)

10 お金の管理

11 薬の管理

12 その他 ()

② あなたはどのようなお世話をしていますか。お世話している人が何人かいる場合は、あてはまるものすべてに○をしてください。

12 「その他」に○をした時は、()の中に自分で考えた答えを書いてください。

③ あなたはその人を何才からお世話していますか。
(はっきりとわからない場合は、だいたいでかまいません)

() 才から

④ あなたはその人をどのくらいお世話していますか。(あてはまるもの1つに○)

5 「その他」に○をした時は、()の中に自分で考えた答えを書いてください。

1 ほぼ毎日

2 週に3～5日

3 週に1～2日

4 1か月に数日

5 その他 ()

⑤ あなたは平日何時間くらいお世話をしていますか。
(日によって違う場合は、この1か月で一番長かった日の時間を教えてください。)

1日 () 時間くらい

問12 お世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。
 (あてはまるものすべてに○)

8 「その他」に○をした時は、() の中に自分で考えた答えを書いてください。

1 学校を休んでしまう	6 習い事ができない
2 遅刻や早退をしてしまう	7 自分の時間が取れない
3 宿題など勉強をする時間が ない	8 その他 ()
4 眠る時間が足りない	9 特にない
5 友だちと遊ぶことができない	

問13 あなたがお世話している家族のことや、お世話の悩みについて誰かに相談したことはありますか。(あてはまるもの1つに○)

1 ある
2 ない

問14 学校や周りの大人にしてみらいたいことはありますか。
 (あてはまるものすべてに○)

5、9に○をした時は、() の中に自分で考えた答えを書いてください。

1 自分のことについて話を聞いてほしい	
2 家族のお世話について相談にのってほしい	
3 家族の病気や障がい、お世話のことなどについてわかりやすく説明してほしい	
4 自分が行っているお世話のすべてを誰かに代わってほしい	
5 自分が行っているお世話の一部を誰かに代わってほしい ⇒具体的にどんなお世話、もしくはどんな時ですか ()	
6 自由に使える時間がほしい	
7 勉強を教えてほしい	
8 お金の面で支援してほしい	
9 その他 ()	
10 特にない	
11 わからない	

あなた自身、あるいは友だちなどで、家族のお世話をすることで困っていることや心配なことがある場合には、相談ができる窓口として【北杜市ネウボラ推進課】があります。あなたの秘密は必ず守り、一番よい方法をいっしょに考えます。

ネウボラ推進課 TEL 0551-42-1401
 〒408-0012 北杜市高根町箕輪697 (保健センター内)
 質問は以上です。ご協力ありがとうございます。

調査についての問い合わせ：子育て政策課 TEL 0551-42-1332

5 保護者（小学5年生・中学2年生共通）

北杜市子どもの生活実態調査 保護者用

このアンケートは、令和3年度に国で実施した子どもの生活状況調査（子どもの貧困対策調査も含む）に基づき、本市に在学している小学5年生、中学2年生のお子さんがいる保護者の方に、生活の状況やお子さんのことなどについて伺うものです。

また、本市では、子ども達がまちの活動に活発に参加し、子どもの力や子どもたちの声をまちづくりに生かされるよう令和2年に「第2期北杜市子ども・子育て支援事業計画」を策定しました。このアンケート調査の結果に基づきましては、子ども達を取り巻く生活環境を把握し、子どもの福祉の施策に役立てることを目的としていますので、ご協力をお願いいたします。

令和6年6月 北杜市長 上村 英司

ご回答にあたってのお願い

- ・このアンケートの中の「お子さん」は依頼文が配布されたお子さんのことを指します。
- ・依頼文が配布されたお子さんの保護者の方がお答えください。
（保護者以外の方が代わりに回答することは決まらずにしてください）
- ・この調査は無記名です。お名前を回答いただく必要はありません。
- ・あなたが回答した内容を学校の先生が見ることはありません。
- ・質問を読み、あてはまる選択肢の番号を選択してください。
- ・「その他」を選択した場合は、（ ）内にその内容を具体的に回答ください。
- ・答えにくい質問があるかもしれませんが、できるだけすべての質問にお答えいただければ幸いです。
- ・今回の調査では、小学5年生、中学2年生、その保護者の方へアンケートを行います。小学5年生及び中学2年生のどちらにもお子さんがいる場合は、同じ内容の調査票になります。どちらにも回答をお願いします。
- ・6月30日（日）までに回答してください。
- ・回答の目安は、5～10分くらいです。



この調査で「お子さん」とは、調査対象となる小学5年生又は中学2年生のお子さんのことをいいます。「親」「母親」「父親」とは、継母や継父、母親や父親に代わる保護者の方を含みます。

問1 お子さんにご記入している方との関係は、次のどれにあたりますか。お子さんから見た続柄でお答えください。（あてはまるもの1つに○）

1	母親	3	祖父
2	父親	4	その他

問2 お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。単身赴任中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めて教えてください。（a～hは、お子さんから見た続柄です。それぞれについて、あてはまるものにチェックしてください）

a) 祖母	b) 祖父	c) 母親	d) 父親	h) 合計 (あなたや対象のお子さんを含む)
0 いらない	0 いらない	0 いらない	0 いらない	1 2人
1 1人	1 1人	1 1人	1 1人	2 3人
2 2人	2 2人	1 1人	1 1人	3 4人
e) 姉・兄	対象のお子さん (本人)	f) 妹・弟	g) その他	4 5人
0 いらない		0 いらない	0 いらない	5 6人
1 1人		1 1人	1 1人	6 7人
2 2人	1人	2 2人	2 2人	7 8人
3 3人		3 3人	3 3人	8 9人
4 4人以上		4 4人以上	4 4人以上	9 10人以上

問3 保護者の婚姻状況を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

- 1 結婚している (再婚や事実婚を含む。)
- 2 離婚
- 3 死別
- 4 未婚

問4 保護者の就労状況について、あてはまるものを回答してください。
(a, b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	a) 母親	b) 父親
正社員・正規職員・会社役員	1	1
嘱託・契約社員・派遣職員	2	2
パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	3	3
自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)	4	4
働いていない(専業主婦/主夫を含む。)	5	5
わからない	6	6
いない	7	7

問5 お子さんは将来、どの学校に進学すると思いますか。
(あてはまるもの1つに○)

- 1 中学
- 2 中学→高校
- 3 中学→高校→専門学校
- 4 中学→5年制の高等専門学校
- 5 中学→高校→短大
- 6 中学→高校 (または5年制の高等専門学校) →大学
- 7 中学→高校 (または5年制の高等専門学校) →大学→大学院
- 8 その他 ()
- 9 まだわからない →問7に進んでください。

問6 問5の質問で1～8と答えた場合、その理由は何ですか。
(1～5については、あてはまるものすべてに○)

- 1 お子さんがそう希望しているから
- 2 一般的な進路だと思うから
- 3 お子さんの学力から考えて
- 4 家庭の経済的な状況から考えて
- 5 その他 ()
- 6 特に理由はない

問7 あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいいますか。
(a～c それぞれについて、1～3のあてはまるもの1つに○)
また、「1 頼れる人がいる」場合、それはどれですか。(①～⑦のあてはまるものすべてに○)

	a) 子育てに関する相談	b) 重要な事柄の相談	c) いざという時のお金の援助
頼れる人がいる	1	1	1
家族・親族	①	①	①
友人・知人	②	②	②
近所の人	③	③	③
職場の人	④	④	④
民生委員・児童委員	⑤	⑤	⑤
相談・支援機関や福祉の人	⑥	⑥	⑥
その他	⑦	⑦	⑦
いない	2	2	2
人に頼らない	3	3	3

問8 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 大変ゆとりがある
- 2 ゆとりがある
- 3 ふつう
- 4 苦しい
- 5 大変苦しい

問9

世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。
(あてはまるもの1つに○)
※令和5年の年間収入(生計を同一にしている家族全員の収入)についてお答えください。

1

50万円未満

2

50万円～100万円未満

3

100万円～150万円未満

4

150万円～200万円未満

5

200万円～250万円未満

6

250万円～300万円未満

7

300万円～350万円未満

8

350万円～400万円未満

9

400万円～450万円未満

10

450万円～500万円未満

11

500万円～600万円未満

12

600万円～700万円未満

13

700万円～800万円未満

14

800万円～900万円未満

15

900万円～1000万円未満

16

1000万円以上

問10

あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。(あてはまるもの1つに○)

1

よくあった

2

ときどきあった

3

まれにあった

4

まったくなかった

問11

あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。(あてはまるもの1つに○)

1

よくあった

2

ときどきあった

3

まれにあった

4

まったくなかった

5

問12

あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で支払えなかったことがありましたか。
(1～4については、あてはまるものすべてに○)

1

電気料金

2

ガス料金

3

水道料金

4

電話料金

5

あてはまるものはない

問13

あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。
(a～dそれぞれについて、1～3のあてはまるもの1つに○)
また、「3 利用したことがない」場合、その理由は何ですか。
(①～⑤のあてはまるもの1つに○)

a 就学援助 ※1	b 児童扶養手当 ※2	c 自立支援給付 ※3	d 生活困窮者の相談窓口 ※4
現在利用している	1	1	1
現在利用していないが、以前利用したことがある	2	2	2
利用したことがない	3	3	3
制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思っから利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	①	①	①
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	②	②	②
利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	③	③	③
それ以外の理由	④	④	④
	⑤	⑤	⑤

①～⑤のあてはまるもの1つに○

問14

あなたの世帯では、過去1年の間に、お子さんの就学が困難な場合に、学用品費等を補助する制度が買えないことがありましたか。(あてはまるもの1つに○)

1

よくあった

2

ときどきあった

3

まれにあった

4

まったくなかった

6

362

子育て政策課 ※2 児童扶養手当：所得が一定水準以下のひとり親世帯の生活支援のための手当。 (児童手当とは異なります。)																													
福祉課 ※3 生活困難者の自立支援相談窓口：お金、仕事、住宅など、様々な課題を抱えた生活に困難する方のための相談窓口。専門の支援員が具体的な支援プランを作成し、課題の解決に向けた支援を行う。 ※4 生活保護：病気や失業などにより生活費等に困り、他に方法がないときに一定の援助が受けられる制度。																													
問14 これまで行政や専門支援の窓口に、暮らしのことで困ったことがあったときに「相談したくてもできなかった」ということはありますか。 (あてはまるもの1つに○)	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>ない</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>ある</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>その他（具体的に）</td> </tr> </table>	1	ない	2	ある	3	その他（具体的に）																						
1	ない																												
2	ある																												
3	その他（具体的に）																												
問15 あなた自身が現在必要としていることで、重要だと思う支援等はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)																													
<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>お子さんのことや生活のことなど悩みごとを相談できること</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>同じような悩みを持った人同士で知り合えること</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>病気や障がいのことなどについて専門的な支援が受けられること</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>就職のための支援が受けられること</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>病気や出産、事故などの事情があったときに一時的にお子さんを預けられること</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>お子さんの就学にかかる費用が軽減されること</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>お子さんが受けられる無料（低額）の学習支援制度</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>お子さんの居場所づくり</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>一時的に必要な資金を借りられること</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>ストレスを発散できる場所、機会が提供されること</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>その他（</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>特にない</td> </tr> </table>		1	お子さんのことや生活のことなど悩みごとを相談できること	2	同じような悩みを持った人同士で知り合えること	3	離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること	4	病気や障がいのことなどについて専門的な支援が受けられること	5	就職のための支援が受けられること	6	住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること	7	病気や出産、事故などの事情があったときに一時的にお子さんを預けられること	8	お子さんの就学にかかる費用が軽減されること	9	お子さんが受けられる無料（低額）の学習支援制度	10	お子さんの居場所づくり	11	一時的に必要な資金を借りられること	12	ストレスを発散できる場所、機会が提供されること	13	その他（	14	特にない
1	お子さんのことや生活のことなど悩みごとを相談できること																												
2	同じような悩みを持った人同士で知り合えること																												
3	離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること																												
4	病気や障がいのことなどについて専門的な支援が受けられること																												
5	就職のための支援が受けられること																												
6	住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること																												
7	病気や出産、事故などの事情があったときに一時的にお子さんを預けられること																												
8	お子さんの就学にかかる費用が軽減されること																												
9	お子さんが受けられる無料（低額）の学習支援制度																												
10	お子さんの居場所づくり																												
11	一時的に必要な資金を借りられること																												
12	ストレスを発散できる場所、機会が提供されること																												
13	その他（																												
14	特にない																												
質問は以上です。ご協力ありがとうございました。																													

6 若者

北杜市

子ども・若者を取り巻く状況調査

日頃から市政推進に御理解・御協力を賜り、誠にありがとうございます。

北杜市では、若者施策の対象となる皆さんのお聞かせいただき、今後の子ども・若者施策に役立てることを目的としてアンケート調査を実施することといたしました。

この調査は、本市にお住まいの16歳から39歳までの方から、無作為に抽出し、調査票をお送りしております。お答えは、統計的に処理しますので、個人が特定されるなど、回答された方に御迷惑をおかけすることはありません。

日々お忙しいことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、御協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年6月
北杜市

ご回答にあたってのお願い

- 質問には令和6年6月1日現在の状況でお答えください。
- あてはまる答えの番号を（1つ、もしくは、いくつでも）選んでください。数字を回答する質問では数字で回答してください。選べる数や、数字の回答のしかたは、それぞれの質問文や、質問文の後ろの（ ）に書いてあります。「その他」を選ばれた場合は、後の（ ）の中にその具体的な内容を回答ください。
- 答えたくない質問は、飛ばして、次の質問に進んでください。
- 6月30日(日)**までに回答ください。

アンケート全般に関するお問合わせ等は、下記までお願いいたします。

北杜市役所 子ども政策部 子育て政策課
〒408-0188 北杜市須玉町大豆生田61-1
TEL 0551-42-1332 FAX 0551-42-2335
北杜市子育て情報サイト「やまねっと」
: <http://www.city.hokuto.yamanashi.jp/kosodate/>

1. はじめに、あなた自身のことについてお聞きします

問1 あなたの性別を選んでください。(○は1つ)

1. 男性 2. 女性 3. どちらでもない 4. 答えたくない

問2 あなたの年齢を教えてください。(○は1つ)

1. 16歳～19歳 3. 25歳～29歳 5. 35歳～39歳
2. 20歳～24歳 4. 30歳～34歳

問3 あなたが同居している家族はあなたを入れて全員で何人ですか。
(一時的に単身赴任している家族も人数に含みます。)(数字を記入)

人

問4 現在、あなたが同居している家族を教えてください。(一時的に単身赴任している家族も含みます。)
(○はいくつでも) ※あなたから見た続柄で○をつけてください。

1. 父 5. 配偶者(パートナー)
2. 母 6. 子
3. 兄弟姉妹 7. 同居人はいない(単身世帯)
4. 祖父母 8. その他()

問5 あなたは普段どのくらい外出しますか。最もあてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)

1. 仕事や学校で平日は毎日外出する
2. 仕事や学校で週に3～4日外出する
3. 遊び等で頻繁に外出する 問6へ
4. 人づきあいのためにときどき外出する
5. 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のみだけ外出する
6. 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
7. 自宅からは出るが、家からは出ない 問5-1へ
8. 自宅からはほとんど出ない

問5で「5. 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のとぎだけ外出する」から「8. 自宅からはほとんど出ない」に○をした方にお伺いします。

問5-1 あなたが現在の状態となつてどのくらい経ちますか。(○は1つ)

1. 3か月未満	4. 1年～3年未満	7. 7年～10年未満	10. 20年～25年未満
2. 3か月～6か月未満	5. 3年～5年未満	8. 10年～15年未満	11. 25年～30年未満
3. 6か月～1年未満	6. 5年～7年未満	9. 15年～20年未満	12. 30年以上

問5で「5. 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のとぎだけ外出する」から「8. 自宅からはほとんど出ない」に○をした方にお伺いします。

問5-2 あなたがそのような状況になつたきっかけは何でしたか。(○はいくつでも)

1. 不登校になつたこと	8. 退職したこと
2. 受験がうまくいかなかったこと	9. 介護・看護を担うことになつたこと
3. 就職活動がうまくいかなかったこと	10. 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための緊急事態宣言
4. 職場になじめなかったこと	11. 特にない
5. 人間関係がうまくいかなかったこと	12. その他 ()
6. 病気になつたこと	
7. 妊娠・出産をしたこと	

問5-1で「3. 6か月～1年未満」から「12. 30年以上」に○をした方にお伺いします。

問5-3 あなたの外出の状況が現在の状態になつたのは、何歳の頃ですか。(○は1つ)

1. 14歳以下	3. 20歳～24歳	5. 30歳～34歳
2. 15歳～19歳	4. 25歳～29歳	6. 35歳～39歳

問6 あなたの職業(学生の人は学校)は、次のどれですか。(○は1つ)

1. 高校生	9. 自営業・自由業
2. 専門学校生	10. 専門技術職・研究職
3. 大学生	11. パート、アルバイト、契約社員など非正規職員
4. 短期大学生	12. 家族従事者(家業を手伝っている)
5. 大学院生	13. 専業主婦・主夫
6. 予備校生	14. 無職(求職中、職業訓練中、資格取得のため勉強中)
7. 会社員	15. 無職(特に求職活動をしていない)
8. 公務員	16. その他 ()

2. 働くことについて

問7 あなたは現在就職活動や、進学のための勉強などをしていますか。(○は1つ)

1. している	2. していない
---------	----------

問8 あなたは、現在収入を伴う仕事をしていますか。(○は1つ)

1. している	⇒ 問10へ	2. していない	⇒ 問9へ
---------	--------	----------	-------

問8で「2. していない」に○をした方にお伺いします。

問9 あなたは、今後、働くことについてどう考えていますか。(○は1つ)

1. 仕事があればすぐに働きたい	⇒ 問9-1へ
2. 今は働いていないがそのうち働きたい	⇒ 問9-1へ
3. 働きたいが働けない	⇒ 問9-1へ
4. 働きたいと思わない	⇒ 問12へ

問9で「1. 仕事があればすぐに働きたい」「2. 今は働いていないがそのうち働きたい」「3. 働きたいが働けない」に○をした方にお伺いします。

問9-1 「働きたい」という思いがある一方で、現在働いていない理由を教えてください。

(○はいくつでも)

1. 今は学生だから学業を優先させるために働いていない	9. 社会生活(人間関係や就労など)においてこれまでもうまくいかず自信がない
2. 仕事の探し方がわからない	10. 心身のバランスがとれず、身動きがとれない
3. 収入について条件の合う仕事が見つからない	11. 障害や病気で、働くことができない
4. 時間について条件の合う仕事が見つからない	12. 働きたいのか働きたくないのか自分でもよくわからない
5. 仕事に必要な専門知識や資格がない	13. 自分には外で働くスキルがないと感じる
6. 子どもの預け先が見つからない	14. 特にない
7. 家事等があり働く時間が確保できない	15. その他 ()
8. 家族の体調が不安定になっている	

問8で「1. している」に○をした方にお伺いします。

問10 あなたは、現在の仕事に満足していますか。(○は1つ)

1. 不満である	⇒ 問10-1へ	4. やや満足している	⇒ 問11へ
2. やや不満である	⇒ 問10-1へ	5. 満足している	⇒ 問11へ
3. どちらともいえない	⇒ 問11へ		

問10で「1. 不満である」「2. やや不満である」に○をした方にお伺いします。

問10-1 不満に感じる理由を教えてください。(○は3つまで)

1. 給料が安い	7. 責任が重すぎる
2. 労働時間が長い	8. 自分の仕事を認めてもらえない
3. 上司や同僚との人間関係が悪い	9. 職場に居場所がないと感じている
4. 不安定な雇用形態である	10. 社風に馴染めない
5. やりがいが感じられない	11. その他 ()
6. 仕事内容が自分に合っていない	

問 10 で「3. どちらともいえない」「4. やや満足している」「5. 満足している」に○をした方にお伺いします。

問 11 あなたは現在の雇用形態について不安なことはありますか。(○はいくつでも)

1. 立場が不安定である	5. 周りのからの評価や視線が厳しい
2. 収入が少ない	6. 不安なことは無い
3. スキルアップが困難である	7. その他 ()
4. 金融機関等の信用を受けにくい	

3. 家族や家庭について

問 12 あなたは家でよく話をするほうですか。それとも話さないほうですか。(○は1つ)

1. よく話す	2. やや話す	3. あまり話さない	4. 全く話さない
---------	---------	------------	-----------

問 13 あなたには配偶者(パートナー)がいますか。(○は1つ)

1. いる ⇒ 問 14へ	2. いない ⇒ 問 15へ
---------------	----------------

問 13 で「1. いる」に○をした方にお伺いします。

問 14 あなたは、現在の配偶者(パートナー)とどのようなきっかけでお知り合いになりましたか。
最もあてはまると思うものを選んでください。(○は1つ)

1. 学校	7. 見合い(親戚・上司の紹介も含む)
2. 部活・サークル・クラブ活動等	8. 合コンやパーティー
3. 職場・アルバイト先	9. 結婚相談所
4. 幼なじみ・隣人関係	10. 街中や旅行先
5. 地域の活動・ボランティア活動	11. インターネット・SNS
6. 友人や兄弟姉妹を通じて	12. その他 ()

問 13 で「2. いない」に○をした方にお伺いします。

問 15 あなたは、現在交際している恋人はいますか。(○は1つ)

1. いる	2. いない
-------	--------

問 13 で「2. いない」に○をした方にお伺いします。

問 16 あなたは、いつかは結婚したいと思いますか。(○は1つ)

1. はい ⇒ 問 16-1へ	2. いいえ ⇒ 問 16-3へ
-----------------	------------------

問 16 で「1. はい」に○をした方にお伺いします。

問 16-1 あなたが現在結婚について抱いている不安として、当てはまるものを選んでください。

(○はいくつでも)	
1. 理想の相手にめぐりあえるか	7. 仕事(学業)と両立できるか
2. 経済的な面	8. 親や周囲が同意しないこと
3. 自分の自由な時間をもてるか	9. 同性間の婚姻が法的に認められていないこと
4. 家族を持つ責任が重いこと	10. 特にない
5. 家事の分担について	11. その他 ()
6. 自分の雇用が安定しないこと	

問 16 で「1. はい」に○をした方にお伺いします。

問 16-2 結婚相手に求めるもので、あてはまるものを選んでください。(○はいくつでも)

1. 人柄	5. 家事・育児の能力や姿勢
2. 容姿	6. 職業・学歴
3. 経済力	7. 仕事への理解
4. 共通の趣味	8. その他 ()

問 16 で「2. いいえ」に○をした方にお伺いします。

問 16-3 あなたが結婚したくないと考える理由をお答えください。(○はいくつでも)

1. 理想の相手にめぐりあわないから	7. 仕事(学業)と両立できないから
2. 経済的な面	8. 親や周囲が同意しないから
3. 自分の自由な時間をもてないから	9. 同性間の婚姻が法的に認められていないから
4. 家族を持つ責任が重いから	10. その他 ()
5. 家事の分担があるから	
6. 自分の雇用が安定していないから	

4. 結婚・出産・子育てのしやすい環境づくりにについて

すべての方にお伺いします。

問 17 結婚しやすい、結婚したいと思える環境をつくるには、どのような支援が効果的だと思いますか。

(○はいくつでも)

1. 男女の出会いの場の提供	7. 安定した住居・住宅の供給
2. 夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実	8. 女性が働きやすい環境づくり
3. 安定した雇用機会の提供	9. 長時間労働の是正、有給休暇の取得促進など、自由な時間の確保
4. 結婚した方が有利となるような奨励や社会保障	10. 支援は必要ない
5. 結婚に関する相談体制	11. その他
6. 結婚や住宅に対する資金貸与や補助支援	()

すべての方にお伺いします。

問 18 あなたは、現在、子どもがいますか。(○は1つ)

1. いる ⇒ 問 19へ	2. いない ⇒ 問 18-1へ
---------------	------------------

問 18 で「2. いない」に○をした方にお伺いします。

問 18-1 あなたは、いつかは子どもを持ちたいと思いますか。(○は1つ)

1. はい ⇒ 問 18-2へ	2. いいえ ⇒ 問 18-4へ
-----------------	------------------

問 18-1 で「1. はい」に○をした方にお伺いします。

問 18-2 子どもを持ちたい理由を選んでください。(○はいくつでも)

1. 子どもがいると生活が楽しくなるから	6. 子どもは老後の支えになるから
2. 結婚して子どもを持つことは自然なことだから	7. 配偶者(パートナー)あるいは親など周囲が望むから
3. 好きな人の子どもの持ちたいから	8. 子どもを持つことで周囲から認められるから
4. 子どもは夫婦関係を安定させるから	9. その他
5. 子どもは将来の社会の支えとなるから	()

問 18-1 で「1. はい」に○をした方にお伺いします。

問 18-3 あなたは、何人の子どもの持ちたいと思いますか。(○は1つ)

1. 1人	3. 3人
2. 2人	4. 4人以上

問 18-1 で「1. はい」に○をした方にお伺いします。

問 18-4 あなたは、子どもが生まれた後、働く(働き続ける)考えがありますか。(○は1つ)

1. はい	2. いいえ	3. わからない
-------	--------	----------

問 18-1 で「2. いいえ」に○をした方にお伺いします。

問 18-5 あなたが子どもを持ちたいと思わない理由を選んでください。(○はいくつでも)

1. 経済的な不安	4. 夫婦で過ごす時間の確保	7. 理由は特にない
2. 子育てに対する不安	5. 仕事・キャリアへの影響	8. その他
3. 自分の時間の充実	6. 健康上の理由	()

5. あなた自身の普段の生活や悩みなどについて

問 19 あなたは、現在困っていることや悩んでいることがありますか。(○はいくつでも)

1. 勉強や進学のこと	10. 健康のこと
2. 学費のこと	11. 容姿のこと
3. 生活費のこと	12. 性別や体のこと
4. 就職のこと	13. 心に関すること
5. 仕事のこと	14. 将来のこと
6. 家族のこと	15. 政治や社会のこと
7. 友人や仲間のこと	16. はっきりとした悩みはないが、なんとなく不安
8. 性格のこと	17. その他 ()
9. 恋愛のこと	18. 特にない

問 20 あなたが何でも話せる相手や、悩んでいるときに相談に乗ってくれる人(場所)を教えてください。

(○はいくつでも)

1. 母親	14. 近所の友人
2. 父親	15. 趣味の団体・グループなどの仲間
3. 兄弟姉妹	16. 交際相手
4. 祖父母、親戚	17. カウンセラー、精神科医
5. 配偶者(パートナー)	18. 市町村の役所などの相談機関の窓口
6. 自分の子ども	19. 相談機関の電話相談
7. 学校の先生	20. 相談機関のSNS相談
8. 塾、予備校、習い事の先生	21. 相談機関のメール相談
9. 学校の友人	22. インターネット上で知り合った人、質問サイト、掲示板
10. 学校の先輩	23. その他 ()
11. 学生時代の友人	24. 誰 (どこ) にも相談しない・相談できない
12. 職場の同僚	⇒ 問 20-1へ
13. 職場の上司や先輩	

問 20 で「4. 誰（ど）にも相談しない・相談できないに○をした方にお伺いします。

問 20-1 相談しない・相談できない理由を教えてください。(○はいくつでも)

1. 相談相手がいないから	10. 以前、相談して嫌な思いをしたから
2. 相談相手が信頼できないから	11. 相談しても解決しないと思うから
3. 相談した内容が漏れたら嫌だから	12. 自分で解決しようと思うから
4. 人に自分の強いところを見せたくないから	13. インターネット等で調べればどうしたらいいかわかるから
5. 誰かに頼ってはいけない気がするから	14. 自分の好きなことなどをして気晴らしをするから
6. 迷惑をかけてしまいたいので申し訳ないから	15. 特になし
7. どこに相談したらよいかわからないから	16. その他 ()
8. 相談するのにお金がかかりそうだから	
9. 何を相談したらいいかわからないから	

すべての方にお伺いします。

問 21 現在の状態(人間関係など置かれている環境や、不安に思っているもの・悩みなど)について、どこかに相談したいと思いますか。(○は1つ)

1. 非常に思う	⇒問 21-1 へ	3. 少し思う	⇒問 21-1 へ
2. 思う	⇒問 21-1 へ	4. 思わない	⇒問 21-2 へ

問 21 で「1. 非常に思う」「2. 思う」「3. 少し思う」のいずれかに○をした方にお伺いします。

問 21-1 現在の状態について相談するのなら、どのようなところに相談したいと思いますか。(○はいくつでも)

1. 親身に聞いてくれる	6. 無料で相談できる	11. 同じ悩みを持つ人と出会う
2. 信頼できる人がいる	7. 医学的な助言をくれる	12. 匿名で相談できる
3. すぐに対応してくれる	8. 心理学の専門家がいます	13. その他 ()
4. 夜でも対応してくれる	9. 精神科医がいます	
5. 自宅から近い	10. 自宅に専門家が来てくれる	

問 21 で「4. 思わない」に○をした方にお伺いします。

問 21-2 相談したくないと思う理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 自分のことを知られたくない	6. お金がかかる
2. 相談しても解決できないと思う	7. 相談機関が近くにない
3. 何を聞かれるか不安に思う	8. 特に理由はない
4. 相手にうまく話せないと思う	9. その他 ()
5. 相談したことを人に知られたくない	

6. 将来について

問 22 あなたは、自分の将来についてどう考えていますか。(ア～カについてそれぞれ○は1つ)

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえば思わない	そう思わない
ア 自分の将来に明るい希望を持っている	1	2	3	4
イ 将来のためにも、今頑張りたい	1	2	3	4
ウ 将来、一生懸命働きたい	1	2	3	4
エ 夢や目標を実現するために、今何をしたらいいか考え、行動している	1	2	3	4
オ 自分の将来についてはまったく考えていない	1	2	3	4
カ 自分の将来について考えられる状況、余裕、時間がない	1	2	3	4

問 23 次の場所は、今のあなたにとって居場所(ほっとできる場所、居心地の良い場所など)になっていますか。(ア～カについてそれぞれ○は1つ)

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえば思わない	そう思わない
ア 自分の部屋	1	2	3	4
イ 家庭(実家や親族の家を含む)	1	2	3	4
ウ 学校(卒業した学校を含む)	1	2	3	4
エ 職場(過去の職場を含む)	1	2	3	4
オ 地域(図書館や公園など)	1	2	3	4
カ インターネット空間(SNS、YouTube やオンラインゲームなど)	1	2	3	4

7. 北杜市について

問 24 あなたは、次の相談窓口を知っていますか。(それぞれ○は1つ)

相談窓口名	
ア 福祉相談窓口（生活困窮やひきこもりの相談など） 電話番号：0551-42-1334	1. 知っている 2. 知らない
イ ほくとハッピーワーク（仕事に関する相談） 電話番号：0551-42-1338	1. 知っている 2. 知らない
ウ 出合いサポーターセンター（結婚に関する相談） 電話番号：080-2175-2478	1. 知っている 2. 知らない

問 25 あなたは、北杜市が取り組む青少年や若者の政策にどんなことを望みますか。(〇は3つまで)

1. 青少年や若者が参加できているイベントや意見を発表できる機会をつくる
2. 青少年や若者中心のイベントやボランティアなどの自主的な活動を支援する
3. 地域活動や体験活動など、家庭・学校・地域がともに青少年を育成するまちづくりをする
4. 子どもから大人まで、青少年活動のリーダーとなる人を養成する
5. 経済的な困難を抱えている家庭を支援する
6. ヤングケアラーの子どもたちを支援する
7. いじめや虐待などの悩みを相談できる窓口を充実させ、支援する
8. ニートや引きこもりに関する相談や支援を充実させる
9. 放課後などに気晴しに行ける安全な居場所を提供する
10. 多様な授業（国際交流等）を取り入れるなど、学校教育を充実させる
11. 薬物やたばこなどの有害なものから子どもたちを守り、非行や犯罪防止につとめる
12. インターネットの適正な利用について学び機会を充実させる
13. 性の悩み相談など、思春期の子どもを支援する
14. 妊娠・出産に向けた健康に関する学習や受胎教育を受けられること
15. 結婚相談所や出会いの場の提供など、若者が結婚しやすい環境をつくる
16. 就職に向けた相談やサポート体制を充実させる
17. 特にない
18. その他（ ）

問 26 市の施策に対して自分の意見を言ったら、どのような方法で伝えたいと思いますか。
(〇はいくつでも)

1. 対面 (リアル)
2. 対面 (オンライン)
3. メール
4. SNS
5. アンケート (紙)
6. アンケート (Web)
7. 市の審議会等への参加
8. その他 ()

問 27 最後に、子どもや若者に関することについて、普段感じていることやご意見、ご要望がありましたら、ご自由に御回答ください。

This image shows a single sheet of white paper with horizontal blue or grey ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is no handwriting or other markings on the paper.

アンケートは以上です。調査に御協力いただき、本当にありがとうございました。

北杜市
子ども・子育て支援事業計画策定に関するニーズ
調査結果報告書

発 行 年 月：令和6年8月

発 行：北杜市 こども政策部 子育て政策課
〒408-0188
山梨県北杜市須玉町大豆生田961-1

電 話：0551-42-1332